

目 次

<未就学児の保護者対象調査>

I 調査の概要	1
II 調査結果	7
1. 子育ての環境や生活状況について	8
2. 未就園児の預かりサービスについて	18
3. 子育てに係る相談先や支援策への考えについて	21
4. お子さんやあなたの家庭以外での活動等について	29
5. 結婚のキッカケや次の子どもが欲しいかについて	32
6. 大牟田市の取組や印象等について	36

<小学5年生及び中学生対象調査>

I 調査の概要	49
II 調査結果	55
1. お家での生活について	56
2. 学校生活や勉強・部活動のことについて	68
3. あなたの悩みやお家・学校以外での生活について	73
4. あなたが中心にお世話をしている家族について	79
5. 大牟田市の取組や印象などについて	87

<小学5年生・中学2年生の保護者対象調査>

I 調査の概要	97
II 調査結果	103
1. 子育ての環境や生活状況について	104
2. 子育てに係る相談先や支援策への考えについて	121
3. お子さんやあなたの家庭以外での活動等について	126
4. 大牟田市の取組や印象等について	129

<15～39歳の市民対象調査>

I 調査の概要	143
II 調査結果	151
1. 働くことについて	152
2. あなたの居場所や悩んだ時の相談先について	154
3. あなたの結婚や子をもつ希望などについて	159
4. ヤングケアラー・若者ケアラーについて	169
5. 大牟田市での取組や印象などについて	171

＜未就学児の保護者対象調査＞

I 調査の概要

I 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

大牟田市（以下「発注者」という。）がこども基本法第 10 条第 2 項に基づき、令和 7 年度から 11 年度までの 5 年間を計画期間とする「大牟田市こども計画」（以下「こども計画」という。）の策定に向けて、その基礎資料とするためのニーズ調査を実施する。

なお、こども計画は、こども基本法第 10 条第 5 項の規定に基づく子どもに関する各種計画を一体化したものとして策定することを想定している。

これらについて、ニーズ調査の実施及び調査結果に対する分析に関する業務及び子どもの人口推計に関する業務の委託を行うもの。

2. 調査設計

（1）調査対象地域 大牟田市内全域

（2）調査対象

市内に在住する未就学児の保護者 2,833 人

（3）調査方法

案内文（web ページの URL、QR コード、個別 ID 入り）を郵送し、web ページにより回答

（4）調査期間

令和 6 年 7 月 1 日～令和 6 年 7 月 22 日

（5）有効回答率

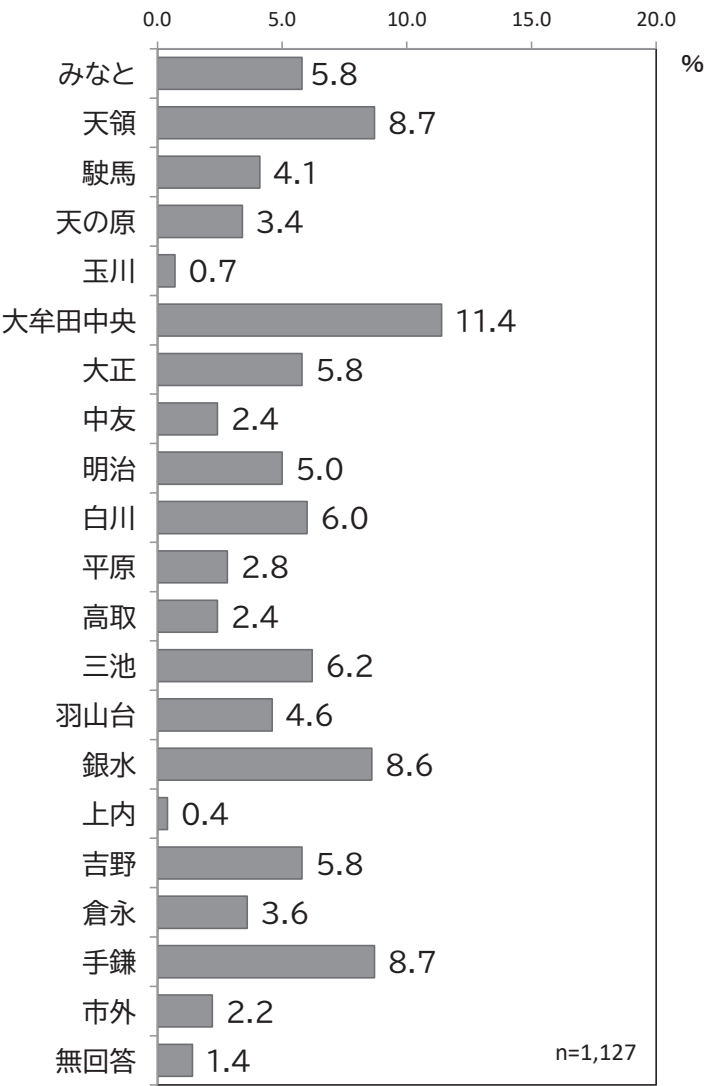
1,127 票（有効回答率 39.8%）

3. 本報告書の見方

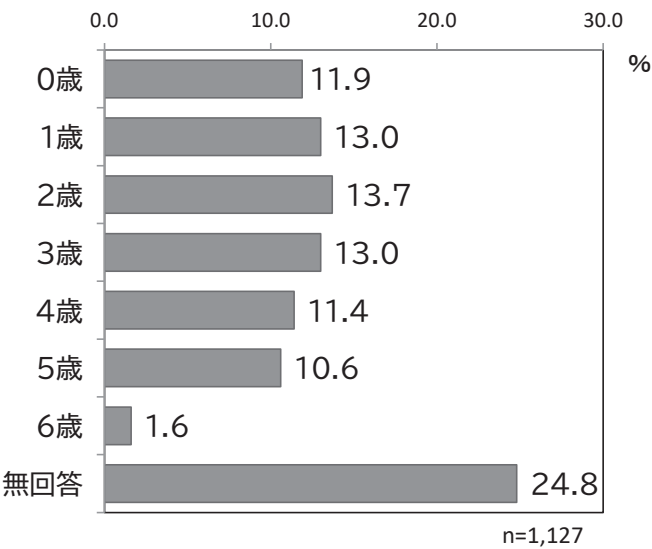
- 回答割合は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答を可とした質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 文中では選択肢を「 」で示した。数表・図表は、スペースの都合上、調査票の文言を省略して表記している場合がある。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示している。
- 表・グラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。
- 単純集計・クロス集計の図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をする事が難しいので、回答の傾向をみる程度になる。
- 表・グラフ中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難な回答である。

4. 回答者の基本属性

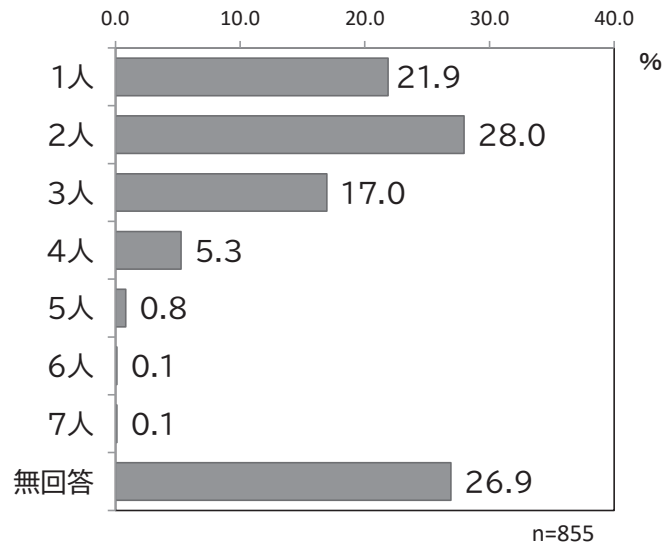
■お住まいの小学校区



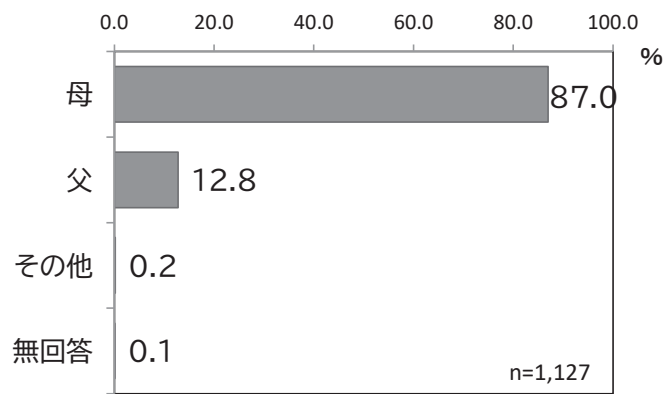
■お子さん（複数いる場合は末子）の令和6年4月1日の年齢



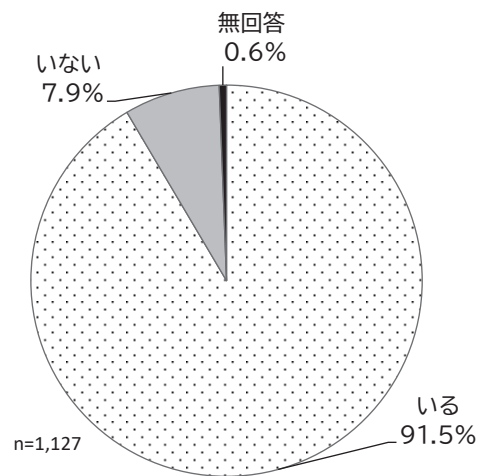
■ 高校生までのお子さんの人数



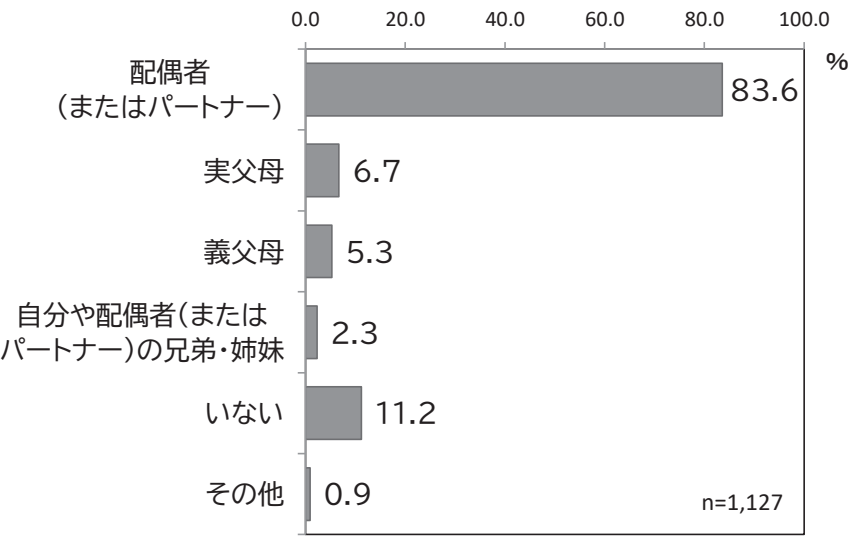
■ お子さんからみたあなたの続柄



■ 配偶者（またはパートナー）の有無



■お子さん以外でいっしょに暮らしている人



Ⅱ 調査結果

II 調査結果

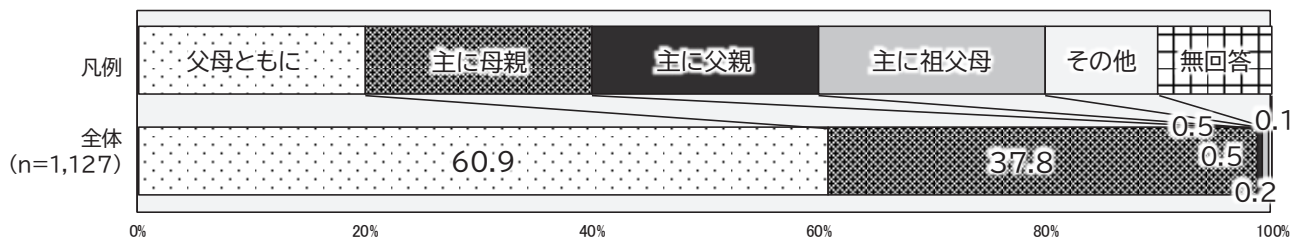
1. 子育ての環境や生活状況について

<設問 7>

お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(〇は1つ)

「父母ともに」の 60.9%が最も高く、以下、割合の高い方から「主に母親」(37.8%)、「主に父親」及び「主に祖父母」(0.5%)の順となっている。

【全体】

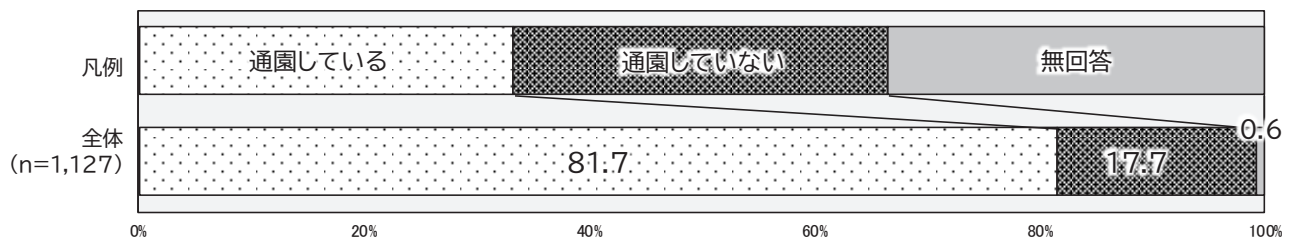


<設問 8>

お子さん(複数いる場合は末子)は保育所や幼稚園等に通園していますか。(〇は1つ)

「通園している」が 81.7%で、「通園していない」は 17.7%となっている。

【全体】

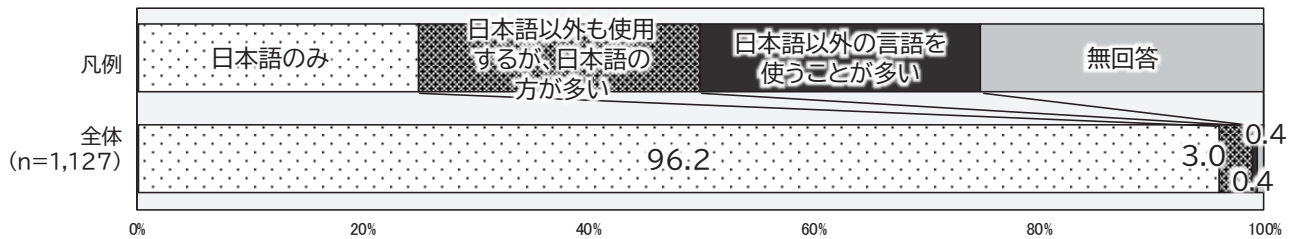


<設問 9>

あなたのご家庭では、日本語以外の言語を使用していますか。(〇は1つ)

「日本語のみ」の 96.2%が最も高く、以下、割合の高い方から「日本語以外も使用するが、日本語の方が多い」(3.0%)、「日本語以外の言語を使うことが多い」(0.4%)の順となっている。

【全体】



<設問 9-1>

日本語以外で良く使う日本語以外の言語は何ですか。(〇は1つ)

「ベトナム語」が2件で、その他1件の回答は「インドネシア語」となっている。

【全体】

	度数	%
ベトナム語	2	0.2
その他	1	0.1
無回答	1,124	99.7
合計	1,127	100.0

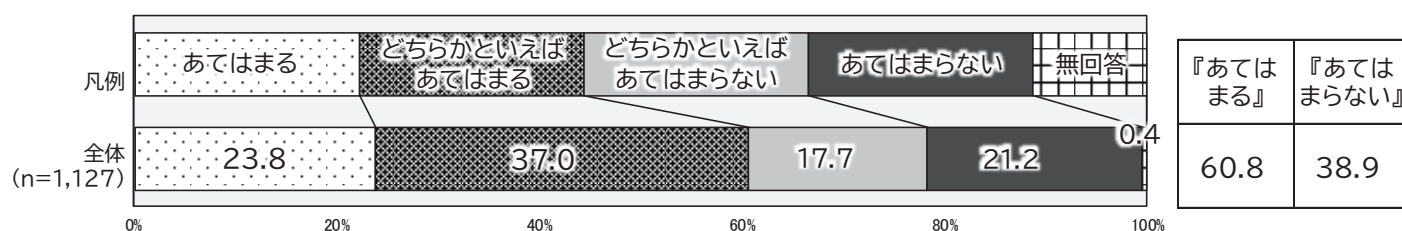
<設問 10>

あなたとお子さん(複数いる場合は末子)との関わり方についてお答えください。(それぞれ〇は1つ、(3)(4)は問2が3歳以上の場合のみ)

(1) 子どものテレビ・ゲーム・インターネットの利用について、利用時間などのルールを決めている

「どちらかといえばあてはまる」の 37.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「あてはまる」(23.8%)、「あてはまらない」(21.2%)の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 60.8%で、『あてはまらない』(「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」)は 38.9%となっている。

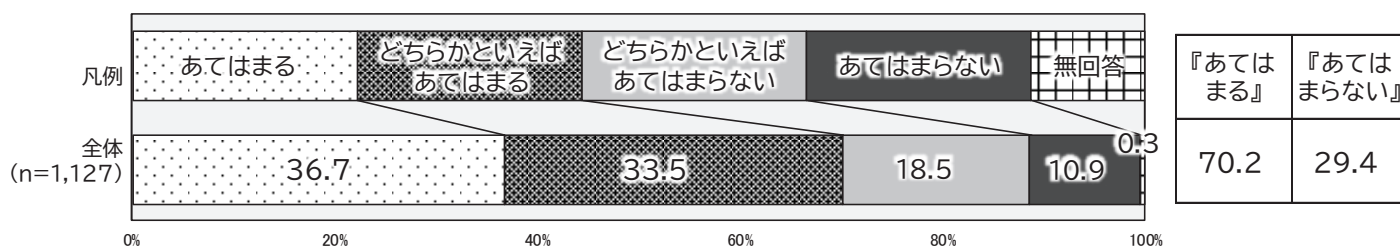
【全体】



(2) 子どもに、絵本の読み聞かせをしている

「あてはまる」の 36.7%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばあてはまる」(33.5%)、「どちらかといえばあてはまらない」(18.5%)の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 70.2%で、『あてはまらない』(「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」)は 29.4%となっている。

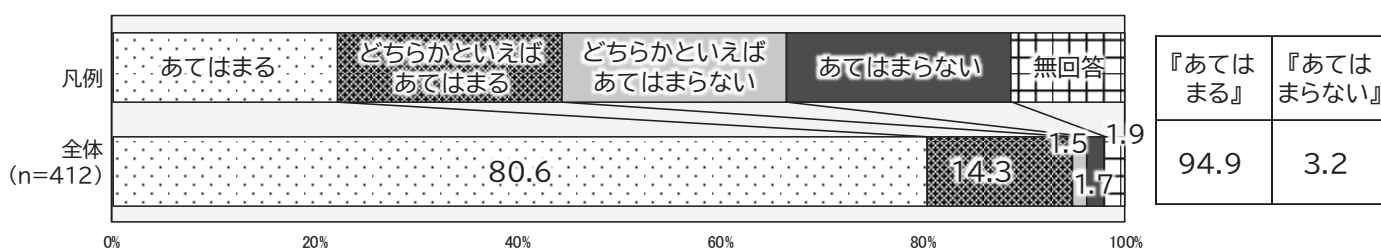
【全体】



(3) 子どもと、保育所や幼稚園等での出来事について話す

「あてはまる」の 80.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばあてはまる」(14.3%)、「あてはまらない」(1.7%)、「どちらかといえばあてはまらない」(1.5%)の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 94.9%で、『あてはまらない』(「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」)は 3.2%となっている。

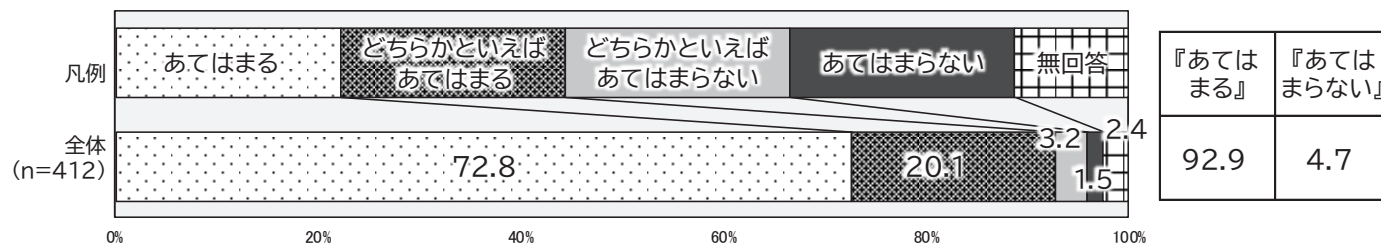
【全体】



(4) 子どもと、子どもの友達のことについて話す

「あてはまる」の 72.8%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばあてはまる」(20.1%)、「どちらかといえばあてはまらない」(3.2%)、「あてはまらない」(1.5%)の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 92.9%で、『あてはまらない』(「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」)は 4.7%となっている。

【全体】



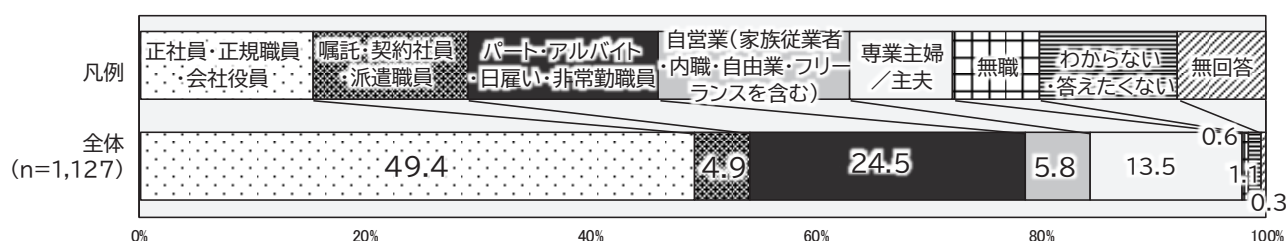
＜設問 11＞

あなたの就労状況をお答えください。配偶者（パートナー）がいる場合は、その方についてもお答えください。（それぞれ○は1つ）

（1）あなた

「正社員・正規職員・会社役員」の 49.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（24.5%）、「専業主婦／主夫」（13.5%）、「自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む）」（5.8%）の順となっている。

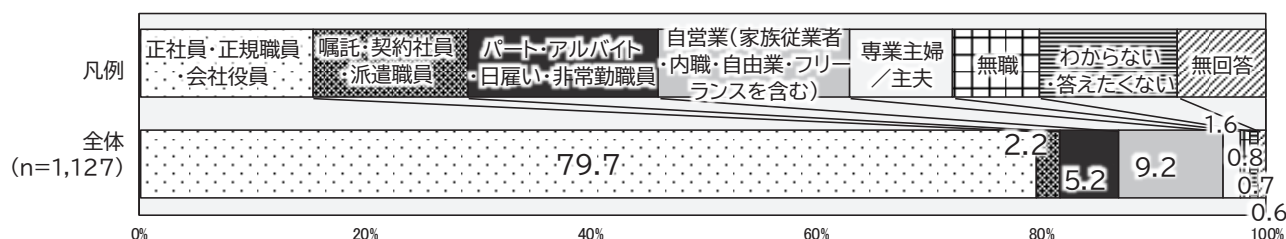
【全体】



（2）配偶者（パートナー）

「正社員・正規職員・会社役員」の 79.7%が最も高く、以下、割合の高い方から「自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む）」（9.2%）、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（5.2%）の順となっている。

【全体】



<設問 11-1>

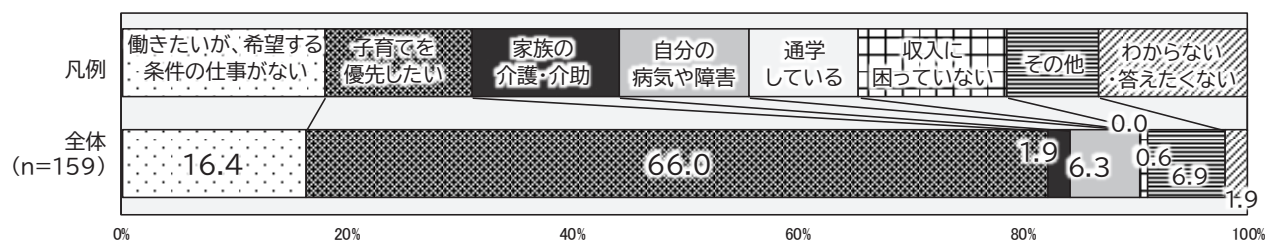
問11で「5」「6」と回答した人にもみ表示

あなたが現在、就労していない理由をお答えください。配偶者（パートナー）がいる場合は、その方についてもお答えください。（それぞれ〇は1つ）

（1）あなた

「子育てを優先したい」の 66.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「働きたいが、希望する条件の仕事がない」（16.4%）、「その他」（6.9%）、「自分の病気や障害」（6.3%）の順となっている。

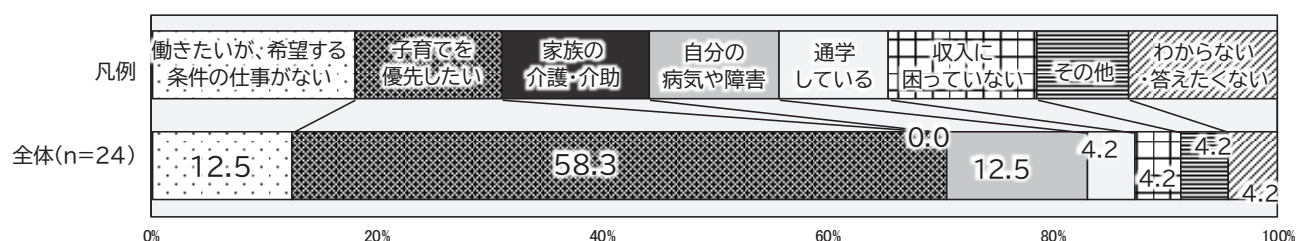
【全体】



（2）配偶者（パートナー）

「子育てを優先したい」の 58.3%が最も高く、以下、割合の高い方から「働きたいが、希望する条件の仕事がない」及び「自分の病気や障害」（12.5%）の順となっている。

【全体】



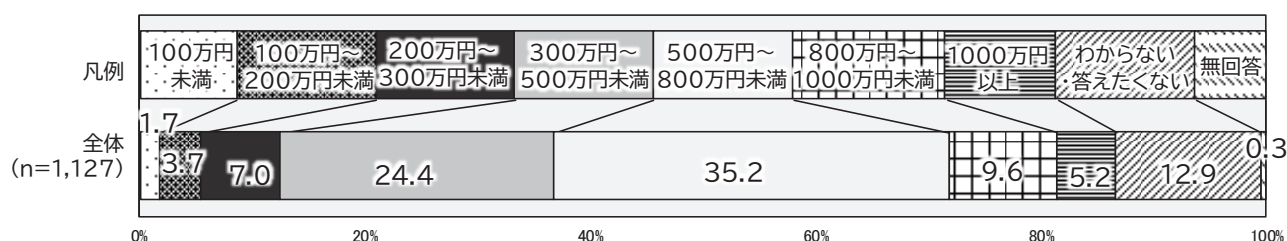
＜設問 12＞

世帯全体の年間収入（会社員等の場合は、1年間の給与の総支給額（いわゆる額面））は、おおよそいくらですか。（○は1つ）

※同居し、生計を同一にしている家族全員の直近の合算額をわかる範囲でお答えください。

「500万円～800万円未満」の35.2%が最も高く、以下、割合の高い方から「300万円～500万円未満」（24.4%）、「わからない・答えたくない」（12.9%）、「800万円～1000万円未満」（9.6%）の順となっている。『300万円未満』は合わせて12.4%。

【全体】



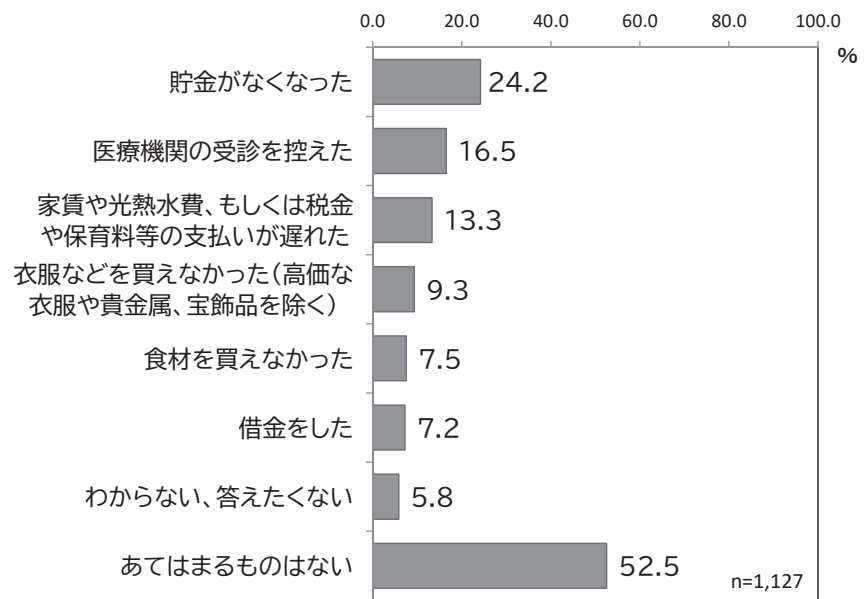
＜設問 13＞

あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。 おおむね直近1年の間でお答えください。（○はいくつでも）

「あてはまるものはない」の52.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「貯金がなくなった」（24.2%）、「医療機関の受診を控えた」（16.5%）、「家賃や光熱水費、もしくは税金や保育料等の支払いが遅れた」（13.3%）の順となっている。

これを世帯収入別にみると、収入が低くなるほど「あてはまるものはない」と「わからない・答えたくない」を除く選択肢の割合が高く、経済的な理由による経験を多くしていることがうかがえる結果となっている。

【全体】



【世帯年収別にみた経済的な理由で経験したこと】

	合計	食材を買えなかった	医療機関の受診を控えた	遅れた税金や保育料等の支払いがは	家賃や光熱水費、もしくは宝飾品(高価な衣服や貴金属、宝飾品を除く)を買えなかった	借金をした	貯金がなくなった	わからない、答えたくない	あてはまるものはない
全体	1,127	84 7.5%	186 16.5%	150 13.3%	105 9.3%	81 7.2%	273 24.2%	65 5.8%	592 52.5%
■ 世帯年収別									
100万円未満	19	5 26.3%	5 26.3%	6 31.6%	3 15.8%	3 15.8%	5 26.3%	0 0.0%	7 36.8%
100万円～200万円未満	42	8 19.0%	10 23.8%	21 50.0%	7 16.7%	9 21.4%	15 35.7%	4 9.5%	10 23.8%
200万円～300万円未満	79	10 12.7%	18 22.8%	18 22.8%	16 20.3%	8 10.1%	29 36.7%	7 8.9%	28 35.4%
300万円～500万円未満	275	30 10.9%	73 26.5%	45 16.4%	42 15.3%	27 9.8%	92 33.5%	17 6.2%	102 37.1%
500万円～800万円未満	397	19 4.8%	60 15.1%	38 9.6%	21 5.3%	24 6.0%	95 23.9%	21 5.3%	219 55.2%
800万円～1000万円未満	108	2 1.9%	2 1.9%	5 4.6%	4 3.7%	2 1.9%	11 10.2%	4 3.7%	85 78.7%
1000万円以上	59	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	59 100.0%
わからない・答えたくない	145	10 6.9%	18 12.4%	17 11.7%	12 8.3%	8 5.5%	26 17.9%	11 7.6%	80 55.2%
無回答	3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%

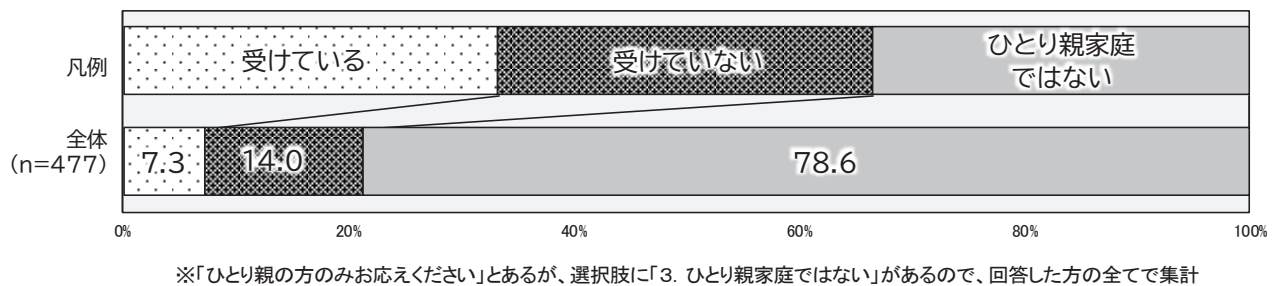
<設問 14>

ひとり親家庭の方のみお答えください。

あなたは、お子さんの養育費を実父または実母から受けていますか。(○は1つ)

「受けていない」が 14.0%で、「受けている」が 7.3%となっている。「ひとり親家庭ではない」を除いた 102 件のうちわけをみると、「受けていない」が 67 件で 65.7%を占めている。

【全体】



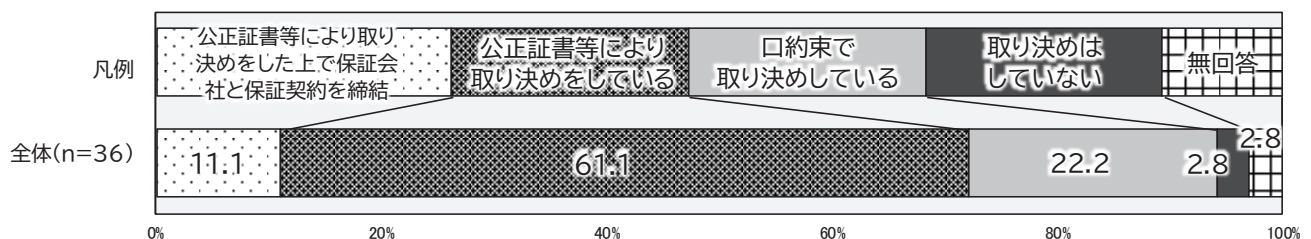
<設問 14-1>

問14で「1」と回答した人にもみ表示

お子さんの養育費の取り決め状況をお答えください。(○は1つ)

「公正証書等により取り決めをしている」の 61.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「口約束で取り決めしている」(22.2%)、「公正証書等により取り決めをした上で、保証会社と保証契約を締結している」(11.1%)、「取り決めはしていない」(2.8%)の順となっている。

【全体】



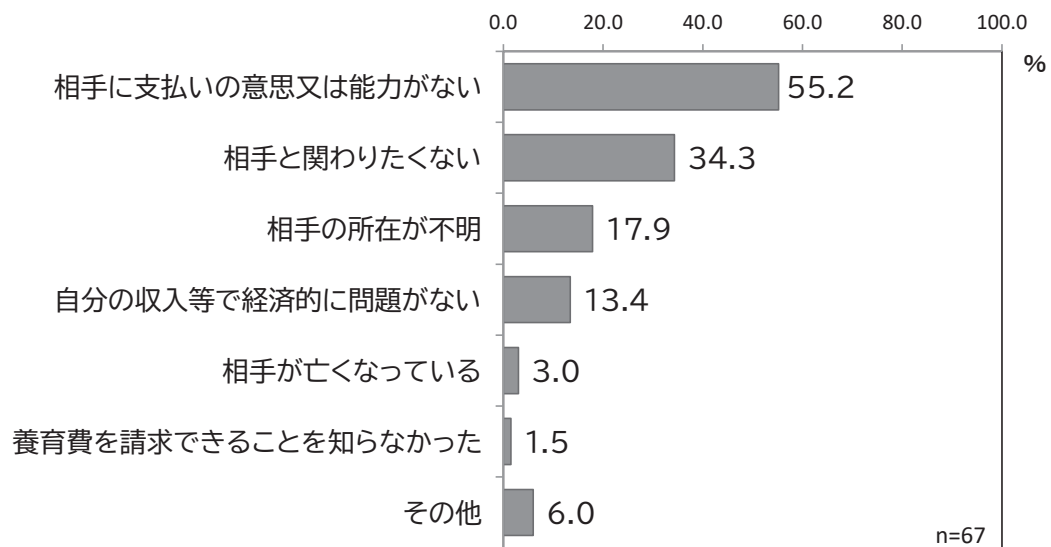
<設問 14-2>

問14で「2」と回答した人にもみ表示

あなたがお子さんの養育費を受けていない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

「相手に支払いの意思又は能力がない」の 55.2%が最も高く、以下、割合の高い方から「相手と関わりたくない」(34.3%)、「相手の所在が不明」(17.9%)、「自分の収入等で経済的に問題がない」(13.4%)の順となっている。

【全体】



2. 未就園児の預かりサービスについて

問2で0～2歳かつ問8で「2」と回答した人にもみ表示

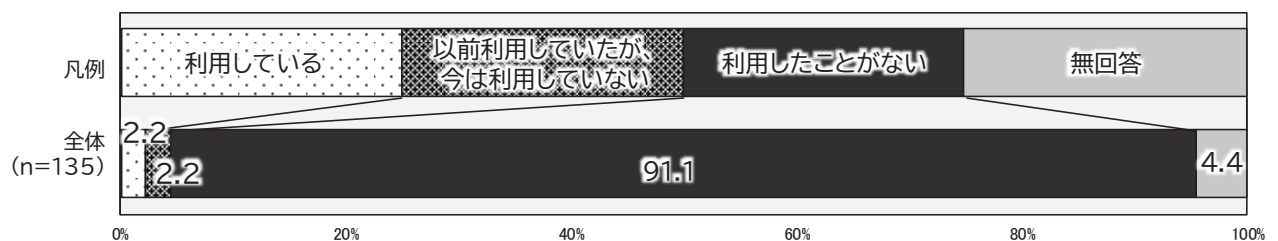
<設問 15>

「一時預かり事業」を利用したことがありますか。(○は1つ)

※「一時預かり事業」とは、保護者が病気や用事がある時、育児の合間にリフレッシュしたい時などに、保育所等に一時的に子どもを預けることができる保育サービス事業。利用する場合は、事前登録が必要。料金は2,000円/日。ひと月に14日間まで。

「利用したことがない」の91.1%が最も高く、「利用している」及び「以前利用していたが、今は利用していない」はそれぞれ2.2%となっている。

【全体】



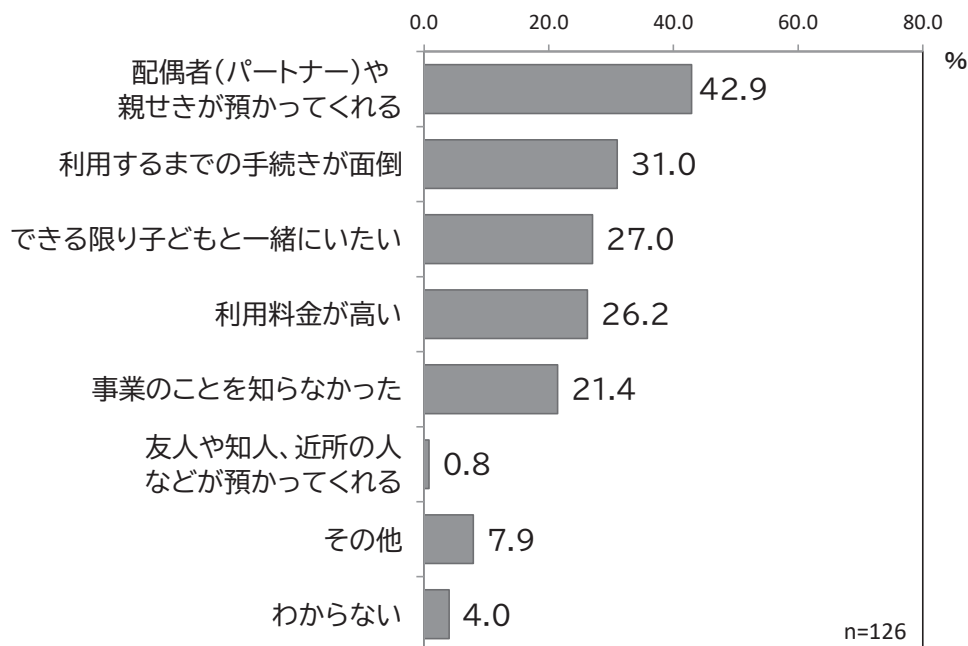
<設問 15-1>

問15で「2」「3」と回答した人にもみ表示

「一時預かり事業」を利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「配偶者（パートナー）や親せきが預かってくれる」の42.9%が最も高く、以下、割合の高い方から「利用するまでの手続きが面倒」（31.0%）、「できる限り子どもと一緒にいたい」（27.0%）、「利用料金が低い」（26.2%）、「事業のことを知らなかった」（21.4%）の順となっている。

【全体】



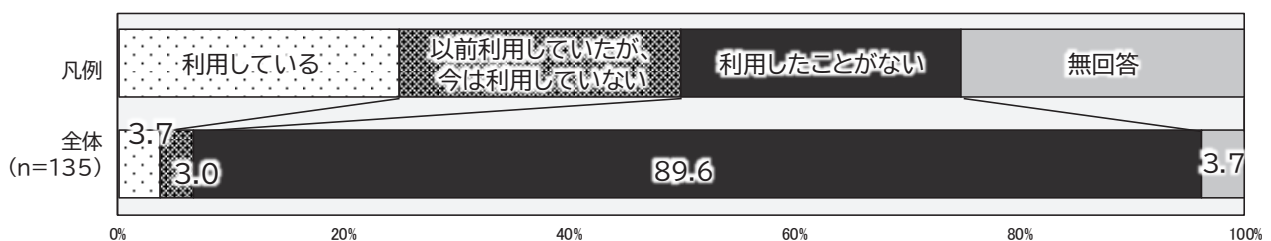
<設問 16>

「ファミリー・サポート・センター」を利用したことがありますか。(〇は1つ)

※「ファミリー・サポート・センター」とは、育児のサポートを受けたい保護者（利用会員）と、子育てに協力したい人（協力会員）を結ぶ会員組織。子どもの預かりは、つどいの広場（えるる）などで実施。利用する場合は、事前面談等と登録が必要。料金は 600-800 円/時間。

「利用したことがない」の 89.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「利用している」(3.7%)、「以前利用していたが、今は利用していない」(3.0%)の順となっている。

【全体】



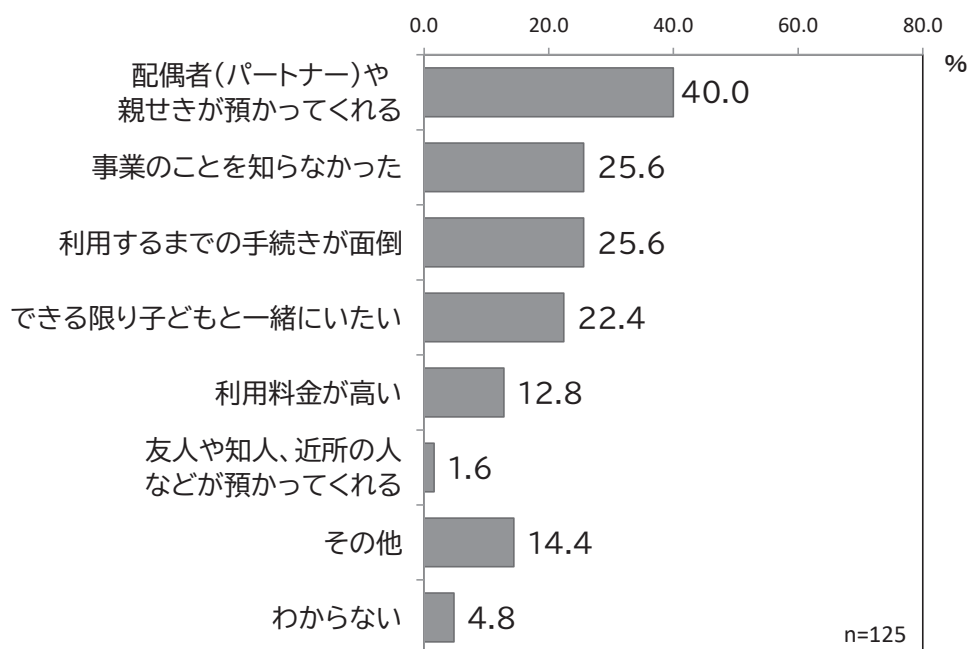
<設問 16-1>

問16で「2」「3」と回答した人にもみ表示

「ファミリー・サポート・センター」を利用していない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

「配偶者（パートナー）や親せきが預かってくれる」の 40.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「事業のことを知らなかった」及び「利用するまでの手続きが面倒」（25.6%）、「できる限り子どもと一緒にいたい」（22.4%）の順となっている。

【全体】



3. 子育てに係る相談先や支援策への考えについて

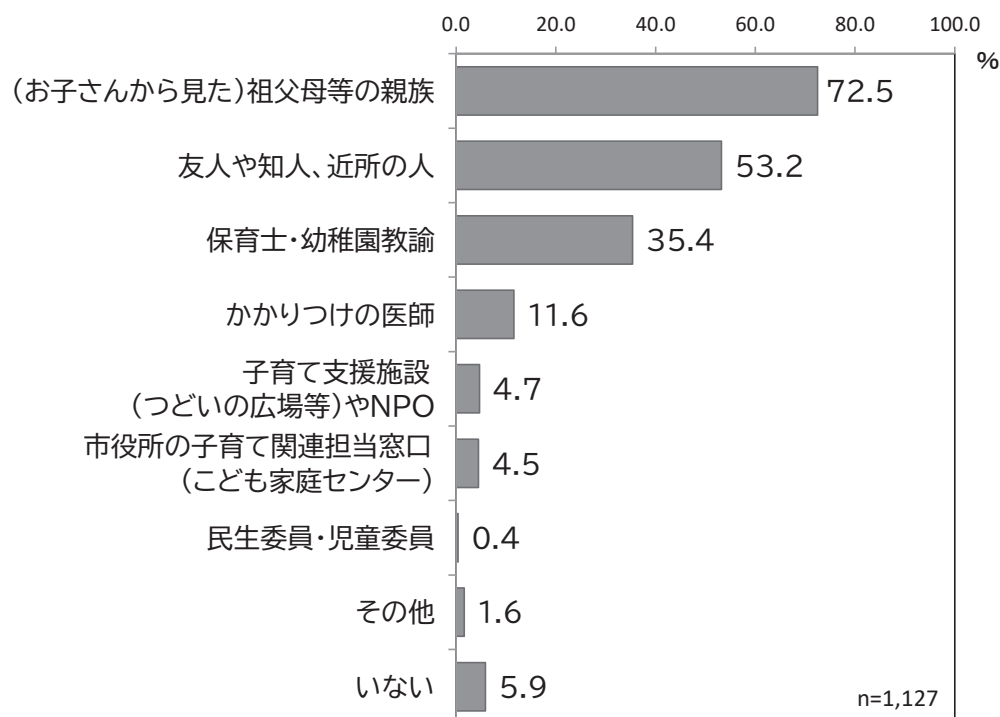
<設問 17>

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

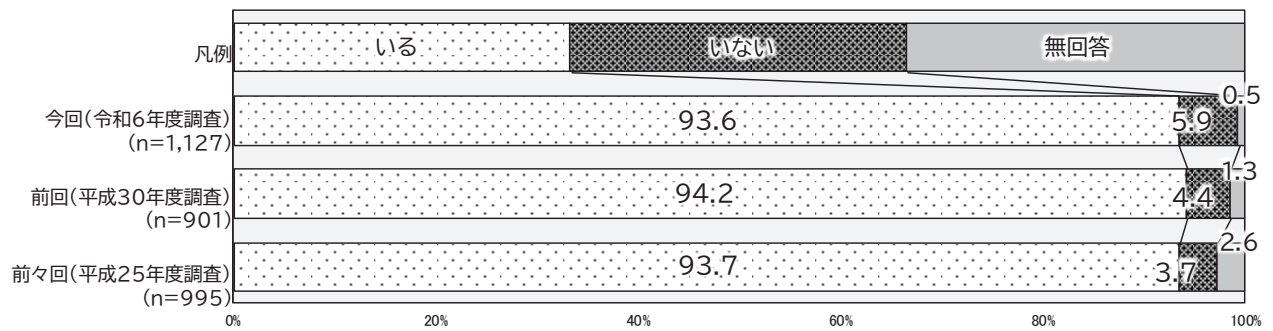
「(お子さんから見た)祖父母等の親族」の 72.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「友人や知人、近所の人」(53.2%)、「保育士・幼稚園教諭」(35.4%)、「かかりつけの医師」(11.6%)の順となっている。

気軽に相談できる先の有無についての経年比較をみると、大きな差は認められない。具体的な相談先の経年変化をみると、「(お子さんから見た)祖父母等の親族」及び「友人や知人、近所の人」の割合が減少し、「市役所の子育て関連担当窓口(こども家庭センター)」の割合が増している。

【全体】



【気軽に相談できる先の有無の経年比較】



【具体的な相談先の経年比較】

	今回(令和6年度調査) n=1,055		前回(平成30年度調査) n=901	前々回(平成25年度調査) n=995
	度数	%	%	%
(お子さんから見た)祖父母等の親族	817	77.4%	84.9%	86.7%
友人や知人	600	56.9%	72.9%	77.7%
近所の人			5.7%	8.0%
市役所の子育て関連担当窓口(こども家庭センター)	51	4.8%	2.2%	0.5%
子育て支援施設(つどいの広場等)やNPO	53	5.0%	8.2%	4.7%
保育士	399	37.8%	25.8%	19.8%
幼稚園教諭			18.3%	17.8%
民生委員・児童委員	4	0.4%	0.5%	0.4%
かかりつけの医師	131	12.4%	16.3%	16.4%
その他	18	1.7%	3.4%	1.9%

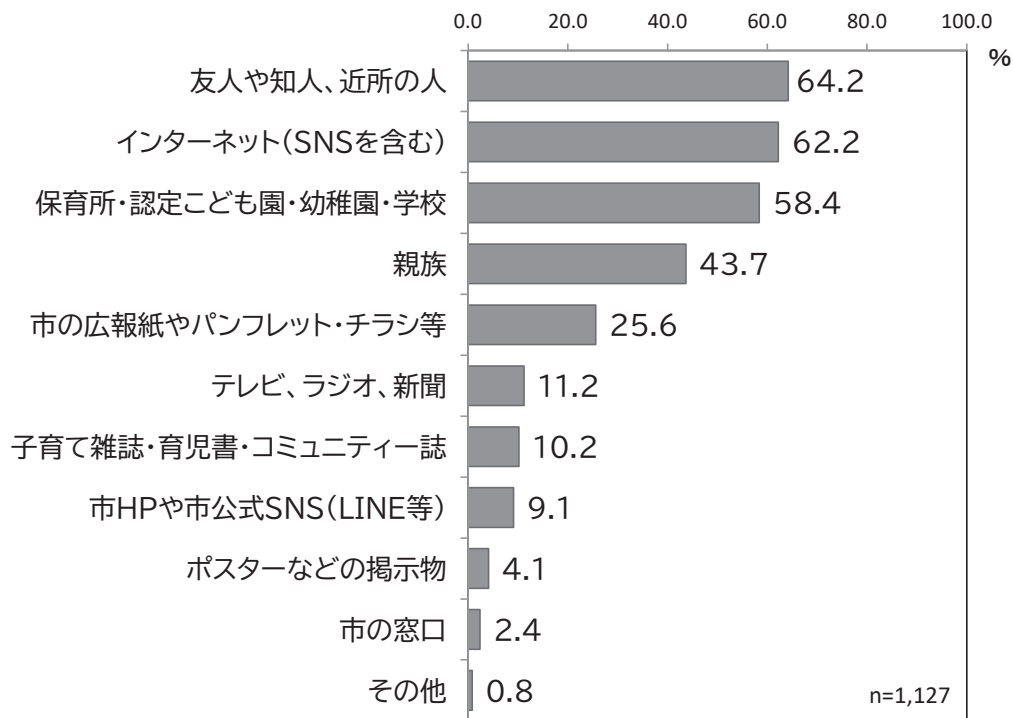
<設問 18>

子育てに関する情報をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)

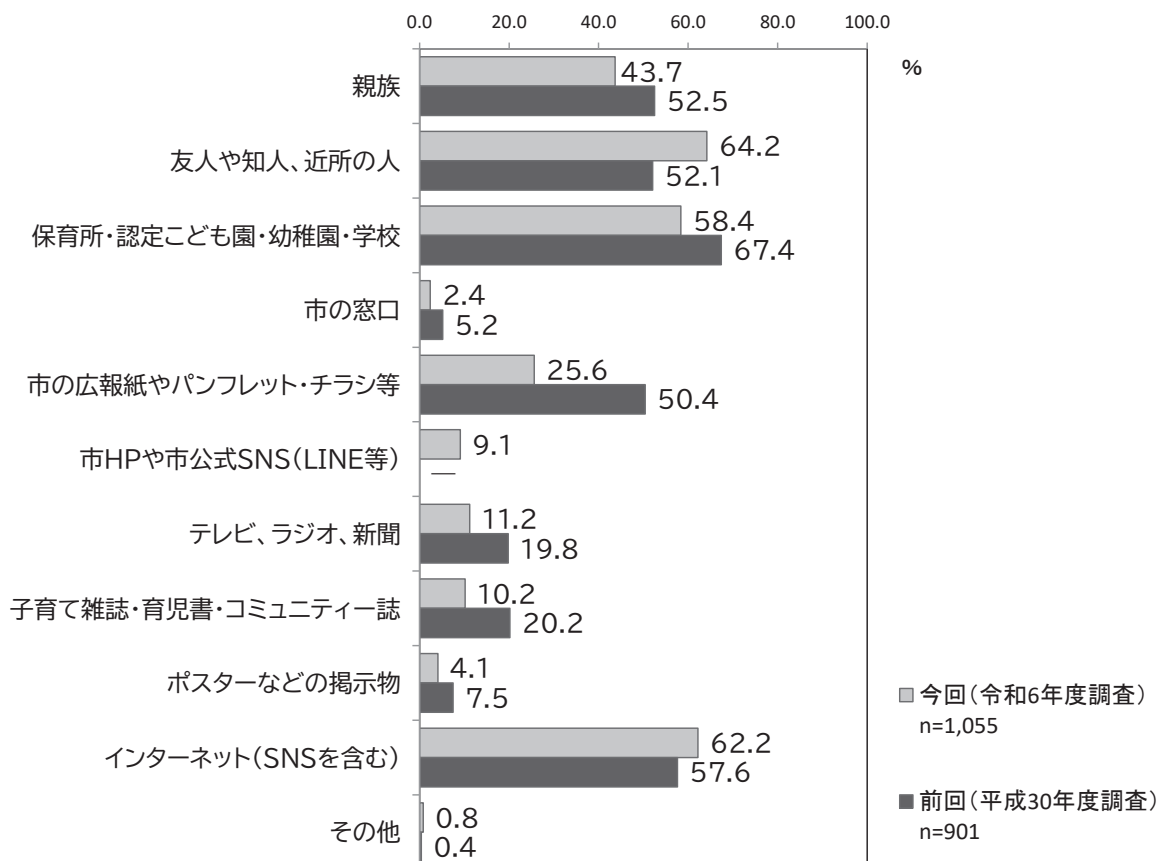
「友人や知人、近所の人」の 64.2%が最も高く、以下、割合の高い方から「インターネット(SNSを含む)」(62.2%)、「保育所・認定こども園・幼稚園・学校」(58.4%)、「親族」(43.7%)、「市の広報紙やパンフレット・チラシ等」(25.6%)、「テレビ、ラジオ、新聞」(11.2%)の順となっている。

子育ての情報に関する認知経路の経年比較をみると、「友人や知人、近所の人」及び「インターネット(SNSを含む)」の割合が増加し、「親族」、「保育所・認定こども園・幼稚園・学校」、「市の広報紙やパンフレット・チラシ等」の割合が減少している。

【全体】



【子育ての情報に関する認知経路の経年比較】



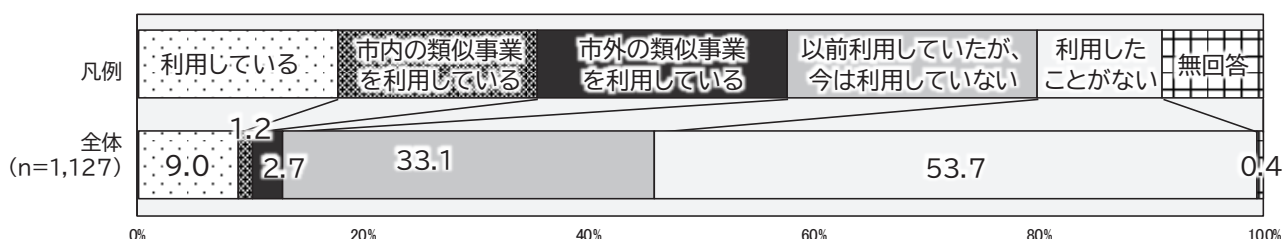
<設問 19>

「つどいの広場」を利用していますか。(〇は1つ)

※「つどいの広場」とは、大牟田市市民活動等多目的交流施設「えるる」の中にある親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場のこと。

「利用したことがない」の 53.7%が最も高く、以下、割合の高い方から「以前利用していたが、今は利用していない」(33.1%)、「利用している」(9.0%)、「市外の類似事業を利用している(大川「モッカランド」、柳川「このゆびとまれ」等)」(2.7%)、「市内の類似事業を利用している(公民館で実施されているイベント 等)」(1.2%)の順となっている。

【全体】



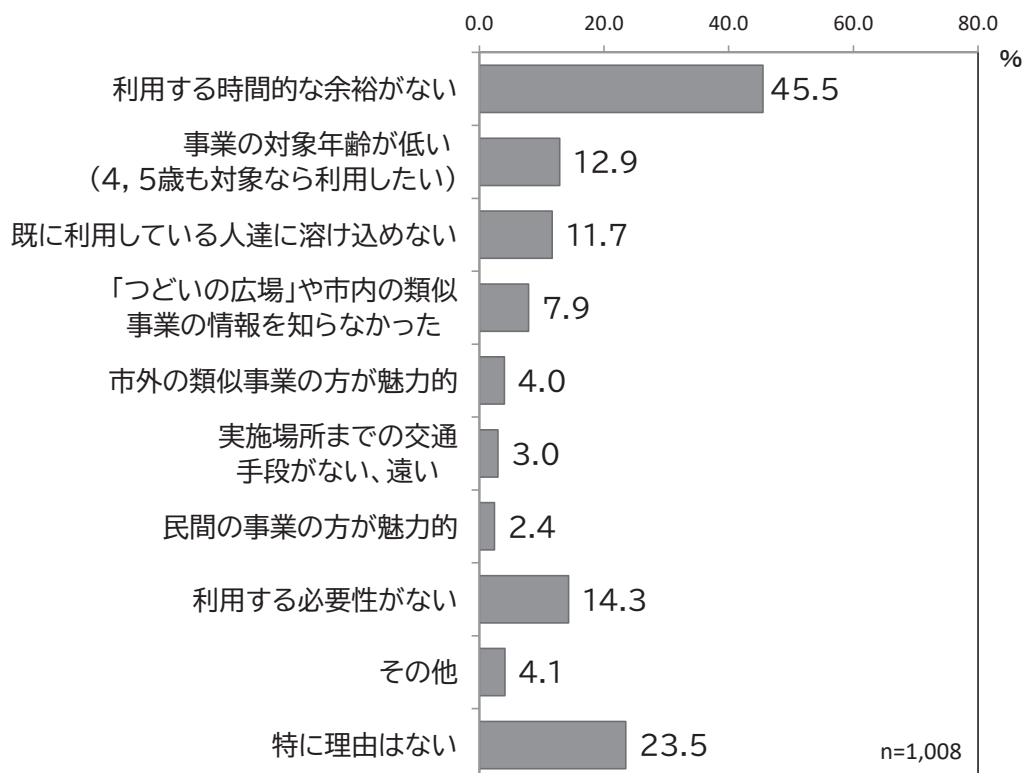
<設問 19-1>

問19で「3」「4」「5」と回答した人にもみ表示

「つどいの広場」や市内の類似事業を利用しない(今は利用していない)理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「利用する時間的な余裕がない」の 45.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「特に理由はない」(23.5%)、「利用する必要性がない」(14.3%)、「事業の対象年齢が低い(4, 5歳も対象なら利用したい)」(12.9%)、「既に利用している人達に溶け込めない」(11.7%)、「「つどいの広場」や市内の類似事業の情報を知らなかった」(7.9%)の順となっている。

【全体】



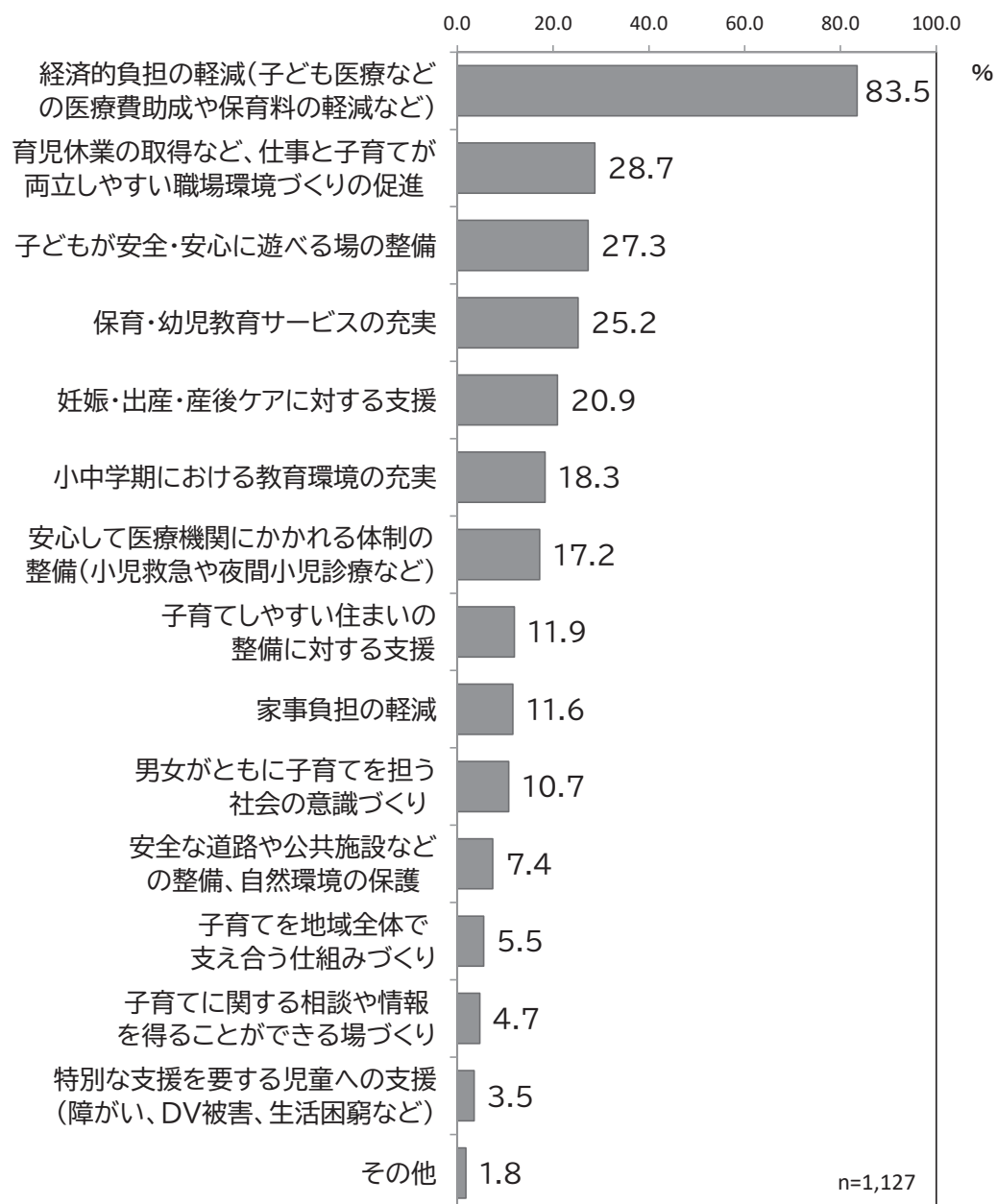
<設問 20>

子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。(〇は3つまで)

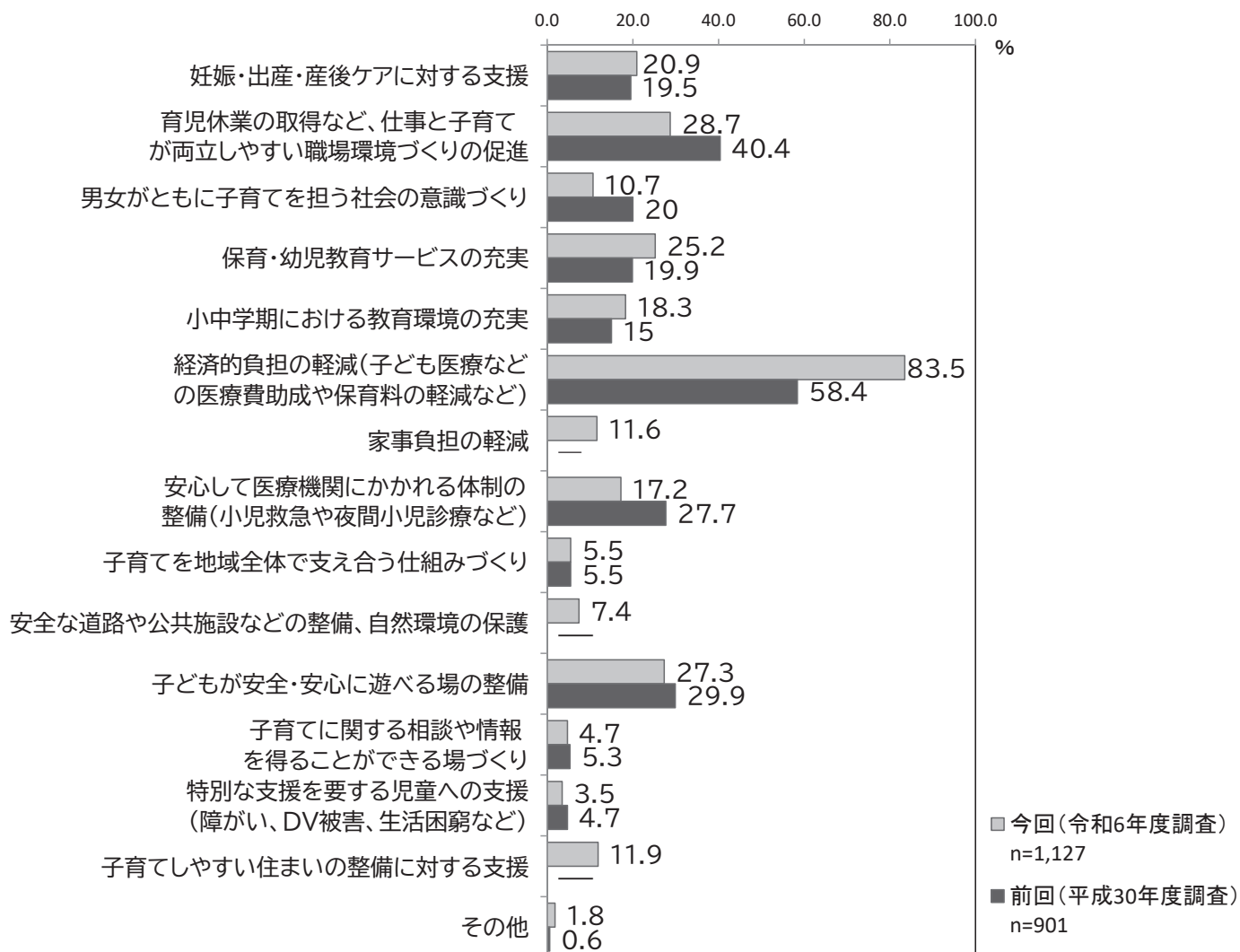
「経済的負担の軽減（子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など）」の 83.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進」（28.7%）、「子どもが安全・安心に遊べる場の整備」（27.3%）、「保育・幼児教育サービスの充実」（25.2%）、「妊娠・出産・産後ケアに対する支援」（20.9%）、「小中学期における教育環境の充実」（18.3%）、「安心して医療機関にかかれる体制の整備（小児救急や夜間小児診療など）」（17.2%）の順となっている。

経年比較をみると、「経済的負担の軽減（子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など）」及び「保育・幼児教育サービスの充実」、「小中学期における教育環境の充実」の割合が増加し、「育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進」、「男女がともに子育てを担う社会の意識づくり」、「安心して医療機関にかかれる体制の整備（小児救急や夜間小児診療など）」、「子どもが安全・安心に遊べる場の整備」の割合が減少している。

【全体】



【有効だと思う支援・対策の経年比較】

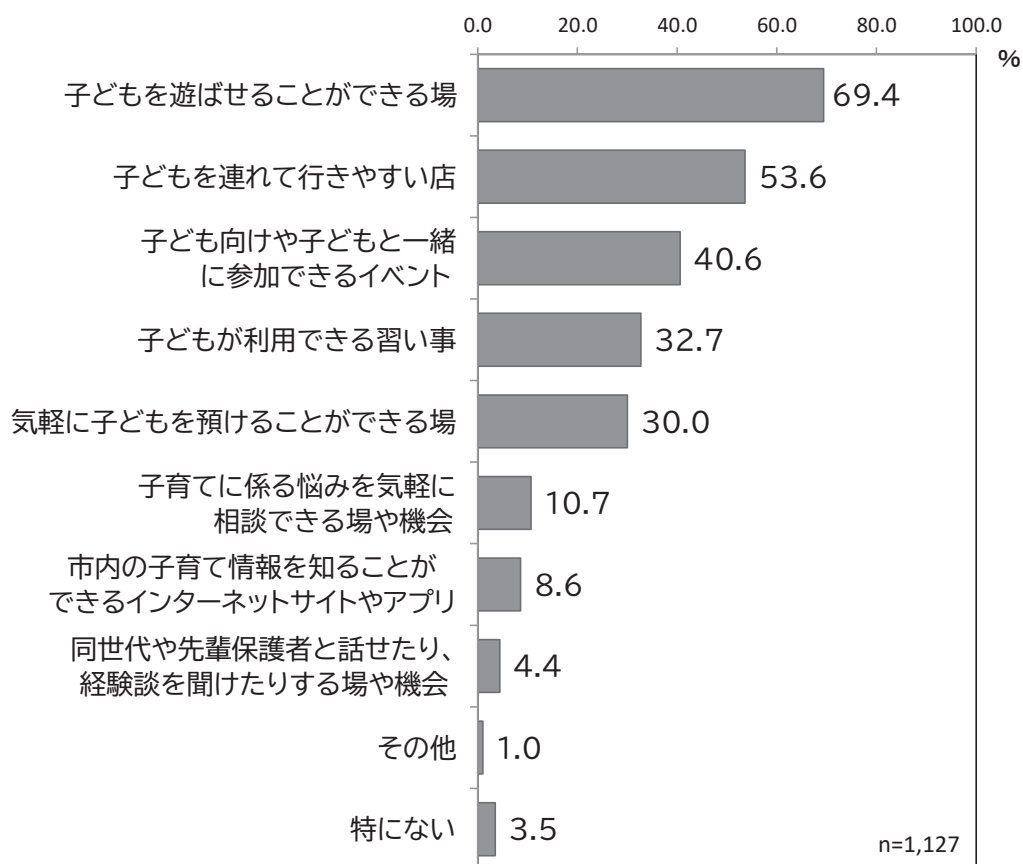


<設問 21>

このまちにもっと欲しい自分も参加したい・利用したいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

「子どもを遊ばせることができる場」の 69.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「子どもを連れて行きやすい店」(53.6%)、「子ども向けや子どもと一緒に参加できるイベント」(40.6%)、「子どもが利用できる習い事」(32.7%)、「気軽に子どもを預けることができる場」(30.0%)、「子育てに係る悩みを気軽に相談できる場や機会」(10.7%)、「市内の子育て情報を知ることができるインターネットサイトやアプリ」(8.6%)の順となっている。

【全体】



4. お子さんやあなたの家庭以外での活動等について

<設問 22>

将来的にお子さんにどのような活動に参加させたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「スポーツ活動」の 68.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「ものづくりなど体験学習活動」(40.0%)、「仕事・職業体験」(35.8%)、「お祭りなどの地域に根ざした活動」(31.0%)、「キャンプなどの野外活動」(29.0%)、「文化・芸術活動」(26.3%)、「ホームステイなどの国際交流や多文化共生に関する活動」(22.4%)、「自然観察などの環境教育活動」(20.9%)の順となっている。

【全体】



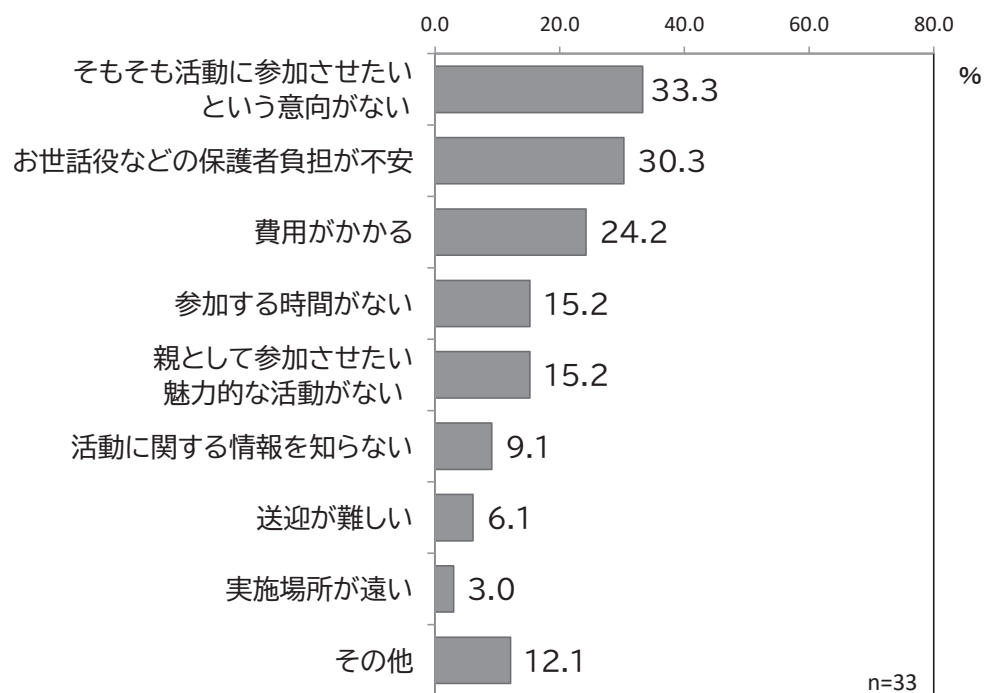
<設問 22-1>

問22で「参加させたいと思わない」と回答した人にもみ表示

参加させてみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「そもそも活動に参加させたいという意向がない」の 33.3%が最も高く、以下、割合の高い方から「お世話役などの保護者負担が不安」(30.3%)、「費用がかかる」(24.2%)、「参加する時間がない」及び「親として参加させたい魅力的な活動がない」(15.2%)の順となっている。

【全体】

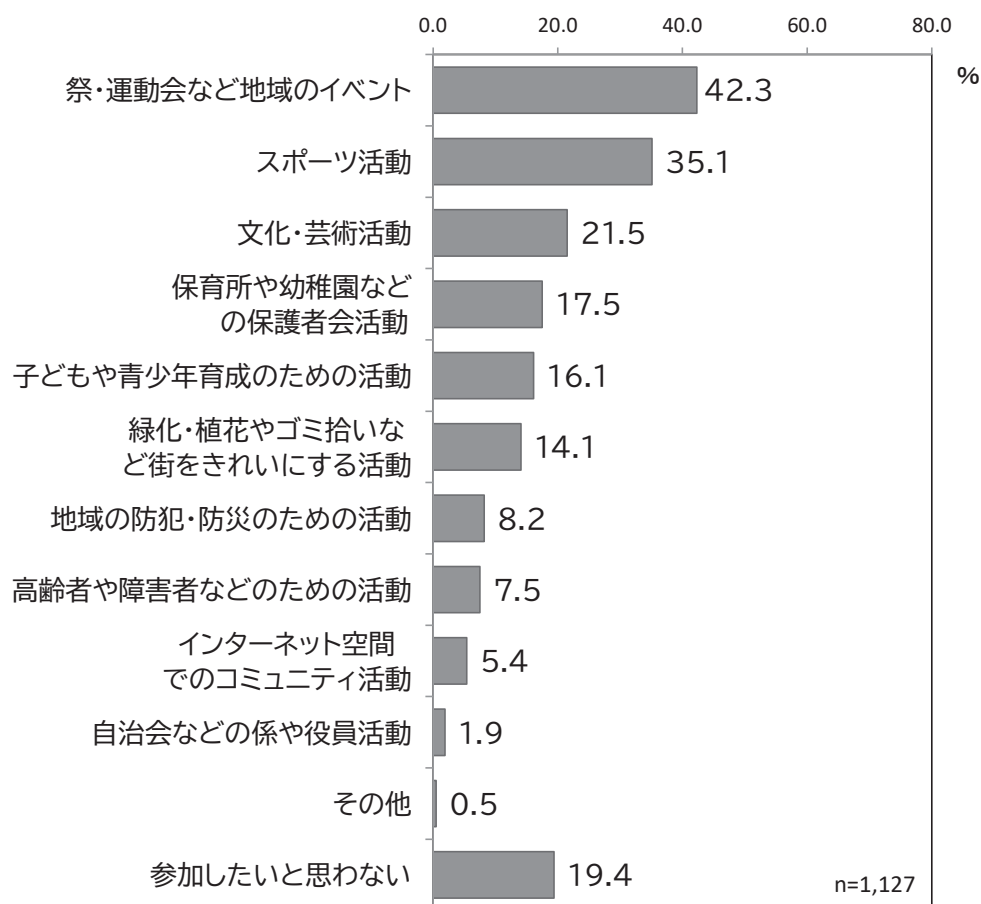


<設問 23>

あなた自身はどのような活動なら参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「祭・運動会など地域のイベント」の 42.3%が最も高く、以下、割合の高い方から「スポーツ活動」(35.1%)、「文化・芸術活動」(21.5%)、「保育所や幼稚園などの保護者会活動」(17.5%)、「子どもや青少年育成のための活動」(16.1%)、「緑化・植花やゴミ拾いなど街をきれいにする活動」(14.1%)の順となっている。

【全体】



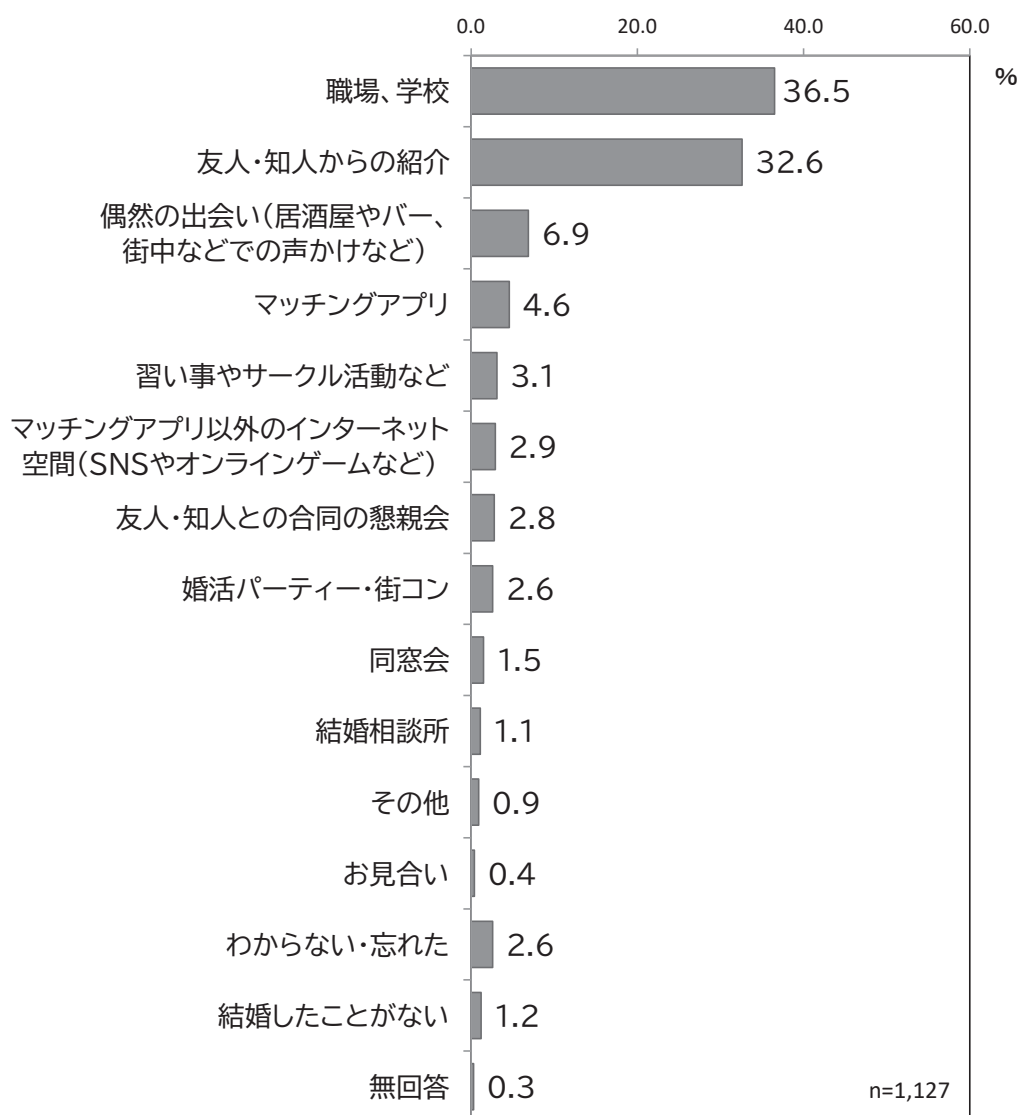
5. 結婚のキッカケや次の子どもが欲しいかについて

<設問 24>

結婚相手との出会いのキッカケは何ですか。(〇は1つ)

「職場、学校」の 36.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「友人・知人からの紹介」(32.6%)、「偶然の出会い(居酒屋やバー、街中などでの声かけなど)」(6.9%)、「マッチングアプリ」(4.6%)、「習い事やサークル活動など」(3.1%)、「マッチングアプリ以外のインターネット空間(SNSやオンラインゲームなど)」(2.9%)の順となっている。

【全体】

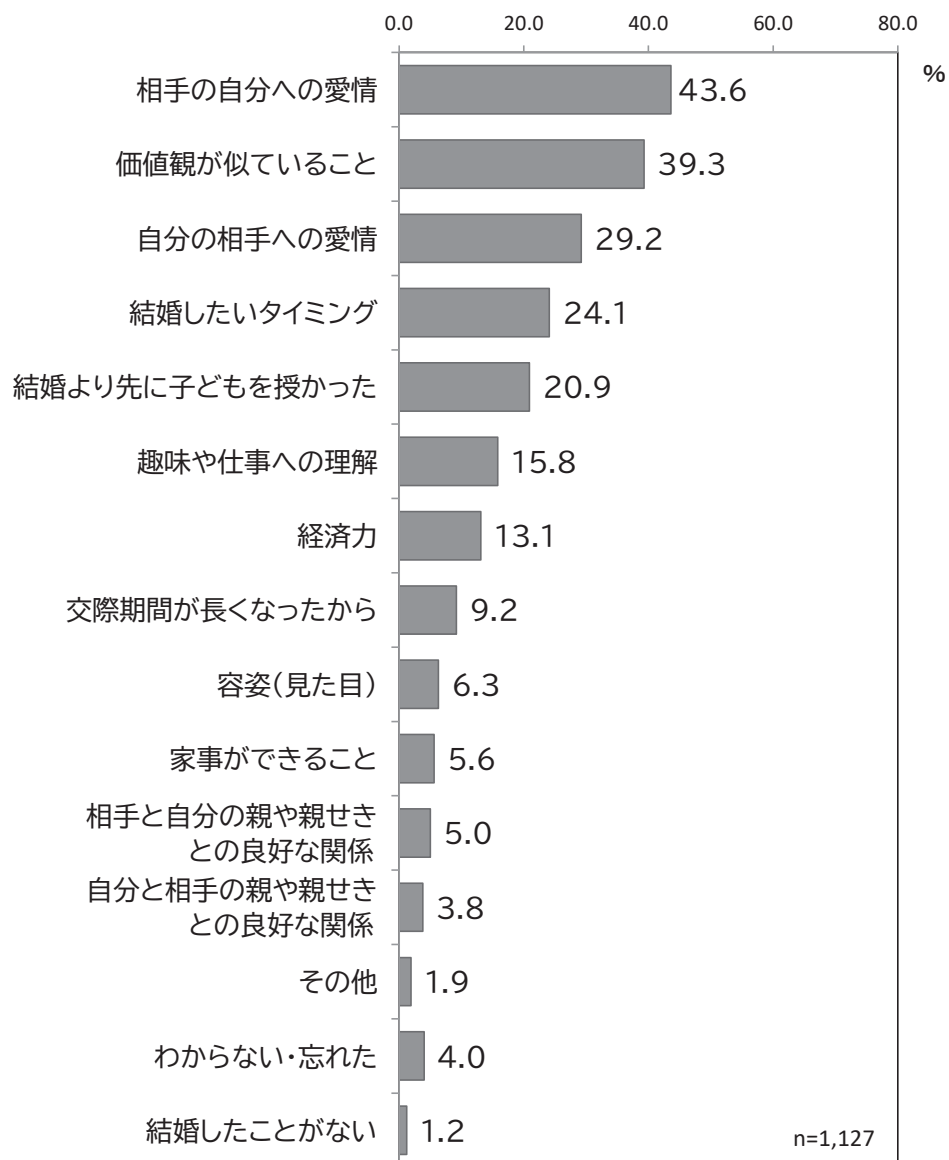


<設問 25>

結婚の決め手(重視したこと)は何ですか。(〇は3つまで)

「相手の自分への愛情」の 43.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「価値観が似ていること」(39.3%)、「自分の相手への愛情」(29.2%)、「結婚したいタイミング」(24.1%)、「結婚より先に子どもを授かった」(20.9%)、「趣味や仕事への理解」(15.8%)、「経済力」(13.1%) の順となっている。

【全体】

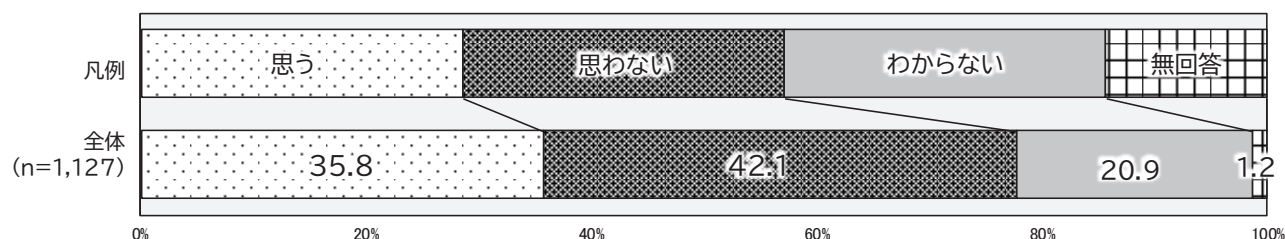


<設問 26>

将来的に次の子どもが欲しいと思いますか。(○は1つ)

「思わない」の 42.1%が最も高く、これに「思う」の 35.8%、「わからない」の 20.9%が続いている。

【全体】



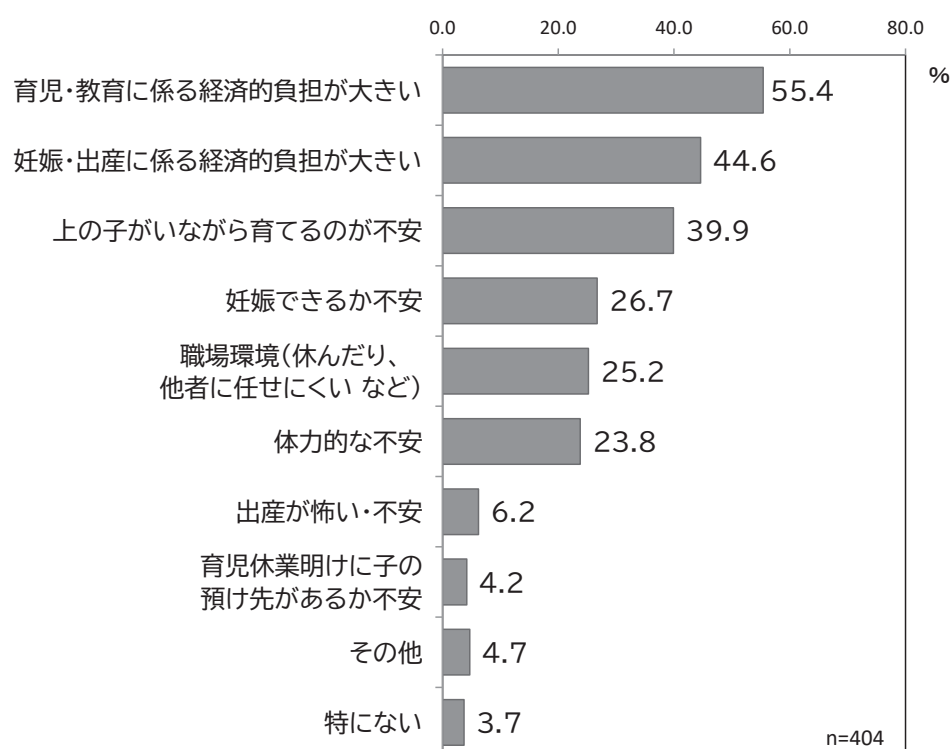
<設問 26-1>

問26で「1」と回答した人にもみ表示

次の子をもうけるにあたっての悩みや不安はありますか。(○は3つまで)

「育児・教育に係る経済的負担が大きい」の 55.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「妊娠・出産に係る経済的負担が大きい」(44.6%)、「上の子がいながら育てるのが不安」(39.9%)、「妊娠できるか不安」(26.7%)、「職場環境(休んだり、他者に任せにくい など)」(25.2%)、「体力的な不安」(23.8%)の順となっている。

【全体】



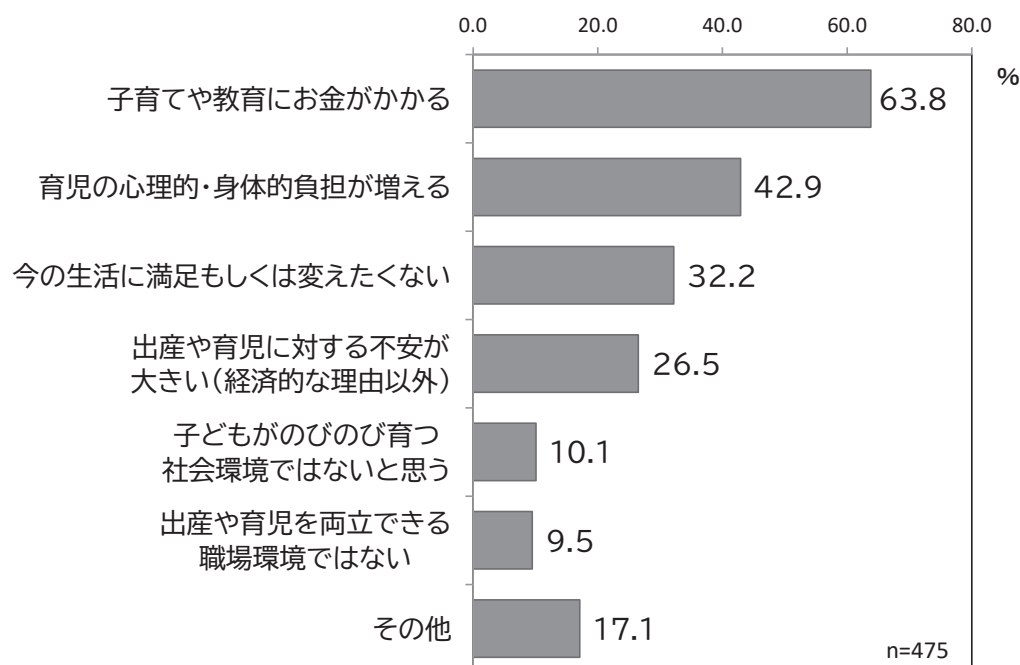
<設問 26-2>

問26で「2」と回答した人にもみ表示

次の子どもを欲しいと思わない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「子育てや教育にお金がかかる」の 63.8%が最も高く、以下、割合の高い方から「育児の心理的・身体的負担が増える」(42.9%)、「今の生活に満足もしくは変えたくない」(32.2%)、「出産や育児に対する不安が大きい(経済的な理由以外)」(26.5%)、「子どもがのびのび育つ社会環境ではないと思う」(10.1%)、「出産や育児を両立できる職場環境ではない」(9.5%)の順となっている。

【全体】



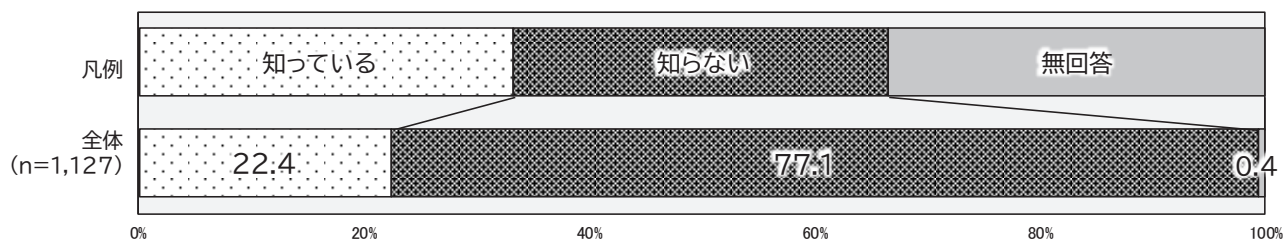
6. 大牟田市の取組や印象等について

<設問 27>

「大牟田市子ども・子育て応援条例」が制定されたことを知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が77.1%で、「知っている」が22.4%となっている。

【全体】



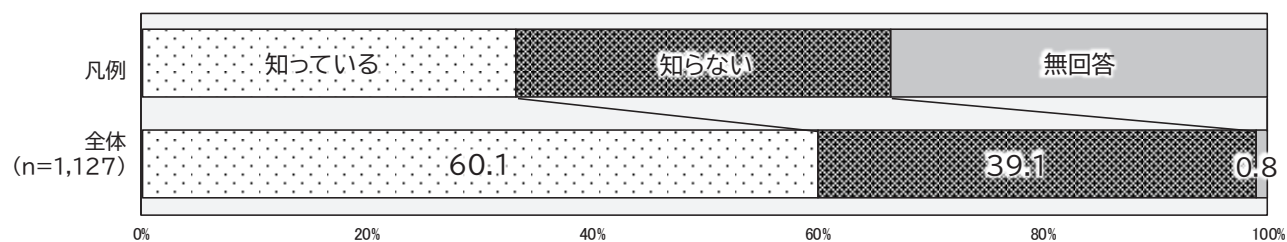
<設問 28>

子どもの権利があることを知っていますか。

国際条約で、子どもには主に「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利があると定められており、「大牟田市子ども・子育て応援条例」でもこれらの権利を尊重するように定めています。(○は1つ)

「知っている」が60.1%で、「知らない」が39.1%となっている。

【全体】



<設問 29>

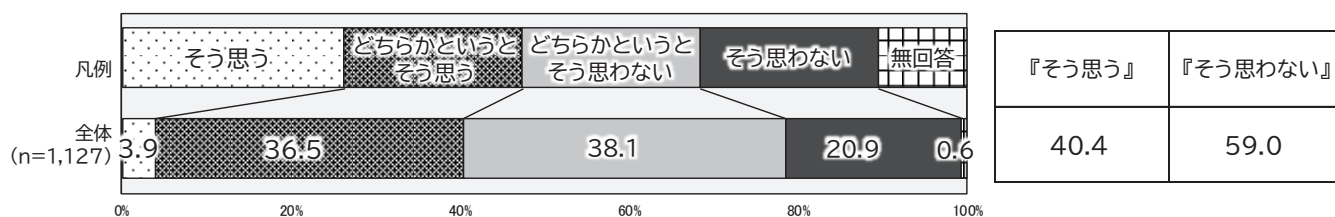
大牟田市は、子育てがしやすいところだと思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえばそう思わない」の 38.1%が最も高く、これに「どちらかといえばそう思う」の 36.5%が続いている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が 40.4%で、『そう思わない』(「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」)は 59.0%となっている。

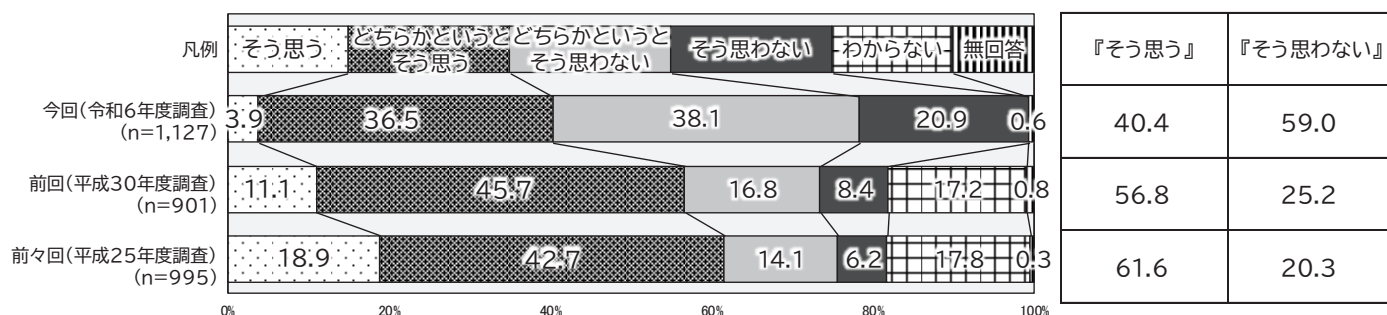
経年比較をみると、『そう思う』が平成25年度から徐々に減少し、今回の令和6年度では 40.4%となっている。

子どもの数別にみると、「3人以上」では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の割合が高い。校区別(特にサンプル数 30 件以内の結果は参考値)にみた結果は、表のとおり。

【全体】



【大牟田市の子育てのしやすさについての経年比較】



【子どもの数別、校区別にみた大牟田市の子育てのしやすさについて】

	合計	そう 思う	そ ど ち ら か と い う と	そ ど ち ら か と い う と	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体	855 100.0%	29 3.4%	322 37.7%	321 37.5%	177 20.7%	6 0.7%
■子どもの数別						
1人	187 100.0%	5 2.7%	80 42.8%	67 35.8%	34 18.2%	1 0.5%
2人	239 100.0%	5 2.1%	100 41.8%	84 35.1%	48 20.1%	2 0.8%
3人以上	199 100.0%	10 5.0%	58 29.1%	80 40.2%	50 25.1%	1 0.5%
無回答	230 100.0%	9 3.9%	84 36.5%	90 39.1%	45 19.6%	2 0.9%

※子どもの数で「0人」と回答した272件を除いて集計

	合計	そう 思う	そ ど ち ら か と い う と	そ ど ち ら か と い う と	そ う 思 わ な い	無 回 答
全体	1,127 100.0%	44 3.9%	411 36.5%	429 38.1%	236 20.9%	7 0.6%
■校区別						
みなと	65 100.0%	2 3.1%	23 35.4%	21 32.3%	18 27.7%	1 1.5%
天領	98 100.0%	4 4.1%	41 41.8%	35 35.7%	18 18.4%	0 0.0%
駛馬	46 100.0%	0 0.0%	14 30.4%	22 47.8%	9 19.6%	1 2.2%
天の原	38 100.0%	3 7.9%	10 26.3%	18 47.4%	7 18.4%	0 0.0%
玉川	8 100.0%	0 0.0%	3 37.5%	3 37.5%	2 25.0%	0 0.0%
大牟田中央	129 100.0%	5 3.9%	52 40.3%	46 35.7%	26 20.2%	0 0.0%
大正	65 100.0%	3 4.6%	32 49.2%	23 35.4%	7 10.8%	0 0.0%
中友	27 100.0%	1 3.7%	12 44.4%	6 22.2%	8 29.6%	0 0.0%
明治	56 100.0%	1 1.8%	23 41.1%	23 41.1%	9 16.1%	0 0.0%
白川	68 100.0%	4 5.9%	27 39.7%	26 38.2%	11 16.2%	0 0.0%
平原	31 100.0%	1 3.2%	15 48.4%	8 25.8%	7 22.6%	0 0.0%
高取	27 100.0%	1 3.7%	9 33.3%	12 44.4%	5 18.5%	0 0.0%
三池	70 100.0%	3 4.3%	21 30.0%	28 40.0%	18 25.7%	0 0.0%
羽山台	52 100.0%	1 1.9%	26 50.0%	14 26.9%	10 19.2%	1 1.9%
銀水	97 100.0%	4 4.1%	32 33.0%	38 39.2%	23 23.7%	0 0.0%
上内	5 100.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%
吉野	65 100.0%	6 9.2%	11 16.9%	23 35.4%	23 35.4%	2 3.1%
倉永	41 100.0%	1 2.4%	11 26.8%	19 46.3%	10 24.4%	0 0.0%
手鎌	98 100.0%	1 1.0%	33 33.7%	44 44.9%	19 19.4%	1 1.0%
市外	25 100.0%	1 4.0%	9 36.0%	10 40.0%	5 20.0%	0 0.0%
無回答	16 100.0%	2 12.5%	4 25.0%	9 56.3%	0 0.0%	1 6.3%

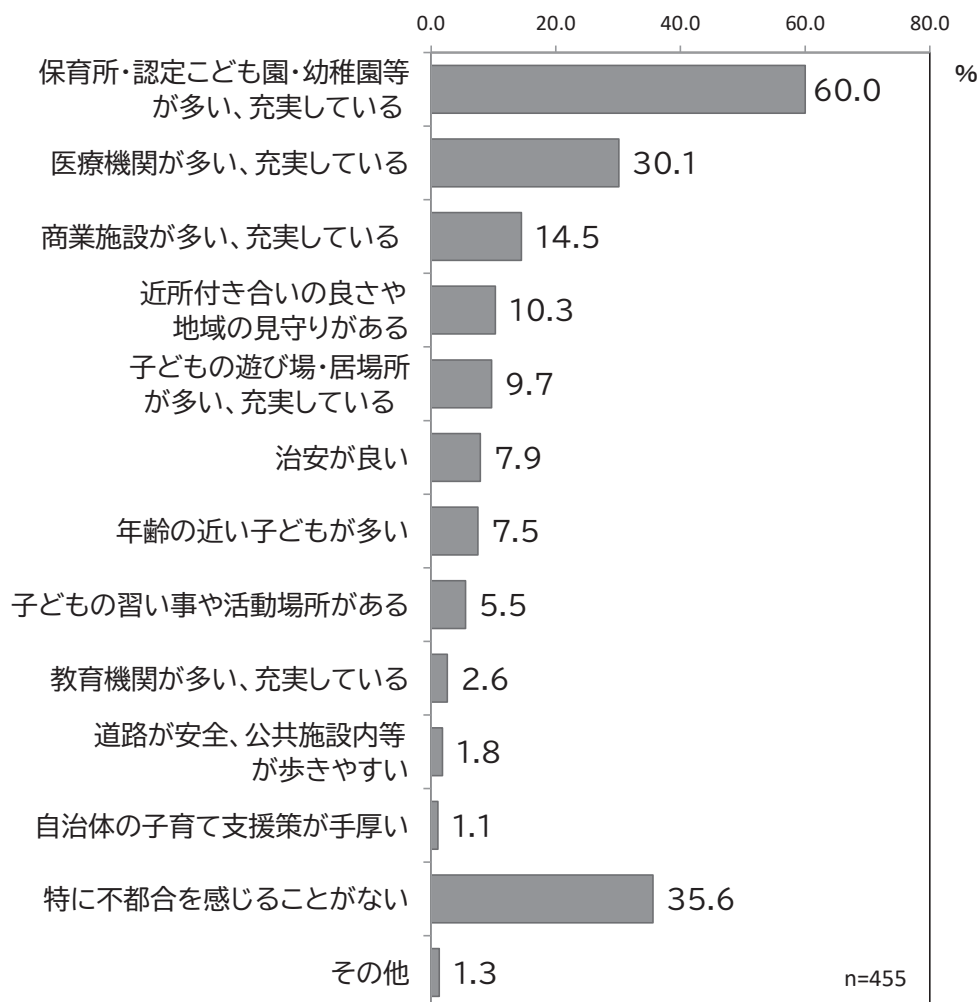
<設問 29-1>

問29で「1」「2」と回答した人にもみ表示

大牟田市が子育てしやすいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「保育所・認定こども園・幼稚園等が多い、充実している」の 60.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「特に不都合を感じることがない」(35.6%)、「医療機関が多い、充実している」(30.1%)、「商業施設が多い、充実している」(14.5%)、「近所付き合いの良さや地域の見守りがある」(10.3%)、「子どもの遊び場・居場所が多い、充実している」(9.7%)、「治安が良い」(7.9%) の順となっている。

【全体】



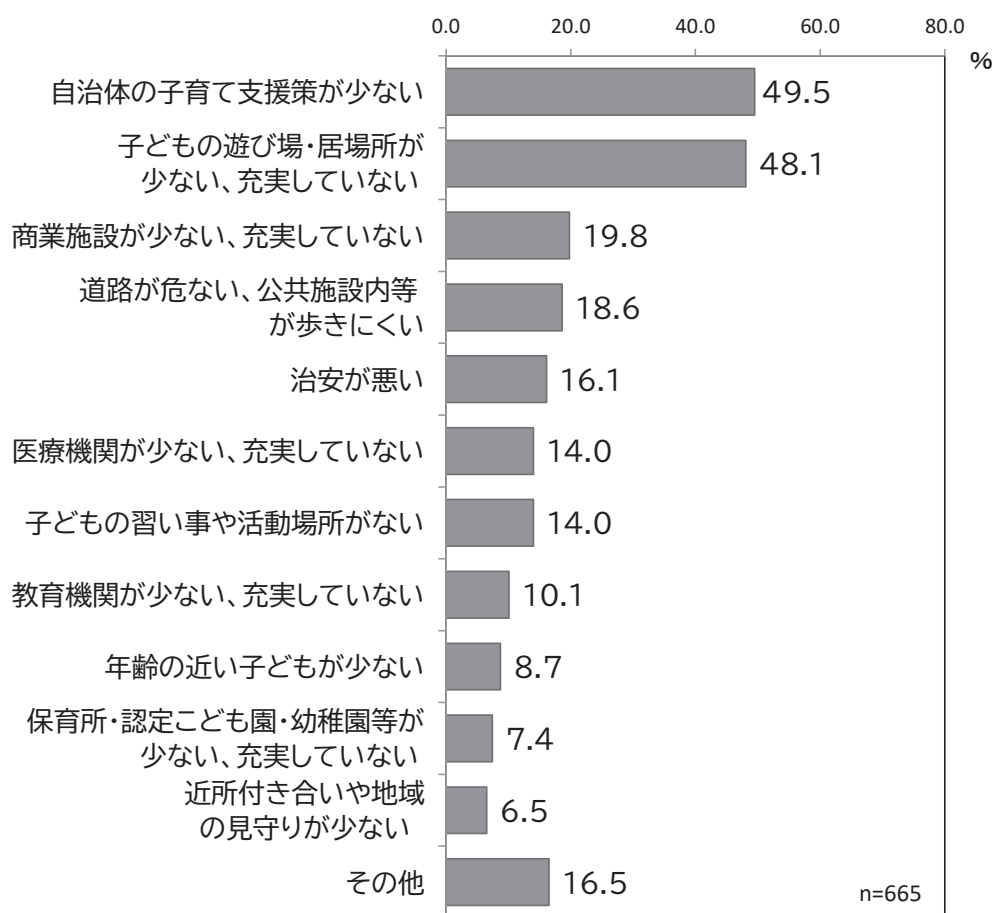
<設問 29-2>

問29で「3」「4」と回答した人にもみ表示

大牟田市が子育てしにくいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「自治体の子育て支援策が少ない」の 49.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「子どもの遊び場・居場所が少ない、充実していない」(48.1%)、「商業施設が少ない、充実していない」(19.8%)、「道路が危ない、公共施設内等が歩きにくい」(18.6%)、「治安が悪い」(16.1%)、「医療機関が少ない、充実していない」(14.0%)、「子どもの習い事や活動場所がない」(14.0%)、「教育機関が少ない、充実していない」(10.1%)の順となっている。

【全体】

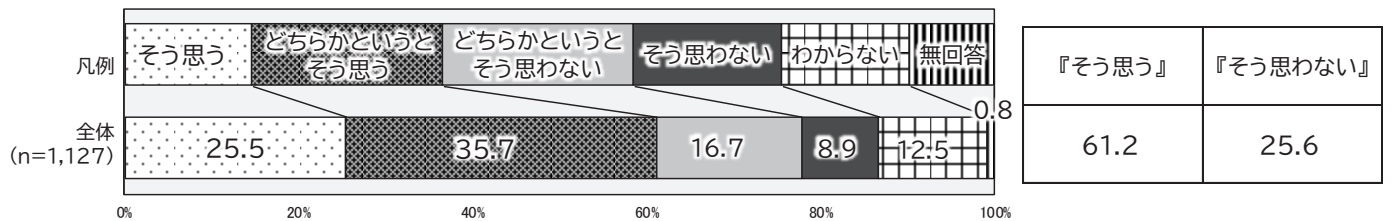


<設問 30>

大牟田市に今後も住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

「どちらかといえばそう思う」の 35.7%が最も高く、これに「そう思う」の 25.5%、「どちらかといえばそう思わない」の 16.7%が続いている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が 61.2%で、『そう思わない』（「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」）は 25.6%となっている。

【全体】



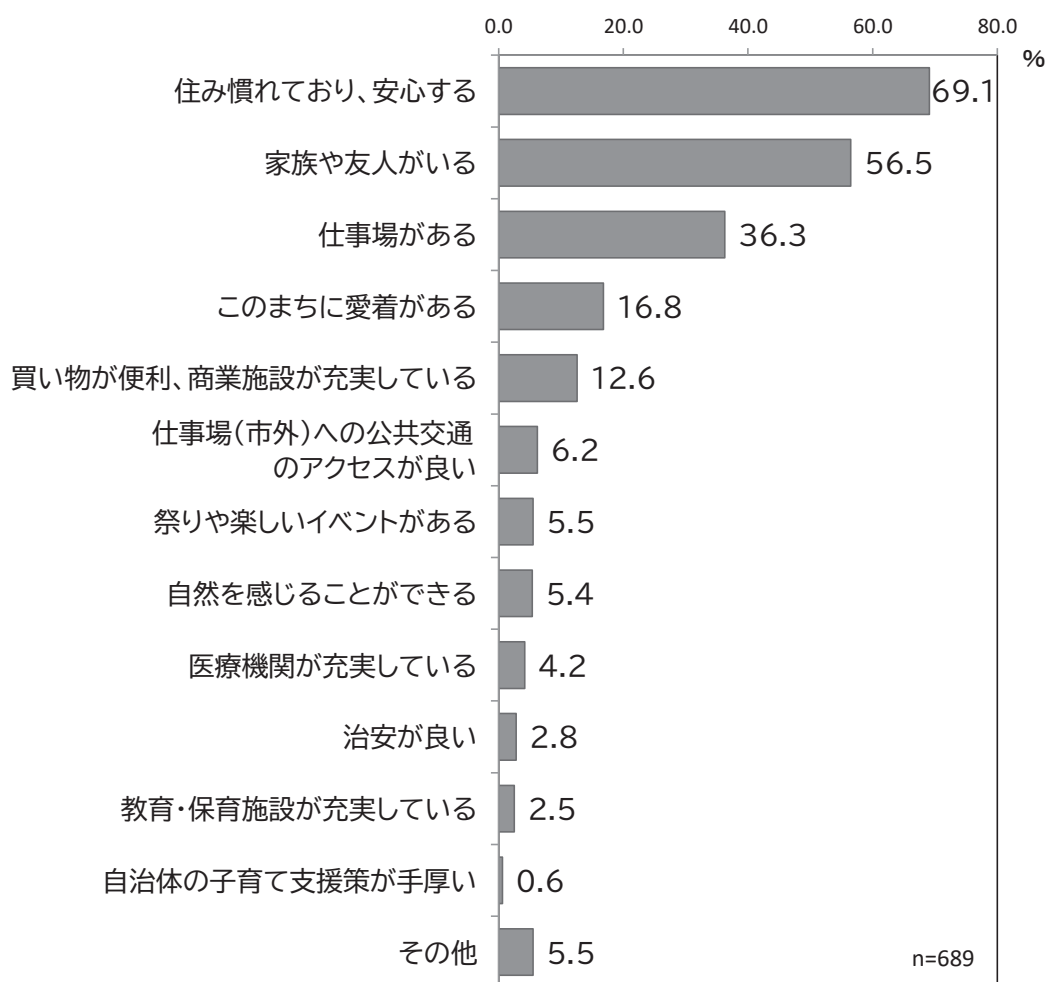
<設問 30-1>

問30で「1」「2」と回答した人にもみ表示

今後も住み続けたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「住み慣れており、安心する」の 69.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「家族や友人がいる」(56.5%)、「仕事場がある」(36.3%)、「このまちに愛着がある」(16.8%)、「買い物が便利、商業施設が充実している」(12.6%)、「仕事場(市外)への公共交通のアクセスが良い」(6.2%)の順となっている。

【全体】



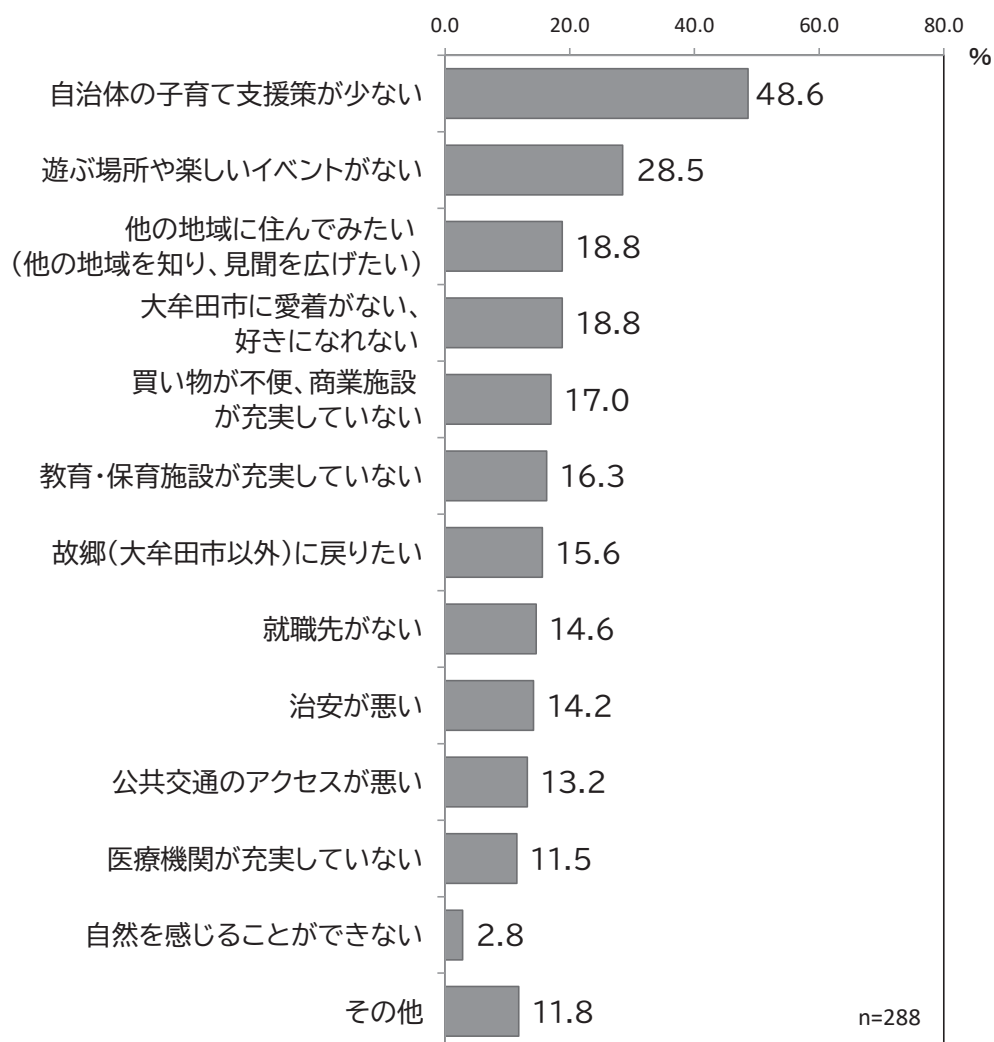
<設問 30-2>

問30で「3」「4」と回答した人にもみ表示

今後も住み続けたいと思わない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「自治体の子育て支援策が少ない」の48.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「遊ぶ場所や楽しいイベントがない」(28.5%)、「他の地域に住んでみたい(他の地域を知り、見聞を広げたい)」及び「大牟田市に愛着がない、好きになれない」(18.8%)、「買い物が不便、商業施設が充実していない」(17.0%)、「教育・保育施設が充実していない」(16.3%)、「故郷(大牟田市以外)に戻りたい」(15.6%)の順となっている。

【全体】



<設問 31>

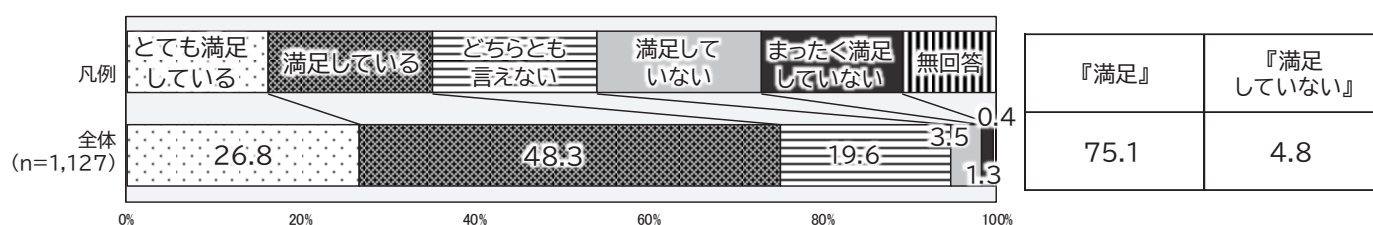
あなたは自分の家庭や職場、住んでいる地域に満足していますか。（それぞれ、○を1つ）

※「職場」は問 11 で「5」「6」「7」以外を回答した方のみ。

(1) 家庭

「満足している」の 48.3%が最も高く、これに「とても満足している」の 26.8%、「どちらとも言えない」の 19.6%が続いている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が 75.1%で、『満足していない』（「満足していない」または「まったく満足していない」）は 4.8%となっている。

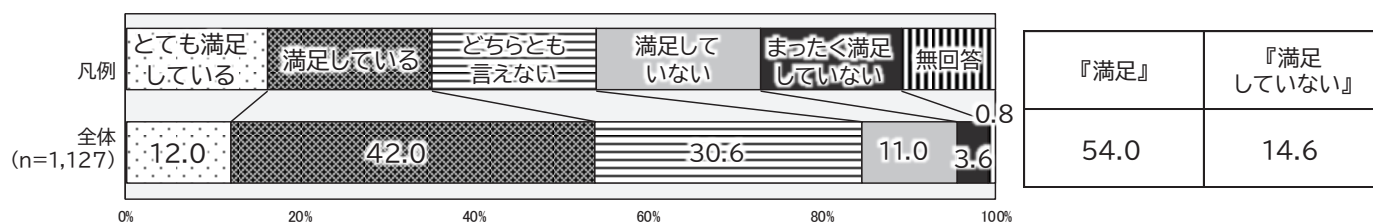
【全体】



(2) 職場

「満足している」の 42.0%が最も高く、これに「どちらとも言えない」の 30.6%、「とても満足している」の 12.0%が続いている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が 54.0%で、『満足していない』（「満足していない」または「まったく満足していない」）は 14.6%となっている。

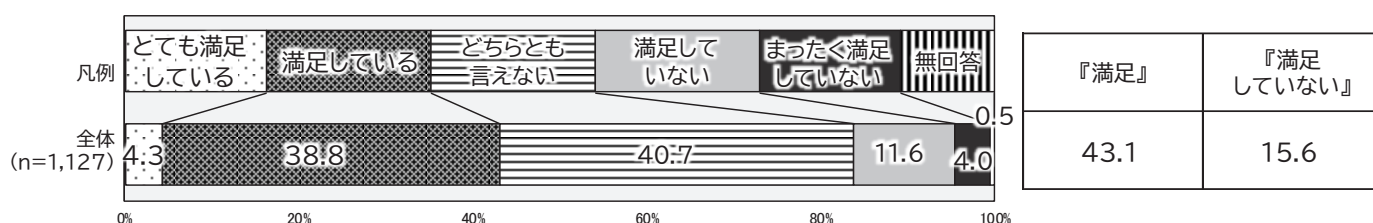
【全体】



(3)地域

「どちらとも言えない」の40.7%が最も高く、これに「満足している」の38.8%、「満足していない」の11.6%が続いている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が43.1%で、『満足していない』（「満足していない」または「まったく満足していない」）は15.6%となっている。

【全体】



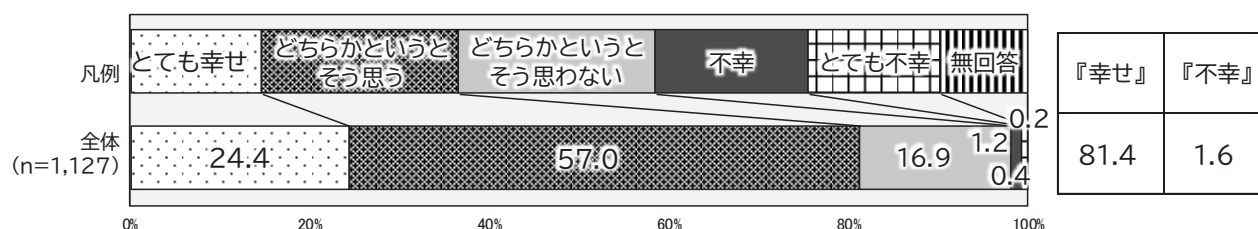
<設問 32>

あなたは、現在、どのくらい幸せを感じていますか。(〇は1つ)

「幸せ」の57.0%が最も高く、これに「とても幸せ」の24.4%、「どちらとも言えない」の16.9%が続いている。「とても幸せ」と「幸せ」を合わせた『幸せ』が81.4%で、『不幸』（「満足していない」または「まったく満足していない」）は1.6%となっている。

家庭の満足度別、職場の満足度別、地域の満足度別に幸福度をみると、満足度が高い人ほど幸福度も高くなる傾向が認められる。

【全体】



【「家庭」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合計	とても 幸せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と て も 不 幸	無 回 答
合計	1,127 100.0%	275 24.4%	642 57.0%	190 16.9%	13 1.2%	5 0.4%	2 0.2%
■「家庭」の満足度別							
とても満足している	302	180	112	10	0	0	0
	100.0%	59.6%	37.1%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
満足している	544	77	408	57	1	1	0
	100.0%	14.2%	75.0%	10.5%	0.2%	0.2%	0.0%
どちらとも言えない	221	12	109	95	3	2	0
	100.0%	5.4%	49.3%	43.0%	1.4%	0.9%	0.0%
満足していない	40	1	8	24	5	2	0
	100.0%	2.5%	20.0%	60.0%	12.5%	5.0%	0.0%
まったく満足していない	15	3	4	4	4	0	0
	100.0%	20.0%	26.7%	26.7%	26.7%	0.0%	0.0%
無回答	5	2	1	0	0	0	2
	100.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%

【「職場」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合計	とても 幸せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と て も 不 幸	無 回 答
合計	953 100.0%	224 23.5%	551 57.8%	160 16.8%	11 1.2%	5 0.5%	2 0.2%
■「職場」の満足度別							
とても満足している	114	59	45	7	2	1	0
	100.0%	51.8%	39.5%	6.1%	1.8%	0.9%	0.0%
満足している	400	104	255	38	1	2	0
	100.0%	26.0%	63.7%	9.5%	0.3%	0.5%	0.0%
どちらとも言えない	292	40	176	72	4	0	0
	100.0%	13.7%	60.3%	24.7%	1.4%	0.0%	0.0%
満足していない	105	11	58	30	4	2	0
	100.0%	10.5%	55.2%	28.6%	3.8%	1.9%	0.0%
まったく満足していない	34	7	14	13	0	0	0
	100.0%	20.6%	41.2%	38.2%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	8	3	3	0	0	0	2
	100.0%	37.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

【「地域」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合計	とても 幸せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と て も 不 幸	無 回 答
合計	1,127 100.0%	275 24.4%	642 57.0%	190 16.9%	13 1.2%	5 0.4%	2 0.2%
■「地域」の満足度別							
とても満足している	49	36	12	1	0	0	0
	100.0%	73.5%	24.5%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%
満足している	437	126	266	39	4	2	0
	100.0%	28.8%	60.9%	8.9%	0.9%	0.5%	0.0%
どちらとも言えない	459	88	269	96	5	1	0
	100.0%	19.2%	58.6%	20.9%	1.1%	0.2%	0.0%
満足していない	131	18	69	39	4	1	0
	100.0%	13.7%	52.7%	29.8%	3.1%	0.8%	0.0%
まったく満足していない	45	6	23	15	0	1	0
	100.0%	13.3%	51.1%	33.3%	0.0%	2.2%	0.0%
無回答	6	1	3	0	0	0	2
	100.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

<小学 5 年生及び中学生対象調査>

I 調査の概要

I 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

大牟田市（以下「発注者」という。）がこども基本法第10条第2項に基づき、令和7年度から11年度までの5年間を計画期間とする「大牟田市こども計画」（以下「こども計画」という。）の策定に向けて、その基礎資料とするためのニーズ調査を実施する。

なお、こども計画は、こども基本法第10条第5項の規定に基づく子どもに関する各種計画を一体化したものとして策定することを想定している。

これらについて、ニーズ調査の実施及び調査結果に対する分析に関する業務及び子どもの人口推計に関する業務の委託を行うもの。

2. 調査設計

（1）調査対象地域 大牟田市内全域

（2）調査対象

市内に在住する小学5年生約850人、中学2年生約900人

（3）調査方法

学校を通じて案内文（webページのURL、QRコード、個別ID入り）を配布し、webページにより回答

（4）調査期間

令和6年7月1日～令和6年7月22日

（5）有効回答率

小学5年生 461 票

中学2年生 420 票

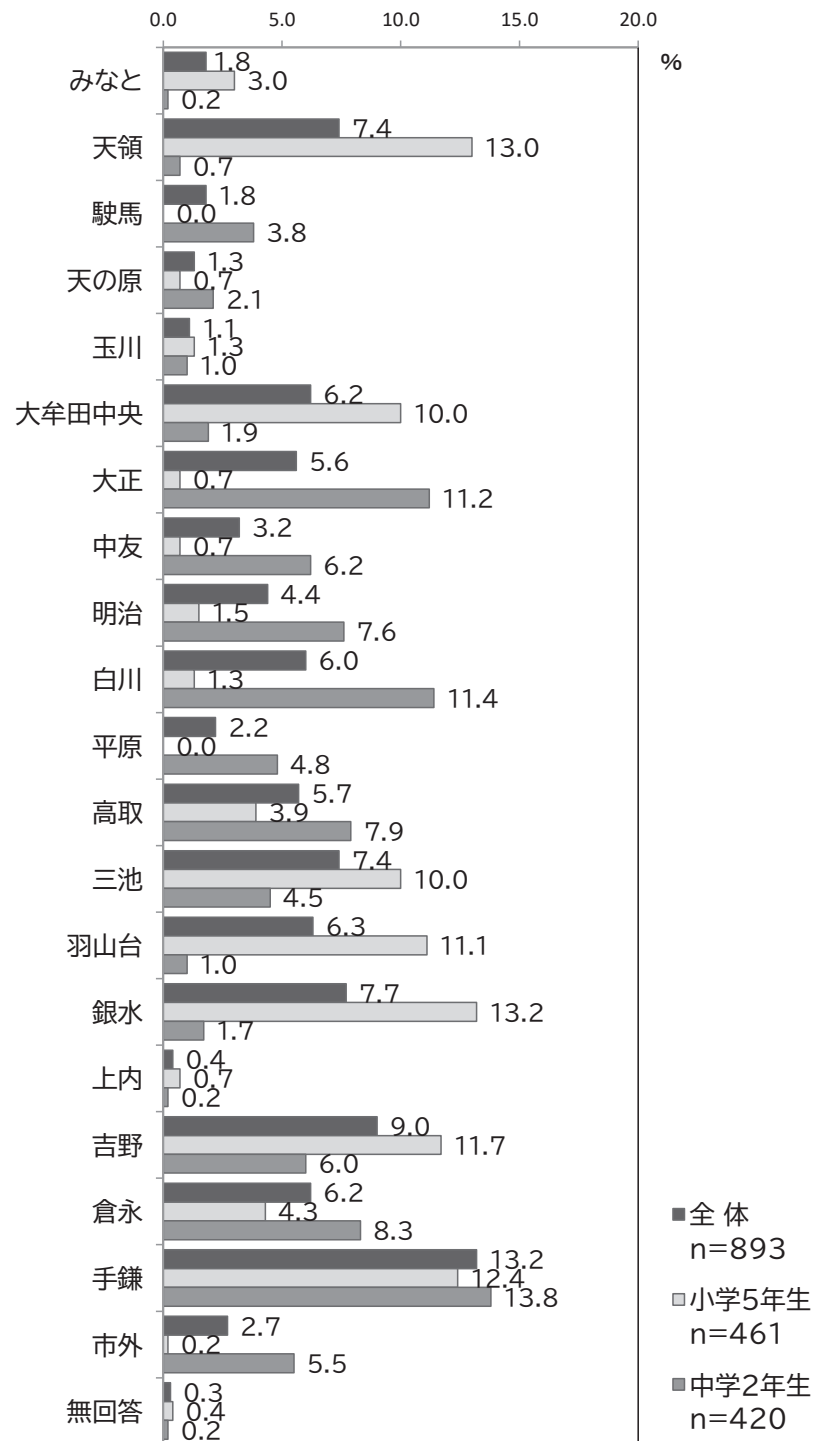
合計 881 票（有効回答率 約50.3%）

3. 本報告書の見方

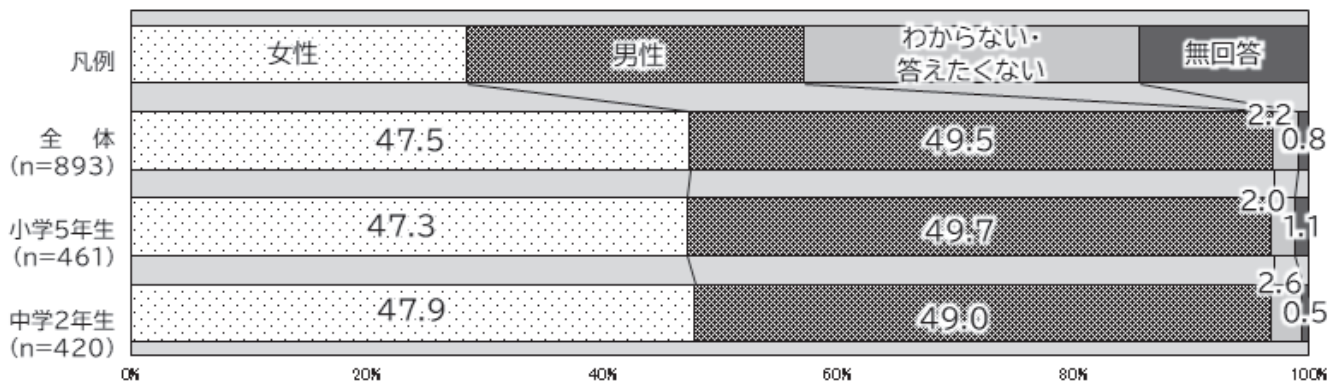
- 回答割合は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答を可とした質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 文中では選択肢を「 」で示した。数表・図表は、スペースの都合上、調査票の文言を省略して表記している場合がある。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示している。
- 表・グラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。
- 単純集計・クロス集計の図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をする事が難しいので、回答の傾向をみる程度になる。
- 表・グラフ中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難な回答である。

4. 回答者の基本属性

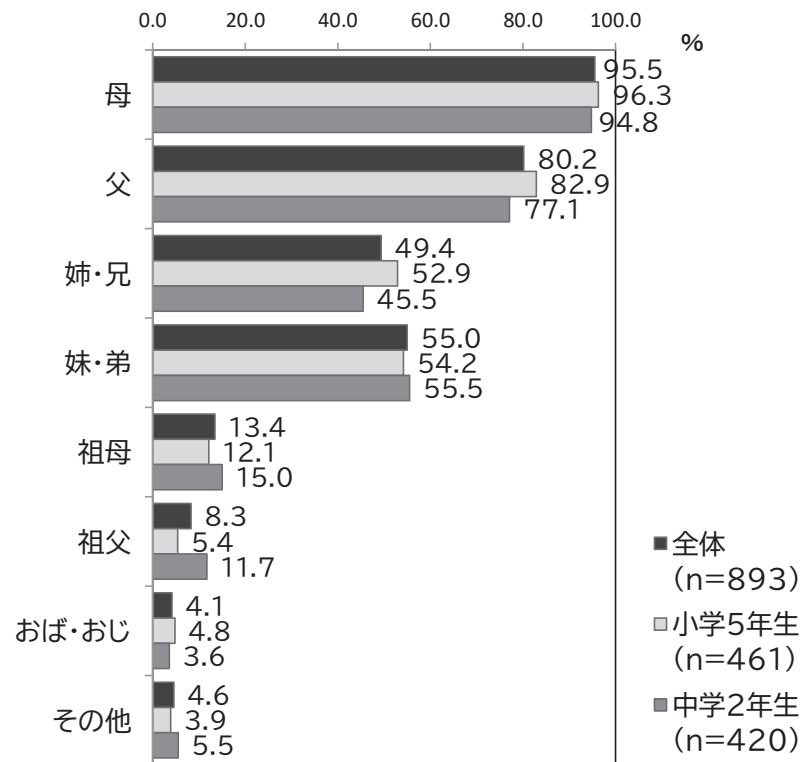
■お住まいの小学校区



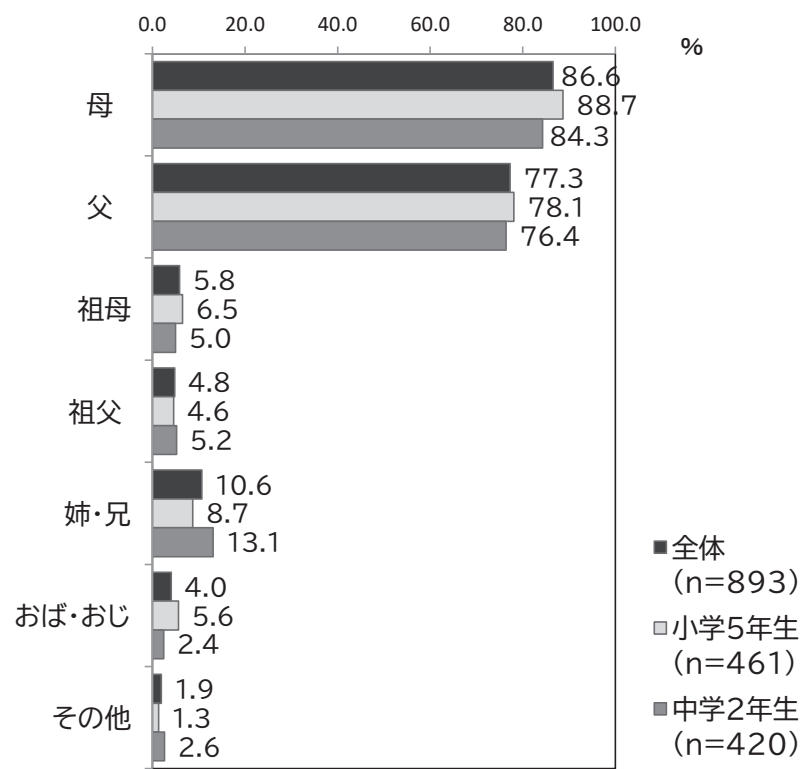
■性別



■一緒に暮らしている人



■一緒に暮らしている人で働いている人



Ⅱ 調査結果

II 調査結果

1. お家での生活について

<設問 6>

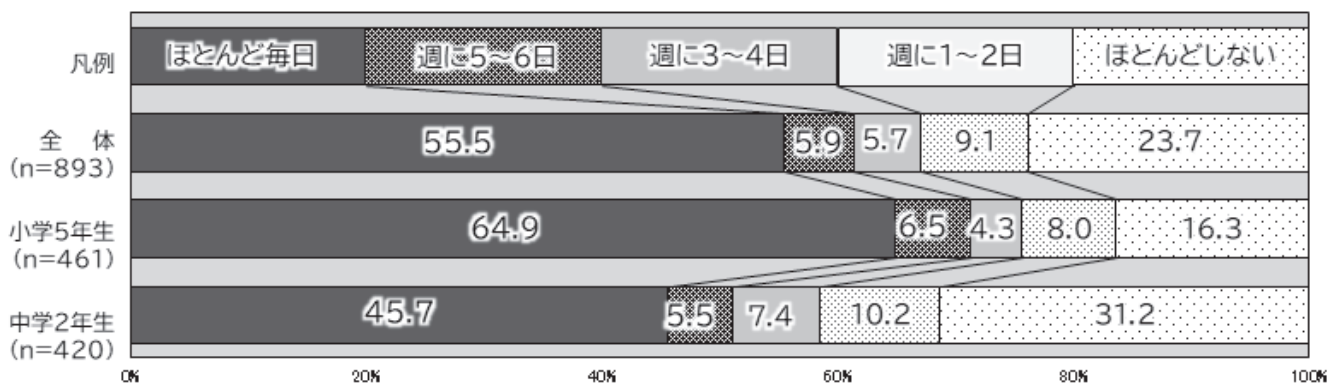
あなたは家族(おとなの人)と一緒に、次のことをどのくらいしますか。(〇は1つ)

(1) 朝食を食べる

「ほとんど毎日」が最も高く全体の 55.5%を占めるが、「ほとんどしない」が 23.7%となっており、概ね 4 人に 1 人が朝食をとっていない結果となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、「ほとんど毎日」は小学 5 年生の 64.9%に対し、中学 2 年生は 45.7%となっており、「ほとんどしない」は小学 5 年生の 16.3%に対し、中学 2 年生は 31.2%となっている。中学 2 年生では概ね 3 人に 1 人の割合で家族と一緒に朝食をとっていない結果となっている。

【全体及び学年別】

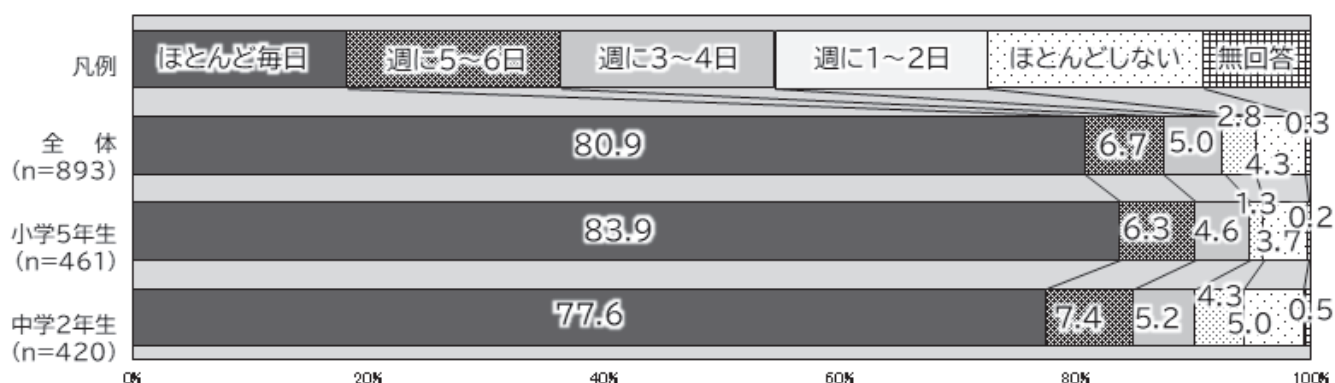


(2) 夕食を食べる

「ほとんど毎日」が最も高く全体の 80.9%を占めるが、「ほとんどしない」が 4.3%となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、「ほとんど毎日」は小学 5 年生の 83.9%に対し、中学 2 年生は 77.6%。「ほとんどしない」は小学 5 年生の 3.7%に対し、中学 2 年生は 5.0%となっている。「ほとんどしない」は 1 割未満とはなっているが、無視できない割合となっている。

【全体及び学年別】

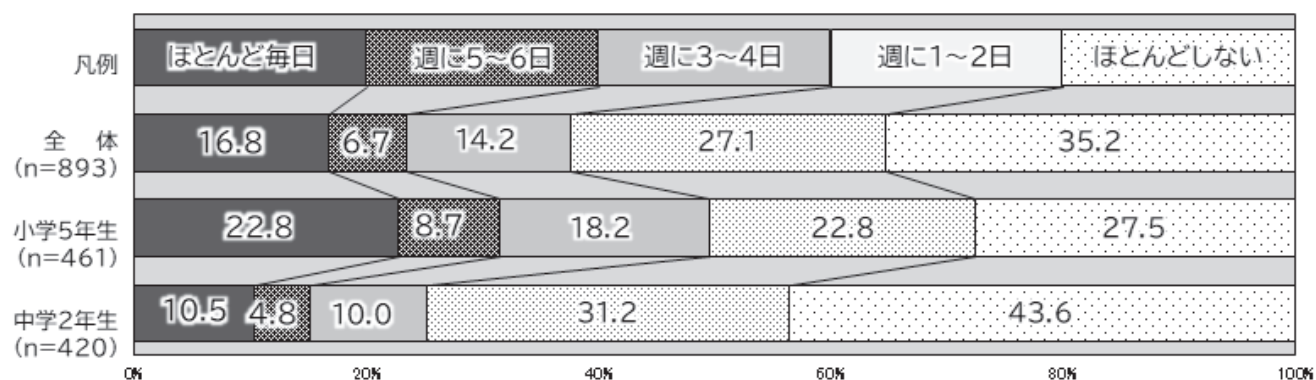


(3) 遊ぶ

「ほとんどしない」の 35.2%が最も高く、これに「週に1~2日」の 27.1%が続いている。「週に1~2日」と「ほとんどしない」を合わせた『遊ぶのは週に1~2日以内』の人の割合が 62.3%を占めている。一方、「ほとんど毎日」は 16.8%、「週に 5~6 日」は 6.7%となっており、これらを合わせた『遊ぶのは週に 5~6 日以上』の人は 23.5%となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、「ほとんどしない」は小学 5 年生の 27.5%に対し、中学 2 年生は 43.6%。「ほとんど毎日」は小学 5 年生の 22.8%に対し、中学 2 年生は 10.5%となっており、中学 2 年生の方が家族と一緒に遊んでいない人が多い結果となっている。

【全体及び学年別】

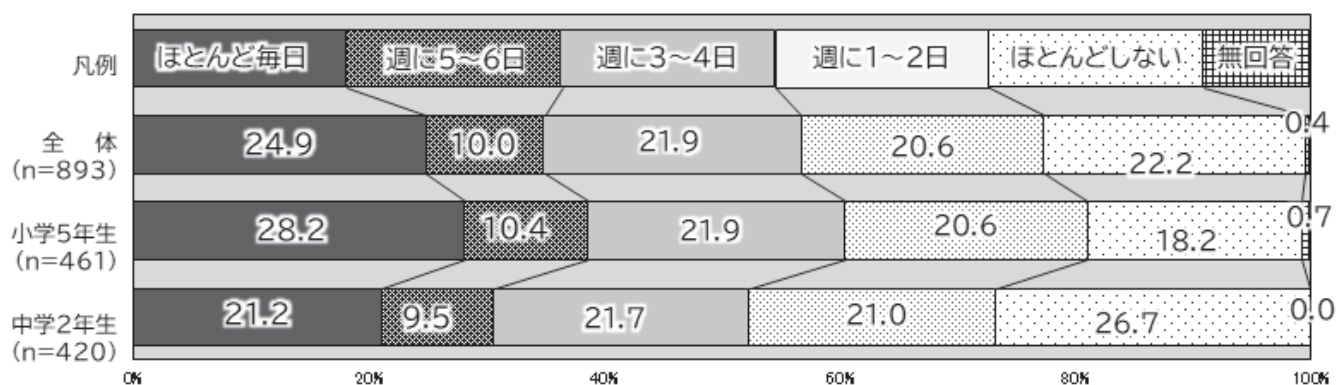


(4) 家事（食事の準備、そうじ、洗たくなど）をする

「ほとんど毎日」の 24.9%が最も高く、以下、割合が高い方から「ほとんどしない」(22.2%)、「週に3～4日」(21.9%)、「週に1～2日」(20.6%)の順となっている。「ほとんど毎日」と「週に5～6日」を合わせた『家事をするのは週に5～6日以上』の人の割合は34.9%。一方、「ほとんどしない」と「週に1～2日」を合わせた『家事をするのは週に1～2日以内』の人は42.8%となっている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、「ほとんどしない」は小学5年生の18.2%に対し、中学2年生は26.7%。「ほとんど毎日」は小学5年生の28.2%に対し、中学2年生は21.2%となっており、中学2年生の方が家事をしない人が多い結果となっている。

【全体及び学年別】

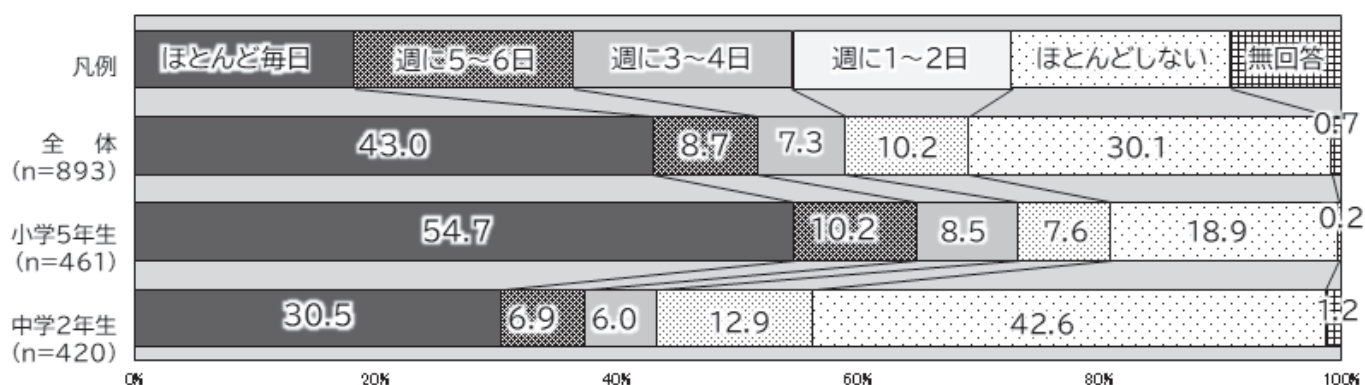


(5) 勉強や宿題をする

「ほとんど毎日」の 43.0%が最も高く、これに「ほとんどしない」の 30.1%が続いている。「ほとんど毎日」と「週に5～6日」を合わせた『勉強をするのは週に5～6日以上』の人の割合は51.7%。一方、「ほとんどしない」と「週に1～2日」を合わせた『勉強をするのは週に1～2日以内』の人は40.3%となっている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、「ほとんど毎日」は小学5年生の54.7%に対し、中学2年生は30.5%。「ほとんどしない」は小学5年生の18.9%に対し、中学2年生は42.6%となっており、中学2年生の方が勉強をほとんどしない人が多い結果となっている。

【全体及び学年別】

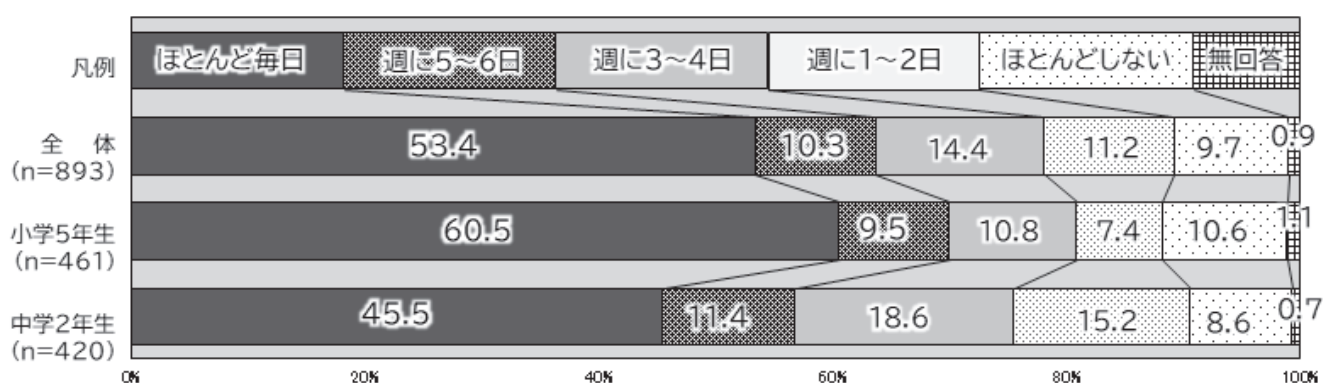


(6) 学校や友達の話をする

「ほとんど毎日」の 53.4%が最も高く、これに「週に3~4日」の 14.4%が続いている。「ほとんど毎日」と「週に5~6日」を合わせた『学校や友達の話をするのは週に 5~6 日以上』の割合は 63.7%。一方、「ほとんどしない」と「週に1~2日」を合わせた『学校や友達の話をするのは週に 1~2 日以内』の人は 20.9%となっている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、「ほとんど毎日」は小学5年生の 60.5%に対し、中学2年生は 45.5%となっており、中学2年生の方が学校や友達の話をする人が少ない結果となっている。

【全体及び学年別】

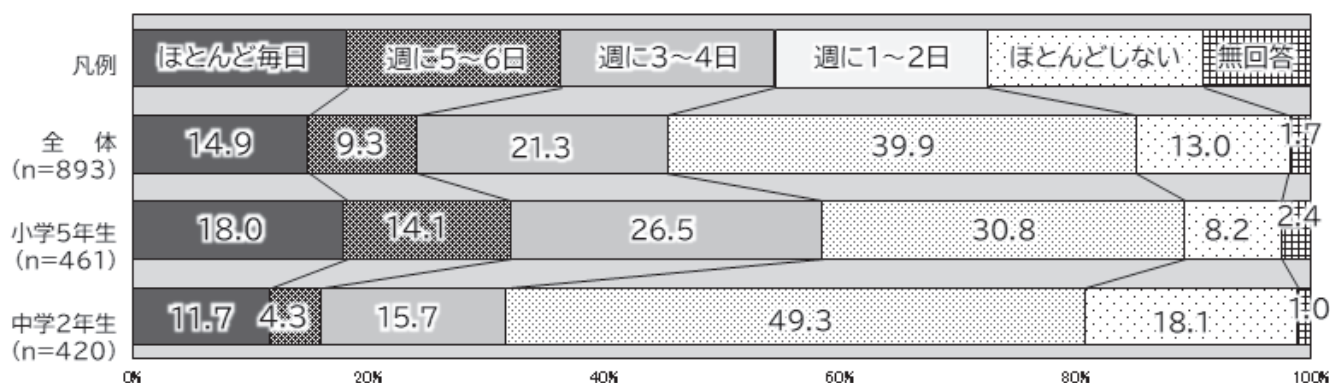


（７）出かける

「週に１～２日」の 39.9%が最も高く、これに「週に３～４日」の 21.3%が続いている。「ほとんど毎日」と「週に５～６日」を合わせた『出かけるのは週に ５～６ 日以上』の割合は 24.2%。一方、「ほとんどしない」と「週に １～２日」を合わせた『出かけるのは週に １～２ 日以内』の人は 52.9%となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、『出かけるのは週に １～２ 日以内』は小学 5 年生の 39.0%に対し、中学 2 年生は 67.4%となっており、中学 2 年生の方が出かける人が多い結果となっている。

【全体及び学年別】



<設問 7>

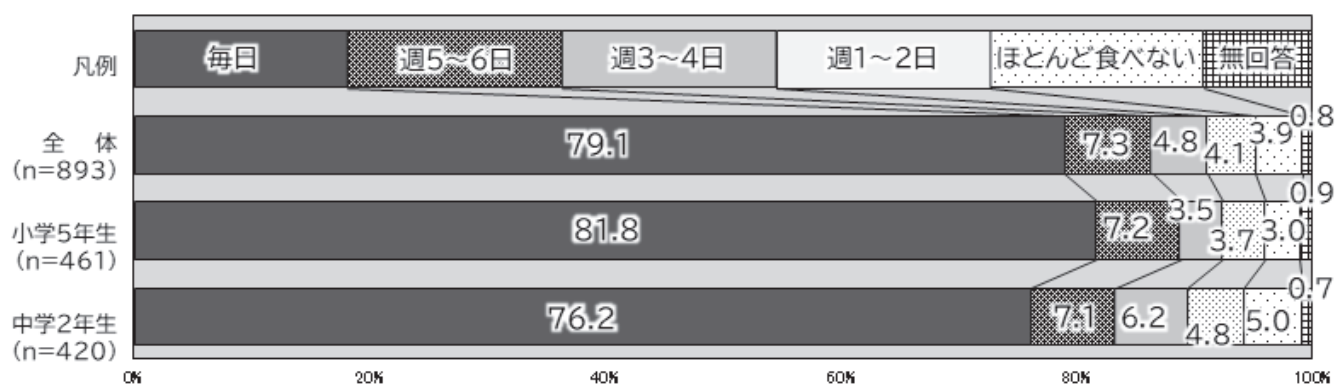
あなたは、週にどのくらい食事をしていますか。（○は1つ）

（１）朝食

「毎日」が最も高く全体の 79.1%を占めるが、「ほとんど食べない」が 3.9%、「週に １～ ２日」が 4.1%となっており、１割近くの人が朝食をほとんどとっていない結果となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、「毎日」は小学 5 年生の 81.8%に対し、中学 2 年生は 76.2%となっており、「ほとんど食べない」と「週に １～２日」を合わせた朝食を食べるのは週 １～２日以内」は小学 5 年生の 6.7%に対し、中学 2 年生は 9.8%となっている。

【全体及び学年別】

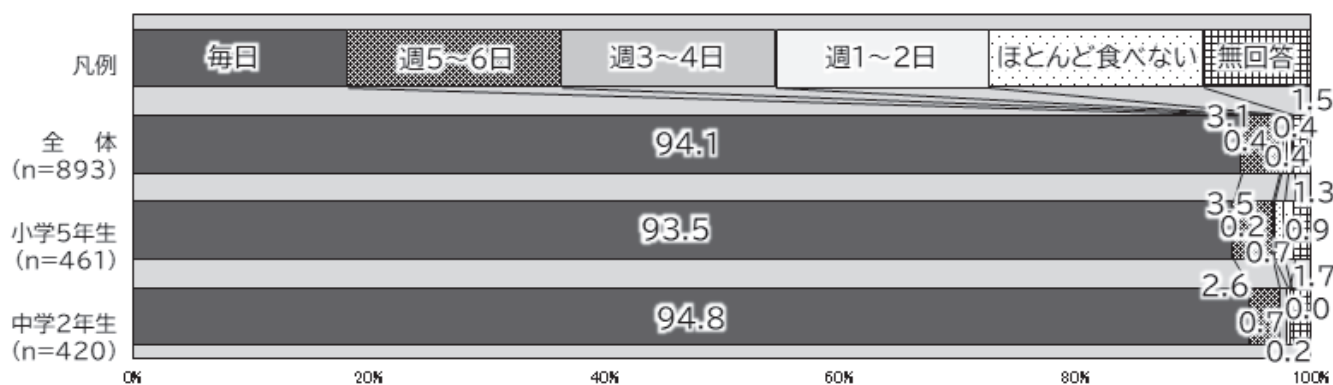


(2)夕食

「毎日」が最も高く全体の 94.1%を占めるが、「ほとんど食べない」が 0.4%、「週に1～2日」が0.4%となっている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、「毎日」は小学5年生の 93.5%に対し、中学2年生は 94.8%となっており、差は認められない。

【全体及び学年別】

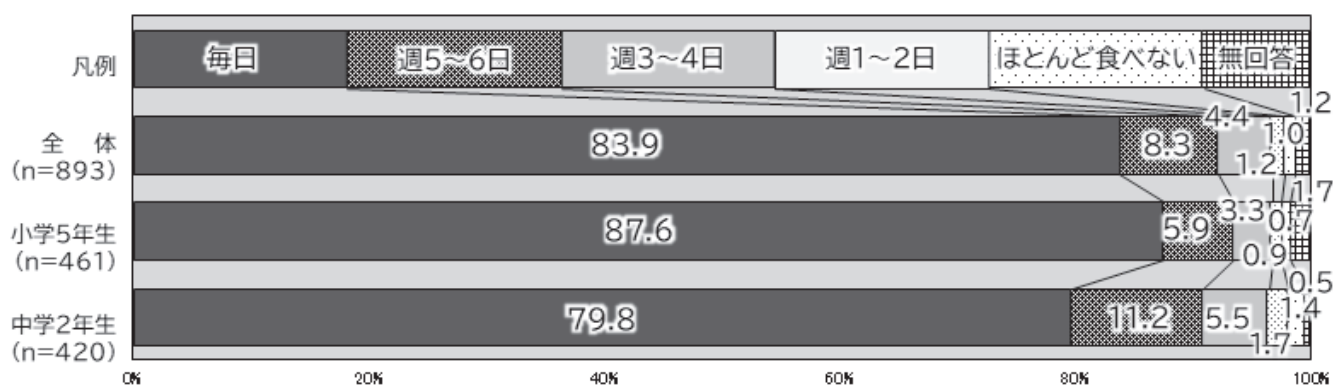


（３）夏休みや冬休みなど、学校が休みの時の昼食

「毎日」が最も高く全体の 83.9%を占めるが、「ほとんど食べない」が 1.0%、「週に 1～2 日」が 4.4%となっており、少数ながら長期休暇のときに昼食をほとんどとっていない人がいる結果となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、「毎日」は小学 5 年生の 87.6%に対し、中学 2 年生は 79.8%。一方、「ほとんど食べない」と「週に 1～2 日」を合わせた朝食を食べるのは週 1～2 日以内」は小学 5 年生の 4.0%に対し、中学 2 年生は 7.2%となっている。

【全体及び学年別】



<設問 7-1>

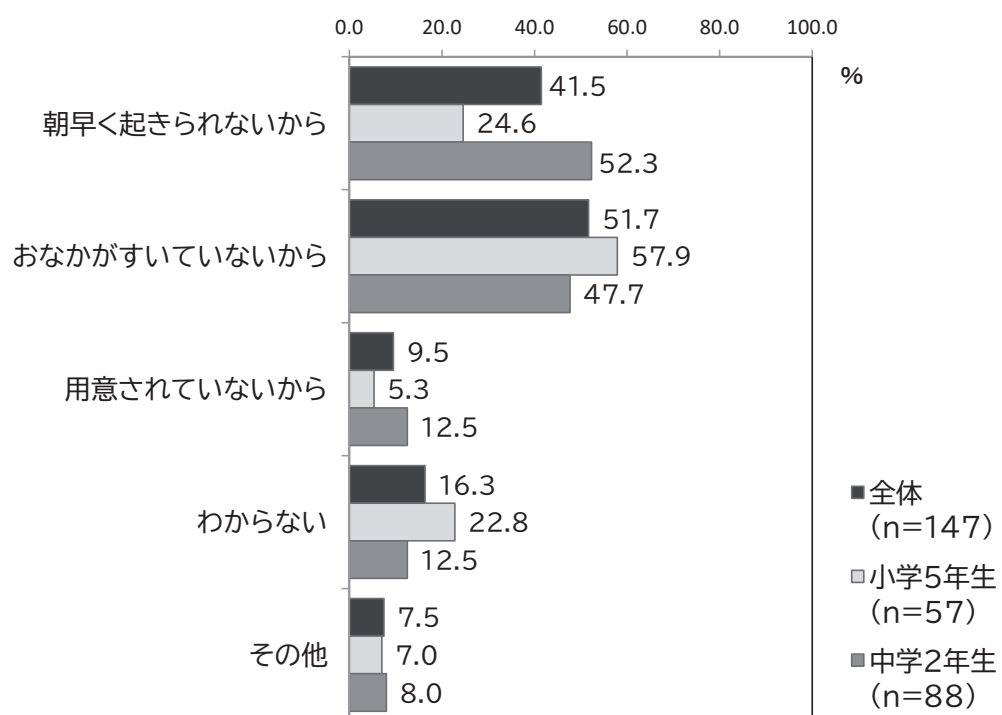
問7でひとつでも「3」「4」「5」と回答した人にもみ表示

あなたが食事をあまり食べない、ほとんど食べない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「おながすいていないから」の 51.7%が最も高く、これに「朝早く起きられないから」の 41.5%が続いている。一方、「用意されていないから」が 9.5%となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、「おながすいていないから」は小学 5 年生の 57.9%に対し、中学 2 年生は 47.7%。「朝早く起きられないから」は小学 5 年生の 24.6%に対し、中学 2 年生は 52.3%となっている。一方、「用意されていないから」は小学 5 年生の 5.3%に対し、中学 2 年生は 12.5%となっている。

【全体】



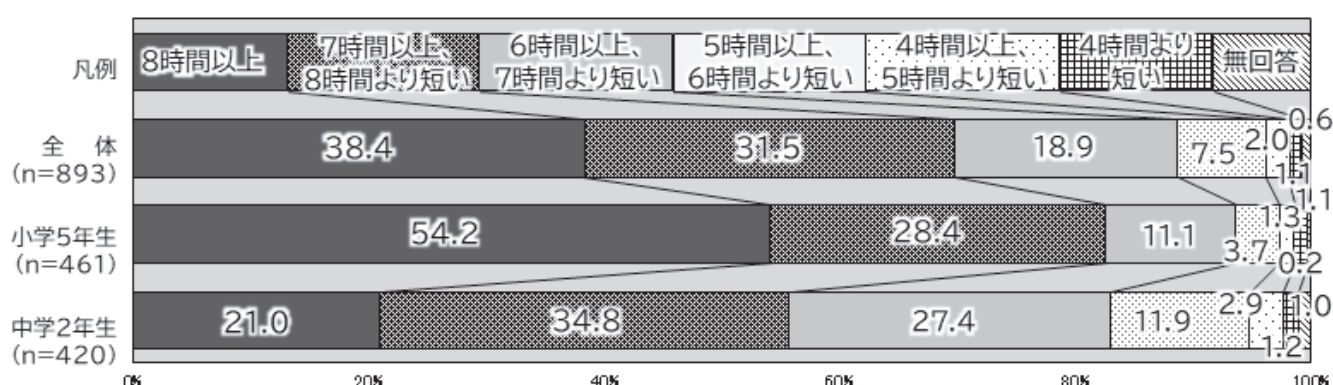
<設問 8>

あなたは、学校がある日の夜は、何時間くらいねむっていますか。(〇は1つ)

「8時間以上」の 38.4%が最も高く、以下、割合が高い方から「7時間以上8時間より短い」(31.5%)、「6時間以上、7時間より短い」(18.9%)の順となっている。一方、「5時間以上6時間より短い」と「4時間以上5時間より短い」、「4時間より短い」を合わせた『睡眠時間が6時間以下』の人の割合は 10.6%と、およそ1割の人が短い睡眠時間となっている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、『睡眠時間が6時間以下』は小学5年生の 5.2%に対し、中学2年生は 16.0%となっており、中学2年生で睡眠時間が短い人が多くなっている。

【全体】



<設問 9>

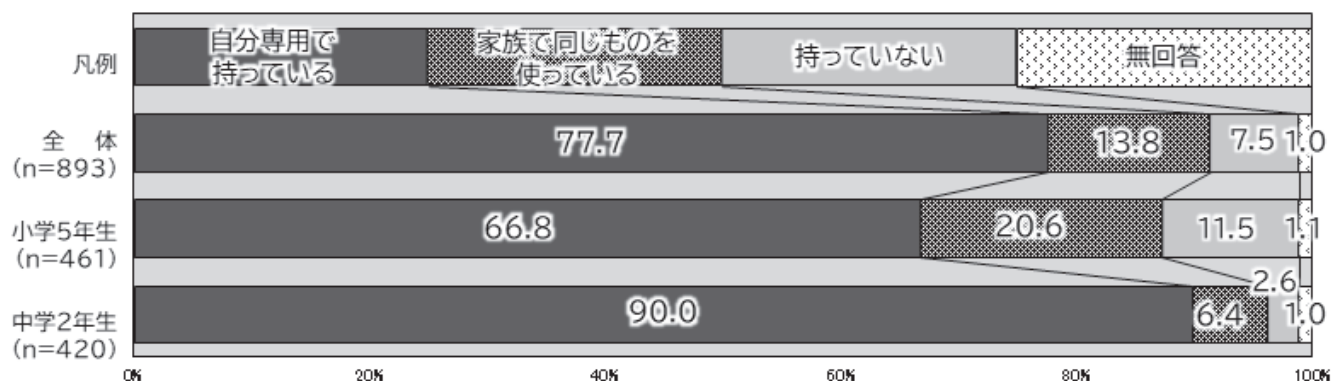
あなたは、スマートフォンやパソコン、タブレットなどインターネットが使える機械を持っていますか。

(〇は1つ)

「自分専用で持っている」の 77.7%が最も高く、これに「家族で同じものを使っている」の 13.8%、「持っていない」の 7.5%が続いている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、「自分専用で持っている」は小学5年生の 66.8%に対し、中学2年生は 90.0%。小学5年生では「家族で同じものを使っている」が 20.6%で中学2年生より高くなっている。

【全体】



<設問 9-1>

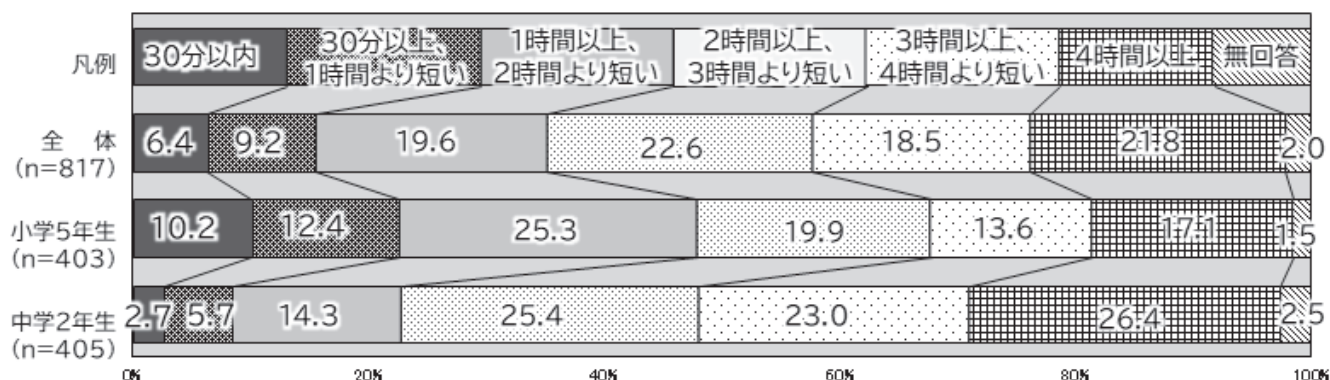
問9で「1」「2」と回答した人にもみ表示

あなたはスマートフォンやパソコン、タブレットなどインターネットが使える機械を1日のうちどれくらい使っていますか。(〇は1つ)

「2時間以上3時間より短い」の 22.6%が最も高く、以下、割合が高い方から「4時間以上」(21.8%)、「1時間以上、2時間より短い」(19.6%)の順となっている。一方、「3時間以上、4時間より短い」と「4時間以上」を合わせた『3時間以上』の人の割合は 40.3%となっている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、『3時間以上』は小学5年生の 16.3%に対し、中学2年生は 26.7%。「ほとんど毎日」は小学5年生の 30.7%に対し、中学2年生は 49.4%となっており、中学2年生の半数近くが長時間使用している結果となっている。

【全体】



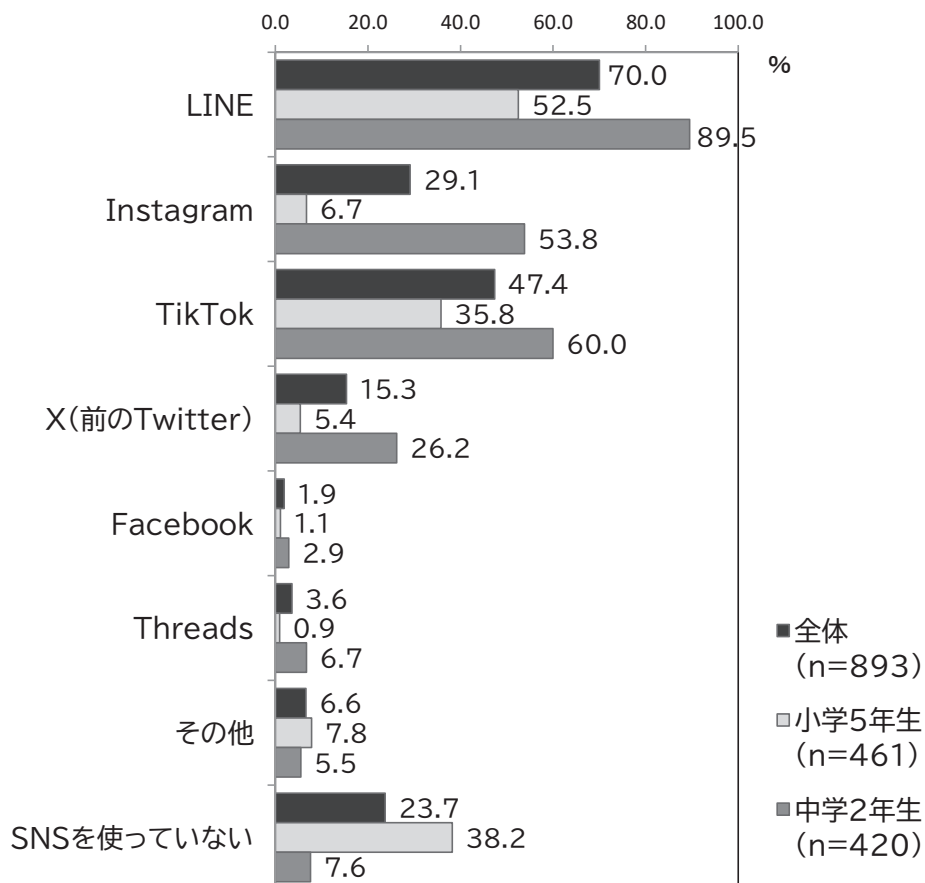
<設問 10>

あなたはこういったSNSを使っていますか。(〇はいくつでも)

「LINE」の 70.0% が最も高く、以下、割合が高い方から「TikTok」(47.4%)、「Instagram」(29.1%)、「SNS を使っていない」(23.7%)、「X (前の Twitter)」(15.3%) の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、割合が高い方から「LINE」「TikTok」「Instagram」「X (前の Twitter)」の順は変わらないが、利用している割合は中学2年生の方が高くなっている。一方、「SNS を使っていない」は中学2年生の 7.6% に対し、小学5年生は 38.2% となっており、中学生のおよそ1割近くが SNS を使っていない結果となっている。

【全体】

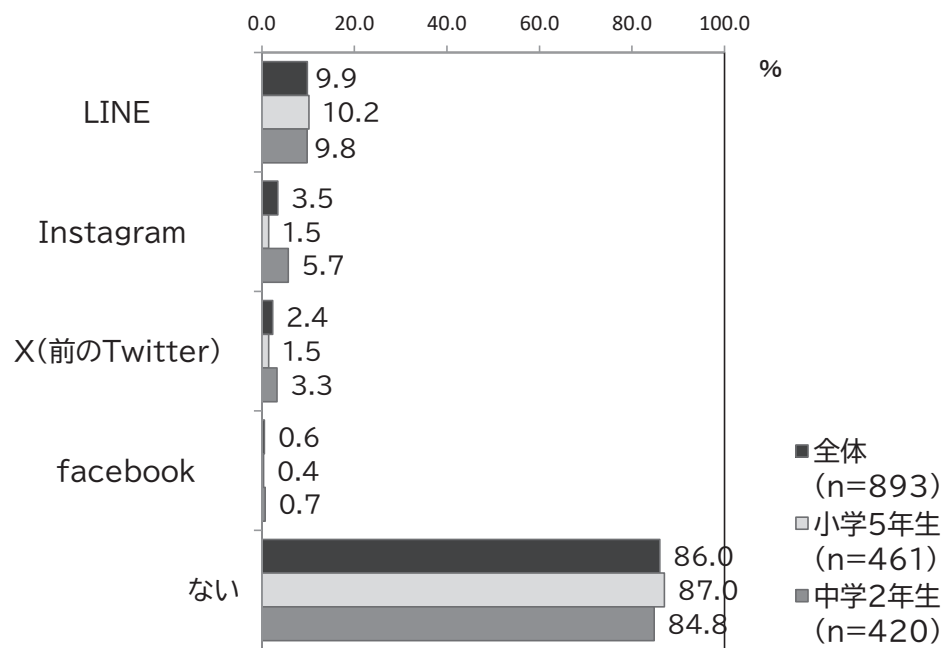


<設問 11>

大牟田市公式SNSを見たことがありますか。(〇はいくつでも)

「ない」の 86.0%が最も高く、以下、割合が高い方から「LINE」(9.9%)、「Instagram」(3.5%)、「X(前のTwitter)」(2.4%) の順となっている。
 小学5年生と中学2年生との間で大きな差は認められない。

【全体】



2. 学校生活や勉強・部活動のことについて

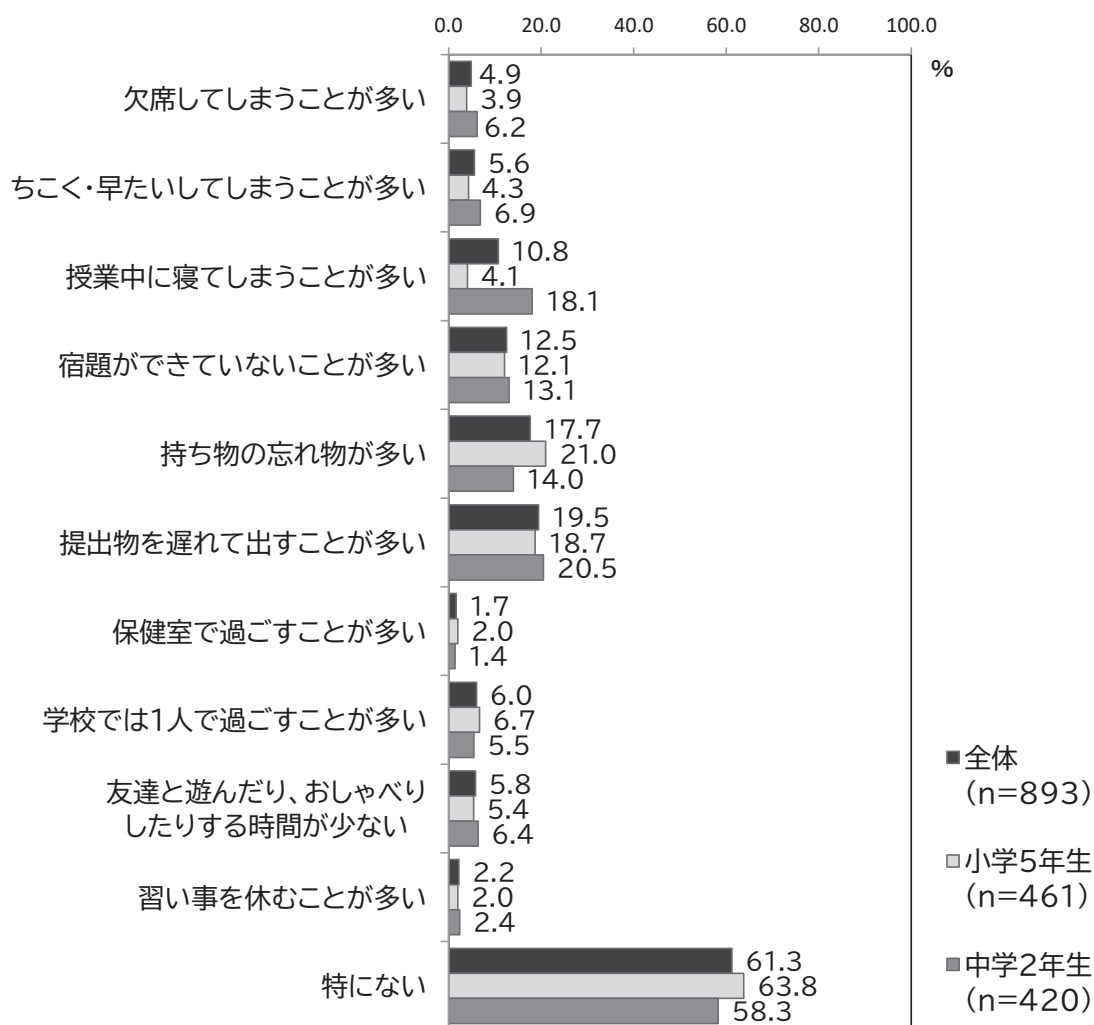
<設問 12>

あなたの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」の 61.3%が最も高く、以下、割合が高い方から「提出物を遅れて出すことが多い」(19.5%)、「持ち物の忘れ物が多い」(17.7%)、「宿題ができていないことが多い」(12.5%)、「授業中に寝てしまうことが多い」(10.8%)の順となっている。

小5年生と中学2年生との間で大きな差が認められる選択肢は少ないが、「持ち物の忘れ物が多い」では小学5年生の 21.0%に対し、中学2年生は 14.0%となっており、小学5年生の方がやや高くなっている。「授業中に寝てしまうことが多い」では小学5年生の 4.1%に対し、中学2年生は 18.1%となっており、中学2年生の方が高くなっている。

【全体】



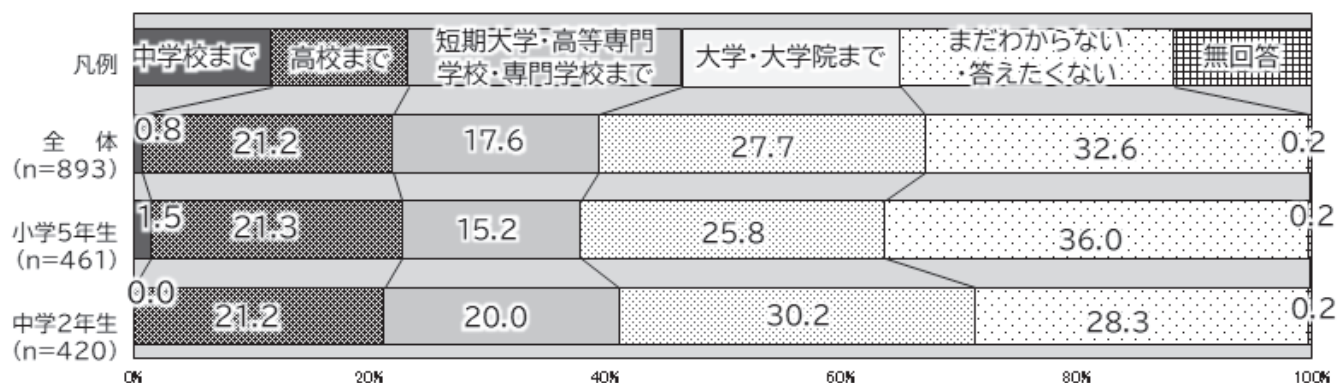
<設問 13>

あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(〇は1つ)

「まだわからない・答えたくない」の 32.6%が最も高く、以下、割合が高い方から「大学・大学院まで」(27.7%)、「高校まで」(21.2%)、「短期大学・高等専門学校・専門学校まで」(17.6%)、「中学校まで」(0.8%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「まだわからない・答えたくない」の割合は小学5年生の 36.0%に対し、中学2年生は 28.3%で、中学生の方が進学先を決めている人が多い。このため中学2年生は小学5年生と比べて「大学・大学院まで」と「短期大学・高等専門学校・専門学校まで」の割合がやや高くなっている。

【全体】



<設問 13-1>

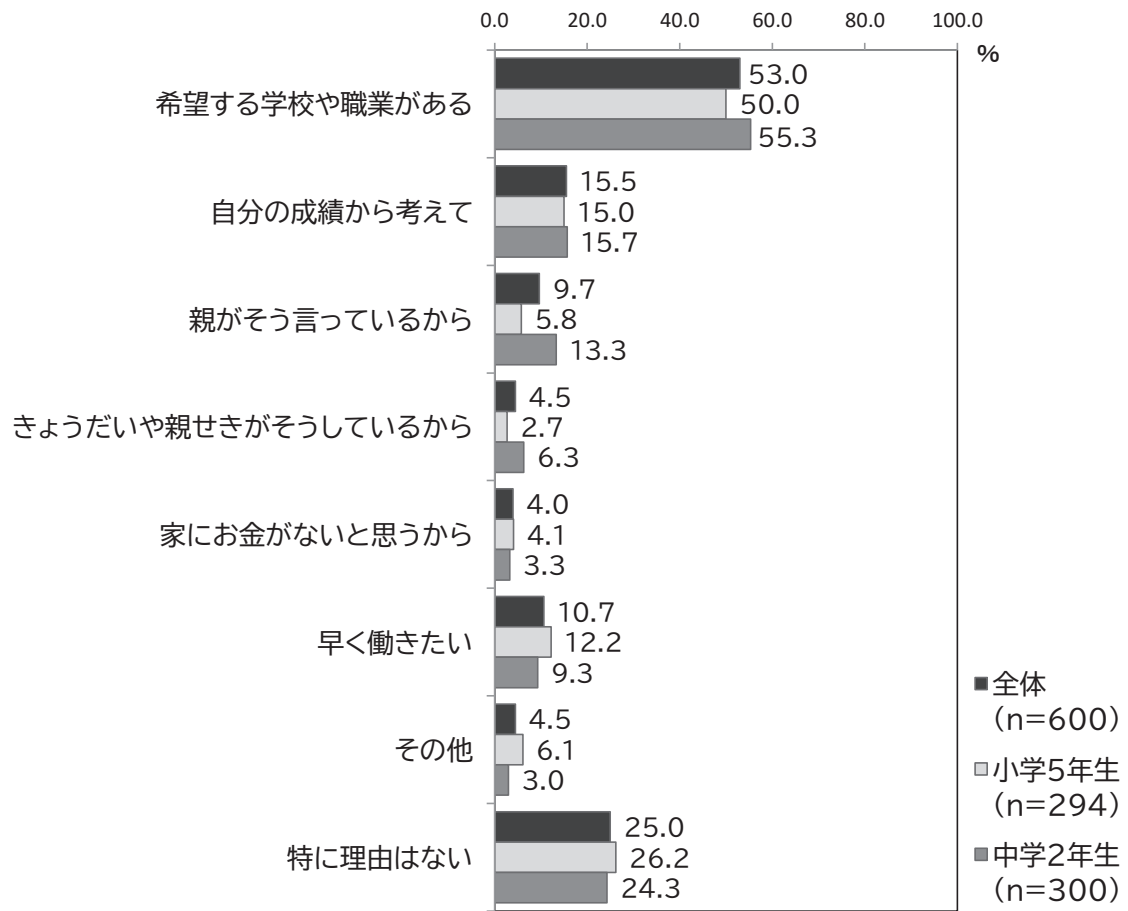
問13で「5」以外と回答した人にもみ表示

あなたがそう思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「希望する学校や職業がある」の 53.0%が最も高く、以下、割合が高い方から「特に理由はない」(25.0%)、「自分の成績から考えて」(15.5%)、「早く働きたい」(10.7%)、「親がそう言っているから」(9.7%)の順となっている。

小5年生と中学2年生との間で大きな差が認められる選択肢は少ないが、「希望する学校や職業がある」では小学5年生の 50.0%に対し、中学2年生は 55.3%となっており、中学2年生の方がやや高くなっている。

【全体】



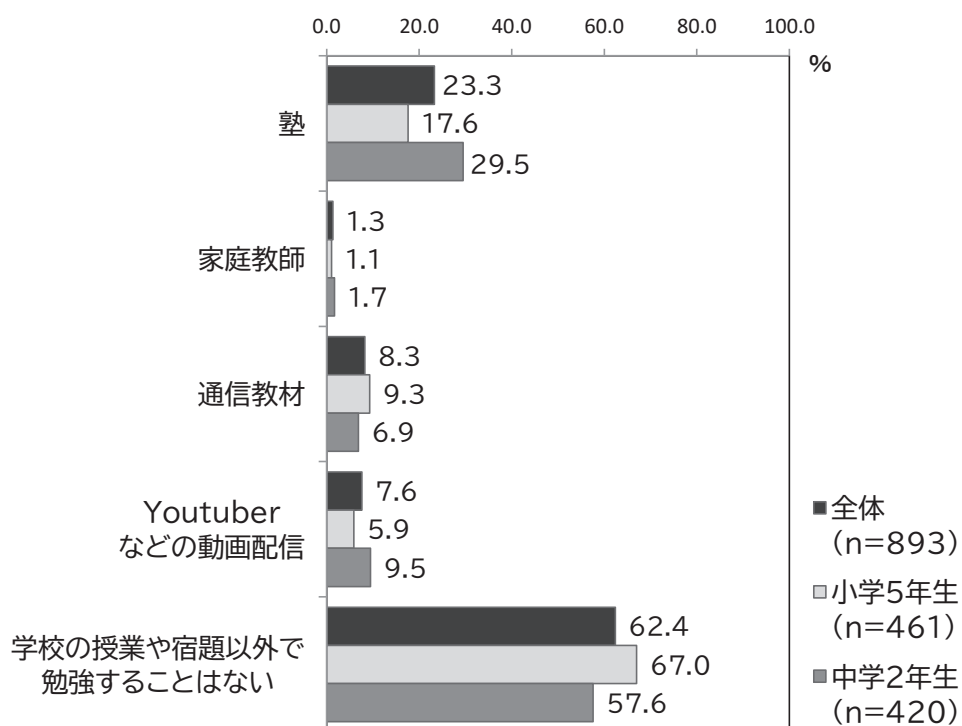
<設問 14>

あなたは、学校の授業や宿題以外に、塾や家庭教師、通信教材で勉強することがありますか。（習字やそろばんなどの習いごとは含みません。）（〇はいくつでも）

「学校の授業や宿題以外で勉強することはない」の 62.4%が最も高く、以下、割合が高い方から「塾」（23.3%）、「通信教材」（8.3%）、「Youtuber などの動画配信」（7.6%）、「家庭教師」（1.3%）の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「学校の授業や宿題以外で勉強することはない」では小学5年生の 67.0%に対し、中学2年生は 57.6%となっており、小学5年生の方が高くなっている。「塾」では小学5年生の 17.6%に対し、中学2年生は 29.5%となっており、中学2年生の方が高くなっている。

【全体】



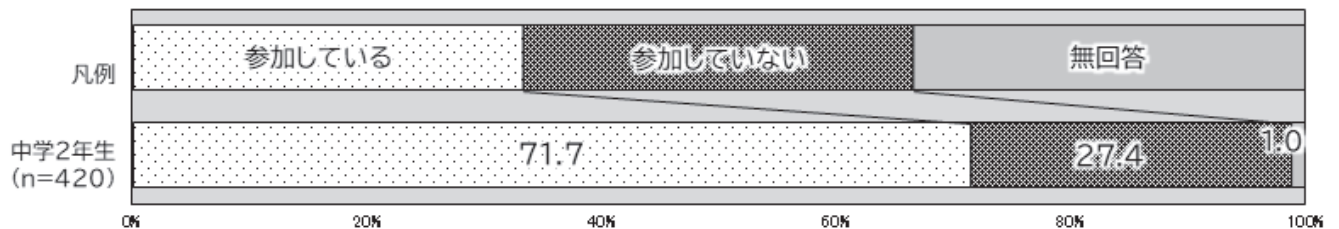
<設問 15>

問3で「2」と回答した人にもみ表示

問15 あなたは、学校の部活動に参加していますか。(○は1つ)

中学2年生に限定した設問であり、「参加している」が 71.7%で、「参加していない」が 27.4%となっている。

【全体】



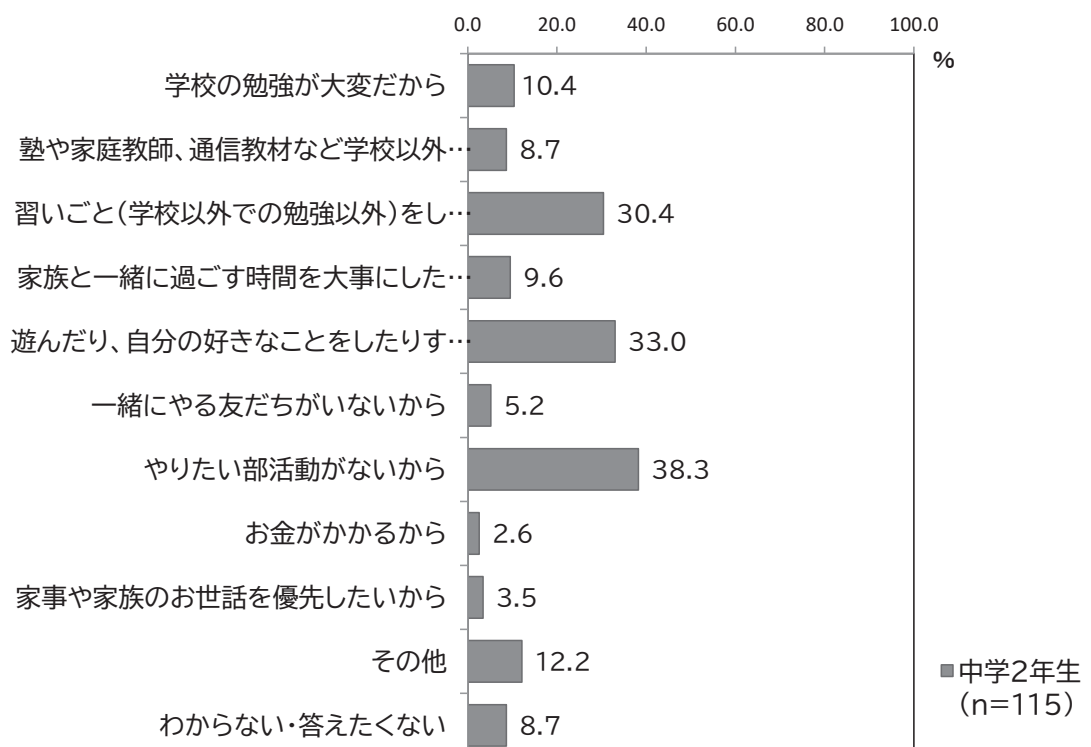
<設問 15-1>

問15で「2」と回答した人にもみ表示

あなたが部活動に参加していない理由を教えてください。(○はいくつでも)

「やりたい部活動がないから」の 38.3%が最も高く、以下、割合が高い方から「遊んだり、自分の好きなことをしたりする時間を大事にしたいから」(33.0%)、「習いごと(学校以外での勉強以外)をしているから」(30.4%)の順となっている。

【全体】



3. あなたの悩みやお家・学校以外での生活について

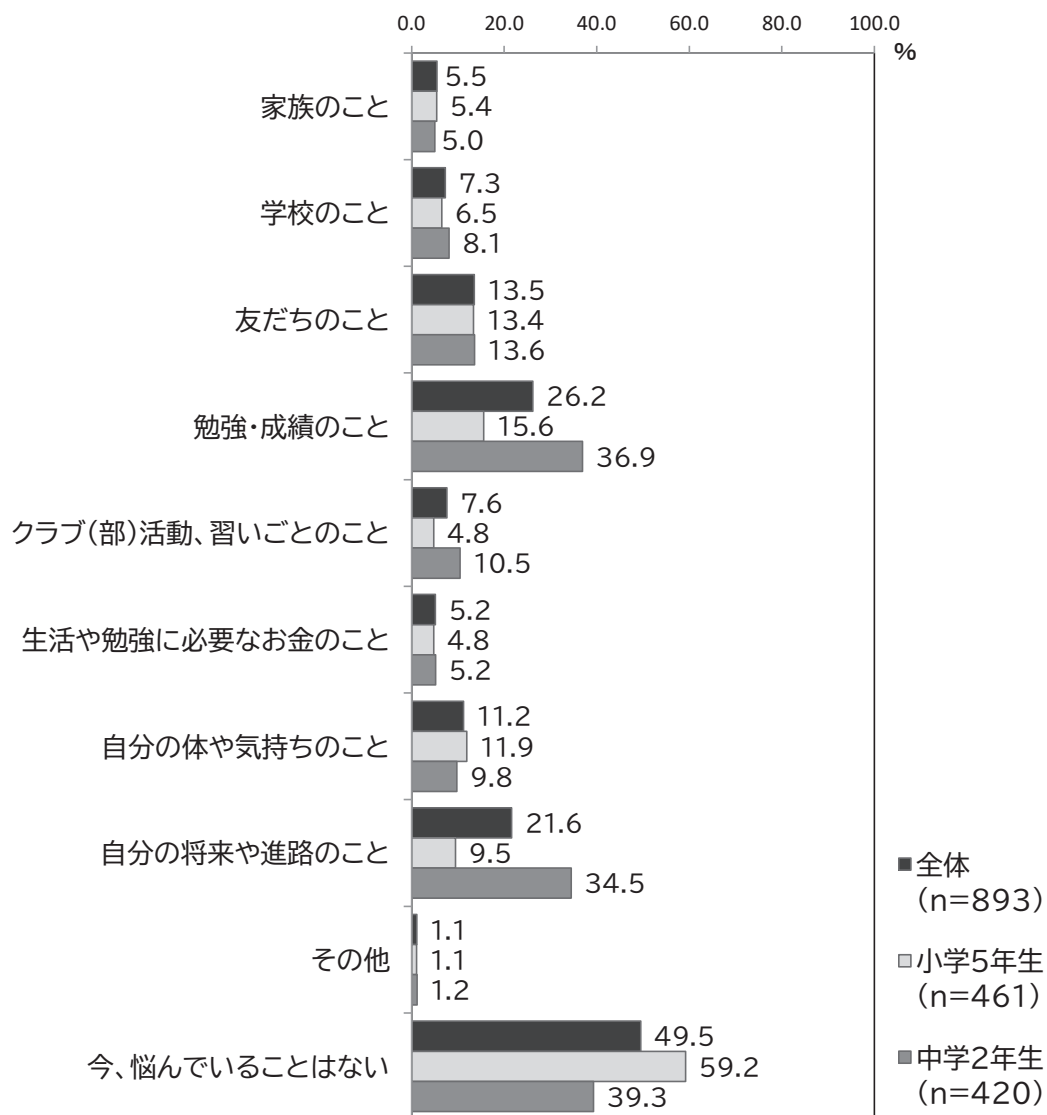
<設問 16>

あなたは今、悩んだり、困ったりしていることがありますか。(〇はいくつでも)

「今、悩んでいることはない」の 49.5%が最も高く、以下、割合が高い方から「勉強・成績のこと」(26.2%)、「自分の将来や進路のこと」(21.6%)、「友だちのこと」(13.5%)、「自分の体や気持ちのこと」(1.3%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「勉強・成績のこと」では小学5年生の 15.6%に対し、中学2年生は 36.9%となっており、中学2年生の方が高くなっている。「自分の将来や進路のこと」でも小学5年生の 9.5%に対し、中学2年生は 34.5%となっており、中学2年生の方が高くなっている。

【全体】



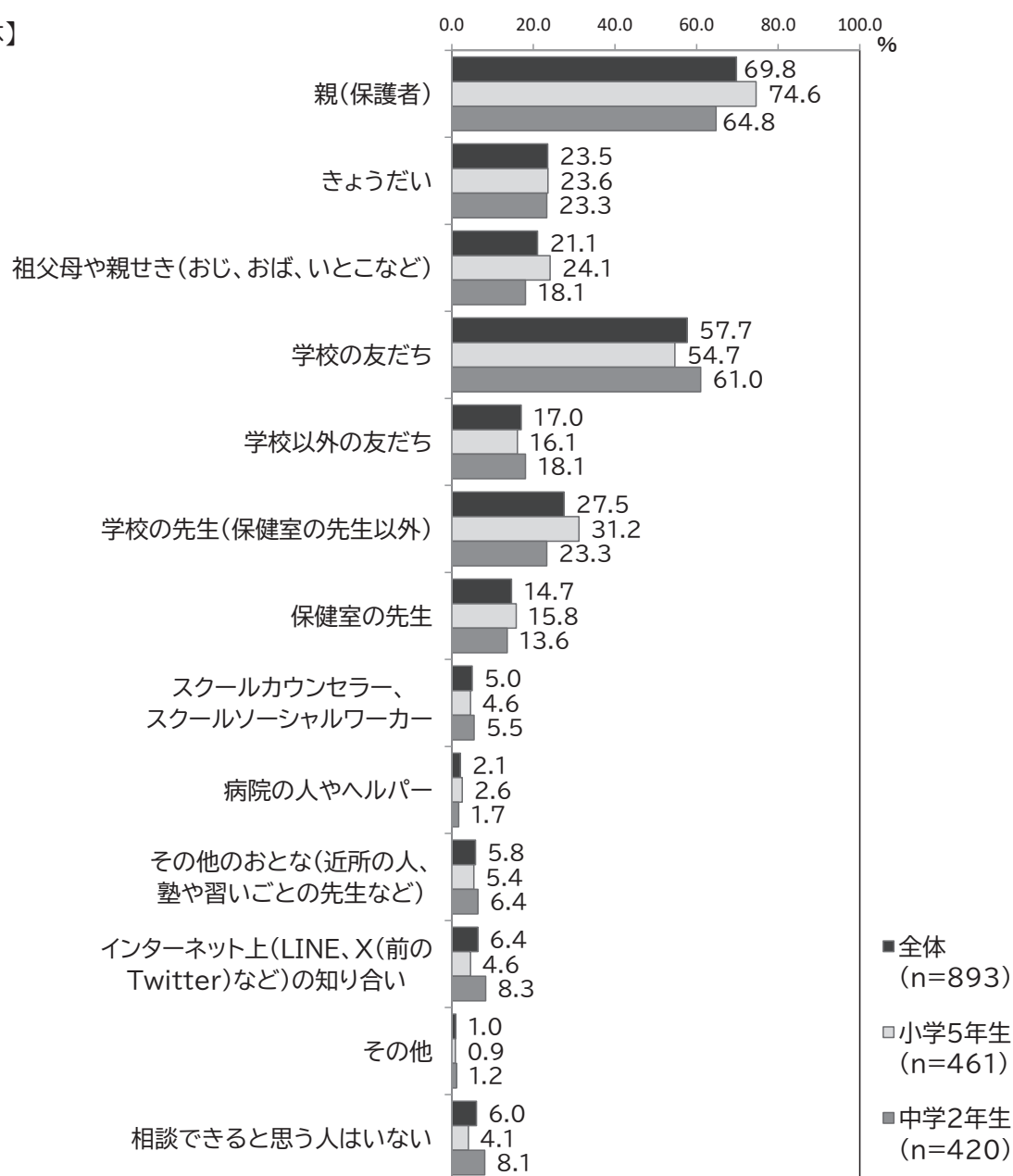
<設問 16-1>

あなたが悩んだり困ったりしたときに相談できると思う人は誰ですか。(〇はいくつでも)

「親（保護者）」の 69.8%が最も高く、以下、割合が高い方から「学校の友だち」（57.7%）、「学校の先生（保健室の先生以外）」（27.5%）、「きょうだい」（23.5%）、「祖父母や親せき（おじ、おば、いとこなど）」（21.1%）の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「親（保護者）」と「学校の先生（保健室の先生以外）」では小学5年生の割合が高くなっている。「学校の友だち」では、中学2年生の方がやや高くなっている。

【全体】



<設問 16-2>

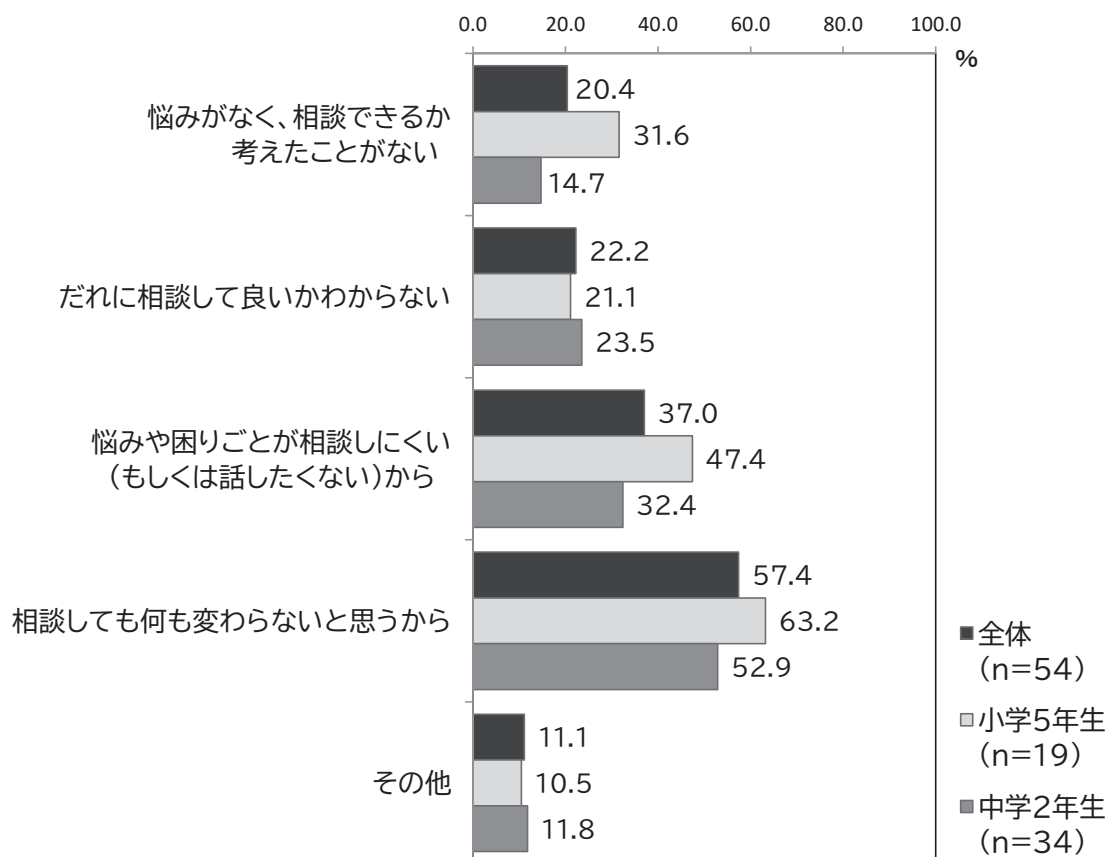
問16-1で「13」と回答した人にのみ表示

あなたが相談できる人はいないと思う理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「相談しても何も変わらないと思うから」の 57.4%が最も高く、以下、割合が高い方から「悩みや困りごとが相談しにくい（もしくは話したくない）から」（37.0%）、「だれに相談して良いかわからない」（22.2%）、「悩みがなく、相談できるか考えたことがない」（20.4%）の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「相談しても何も変わらないと思うから」と「悩みや困りごとが相談しにくい（もしくは話したくない）から」、「悩みがなく、相談できるか考えたことがない」では小学5年生の割合が高くなっている。

【全体】



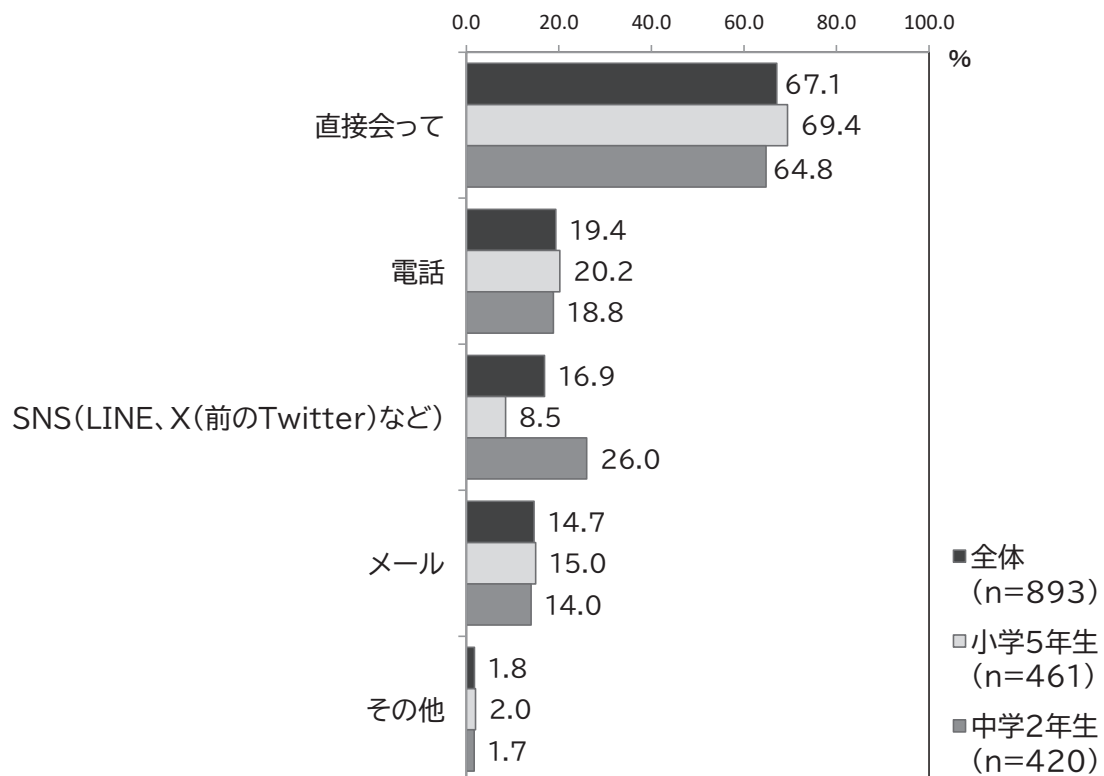
<設問 16-3>

あなたの悩みや困りごとを周りのおとなに相談するとしたら、あなたは、どんな方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。(〇はいくつでも)

「直接会って」の 67.1%が最も高く、以下、割合が高い方から「電話」(19.4%)、「SNS (LINE、X (前の Twitter) など)」(16.9%)、「メール」(14.7%) の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「直接会って」では小学5年生の割合が高く、「SNS (LINE、X (前の Twitter) など)」では中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



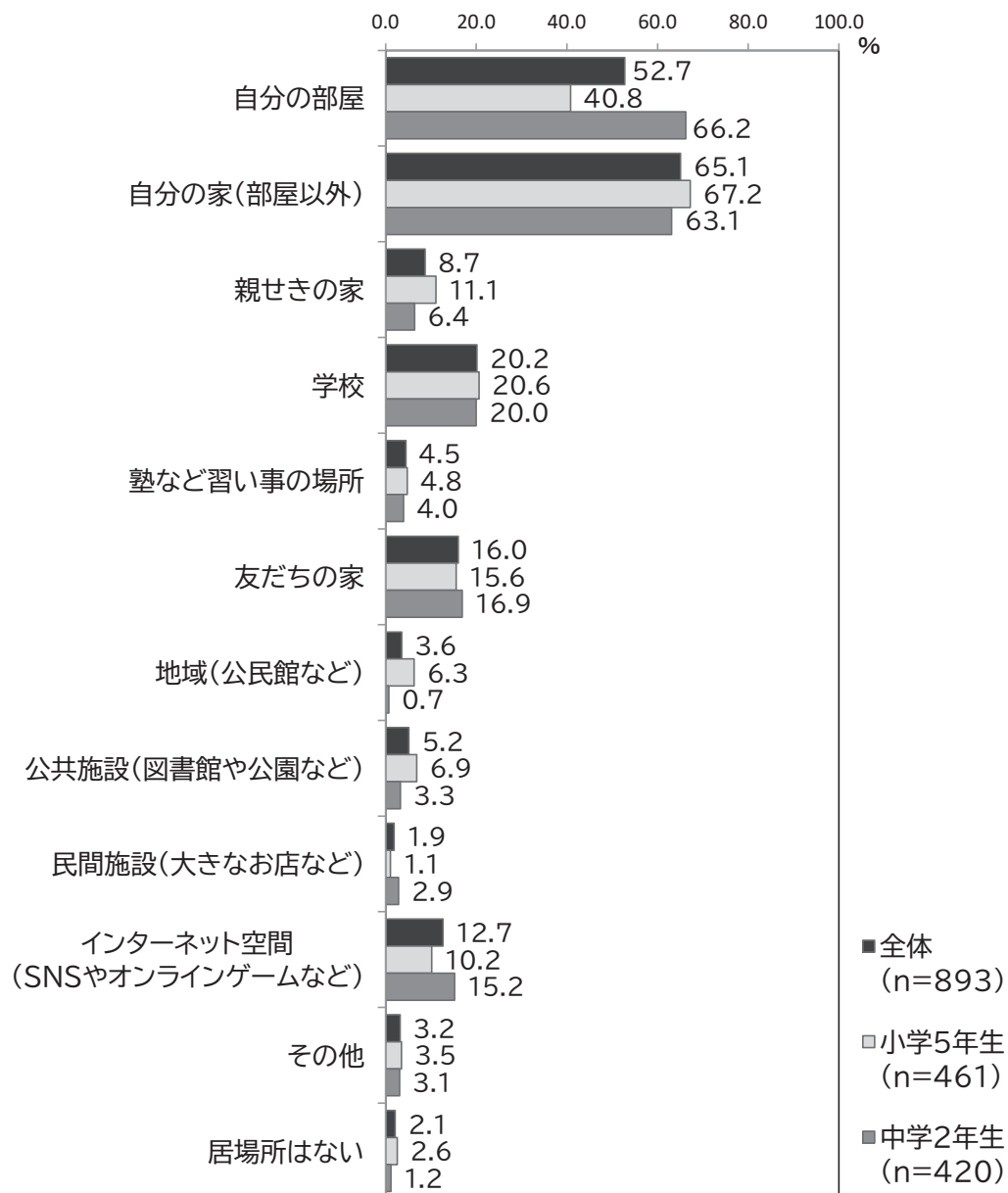
<設問 17>

今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所)となっているのはどこですか。
(〇はいくつでも)

「自分の家(部屋以外)」の 65.1%が最も高く、以下、割合が高い方から「自分の部屋」(52.7%)、「学校」(20.2%)、「友だちの家」(16.0%)、「インターネット空間(SNSやオンラインゲームなど)」(12.7%)の順となっている。「居場所はない」は、2.1%。

小5年生と中学2年生を比較すると、「自分の家(部屋以外)」は小学5年生の割合がやや高く、「自分の部屋」では中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 17-2>

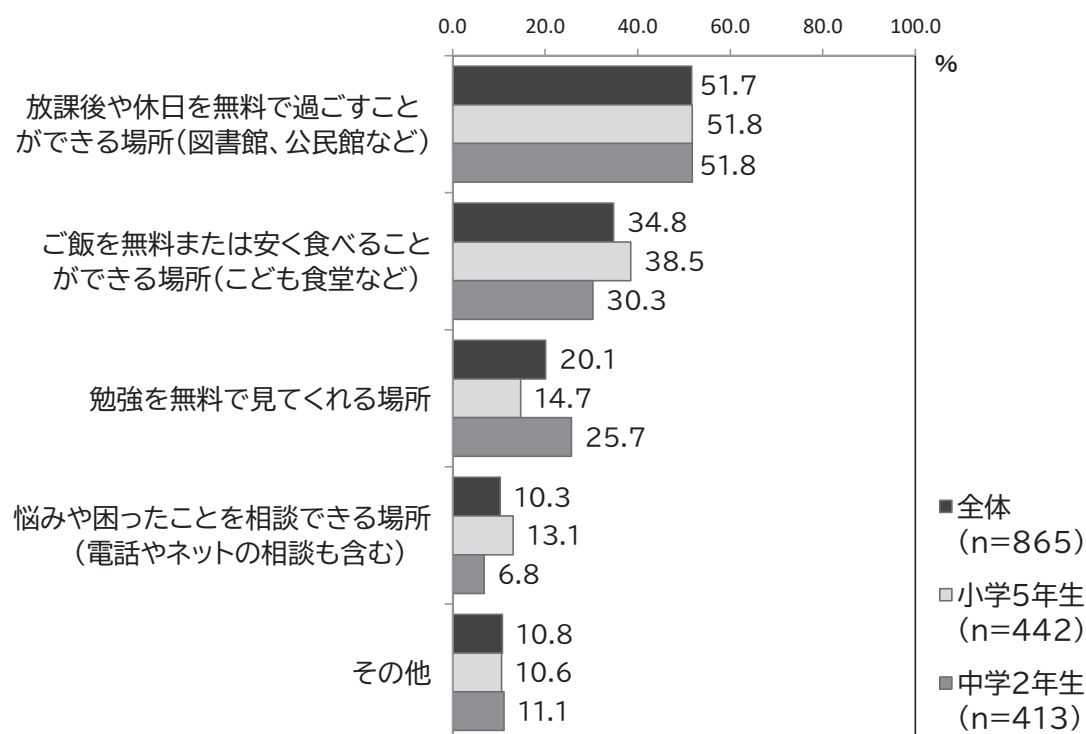
問 17 で「12」以外と回答した人にもみ表示

あなたは、家や学校以外でどのような場所であれば、行ってみたい、利用してみたいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「放課後や休日を無料で過ごすことができる場所（図書館、公民館など）」の51.7%が最も高く、以下、割合が高い方から「ご飯を無料または安く食べることができる場所（こども食堂など）」（34.8%）、「勉強を無料で見てくれる場所」（20.1%）、「悩みや困ったことを相談できる場所（電話やネットの相談も含む）」（10.3%）の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「ご飯を無料または安く食べることができる場所（こども食堂など）」と「悩みや困ったことを相談できる場所（電話やネットの相談も含む）」では小学5年生の割合がやや高く、「勉強を無料で見てくれる場所」では中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



4. あなたが中心にお世話をしている家族について

<設問 18>

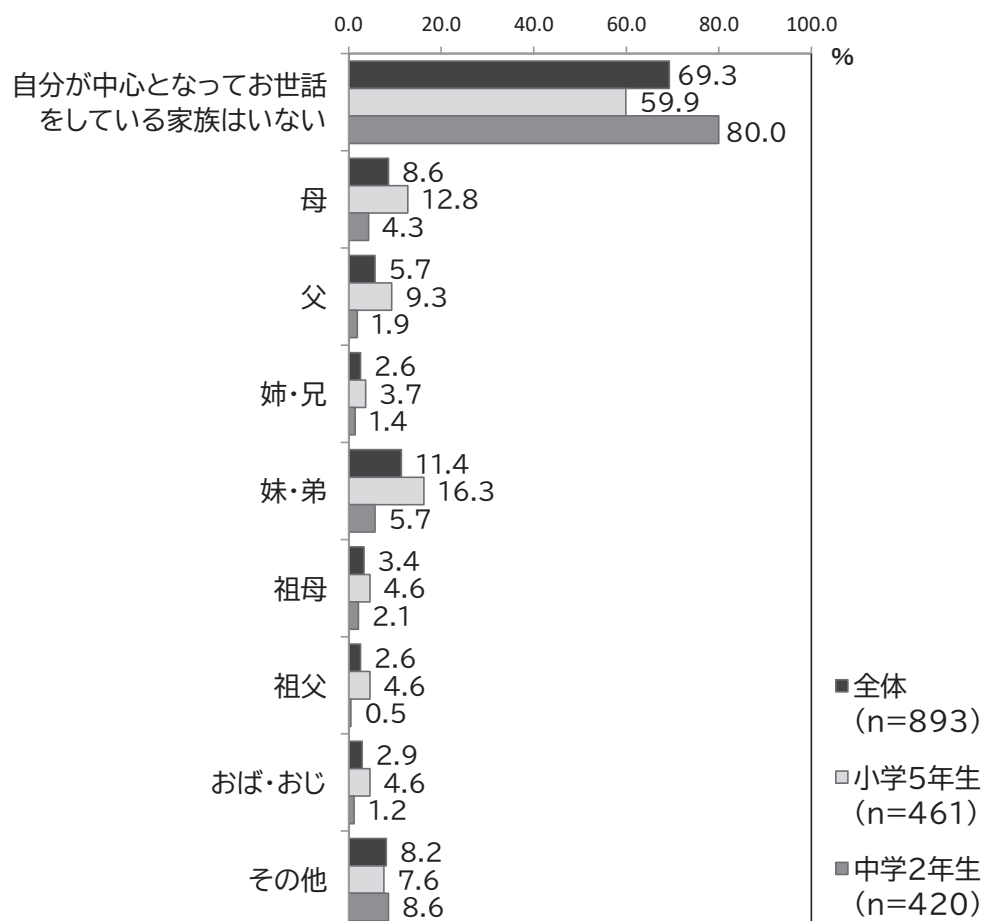
あなたが中心となって、お世話をしている家族の人はいますか。(〇はいくつでも)

※「お世話」とは、本来おとながするような家事や家族のお世話のことです。

「自分が中心となってお世話をしている家族はいない」の 69.3%が最も高く、以下、割合が高い方から「妹・弟」(11.4%)、「母」(8.6%)、「その他」(8.2%) の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「自分が中心となってお世話をしている家族はいない」では中学2年生の割合が高く、「妹・弟」「母」「父」では小学5年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 18-1>

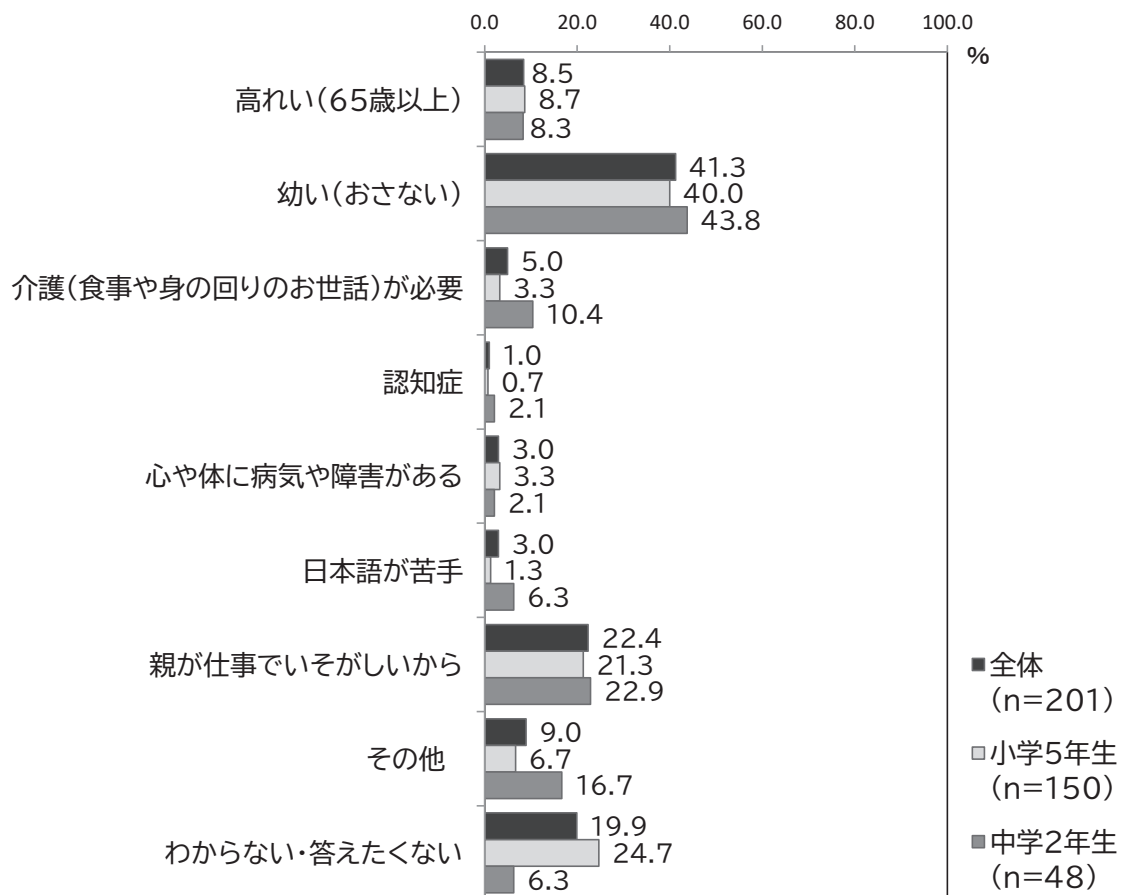
問18で「1」以外と回答した人にのみ表示

あなたがお世話をしている理由を教えてください。(〇はいくつでも)

「若い(おさない)」の41.3%が最も高く、以下、割合が高い方から「親が仕事でいそがしいから」(22.4%)、「わからない・答えたくない」(19.9%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「わからない・答えたくない」では中学2年生の割合が低くなっている。

【全体】



<設問 18-2>

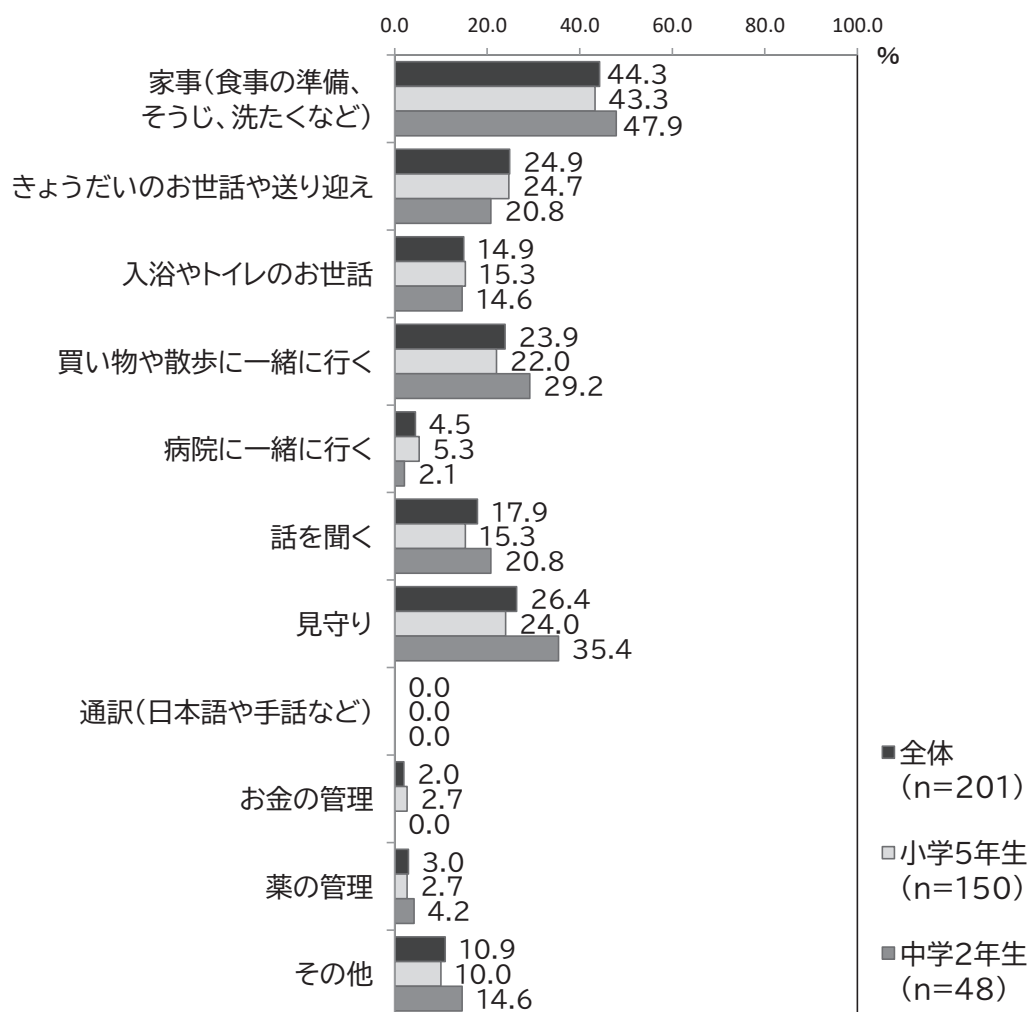
問18で「1」以外と回答した人にもみ表示

あなたはどのようなお世話をしていますか。(〇はいくつでも)

「家事（食事の準備、そうじ、洗たくなど）」の44.3%が最も高く、以下、割合が高い方から「見守り」（26.4%）、「きょうだいのお世話や送り迎え」（24.9%）、「買い物や散歩と一緒にいく」（23.9%）、「話を聞く」（17.9%）、「入浴やトイレのお世話」（14.9%）の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「家事（食事の準備、そうじ、洗たくなど）」「買い物や散歩と一緒にいく」「話を聞く」「見守り」では中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 18-3>

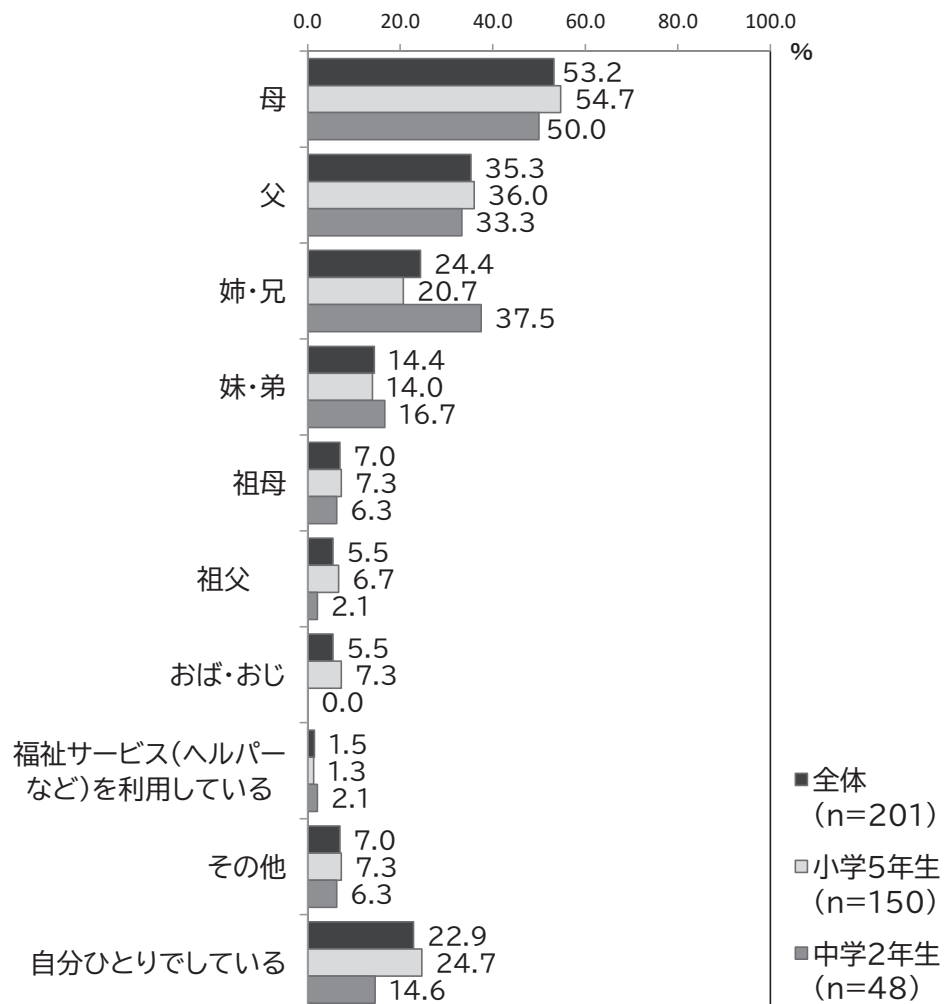
問18で「1」以外と回答した人にもみ表示

あなたは、お世話をだれと一緒にしていますか。(〇はいくつでも)

「母」の 53.2%が最も高く、以下、割合が高い方から「父」(35.3%)、「姉・兄」(24.4%)、「自分ひとりでしている」(22.9%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「姉・兄」では中学2年生の割合が高く、「自分ひとりでしている」では小学5年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 18-4>

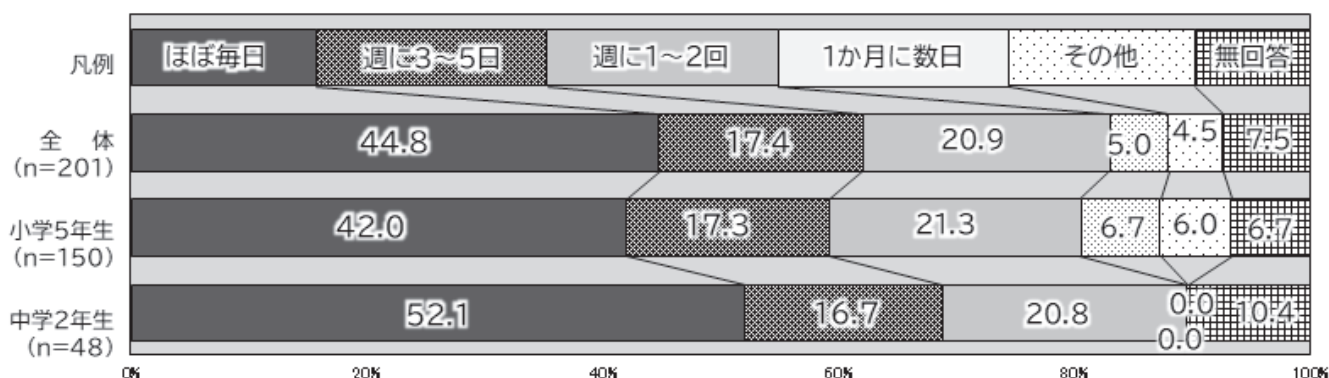
問18で「1」以外と回答した人にもみ表示

あなたは、1週間にどのくらいお世話をしていますか。(〇は1つ)

「ほぼ毎日」の 44.8%が最も高く、以下、割合が高い方から「週に1～2回」(20.9%)、「週に3～5日」(17.4%) の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「ほぼ毎日」では中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 18-5>

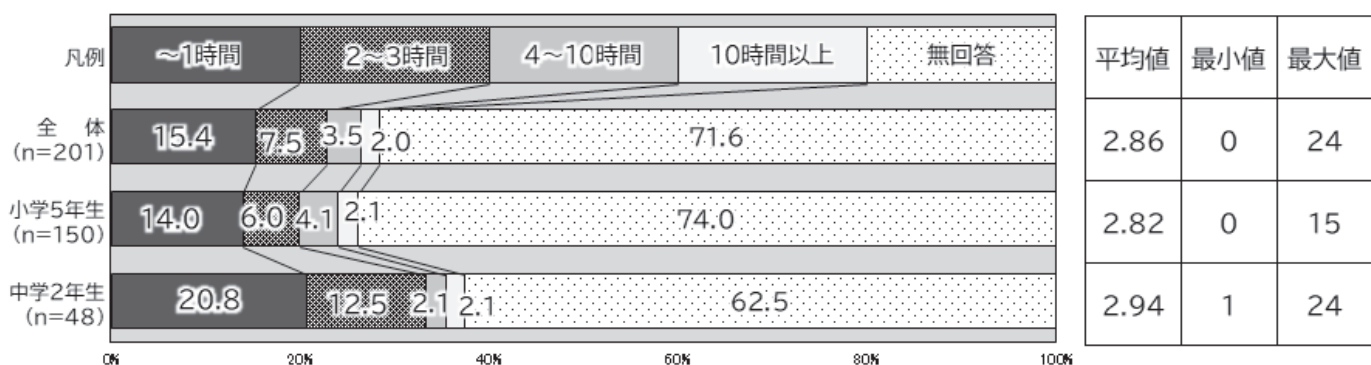
問18で「1」以外と回答した人にもみ表示

あなたは平日、だいたい何時間くらいお世話をしますか。

「1時間以内」の 15.4%が最も高く、以下、割合が高い方から「2～3時間」(7.5%)、「4～10時間」(3.5%)、「10時間以上」(2.0%) の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「1時間以内」と「2～3時間」では中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 18-6>

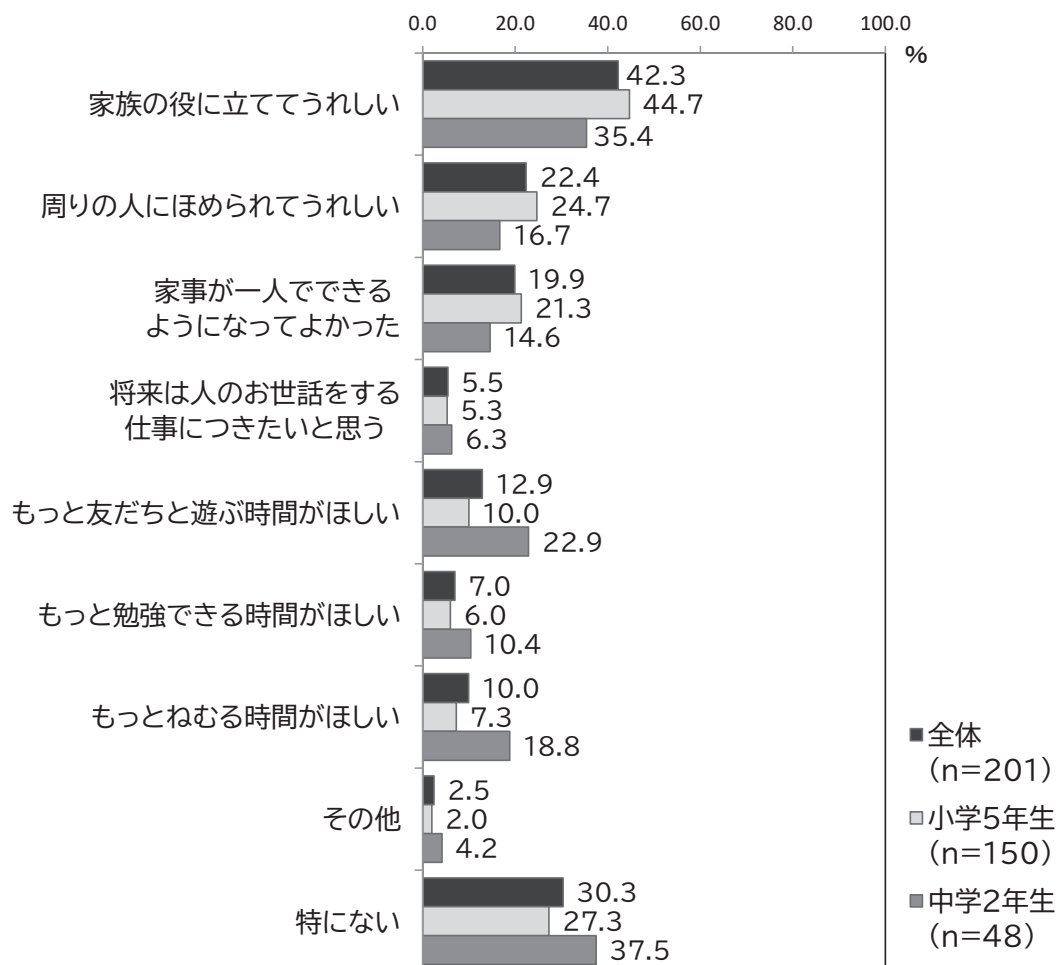
問18で「1」以外と回答した人にもみ表示

あなたがお世話をしている中で、次のことを感じたことはありますか。(〇はいくつでも)

「家族の役に立ててうれしい」の42.3%が最も高く、以下、割合が高い方から「特にない」(30.3%)、「周りの人にほめられてうれしい」(22.4%)、「家事が一人でできるようになってよかった」(19.9%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「家族の役に立ててうれしい」と「周りの人にほめられてうれしい」、「家事が一人でできるようになってよかった」では小学5年生の割合が高くなっている。「もっと友だちと遊ぶ時間がほしい」と「もっと勉強できる時間がほしい」、「もっとねむる時間がほしい」では中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 18-7>

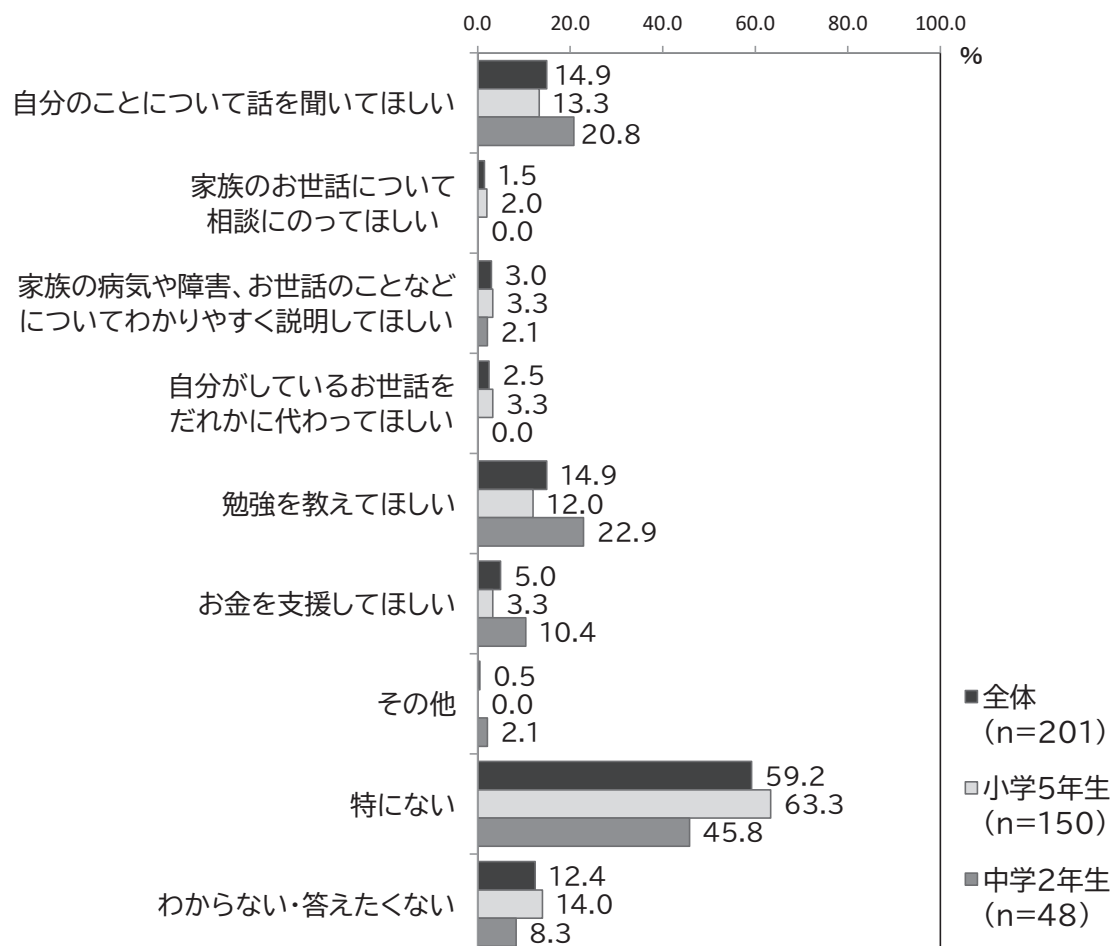
問18で「1」以外と回答した人にもみ表示

あなたが学校や周りの人にしてもらいたいことはありますか。(〇はいくつでも)

「特にない」の 59.2%が最も高く、以下、割合が高い方から「自分のことについて話を聞いてほしい」及び「勉強を教えてほしい」(14.9%)、「わからない・答えたくない」(12.4%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「勉強を教えてほしい」と「自分のことについて話を聞いてほしい」では中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



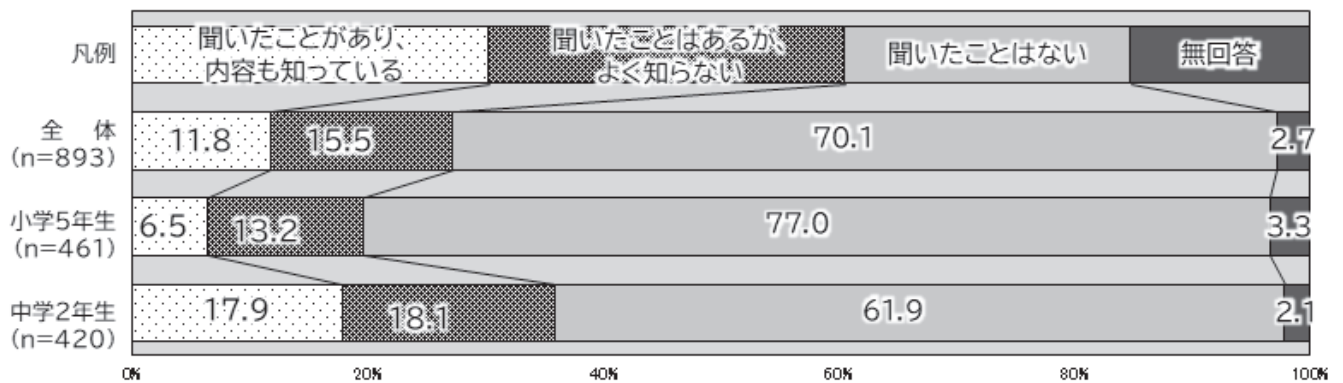
<設問 19>

あなたは、今までに「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

「聞いたことはない」の 70.1%が最も高く、以下、割合が高い方から「聞いたことはあるが、よく知らない」(15.5%)、「聞いたことがあり、内容も知っている」(11.8%)の順となっている。「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、よく知らない」を合わせたに「ヤングケアラー」の認知度は、27.3%。

小5年生と中学2年生を比較すると、「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、よく知らない」のいずれも中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



5. 大牟田市の取組や印象などについて

<設問 20>

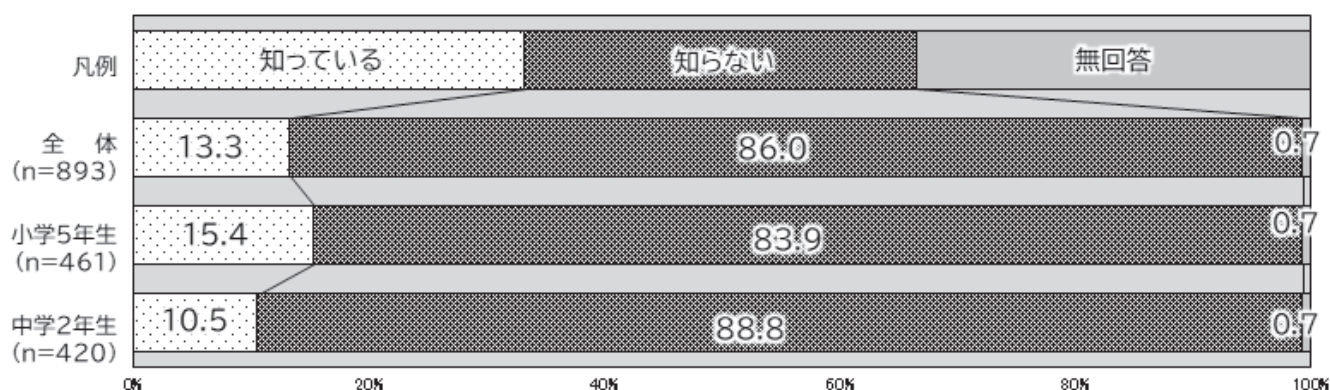
あなたは、大牟田市子ども・子育て応援条例を知っていますか。(○は1つ)

※大牟田市子ども・子育て応援条例とは、大牟田市にいるみんなで子どもや子育てを応援していきましょうという条例(市のルール)です。

「知らない」が 86.0%で、「知っている」は 13.3%となっており、認知度は低くなっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「知っている」は、小学5年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 21>

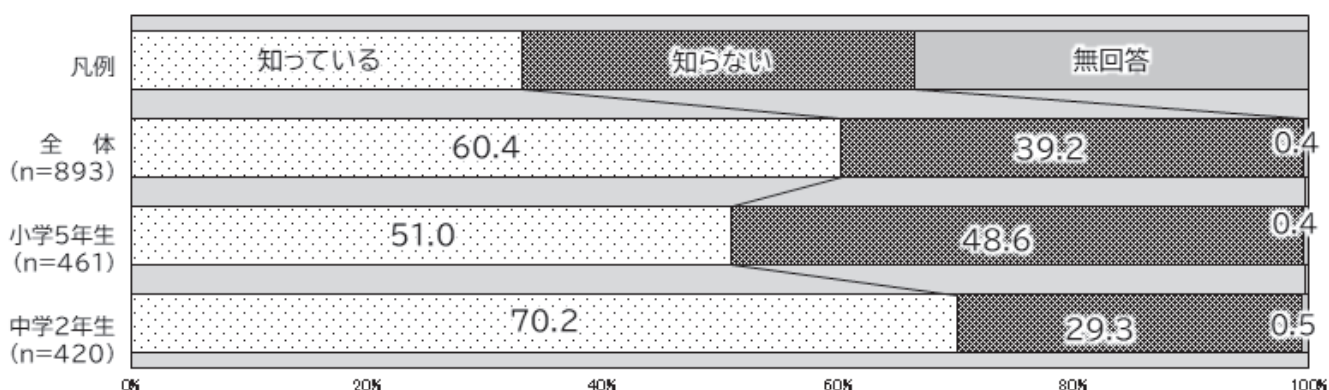
あなたは、子どもにはみんな権利があること(子どもの権利)を知っていますか。(○は1つ)

※子どもの権利とは、子どもはみな生まれながらに一人一人「生きること・守られること・育つこと・参加すること」といった権利を持っているというものです。

「知っている」が 60.4%で、「知らない」は 39.2%となっており、認知度は比較的高くなっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「知っている」は、中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 22>

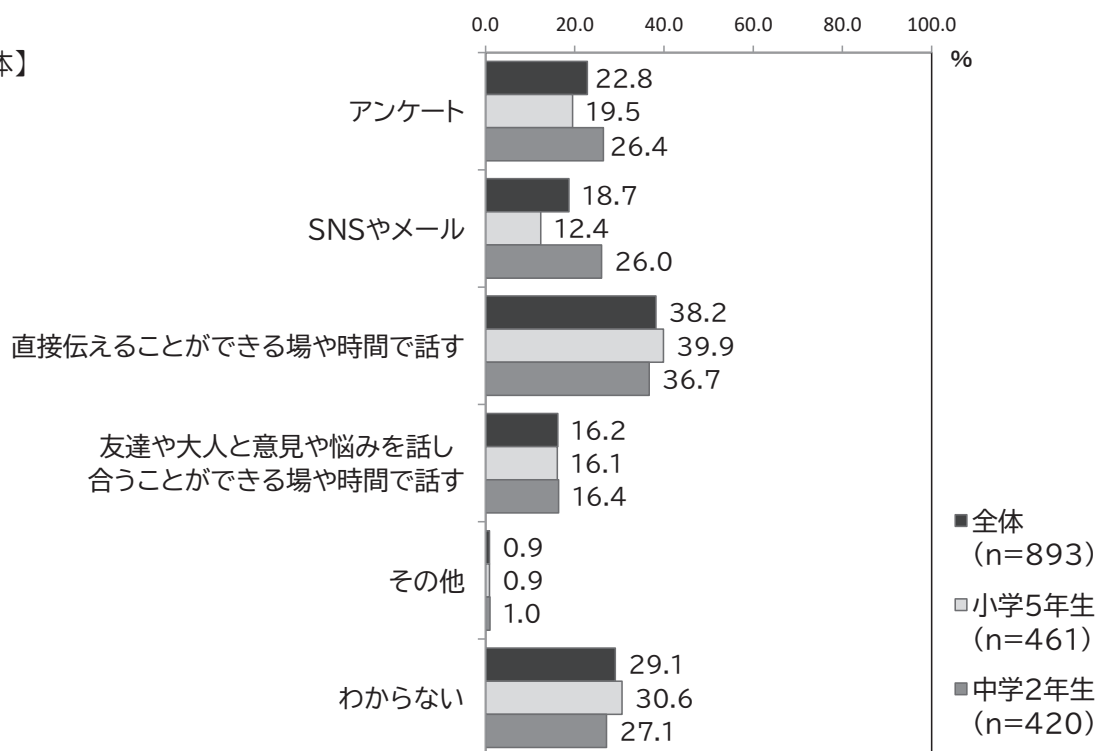
あなたや友達が大人に対して意見や伝えたいがある時、どんな方法だったら伝えやすいですか。

(○はいくつでも)

「直接伝えることができる場や時間で話す」の 38.2%が最も高く、以下、割合が高い方から「わからない」(29.1%)、「アンケート」(22.8%)、「SNS やメール」(18.7%)、「友達や大人と意見や悩みを話し合うことができる場や時間で話す」(16.2%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「アンケート」と「SNS やメール」は中学2年生の割合が高くなっている。

【全体】



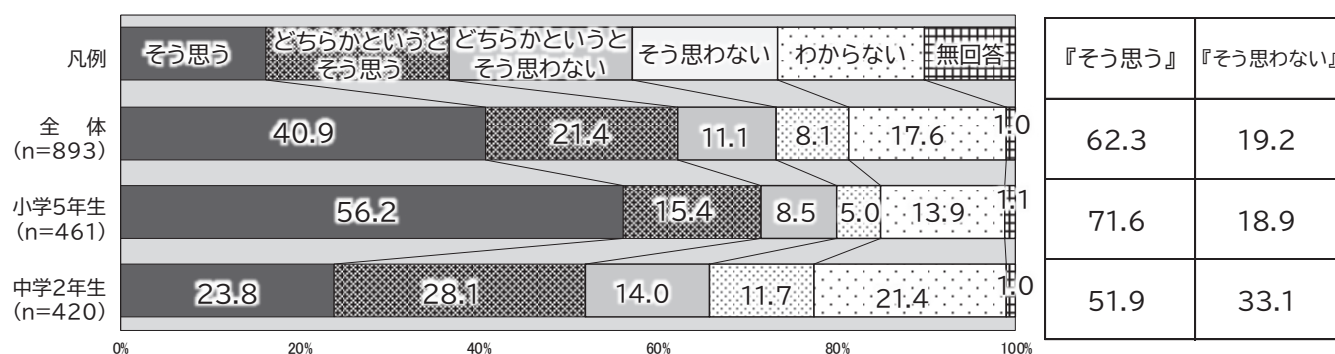
<設問 23>

あなたは、今後も大牟田市に住み続けたい(市外の方は、住んでみたい)と思いますか。(○は1つ)

「そう思う」の 40.9%が最も高く、これに「どちらかというと思う」の 21.4%が続いている。「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『そう思う』の割合は 62.3%。一方、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』の人は 19.2%となっている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、『そう思う』は小学5年生の 71.6%に対し、中学2年生は 51.9%となっており、中学2年生の方が住み続けたいと思っている人が少ない結果となっている。

【全体】



<設問 23-1>

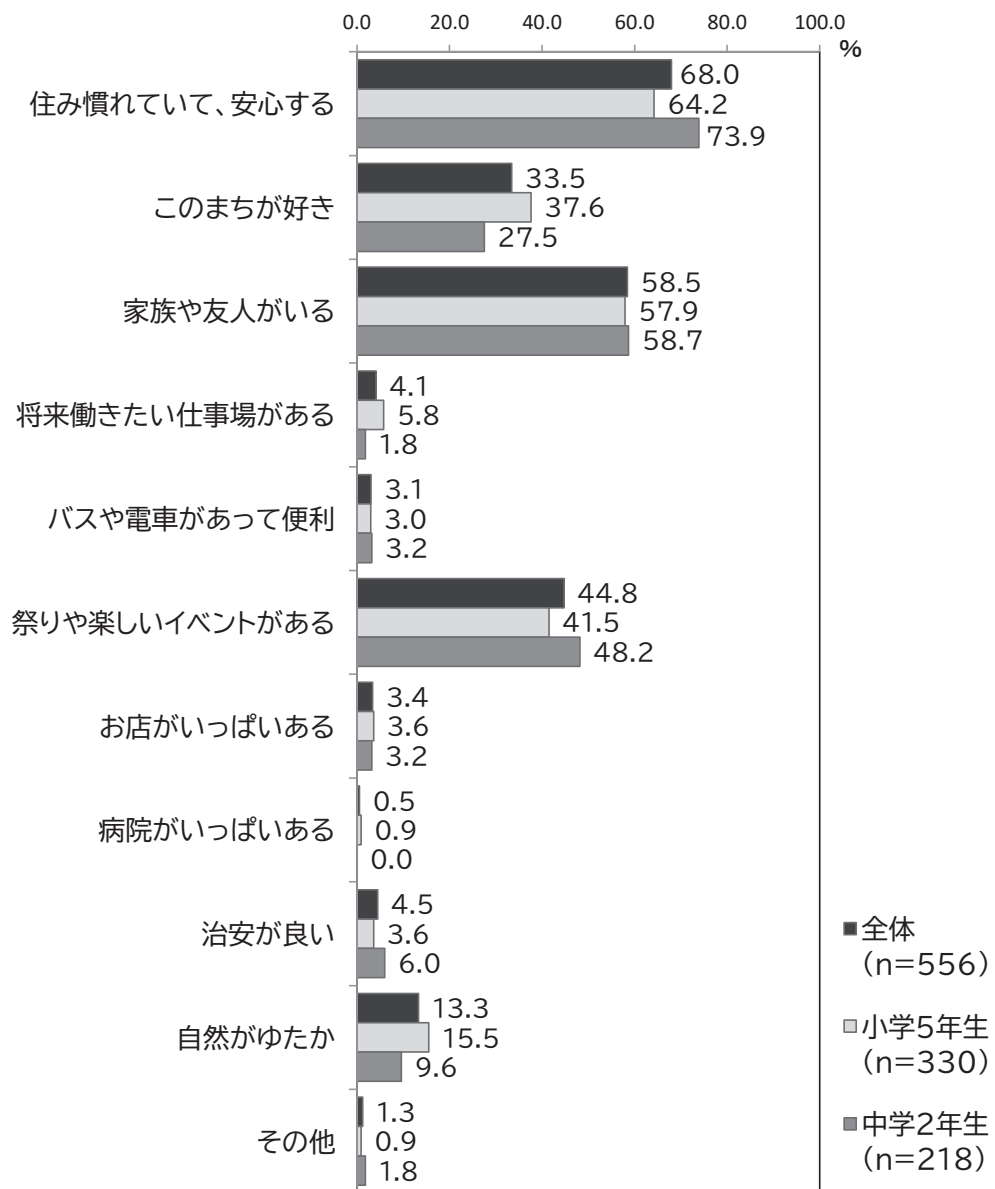
問23で「1」「2」と回答した人にもみ表示

今後も住み続けたい(市外の方は、住んでみたい)と思う理由は何ですか。(○は3つまで)

「住み慣れていて、安心する」の 68.0%が最も高く、以下、割合が高い方から「家族や友人がいる」(58.5%)、「祭りや楽しいイベントがある」(44.8%)、「このまちが好き」(33.5%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「住み慣れていて、安心する」と「祭りや楽しいイベントがある」は中学2年生の割合が高くなっている。「このまちが好き」と「自然がゆたか」は小学5年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 23-2>

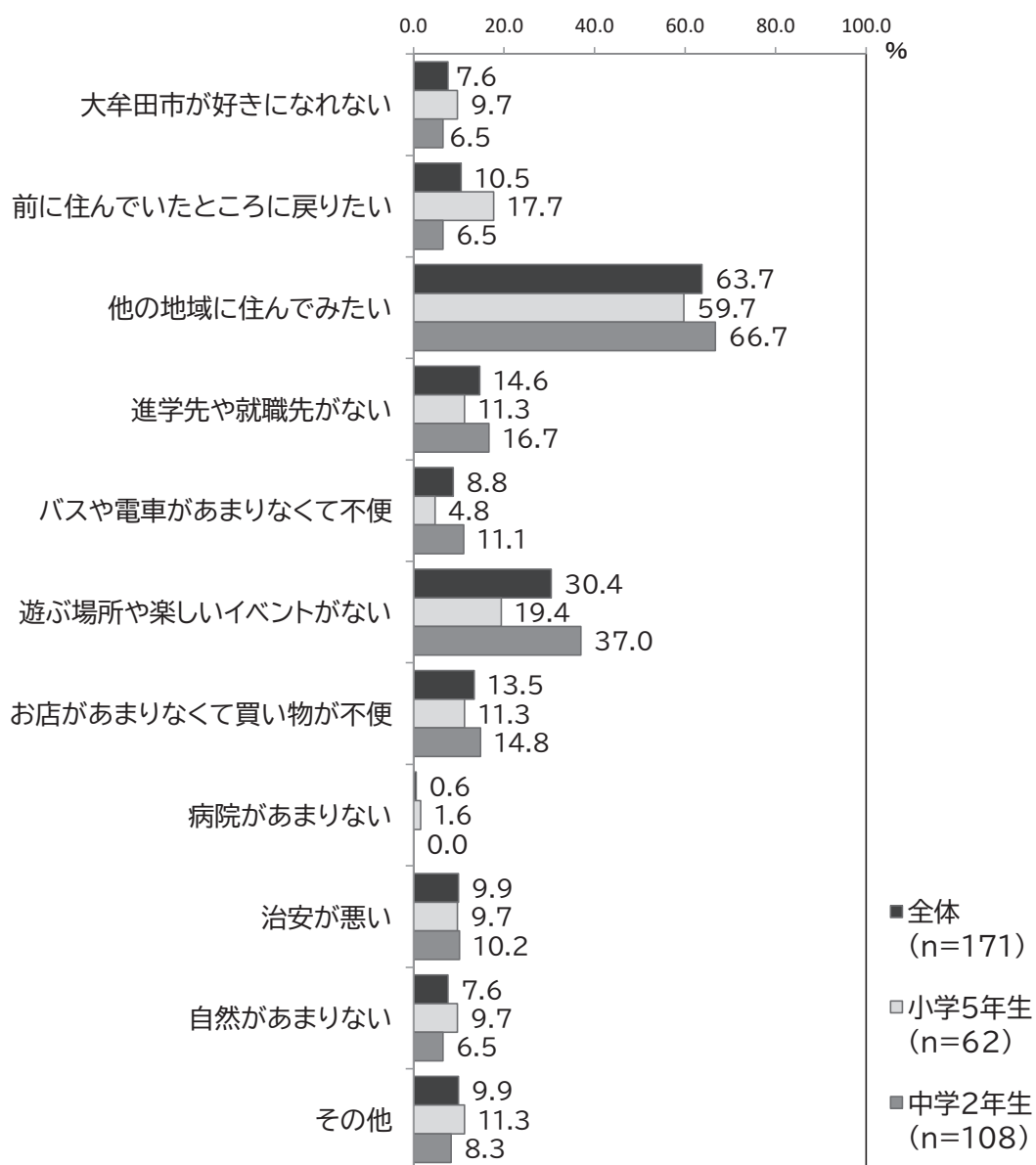
問23で「3」「4」と回答した人にもみ表示

今後も住み続けたい(市外の方は、住んでみたい)と思わない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「他の地域に住んでみたい」の 63.7%が最も高く、以下、割合が高い方から「遊ぶ場所や楽しいイベントがない」(30.4%)、「進学先や就職先がない」(14.6%)、「お店があまりなくて買い物が不便」(13.5%)の順となっている。

小5年生と中学2年生を比較すると、「他の地域に住んでみたい」と「遊ぶ場所や楽しいイベントがない」、「進学先や就職先がない」、「バスや電車があまりなくて不便」は中学2年生の割合が高くなっている。「前に住んでいたところに戻りたい」は小学5年生の割合が高くなっている。

【全体】



<設問 24>

あなたは自分の家庭や学校生活、住んでいる地域に満足していますか。（それぞれ、○を1つ）

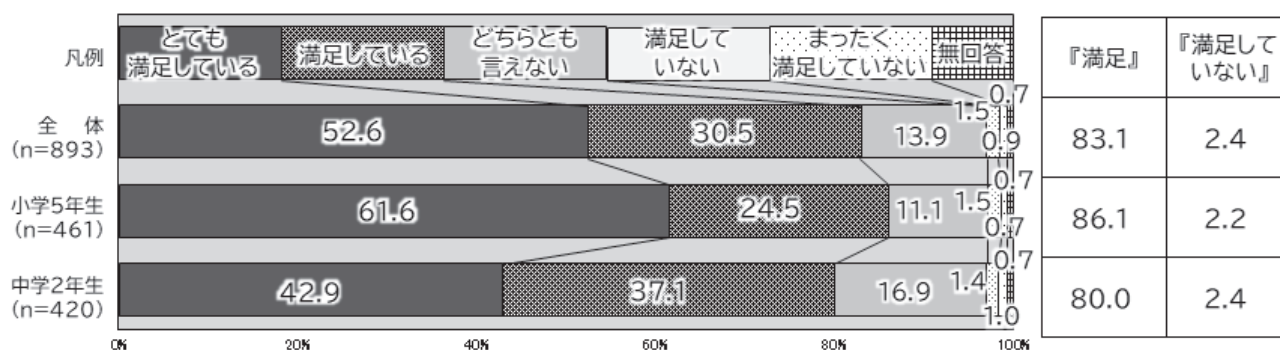
（１）家庭

（２）

「とても満足している」の 52.6%が最も高く、これに「満足している」の 30.5%が続いている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足している』の割合は 83.1%。一方、「満足していない」と「まったく満足していない」を合わせた『満足していない』の人は 2.4%となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、『満足している』は小学 5 年生の 86.1%に対し、中学 2 年生は 80.0%となっており、中学 2 年生の方が『満足している』人が少ない結果となっている。

【全体】

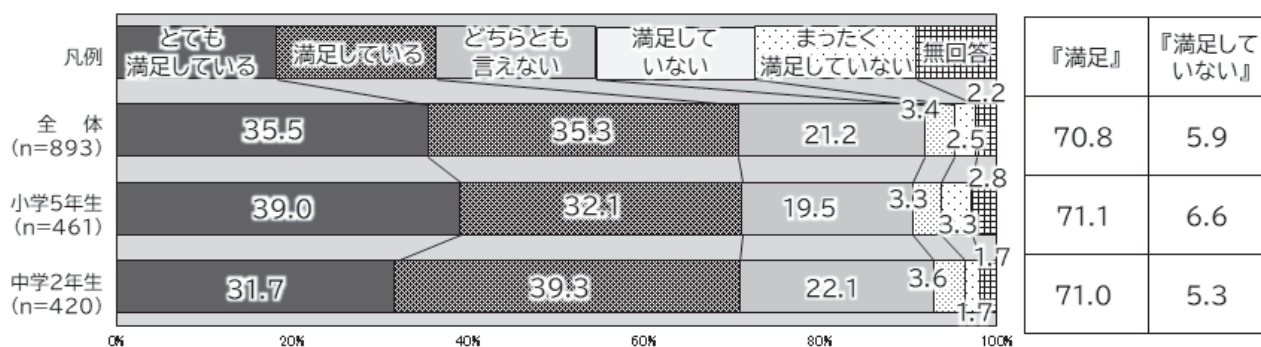


（２）学校生活

「とても満足している」の 35.5%が最も高く、これに「満足している」の 35.3%が続いている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足している』の割合は 70.8%。一方、「満足していない」と「まったく満足していない」を合わせた『満足していない』の人は 5.9%となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、「とても満足している」は小学 5 年生の 39.0%に対し、中学 2 年生は 31.7%となっており、小学 5 年生の方が「とても満足している」人が多い結果となっている。

【全体】

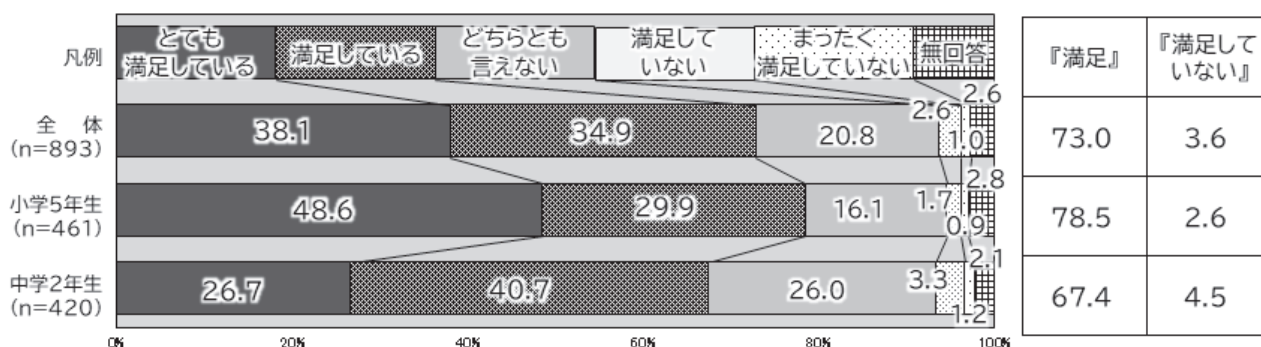


(3) 地域

「とても満足している」の 38.1%が最も高く、これに「満足している」の 34.9%が続いている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足している』の割合は 73.0%。一方、「満足していない」と「まったく満足していない」を合わせた『満足していない』の人は 3.6%となっている。

小学5年生と中学2年生を比較すると、「とても満足している」は小学5年生の 48.6%に対し、中学2年生は 26.7%となっており、小学5年生の方が「とても満足している」人が多い結果となっている。

【全体】



<設問 25>

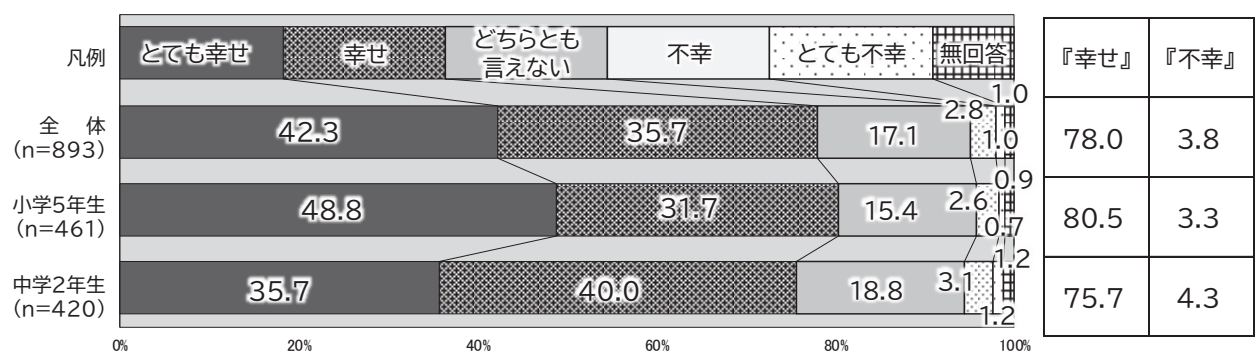
あなたは、現在、どのくらい幸せを感じていますか。(○は1つ)

「とても幸せ」の 42.3%が最も高く、これに「幸せ」の 35.7%が続いている。「とても幸せ」と「幸せ」を合わせた『幸せ』の割合は 78.0%。一方、「不幸」と「とても不幸」を合わせた『不幸』の人は 3.8%となっている。

小学 5 年生と中学 2 年生を比較すると、「とても幸せ」は小学 5 年生の 48.8%に対し、中学 2 年生は 35.7%となっており、小学 5 年生の方が「とても幸せ」な人が多い結果となっている。

「家庭」「学校生活」「地域」の満足度それぞれについて、満足度が高くなるほど幸せの割合が高くなる傾向が認められた。

【全体】



【「家庭」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合計	とても 幸せ	幸 せ	言 え な い と も	不 幸	と も 不 幸	無 回 答
合計	893	378	319	153	25	9	9
	100.0%	42.3%	35.7%	17.1%	2.8%	1.0%	1.0%
■「家庭」の満足度別							
とても満足している	470	313	121	25	5	1	5
	100.0%	66.6%	25.7%	5.3%	1.1%	0.2%	1.1%
満足している	272	46	159	61	3	2	1
	100.0%	16.9%	58.5%	22.4%	1.1%	0.7%	0.4%
どちらとも言えない	124	13	36	60	13	2	0
	100.0%	10.5%	29.0%	48.4%	10.5%	1.6%	0.0%
満足していない	13	2	2	4	3	1	1
	100.0%	15.4%	15.4%	30.8%	23.1%	7.7%	7.7%
まったく満足していない	8	1	0	2	1	3	1
	100.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	37.5%	12.5%
無回答	6	3	1	1	0	0	1
	100.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%

【「学校生活」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合計	とても 幸せ	幸 せ	言 え な い と も	不 幸	と も 不 幸	無 回 答
合計	893	378	319	153	25	9	9
	100.0%	42.3%	35.7%	17.1%	2.8%	1.0%	1.0%
■「学校生活」の満足度別							
とても満足している	317	229	72	12	0	0	4
	100.0%	72.2%	22.7%	3.8%	0.0%	0.0%	1.3%
満足している	315	102	162	45	1	2	3
	100.0%	32.4%	51.4%	14.3%	0.3%	0.6%	1.0%
どちらとも言えない	189	33	65	75	12	3	1
	100.0%	17.5%	34.4%	39.7%	6.3%	1.6%	0.5%
満足していない	30	1	6	15	7	1	0
	100.0%	3.3%	20.0%	50.0%	23.3%	3.3%	0.0%
まったく満足していない	22	6	5	4	4	3	0
	100.0%	27.3%	22.7%	18.2%	18.2%	13.6%	0.0%
無回答	20	7	9	2	1	0	1
	100.0%	35.0%	45.0%	10.0%	5.0%	0.0%	5.0%

【「地域」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合 計	と と も 幸 せ	幸 せ	ど ち ら も 言 え な い	不 幸	と と も 不 幸	無 回 答
合計	893	378	319	153	25	9	9
	100.0%	42.3%	35.7%	17.1%	2.8%	1.0%	1.0%
■「地域」の満足度別							
とても満足している	340	227	78	24	3	3	5
	100.0%	66.8%	22.9%	7.1%	0.9%	0.9%	1.5%
満足している	312	102	162	42	5	0	1
	100.0%	32.7%	51.9%	13.5%	1.6%	0.0%	0.3%
どちらとも言えない	186	35	63	75	10	3	0
	100.0%	18.8%	33.9%	40.3%	5.4%	1.6%	0.0%
満足していない	23	5	4	9	3	1	1
	100.0%	21.7%	17.4%	39.1%	13.0%	4.3%	4.3%
まったく満足していない	9	2	1	1	2	2	1
	100.0%	22.2%	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%
無回答	23	7	11	2	2	0	1
	100.0%	30.4%	47.8%	8.7%	8.7%	0.0%	4.3%

＜小学5年生・中学2年生 の保護者対象調査＞

I 調査の概要

I 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

大牟田市（以下「発注者」という。）がこども基本法第10条第2項に基づき、令和7年度から11年度までの5年間を計画期間とする「大牟田市こども計画」（以下「こども計画」という。）の策定に向けて、その基礎資料とするためのニーズ調査を実施する。

なお、こども計画は、こども基本法第10条第5項の規定に基づく子どもに関する各種計画を一体化したものとして策定することを想定している。

これらについて、ニーズ調査の実施及び調査結果に対する分析に関する業務及び子どもの人口推計に関する業務の委託を行うもの。

2. 調査設計

（1）調査対象地域 大牟田市内全域

（2）調査対象

市内に在住する小学5年生・中学2年生の保護者 約 1,750 人

（3）調査方法

学校を通じて案内文（web ページの URL、QR コード、個別 ID 入り）を配布し、web ページにより回答

（4）調査期間

令和6年7月1日～令和6年7月22日

（5）有効回答率

小学5年生保護者 172 票

中学2年生保護者 125 票

両方の保護者 22 票

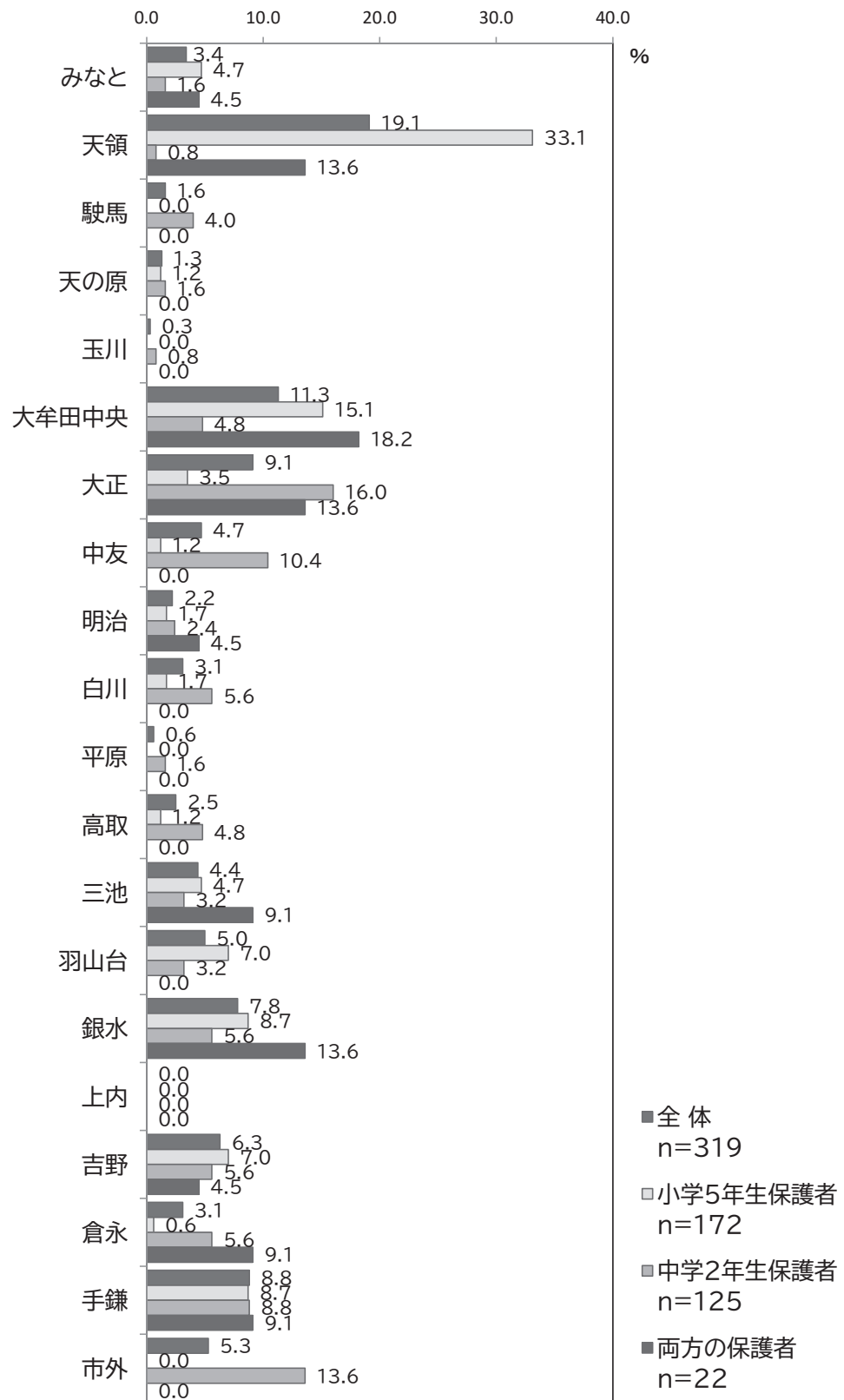
合計 319 票（有効回答率 約 18.2%）

3. 本報告書の見方

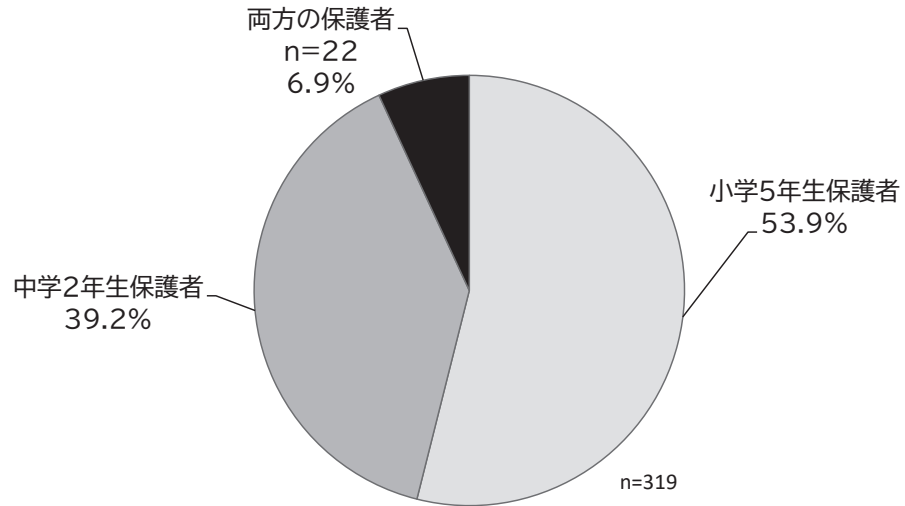
- 回答割合は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答を可とした質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 文中では選択肢を「 」で示した。数表・図表は、スペースの都合上、調査票の文言を省略して表記している場合がある。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示している。
- 表・グラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。
- 単純集計・クロス集計の図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をする事が難しいので、回答の傾向をみる程度になる。
- 表・グラフ中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難な回答である。

4. 回答者の基本属性

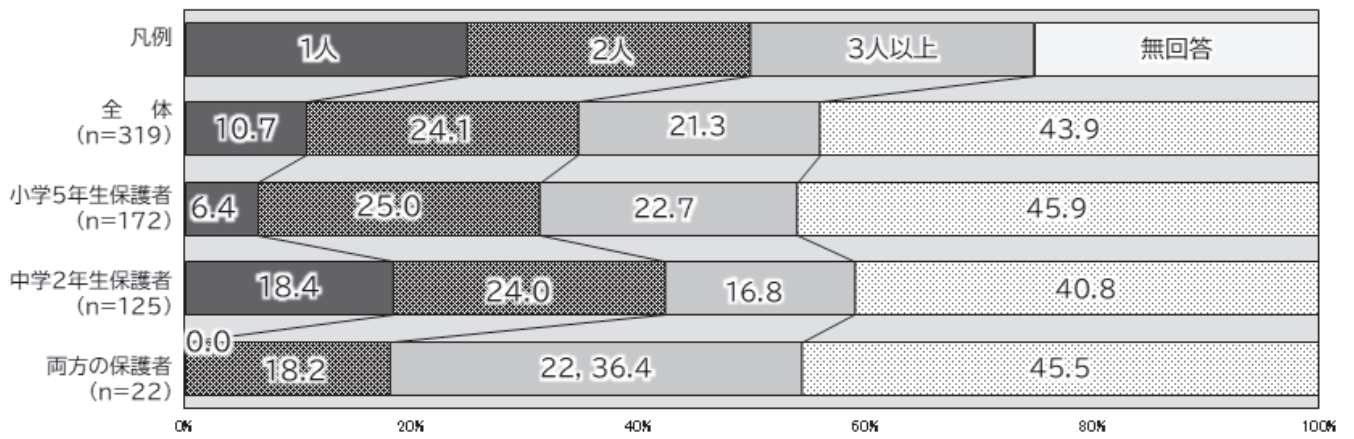
■お住まいの小学校区



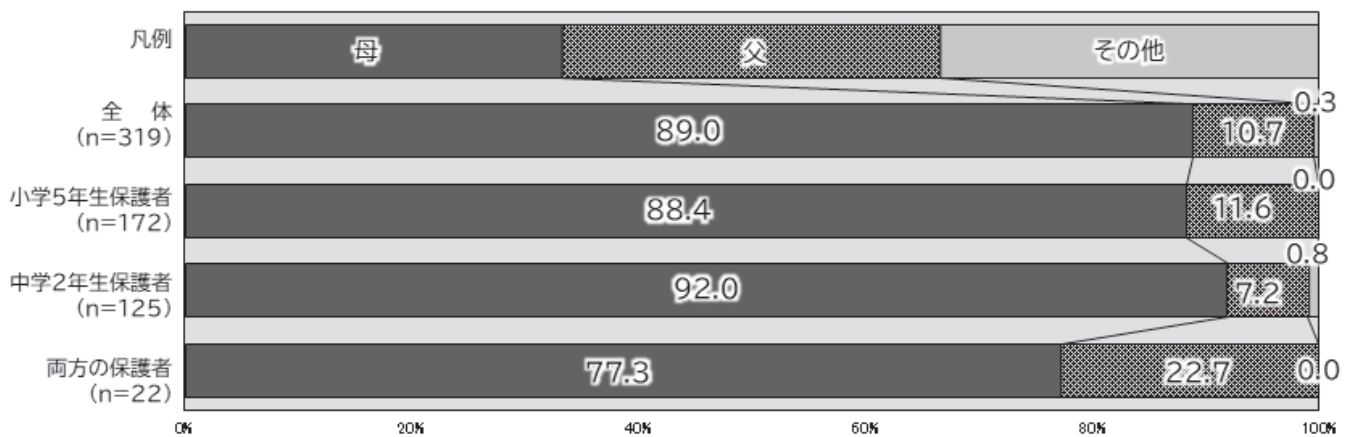
■お子さんの学年



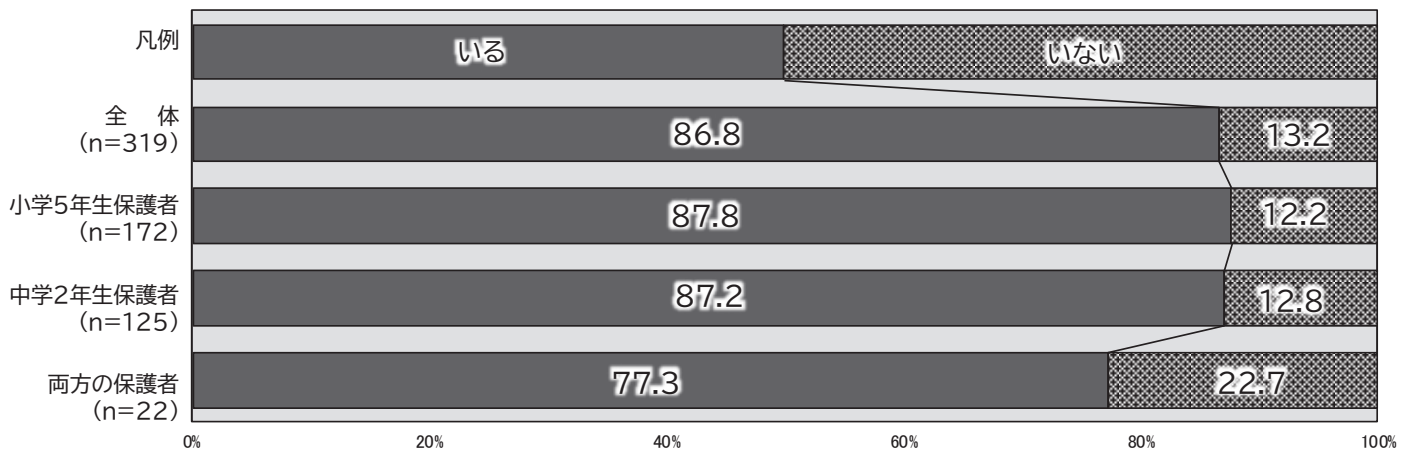
■高校生の年齢までのお子さんの数



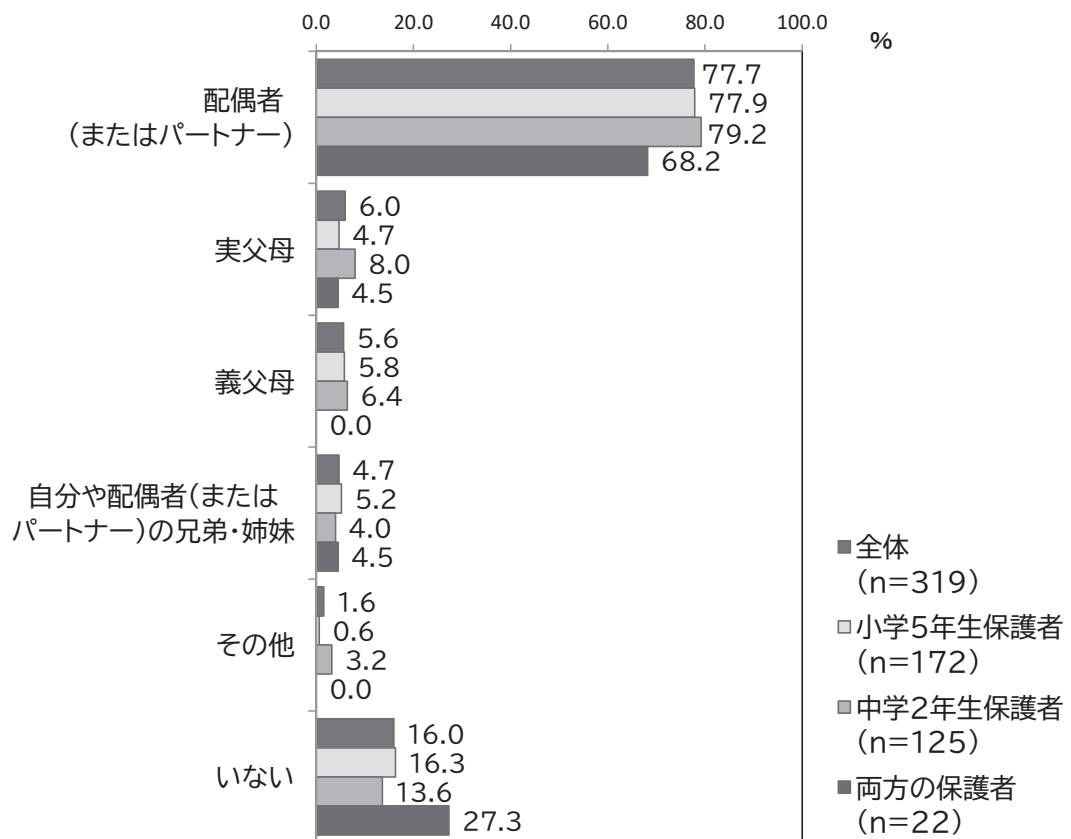
■お子さんから見た続柄



■配偶者の有無



■一緒に暮らしている人



Ⅱ 調査結果

II 調査結果

1. 子育ての環境や生活状況について

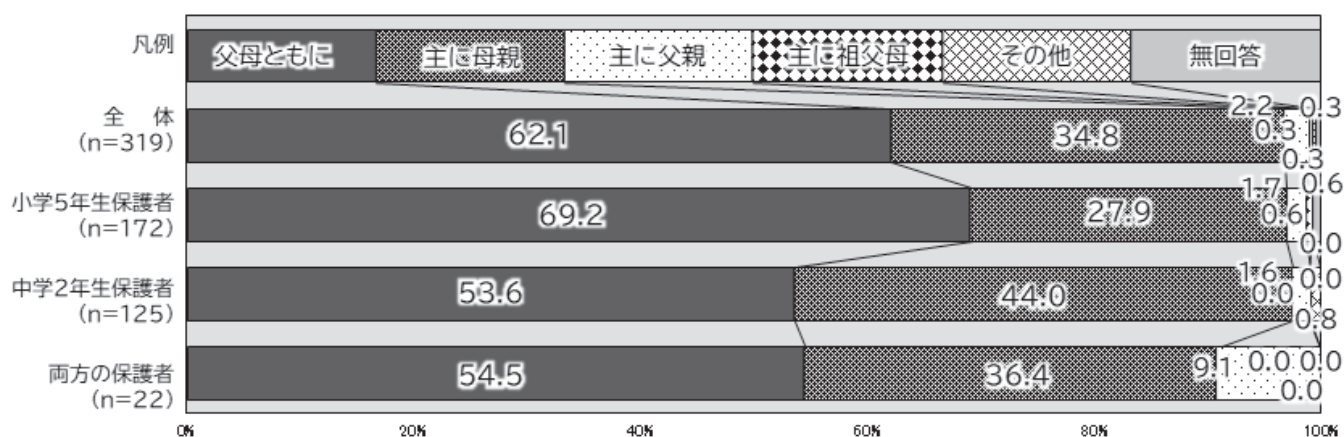
<設問 7>

お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。(○は1つ)

「父母ともに」の 62.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「主に母親」(34.8%)、「主に父親」(2.2%) の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「父母ともに」の割合が小学5年生の 69.2%に対し、中学2年生では 53.6%。「主に母親」の割合は小学5年生の 27.9%に対し、中学2年生では 44.0%となっており、大きな差が認められる。

【全体及び学年別】



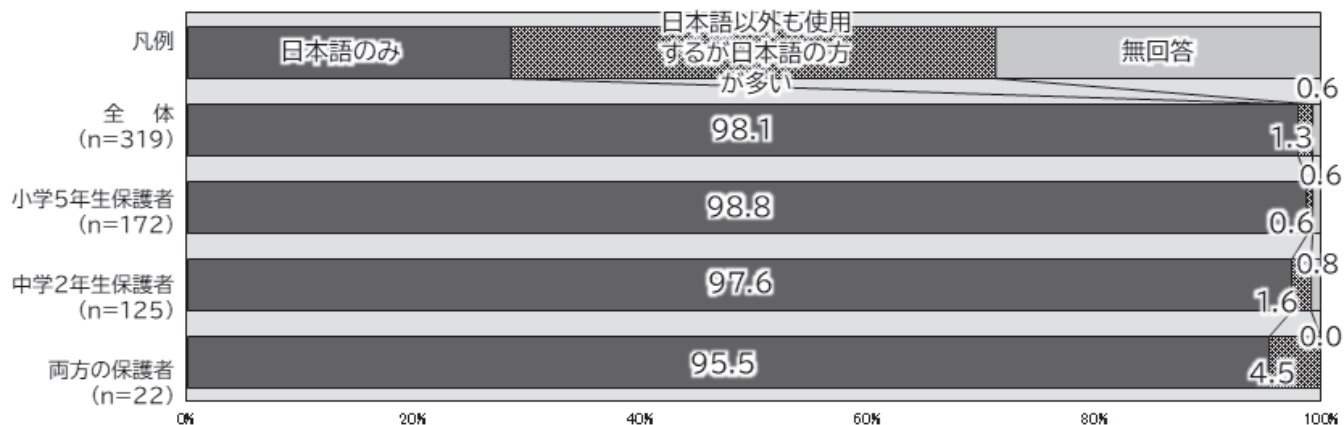
<設問 8>

あなたのご家庭では、日本語以外の言語を使用していますか。(○は1つ)

「日本語のみ」が最も高く、以下、回答者全体の 98.1%を占める。「日本語以外も使用するが、日本語の方が多い」は 1.3%。

これを小学5年生・中学2年生別では大きな差は認められない。

【全体及び学年別】



<設問 8-1>

日本語以外で良く使う日本語以外の言語は何ですか。(○は1つ)

日本語以外で良く使う日本語以外の言語についての記載はなし。

【全体及び学年別】

	合 計	英 語	中 国 語	韓 国 語	ベトナム語	タガログ語	そ の 他	無 回 答
全 体	319	0	0	0	0	0	0	319
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
■お子さんの学年別								
小学5年生	172	0	0	0	0	0	0	172
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
中学2年生	125	0	0	0	0	0	0	125
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
両方	22	0	0	0	0	0	0	22
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

<設問 9>

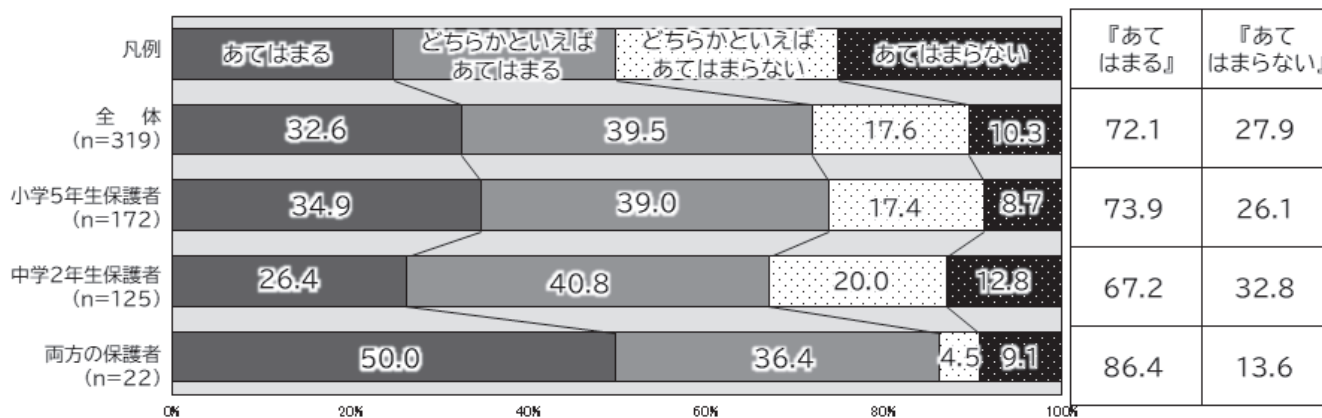
あなたとお子さんとの関わり方についてお答えください。（それぞれ、○を1つ）

（１）子どものテレビ・ゲーム・インターネットの利用について、利用時間などのルールを決めている

「どちらかといえばあてはまる」の 39.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「あてはまる」（32.6%）、「どちらかといえばあてはまらない」（17.6%）の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』が 72.1%で、『あてはまらない』（「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」）は 27.9%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、『あてはまる』の割合は小学 5 年生の 73.9%に対し、中学 2 年生では 67.2%と、小学 5 年生の方が高くなっている。小学 5 年生と中学 2 年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数 22 件）で『あてはまる』は、86.4%となっている。

【全体及び学年別】

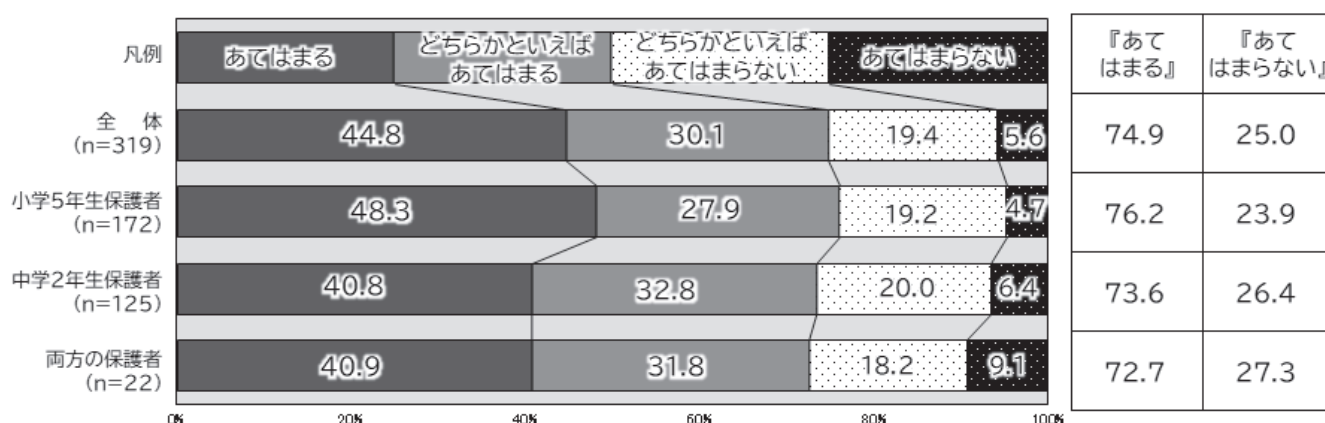


（２）子どもが小さい頃、絵本の読み聞かせをしていた

「あてはまる」の 44.8%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばあてはまる」(30.1%)、「どちらかといえばあてはまらない」(19.4%) の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 74.9%で、『あてはまらない』(「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」) は 25.0%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、選択肢を統合した『あてはまる』と『あてはまらない』の割合では大きな差は認められないが、「どちらかといえばあてはまる」の割合は小学5年生の 27.9%に対し、中学2年生では 32.8%と、中学2年生の方が高くなっている。

【全体及び学年別】

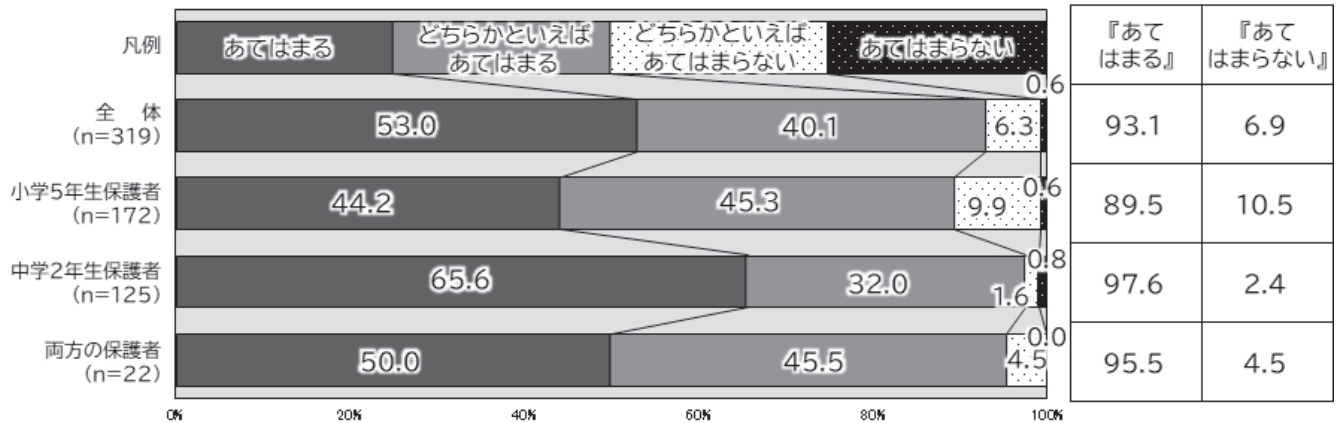


（３）子どもと勉強や成績のことについて話をする

「あてはまる」の 53.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばあてはまる」(40.1%)、「どちらかといえばあてはまらない」(6.3%) の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 93.1%で、『あてはまらない』(「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」) は 6.9%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、『あてはまる』の割合は小学5年生の 89.5%に対し、中学2年生では 97.6%と、中学2年生の方が高くなっている。

【全体及び学年別】

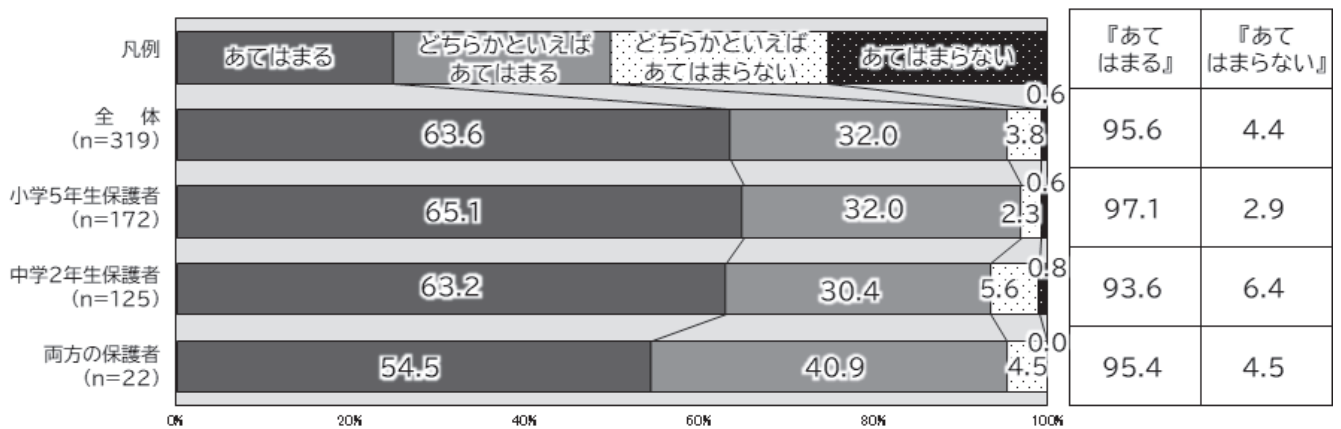


(4) 子どもと学校での出来事について話をする

「あてはまる」の 63.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばあてはまる」(32.0%)、「どちらかといえばあてはまらない」(3.8%)の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 95.6%で、『あてはまらない』(「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」)は 4.4%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「どちらかといえばあてはまらない」の割合は小学5年生の 2.3%に対し、中学2年生では 5.6%と、中学2年生の方がやや高くなっている。

【全体及び学年別】

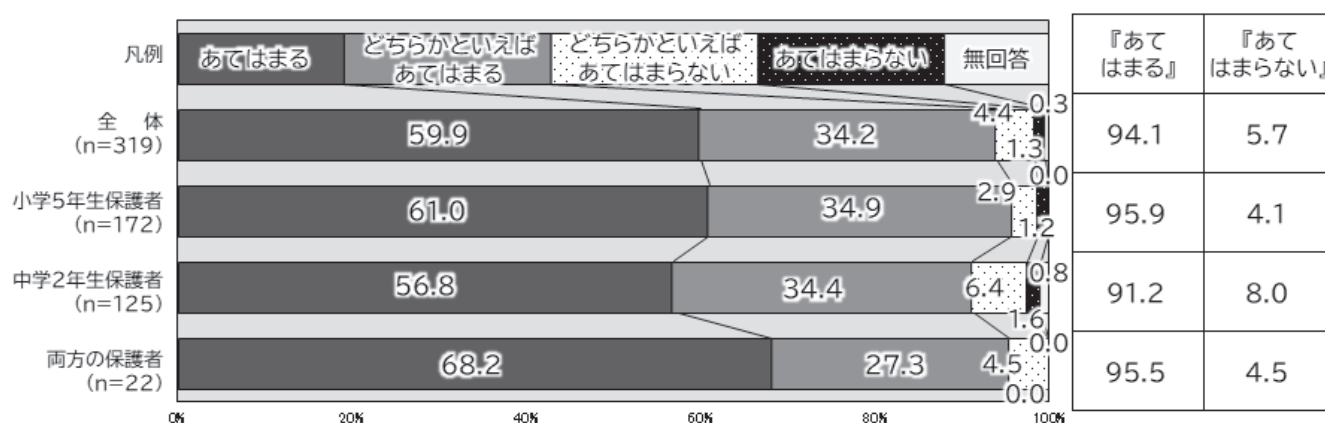


（５）子どもと友だちのことについて話をする

「あてはまる」の 59.9%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばあてはまる」（34.2%）、「どちらかといえばあてはまらない」（4.4%）の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 94.1%で、『あてはまらない』（「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」）は 5.7%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、『あてはまる』の割合は小学 5 年生の 95.9%に対し、中学 2 年生では 91.2%と、中学 2 年生の方がやや低くなっている。

【全体及び学年別】

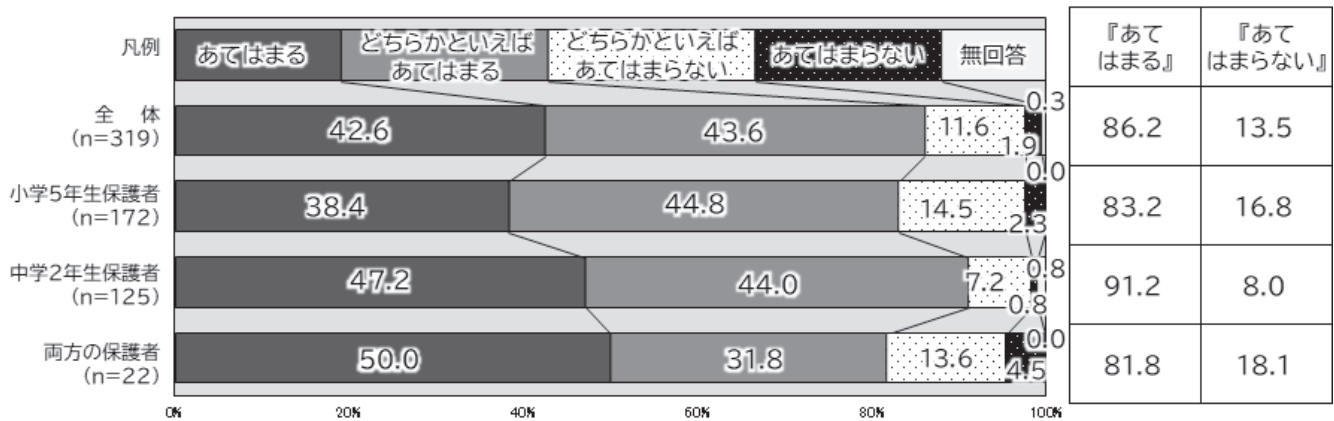


（６）子どもと将来や進路のことについて話をする

「どちらかといえばあてはまる」の 43.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「あてはまる」（42.6%）、「どちらかといえばあてはまらない」（11.6%）の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 86.2%で、『あてはまらない』（「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」）は 13.5%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、『あてはまる』の割合は小学 5 年生の 83.2%に対し、中学 2 年生では 91.2%と、中学 2 年生の方が高くなっている。

【全体及び学年別】

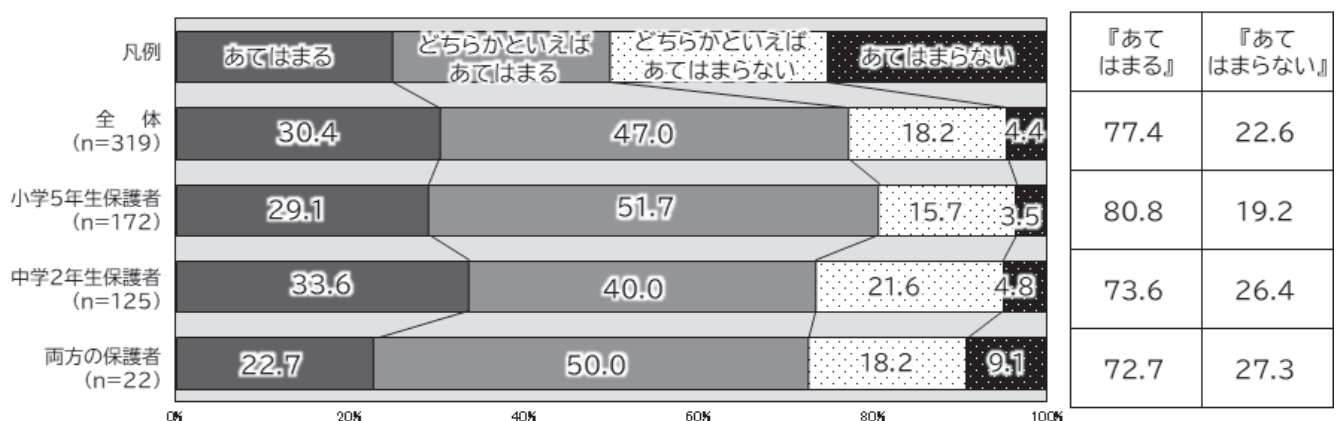


(7) 子どもと社会の出来事やニュースについて話をする

「どちらかといえばあてはまる」の 47.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「あてはまる」(30.4%)、「どちらかといえばあてはまらない」(18.2%)の順となっている。「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」を合わせた『あてはまる』は 77.4%で、『あてはまらない』(「あてはまらない」または「どちらかといえばあてはまらない」)は 22.6%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、『あてはまる』の割合は小学5年生の80.8%に対し、中学2年生では73.6%と、中学2年生の方が低くなっている。

【全体及び学年別】



＜設問 10＞

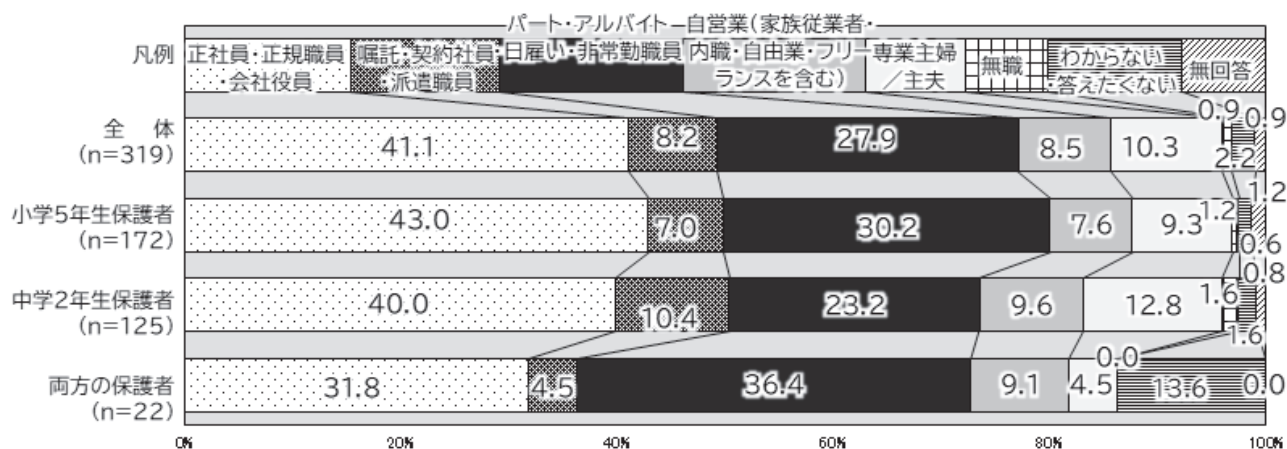
あなたの就労状況をお答えください。配偶者（パートナー）がいる場合は、その方についてもお答えください。（それぞれ○は1つ）

（１）あなた

「正社員・正規職員・会社役員」の 41.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（27.9%）、「専業主婦／主夫」（10.3%）、「自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む）」（8.5%）、「嘱託・契約社員・派遣職員」（8.2%）の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」の割合は小学5年生の 30.2%に対し、中学2年生では 23.2%と、小学5年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数 22 件）では「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が高くなっている。

【全体及び学年別】

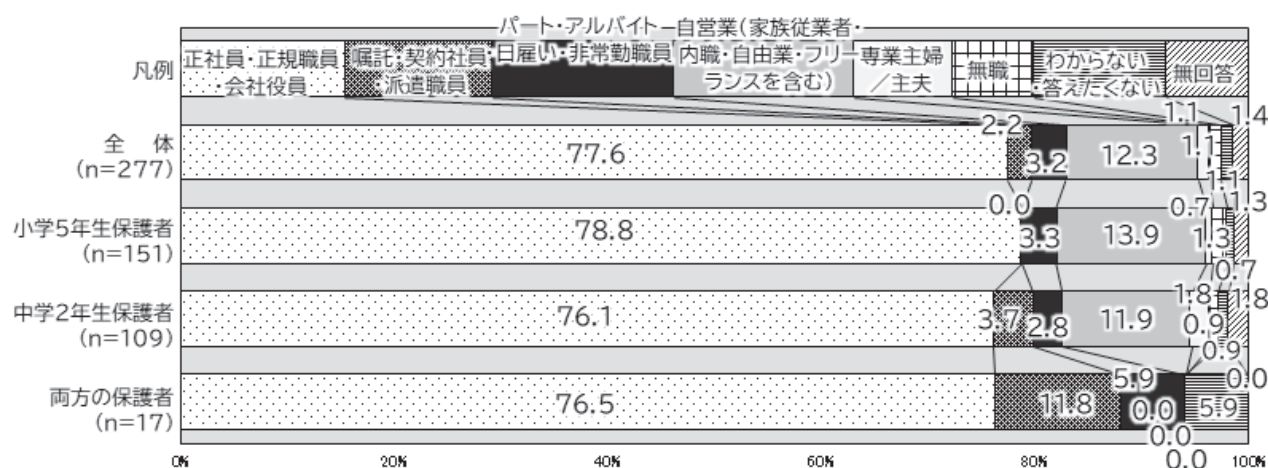


（２）配偶者（パートナー）

「正社員・正規職員・会社役員」の 77.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「自営業（家族従業者・内職・自由業・フリーランスを含む）」（12.3%）、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」（3.2%）、「嘱託・契約社員・派遣職員」（2.2%）の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、大きな差は認められない。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数 22 件）では「嘱託・契約社員・派遣職員」の割合がやや高くなっている。

【全体及び学年別】



＜設問 10-1＞

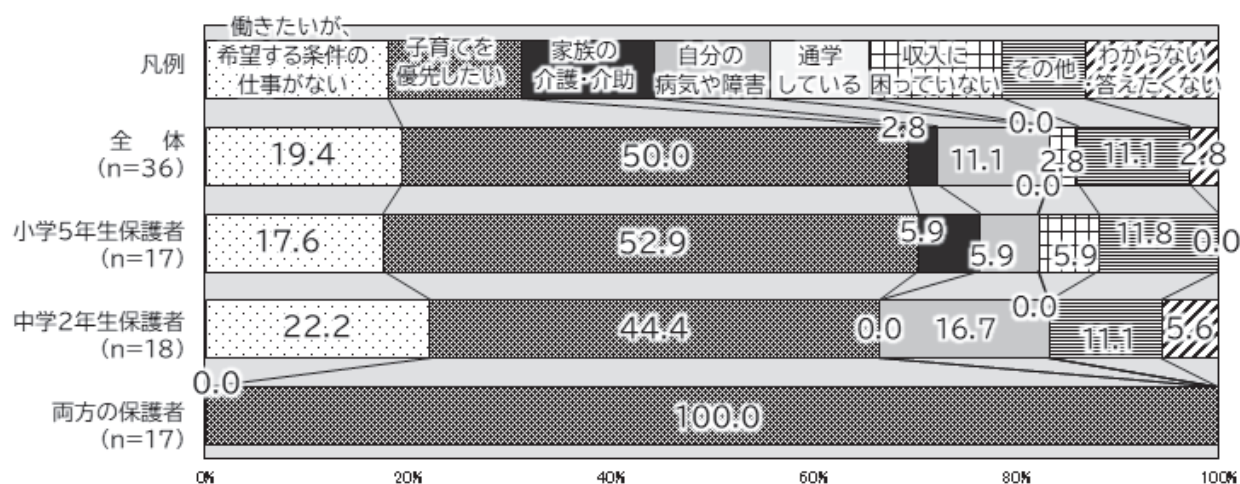
あなたが現在、就労していない最も主な理由をお答えください。配偶者（パートナー）がいる場合は、その方についてもお答えください。（それぞれ〇は1つ）

（１）あなた

「子育てを優先したい」の 50.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「働きたいが、希望する条件の仕事がない」（19.4%）、「自分の病気や障害」及び「その他」（11.1%）の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「子育てを優先したい」の割合は小学5年生の 52.9%に対し、中学2年生では 44.4%と、小学5年生の方が高くなっている。中学2年生が小学5年生より高くなっている選択肢は、「働きたいが、希望する条件の仕事がない」、「自分の病気や障害」となっている。

【全体及び学年別】



(2) 配偶者（パートナー）

「自分の病気や障害」の3件が最も多く、以下、これに「子育てを優先したい」の2件、「収入に困っていない」の1件が続いている。

【全体及び学年別】

	合計	働きたい仕事がない希望する	子育てを優先したい	家族の介護・介助	自分の病気や障害	通学している	収入に困っていない	その他	わからない・答えたく
全体	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
■お子さんの学年別									
小学5年生	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
中学2年生	3 100.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

<設問 11>

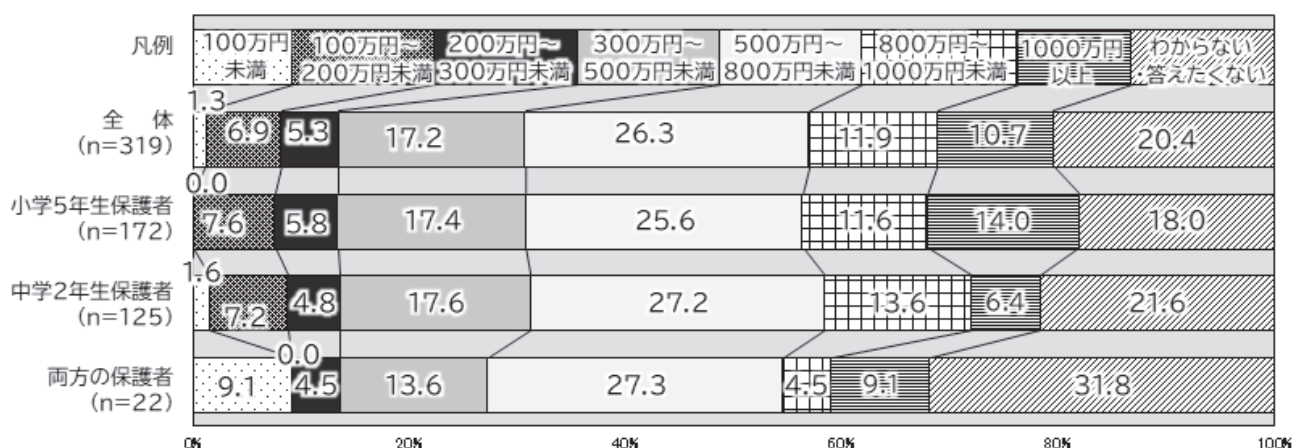
世帯全体の年間収入(会社員等の場合は、1年間の給与の総支給額(いわゆる額面))は、おおよそいくらですか。(〇は1つ)

※同居し、生計を同一にしている家族全員の直近の合算額をわかる範囲でお答えください。

「500万円～800万円未満」の26.3%が最も高く、以下、割合の高い方から「わからない・答えたくない」(20.4%)、「300万円～500万円未満」(17.2%)、「800万円～1000万円未満」(11.9%)の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「1000万円以上」の割合は小学5年生の14.0%に対し、中学2年生では6.4%と、小学5年生の方が高くなっている。

【全体及び学年別】



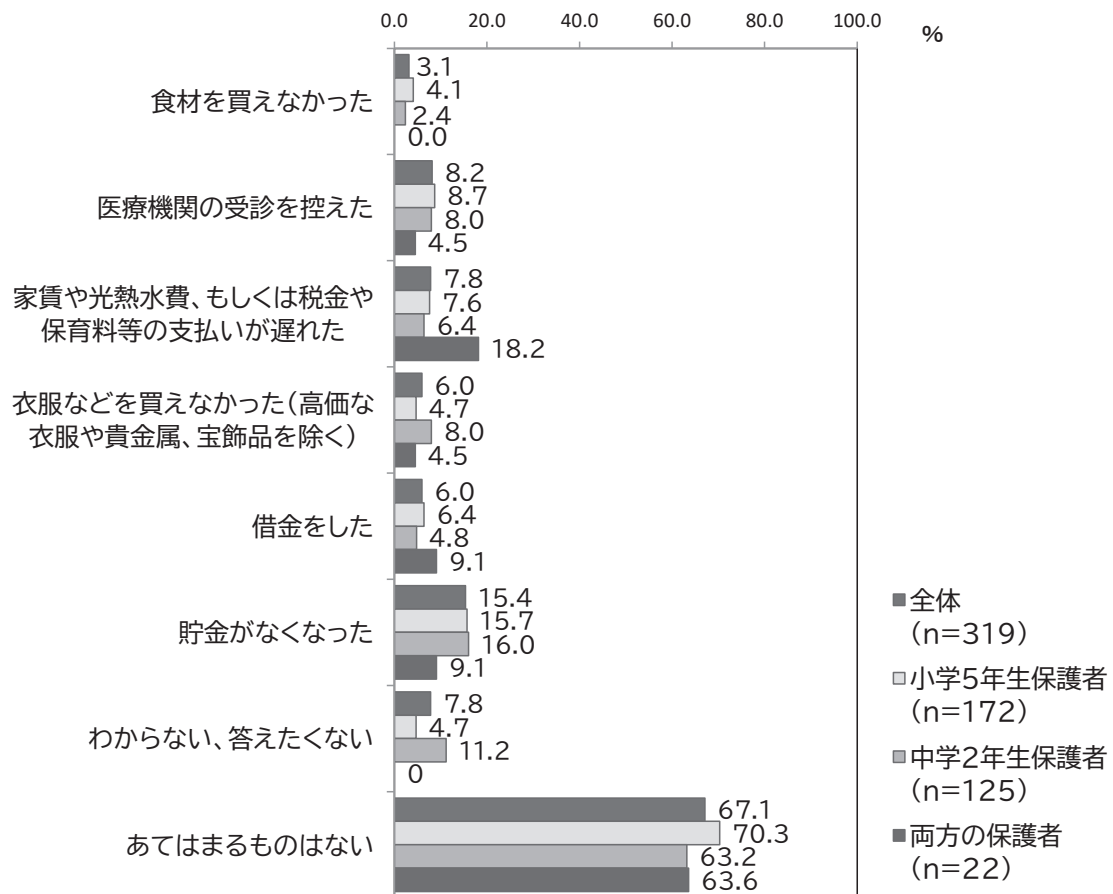
<設問 12>

あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。 おおむね直近1年の間でお答えください。(〇はいくつでも)

「あてはまるものはない」の 67.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「貯金がなくなった」(15.4%)、「医療機関の受診を控えた」(8.2%)、「家賃や光熱水費、もしくは税金や保育料等の支払いが遅れた」及び「わからない、答えたくない」(7.8%)の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「あてはまるものはない」の割合は小学5年生の 70.3%に対し、中学2年生では 63.2%と、小学5年生の方が高くなっている。中学2年生が小学5年生より高くなっている選択肢は、「わからない、答えたくない」となっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では「家賃や光熱水費、もしくは税金や保育料等の支払いが遅れた」の割合が高くなっている。

【全体及び学年別】



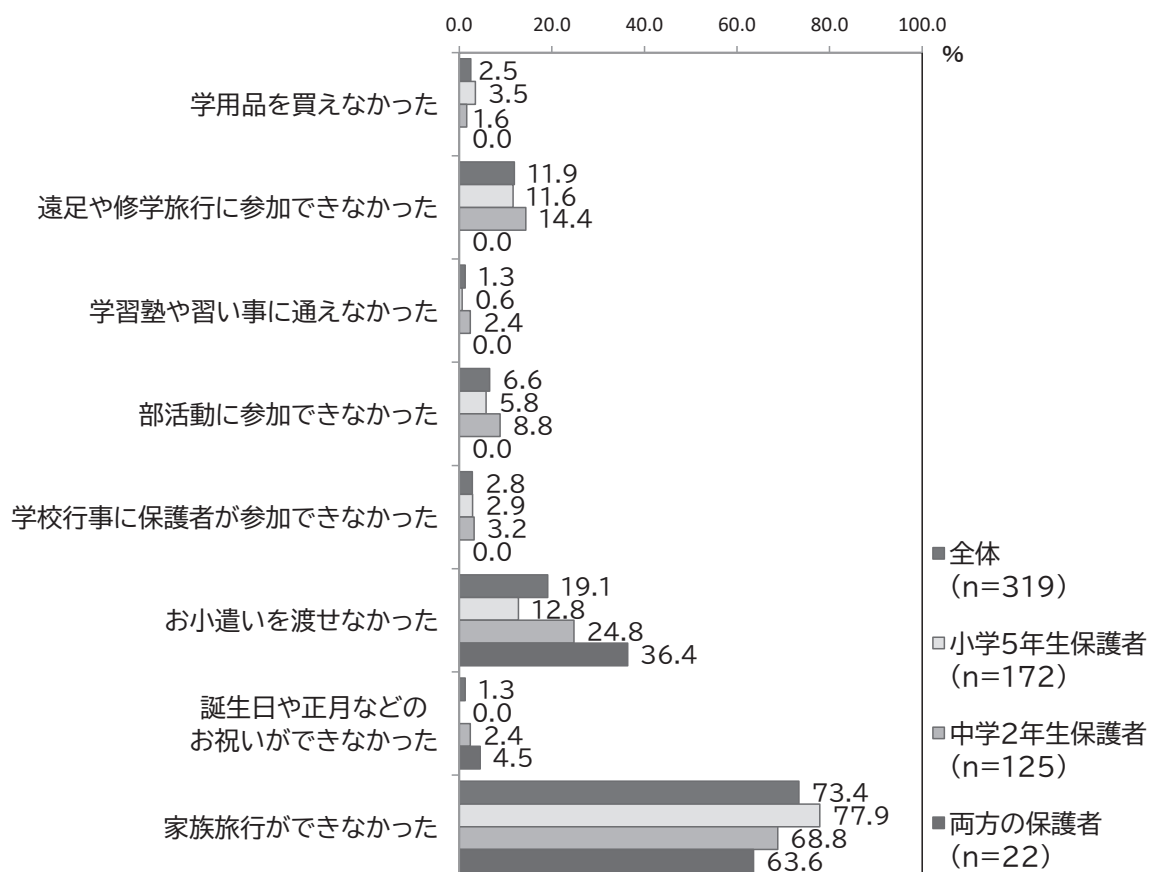
<設問 13>

あなたの世帯では、お子さんが希望したにもかかわらず、経済的な理由で次のような経験をされたことがありますか。おおむね直近1年の間でお答えください。(〇はいくつでも)

「家族旅行ができなかった」の 73.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「お小遣いを渡せなかった」(19.1%)、「遠足や修学旅行に参加できなかった」(11.9%)、「部活動に参加できなかった」(6.6%) の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「お小遣いを渡せなかった」の割合は小学5年生の 12.8%に対し、中学2年生では 24.8%と、中学2年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では「お小遣いを渡せなかった」の割合が 36.4%で特に高くなっている。

【全体及び学年別】



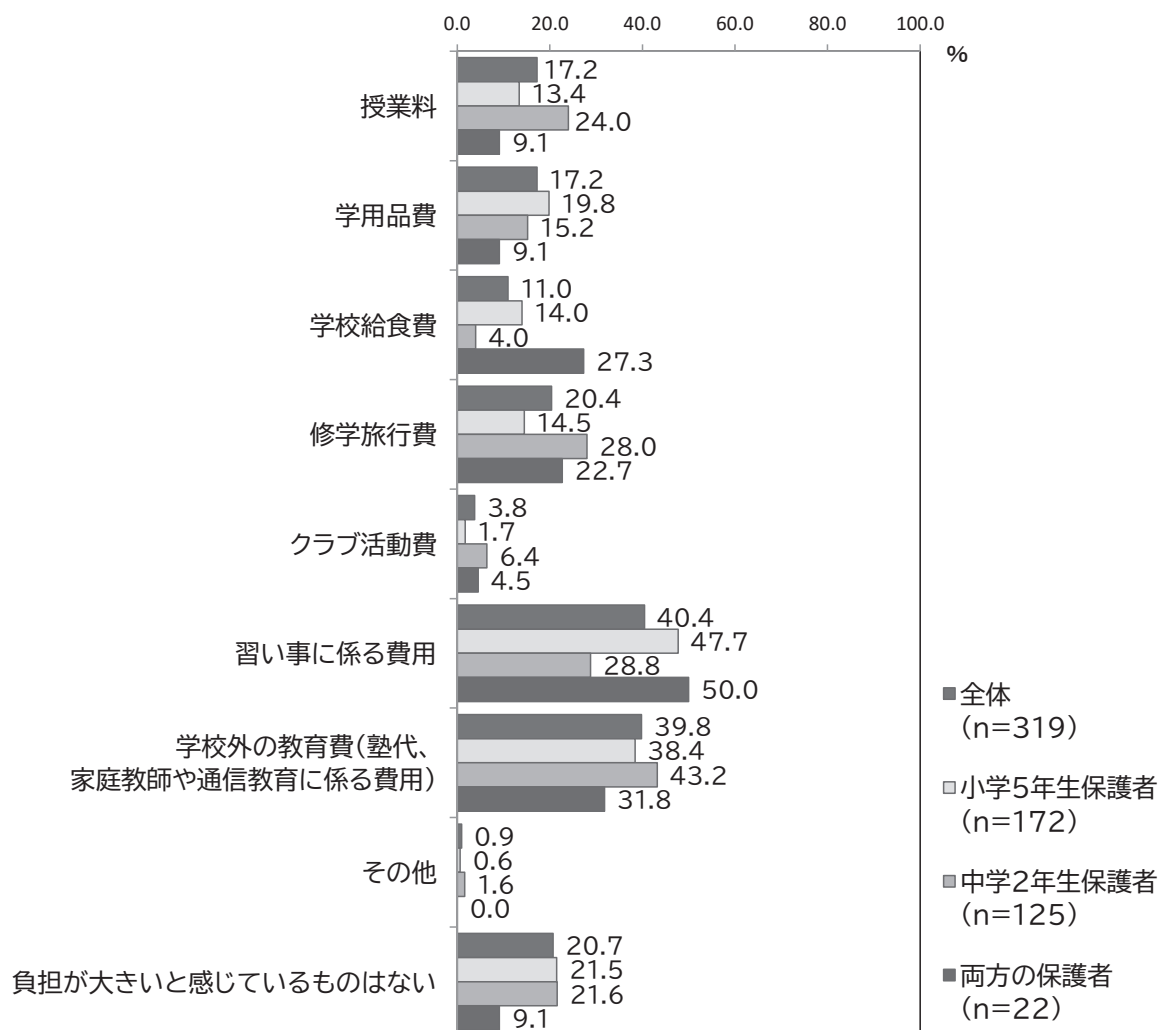
<設問 14>

お子さんの教育にかかる費用で、負担が大きいと感じているものはありますか。(〇は3つまで)

「習い事に係る費用」の 40.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育に係る費用）」(39.8%)、「負担が大きいと感じているものはない」(20.7%)、「修学旅行費」(20.4%) の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「学校給食費」と「習い事に係る費用」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。中学2年生が小学5年生より高くなっている選択肢は、「授業料」、「修学旅行費」、「学校外の教育費（塾代、家庭教師や通信教育に係る費用）」となっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数 22 件）では「学校給食費」、「習い事に係る費用」の割合が高くなっている。

【全体及び学年別】



<設問 15>

ひとり親家庭の方のみお答えください。

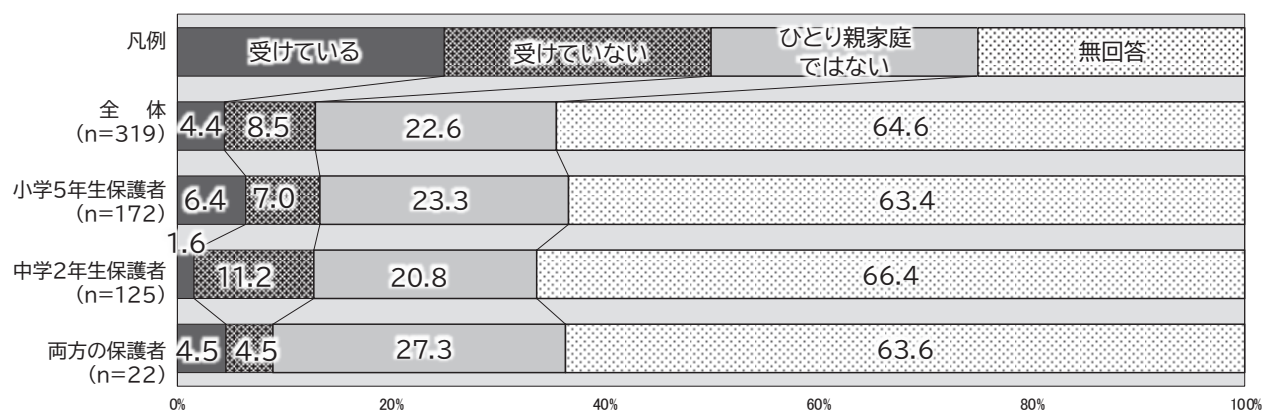
あなたは、お子さんの養育費を実父または実母から受けていますか。(○は1つ)

「受けていない」が8.5% (27 件)、「受けている」が4.4% (14 件) となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「受けていない」の割合は、小学5年生が7.0%で、中学2年生が11.2%で、小学5年生より中学2年生の方が高くなっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「受けていない」の割合は、中学2年生がやや高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数22 件)では「ひとり親家庭ではない」の割合が高くなっている。

【全体及び学年別】



<設問 15-1>

問15で「1」と回答した人にもみ表示

お子さんの養育費の取り決め状況をお答えください。(○は1つ)

「公正証書等により取り決めをしている」が7 件、「口約束で取り決めをしている」が7 件となっている。

何らかの取り決めをしているのは、小学5年生 11 件、中学2年生 2 件、小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいるが1 件となっている。

【全体及び学年別】

	合計	公証書等により取り決めた契約を締結している	公証書等により取り決めた契約を締結していない	口約束で取り決めていない	取り決めたしていない
全体	14 100.0%	0 0.0%	7 50.0%	7 50.0%	0 0.0%
■お子さんの学年別					
小学5年生	11 100.0%	0 0.0%	5 45.5%	6 54.5%	0 0.0%
中学2年生	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
両方	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

<設問 15-2>

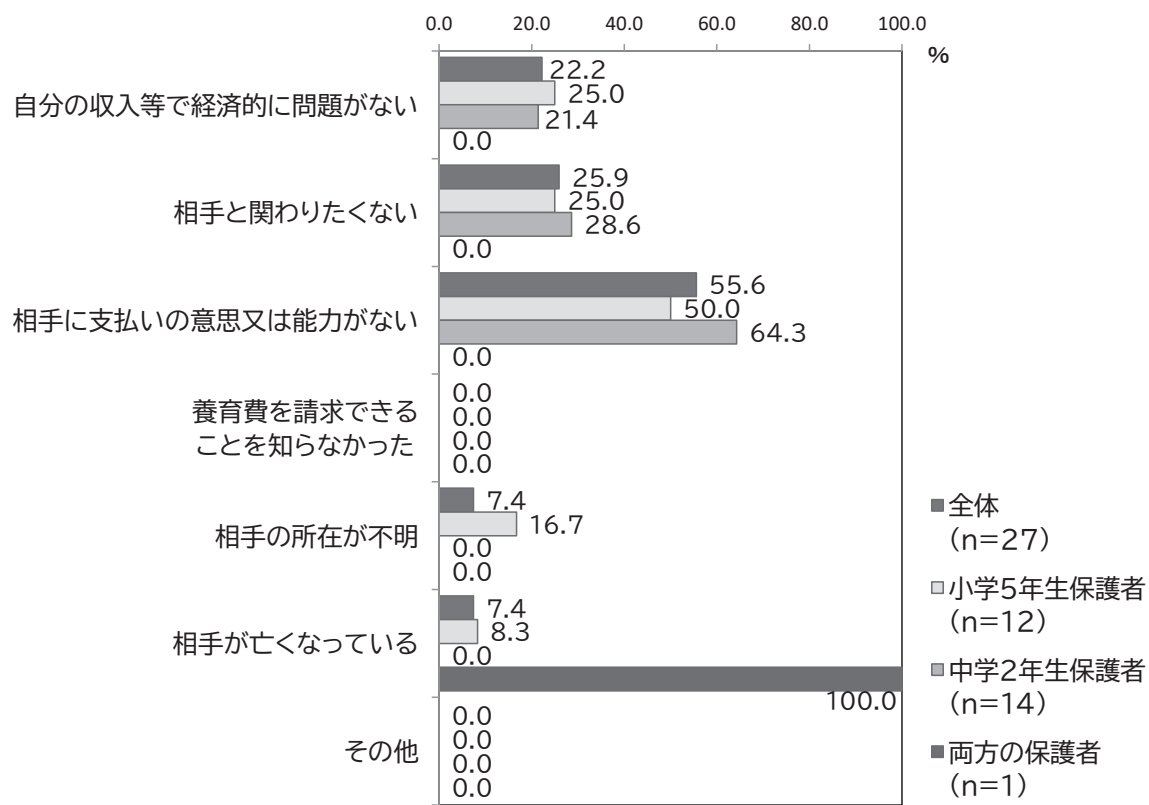
問15で「2」と回答した人にもみ表示

あなたがお子さんの養育費を受けていない理由をお答えください。(〇いくつでも)

「相手に支払いの意思又は能力がない」の 55.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「相手と関わりたくない」(25.9%)、「自分の収入等で経済的に問題がない」(22.2%)、「相手の所在が不明」及び「相手が亡くなっている」(7.4%)の順となっている。

これを小学 5 年生・中学 2 年生の保護者別にみると、「自分の収入等で経済的に問題がない」の割合は、中学 2 年生より小学 5 年生の方が高くなっている。中学 2 年生が小学 5 年生より高くなっている選択肢は、「相手と関わりたくない」、「相手に支払いの意思又は能力がない」となっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では「相手が亡くなっている」の割合が高くなっている。

【全体及び学年別】



2. 子育てに係る相談先や支援策への考えについて

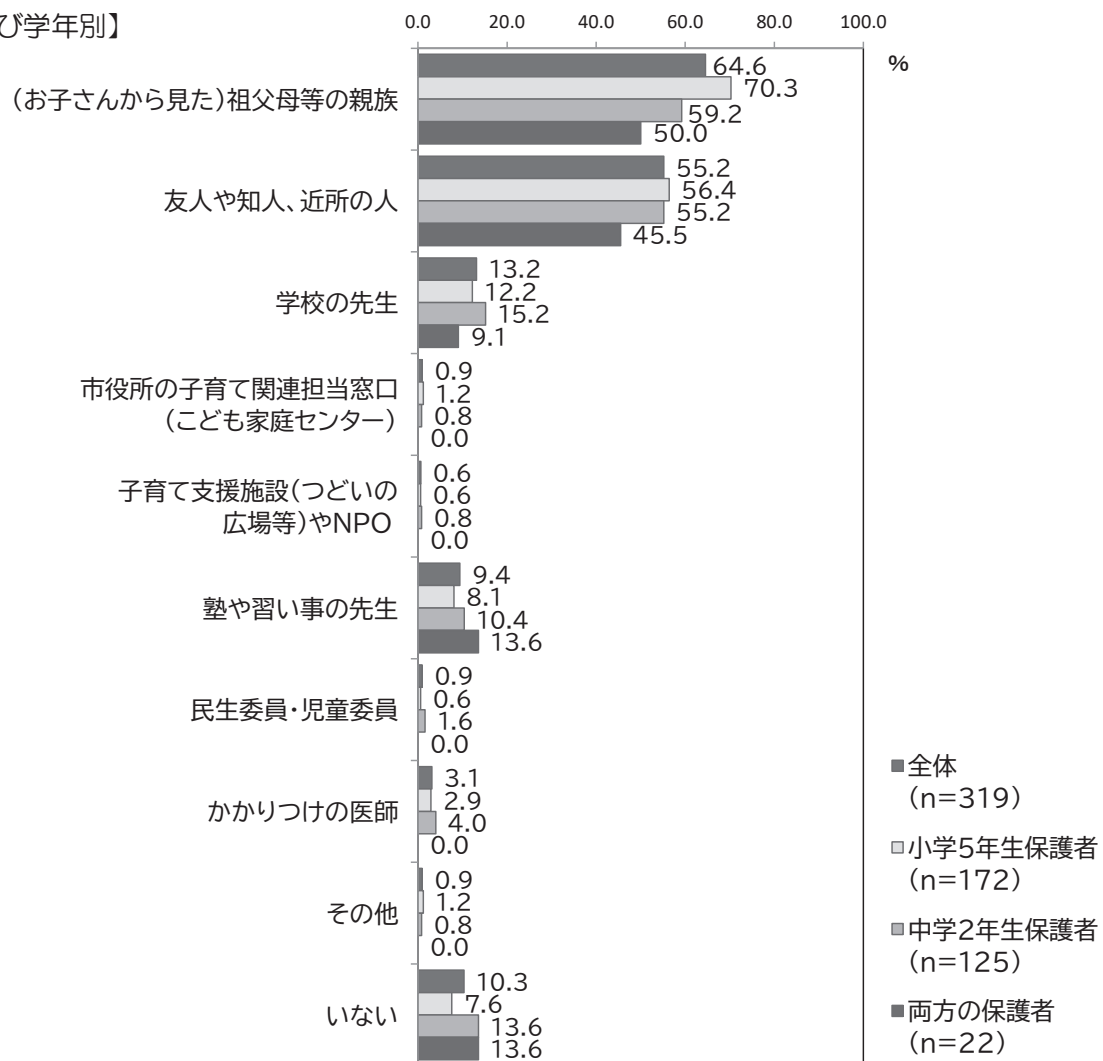
<設問 16>

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は誰(どこ)ですか。(〇はいくつでも)

「(お子さんから見た)祖父母等の親族」の 64.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「友人や知人、近所の人」(55.2%)、「学校の先生」(13.2%)、「いない」(10.3%)、「塾や習い事の先生」(9.4%)の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「(お子さんから見た)祖父母等の親族」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。中学2年生が小学5年生より高くなっている選択肢は、「学校の先生」、「塾や習い事の先生」、「いない」となっている。

【全体及び学年別】



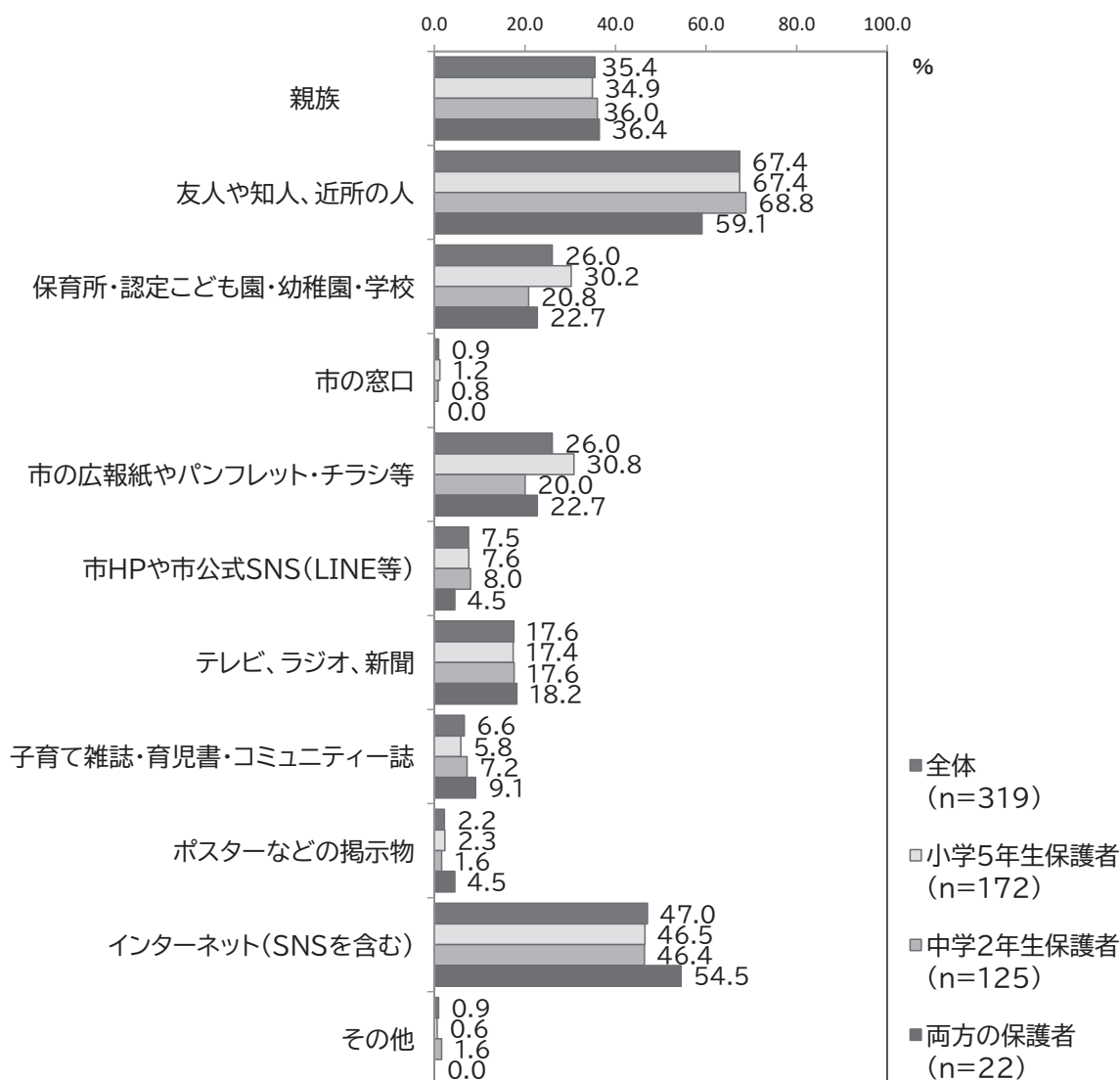
<設問 17>

子育てに関する情報をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)

「友人や知人、近所の人」の 67.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「インターネット（SNSを含む）」(47.0%)、「親族」(35.4%)、「保育所・認定こども園・幼稚園・学校」及び「市の広報紙やパンフレット・チラシ等」(26.0%)の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「保育所・認定こども園・幼稚園・学校」、「市の広報紙やパンフレット・チラシ等」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数 22 件）では「インターネット（SNSを含む）」の割合が高くなっている。

【全体及び学年別】



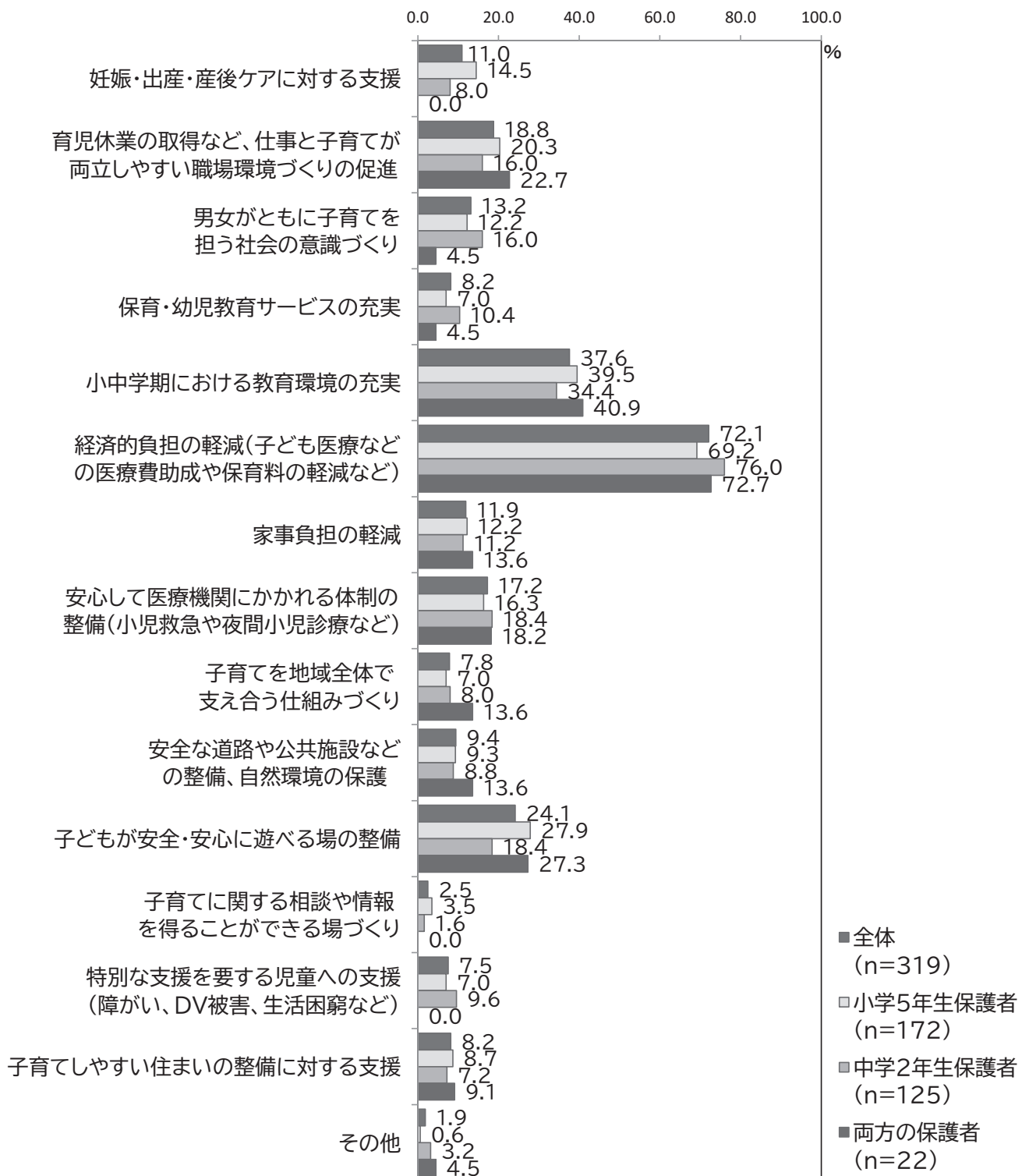
<設問 18>

子育てをする中で、どのような支援・対策が有効と感じていますか。(〇は3つまで)

「経済的負担の軽減（子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など）」の 72.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「小中学期における教育環境の充実」（37.6%）、「子どもが安全・安心に遊べる場の整備」（24.1%）、「育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進」（18.8%）、「安心して医療機関にかかれる体制の整備（小児救急や夜間小児診療など）」（17.2%）の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「小中学期における教育環境の充実」、「子どもが安全・安心に遊べる場の整備」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。中学2年生が小学5年生より高くなっている選択肢は、「経済的負担の軽減（子ども医療などの医療費助成や保育料の軽減など）」となっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数 22 件）では「育児休業の取得など、仕事と子育てが両立しやすい職場環境づくりの促進」、「小中学期における教育環境の充実」、「子育てを地域全体で支え合う仕組みづくり」、「安全な道路や公共施設などの整備、自然環境の保護」、「子どもが安全・安心に遊べる場の整備」の割合が高くなっている。

【全体及び学年別】

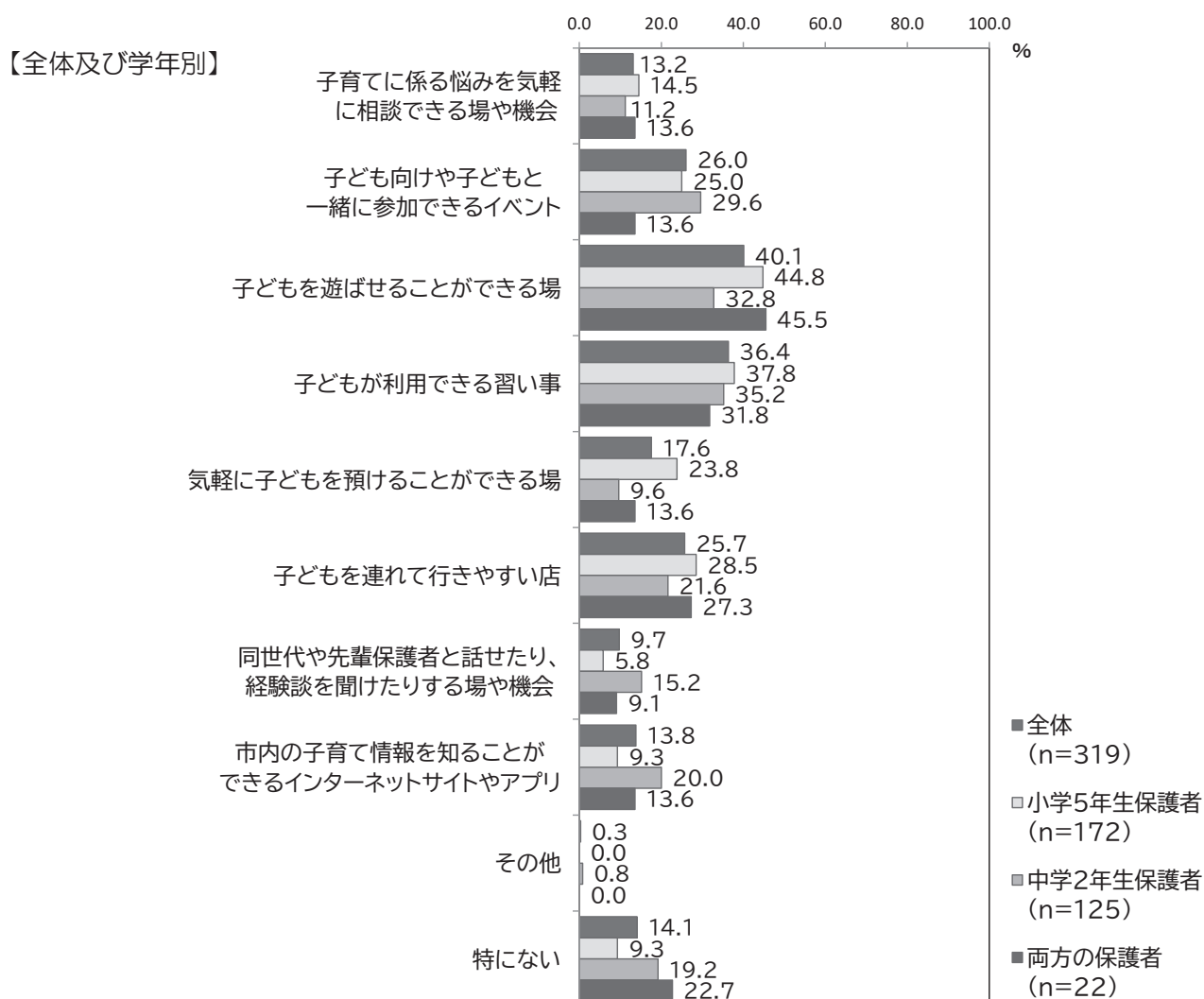


<設問 19>

このまちにもっと欲しい自分も参加したい・利用したいと思うことは何ですか。(〇は3つまで)

「子どもを遊ばせることができる場」の 40.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「子どもが利用できる習い事」(36.4%)、「子ども向けや子どもと一緒に参加できるイベント」(26.0%)、「子どもを連れて行きやすい店」(25.7%)、「気軽に子どもを預けることができる場」(17.6%)の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「子どもを遊ばせることができる場」、「気軽に子どもを預けることができる場」、「子どもを遊ばせることができる場」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。中学2年生が小学5年生より高くなっている選択肢は、「子ども向けや子どもと一緒に参加できるイベント」、「同世代や先輩保護者と話せたり、経験談を聞けたりする場や機会」、「市内の子育て情報を知ることができるインターネットサイトやアプリ」となっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では「子どもを遊ばせることができる場」、「子どもを連れて行きやすい店」、「特にない」の割合が高くなっている。



3. お子さんやあなたの家庭以外での活動等について

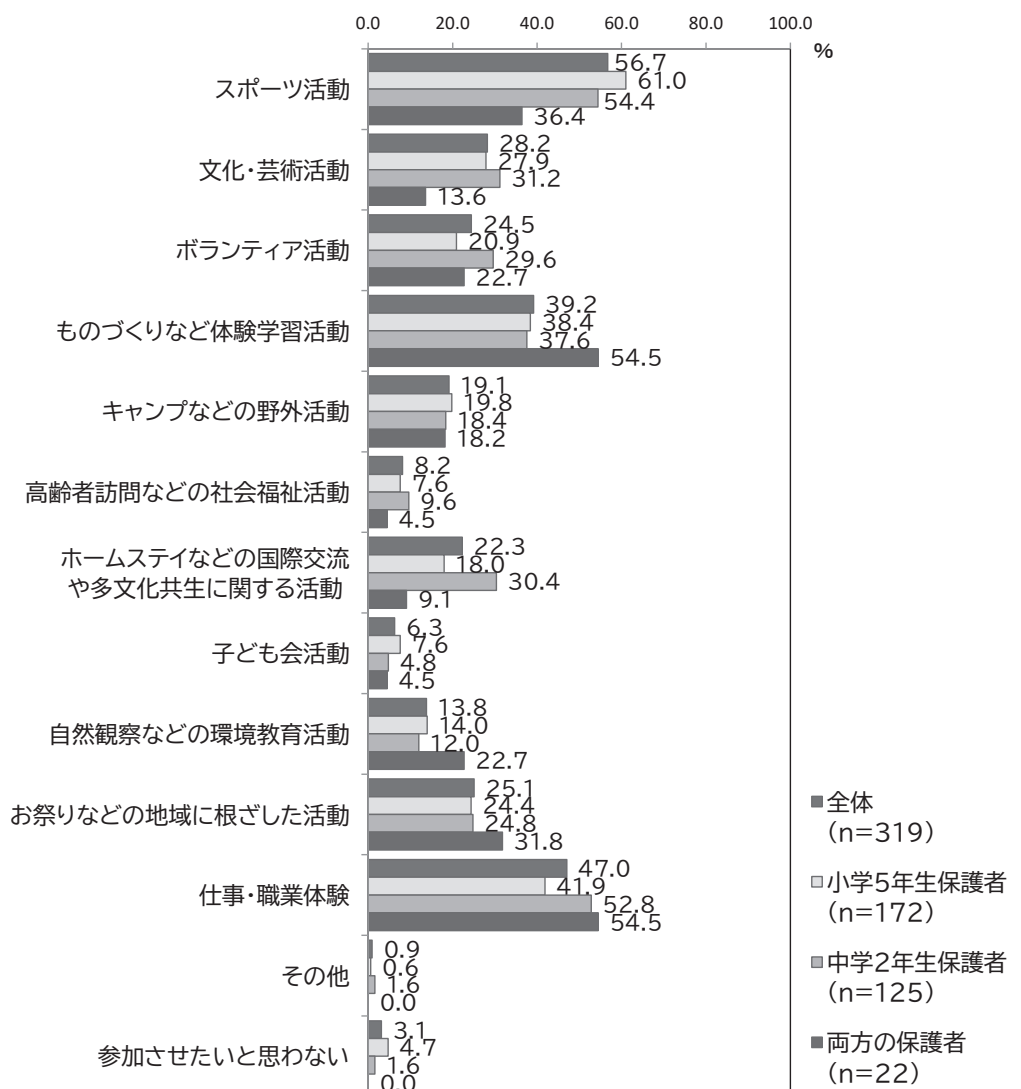
<設問 20>

お子さんにどのような活動に参加させたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「スポーツ活動」の 56.7%が最も高く、以下、割合の高い方から「仕事・職業体験」(47.0%)、「ものづくりなど体験学習活動」(39.2%)、「文化・芸術活動」(28.2%)、「お祭りなどの地域に根ざした活動」(25.1%)の順となっている。

これを小学 5 年生・中学 2 年生の保護者別にみると、「スポーツ活動」の割合は、中学 2 年生より小学 5 年生の方が高くなっている。中学 2 年生が小学 5 年生より高くなっている選択肢は、「ボランティア活動」、「ホームステイなどの国際交流や多文化共生に関する活動」、「仕事・職業体験」となっている。小学 5 年生と中学 2 年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では「ものづくりなど体験学習活動」、「仕事・職業体験」の割合が高くなっている。

【全体及び学年別】



<設問 20-1>

問20で「13.参加させたいとは思わない」と回答した人にもみ表示

参加させてみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「そもそも活動に参加させたいという意向がない」の3件が最も高く、「参加する時間がない」、「費用がかかる」、「お世話役などの保護者負担が不安」がいずれも2件となっている。

【全体及び学年別】

	合計	参加する時間がない	実施場所が遠い	送迎が難しい	活動に関する情報を知らない	魅力的な活動がなさいたい	親としての参加がなさいたい	いせともい活動に参加がなさ	費用がかかる	負担が不安	お世話役などの保護者	その他
全体	10	2 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	3 30.0%	2 20.0%	2 20.0%	1 10.0%		
■お子さんの学年別												
小学5年生	8	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	1 12.5%		
中学2年生	2	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%		

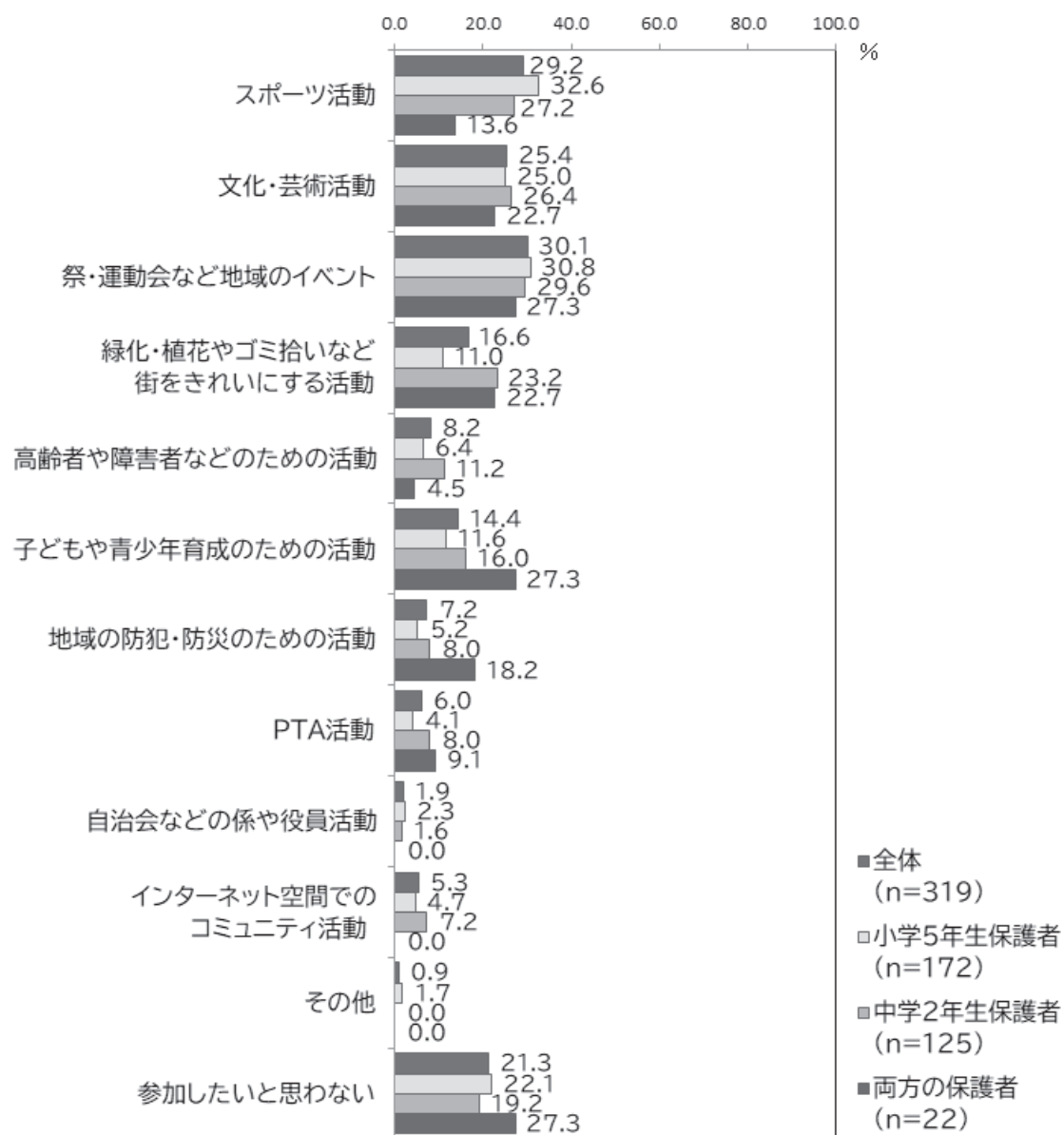
<設問 21>

あなた自身はどのような活動なら参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

「祭・運動会など地域のイベント」の30.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「スポーツ活動」(29.2%)、「文化・芸術活動」(25.4%)、「参加したいと思わない」(21.3%)、「緑化・植花やゴミ拾いなど街をきれいにする活動」(16.6%)の順となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「スポーツ活動」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。中学2年生が小学5年生より高くなっている選択肢は、「緑化・植花やゴミ拾いなど街をきれいにする活動」となっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数22件)では「子どもや青少年育成のための活動」、「地域の防犯・防災のための活動」、「参加したいと思わない」の割合が高くなっている。

【全体及び学年別】



4. 大牟田市の取組や印象等について

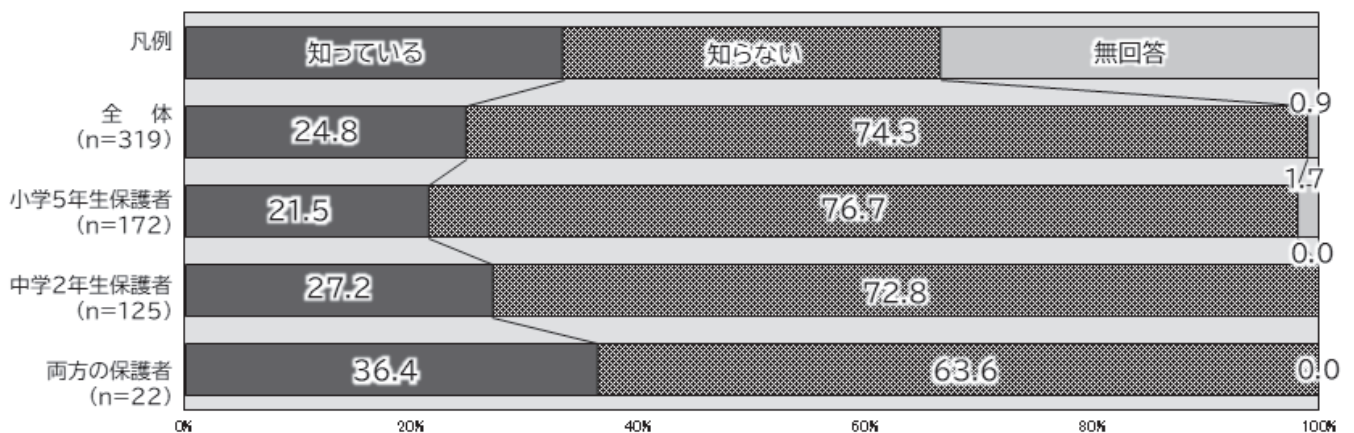
<設問 22>

「大牟田市子ども・子育て応援条例」が制定されたことを知っていますか。(〇は1つ)

「知らない」が74.3%で、「知っている」が24.8%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「知らない」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数22件）では「知っている」の割合が36.4%で他の保護者よりも高くなっている。

【全体及び学年別】



<設問 23>

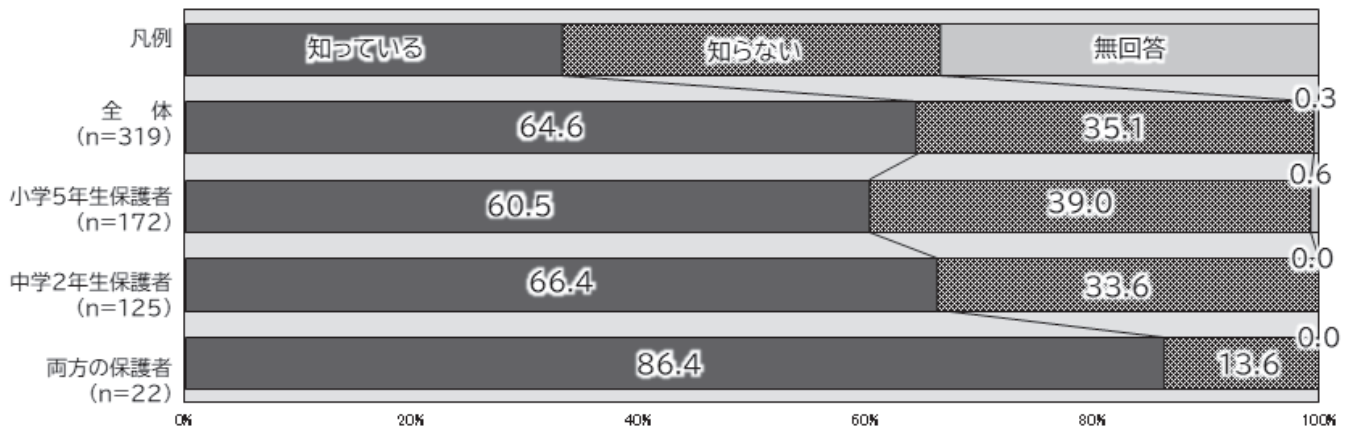
国際条約で、子どもには主に「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利があると定められており、「大牟田市子ども・子育て応援条例」でもこれらの権利を尊重するように定めています。子どもの権利があることを知っていますか。

(〇は1つ)

「知っている」が64.6%で、「知らない」が35.1%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「知らない」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数22件）では「知っている」の割合が86.4%で他の保護者よりも高くなっている。

【全体及び学年別】

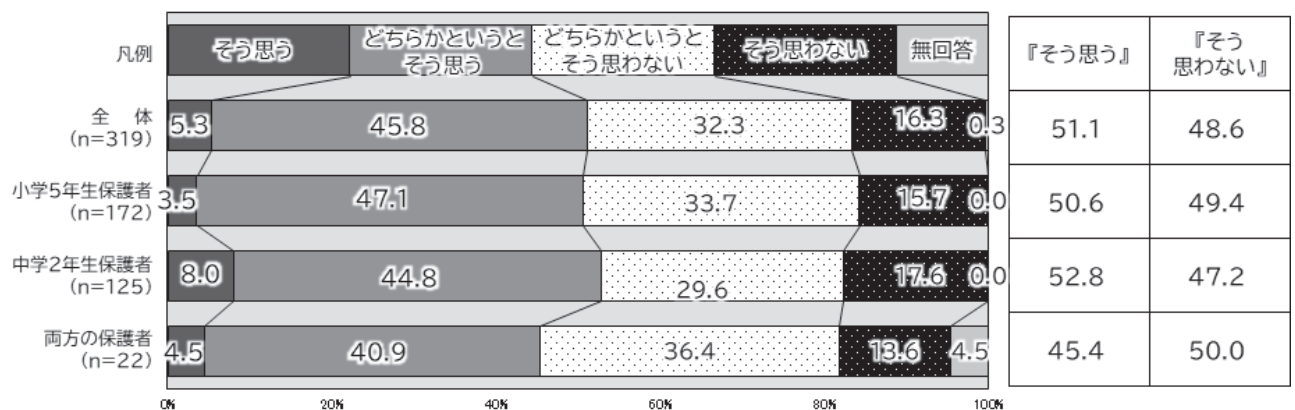


1 <設問 24>

大牟田市は、子育てがしやすいところだと思いますか。(〇は1つ)

「どちらかといえばそう思う」の 45.8%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばそう思わない」(32.3%)、「そう思わない」(16.3%)、「そう思う」(5.3%)の順となっている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が 51.1%で、『そう思わない』(「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」)は 48.6%となっている。これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、『そう思う』の割合は、小学5年生より中学2年生の方がやや高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では『そう思う』の割合が 45.4%で他の保護者よりも低くなっている。子どもの人数別では、人数が増えるほど『そう思う』は低くなっている。

【全体及び学年別】



【子どもの数別】

	合計	そう 思う	そう 思う か とい う と	そう 思 わ な い と	そう 思 わ な い	無 回 答	『そう 思う』	『そう 思 わ な い』
全体	319 100.0%	17 5.3%	146 45.8%	103 32.3%	52 16.3%	1 0.3%	163 51.1%	155 48.6%
■子どもの数別								
1人	34 100.0%	2 5.9%	19 55.9%	8 23.5%	5 14.7%	0 0.0%	21 61.8%	13 38.2%
2人	77 100.0%	3 3.9%	33 42.9%	24 31.2%	17 22.1%	0 0.0%	36 46.8%	41 53.3%
3人以上	68 100.0%	3 4.4%	24 35.3%	26 38.2%	15 22.1%	0 0.0%	27 39.7%	41 60.3%
無回答	140 100.0%	9 6.4%	70 50.0%	45 32.1%	15 10.7%	1 0.7%	79 56.4%	60 42.8%

【校區別】

	合計	そう 思う	ど ち ら か と い う と	ど ち ら か と い う と	そ う 思 わ な い	無 回 答	『 そ う 思 う 』	『 そ う 思 わ な い 』
全体	319 100.0%	17 5.3%	146 45.8%	103 32.3%	52 16.3%	1 0.3%	163 51.1%	155 48.6%
■校區別								
みなと	11 100.0%	1 9.1%	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%	6 54.6%	5 45.5%
天領	61 100.0%	2 3.3%	30 49.2%	22 36.1%	7 11.5%	0 0.0%	32 52.5%	29 47.6%
駛馬	5 100.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%
天の原	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%
玉川	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
大牟田中央	36 100.0%	1 2.8%	22 61.1%	11 30.6%	1 2.8%	1 2.8%	23 63.9%	12 33.4%
大正	29 100.0%	4 13.8%	12 41.4%	8 27.6%	5 17.2%	0 0.0%	16 55.2%	13 44.8%
中友	15 100.0%	1 6.7%	8 53.3%	4 26.7%	2 13.3%	0 0.0%	9 60.0%	6 40.0%
明治	7 100.0%	1 14.3%	0 0.0%	5 71.4%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	6 85.7%
白川	10 100.0%	0 0.0%	4 40.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0.0%	4 40.0%	6 60.0%
平原	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
高取	8 100.0%	0 0.0%	1 12.5%	5 62.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	7 87.5%
三池	14 100.0%	0 0.0%	8 57.1%	4 28.6%	2 14.3%	0 0.0%	8 57.1%	6 42.9%
羽山台	16 100.0%	1 6.3%	9 56.3%	5 31.3%	1 6.3%	0 0.0%	10 62.6%	6 37.6%
銀水	25 100.0%	0 0.0%	14 56.0%	8 32.0%	3 12.0%	0 0.0%	14 56.0%	11 44.0%
上内	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
吉野	20 100.0%	0 0.0%	7 35.0%	8 40.0%	5 25.0%	0 0.0%	7 35.0%	13 65.0%
倉永	10 100.0%	0 0.0%	5 50.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	5 50.0%	5 50.0%
手鎌	28 100.0%	3 10.7%	7 25.0%	9 32.1%	9 32.1%	0 0.0%	10 35.7%	18 64.2%
市外	17 100.0%	1 5.9%	11 64.7%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	12 70.6%	5 29.4%

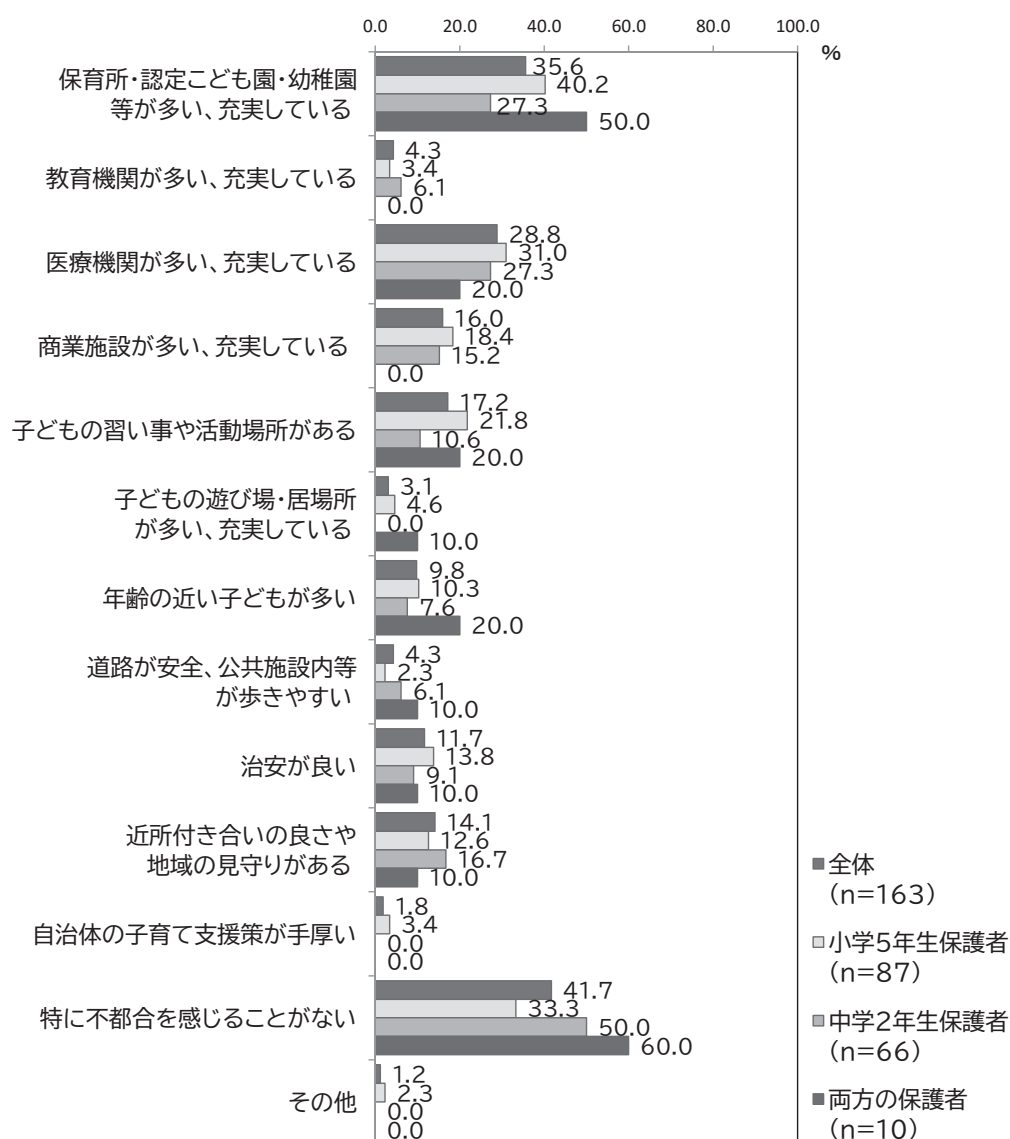
<設問 24-1>

問24で「1. そう思う」「2. どちらかというと思う」と回答した人にもみ表示

大牟田市が子育てしやすいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「特に不都合を感じることがない」の 41.7%が最も高く、以下、割合の高い方から「保育所・認定こども園・幼稚園等が多い、充実している」(35.6%)、「医療機関が多い、充実している」(28.8%)、「子どもの習い事や活動場所がある」(17.2%)の順となっている。これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「保育所・認定こども園・幼稚園等が多い、充実している」、「医療機関が多い、充実している」、「子どもの習い事や活動場所がある」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。「特に不都合を感じることがない」と「近所付き合いの良さや地域の見守りがある」の割合は、小学5年生より中学2年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では「保育所・認定こども園・幼稚園等が多い、充実している」と「特に不都合を感じることがない」、「年齢の近い子どもが多い」の割合が他の保護者よりも高くなっている。

【全体及び学年別】



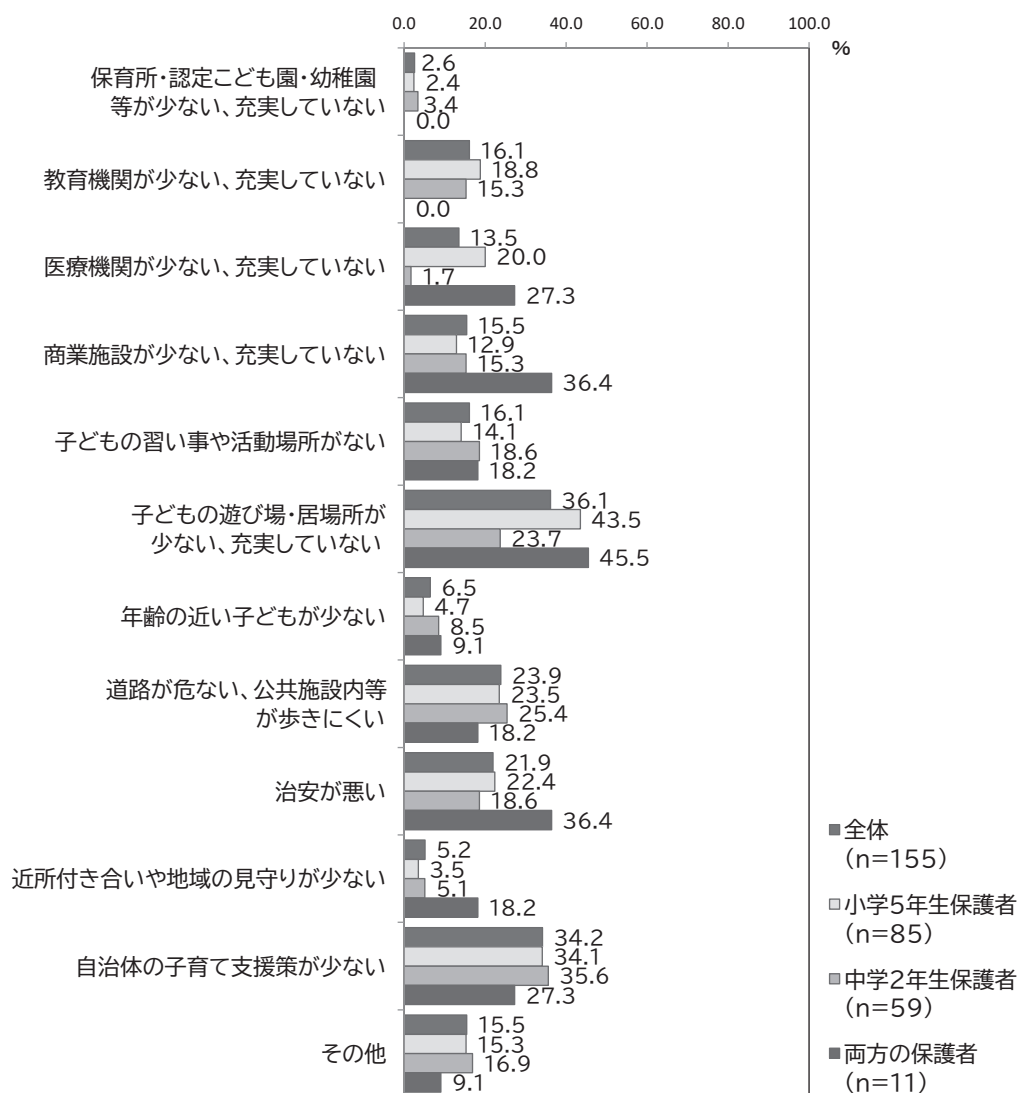
<設問 24-2>

問24で「3. そう思わない」「4. どちらかというと思わない」と回答した人にもみ表示

大牟田市が子育てしにくいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「子どもの遊び場・居場所が少ない、充実していない」の 36.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「自治体の子育て支援策が少ない」(34.2%)、「道路が危ない、公共施設内等が歩きにくい」(23.9%)、「治安が悪い」(21.9%)の順となっている。これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「子どもの遊び場・居場所が少ない、充実していない」、「医療機関が少ない、充実していない」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では「医療機関が少ない、充実していない」と「商業施設が少ない、充実していない」、「治安が悪い」の割合が他の保護者よりも高くなっている。

【全体及び学年別】



<設問 25>

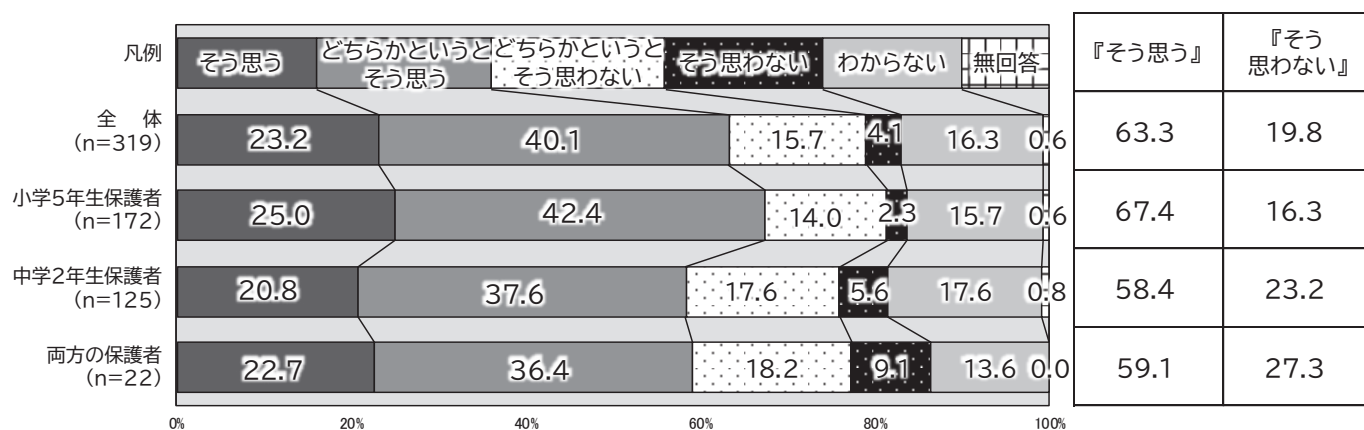
大牟田市に今後も住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

「どちらかというと思う」の 40.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「思う」(23.2%)、「わからない」(16.3%)、「どちらかというと思わない」(15.7%)の順となっている。

「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』が 63.3%で、『思わない』(「思わない」または「どちらかといえば思わない」)は 19.8%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、『思う』の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では『思う』の割合は小学5年生よりも低くなっている。

【全体及び学年別】



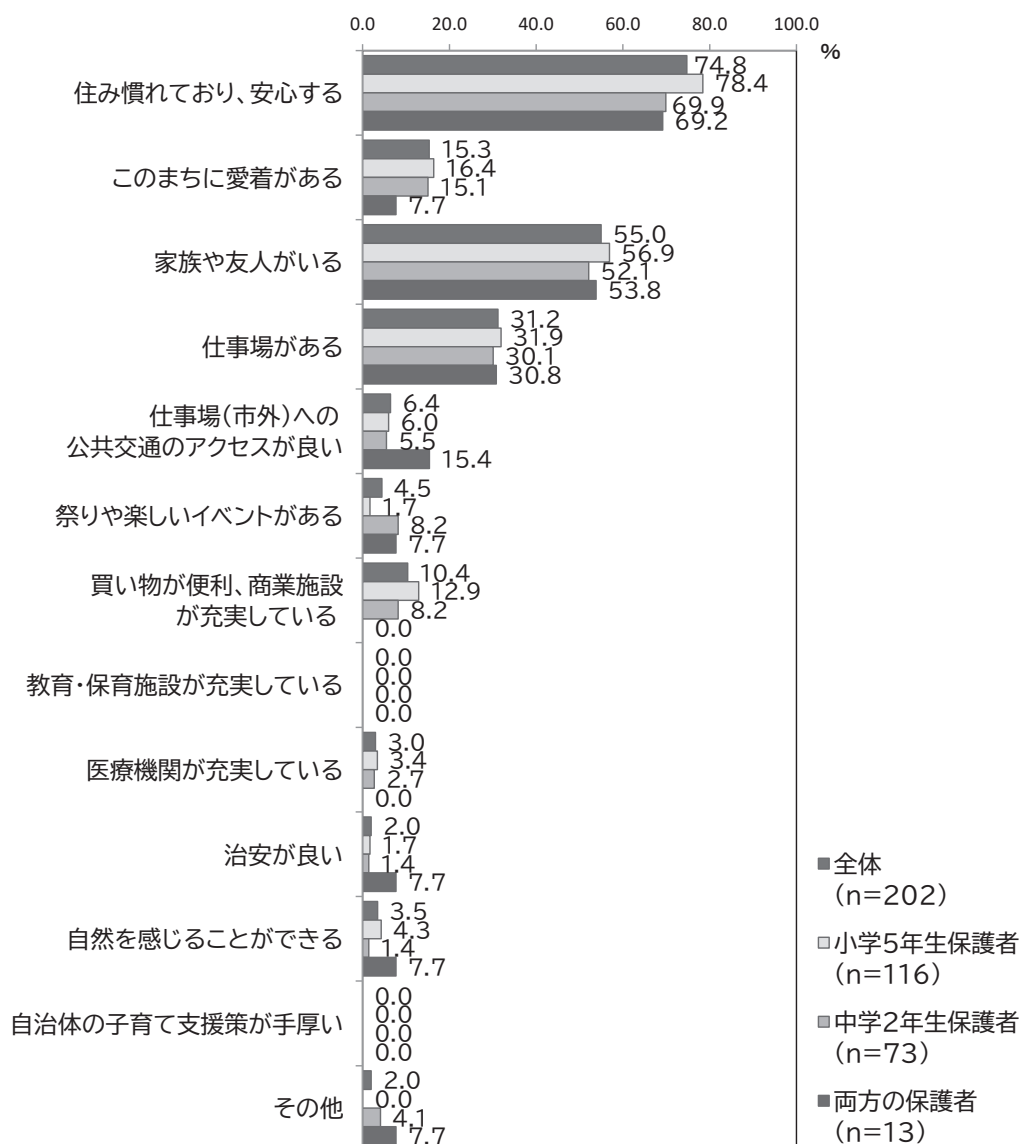
<設問 25-1>

問25で「1. そう思う」「2. どちらかというと思う」と回答した人へのみ表示

今後も住み続けたい(市外の方は、住んでみたい)と思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「住み慣れており、安心する」の 74.8%が最も高く、以下、割合の高い方から「家族や友人がいる」(55.0%)、「仕事場がある」(31.2%)、「このまちに愛着がある」(15.3%)の順となっている。これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「住み慣れており、安心する」、「買い物が便利、商業施設が充実している」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22件)では「仕事場(市外)への公共交通のアクセスが良い」と「治安が良い」、「自然を感じることができる」の割合が他の保護者よりも高くなっている。

【全体及び学年別】



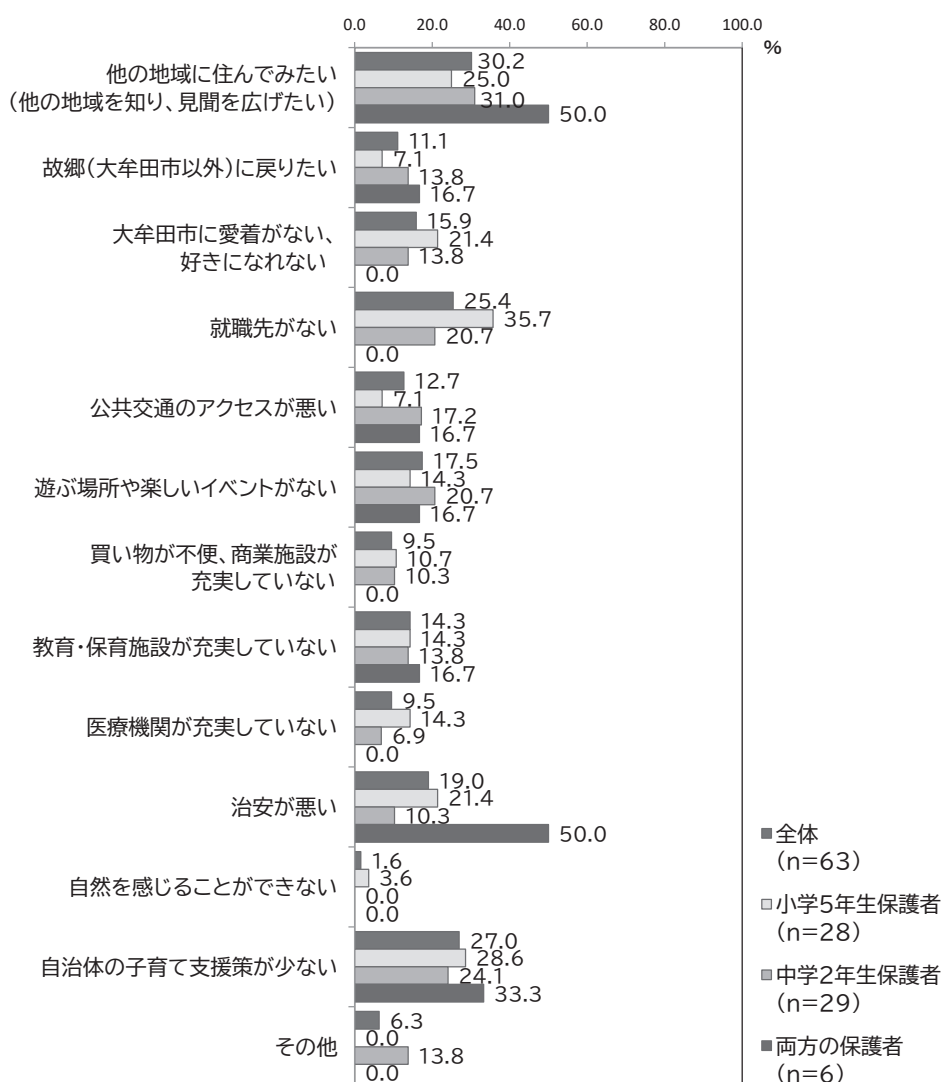
<設問 25-2>

問25で「3. そう思わない」「4. どちらかというと思わない」と回答した人にのみ表示

今後も住み続けたい(市外の方は、住んでみたい)と思わない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「他の地域に住んでみたい(他の地域を知り、見聞を広げたい)」の 30.2%が最も高く、以下、割合の高い方から「自治体の子育て支援策が少ない」(27.0%)、「就職先がない」(25.4%)、「治安が悪い」(19.0%) の順となっている。これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「大牟田市に愛着がない、好きになれない」、「就職先がない」、「治安が悪い」、「自治体の子育て支援策が少ない」の割合は、中学2年生より小学5年生の方が高くなっている。「他の地域に住んでみたい(他の地域を知り、見聞を広げたい)」、「故郷(大牟田市以外)に戻りたい」、「公共交通のアクセスが悪い」、「遊ぶ場所や楽しいイベントがない」では、小学5年生より中学2年生の方が高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では「他の地域に住んでみたい(他の地域を知り、見聞を広げたい)」と「治安が悪い」、「自治体の子育て支援策が少ない」の割合が他の保護者よりも高くなっている。

【全体及び学年別】



<設問 26>

問18で「1」以外と回答した人へのみ表示

あなたがお世話をしている中で、次のことを感じたことはありますか。(〇はいくつでも)

あなたは自分の家庭や職場、住んでいる地域に満足していますか。(それぞれ、〇を1つ)

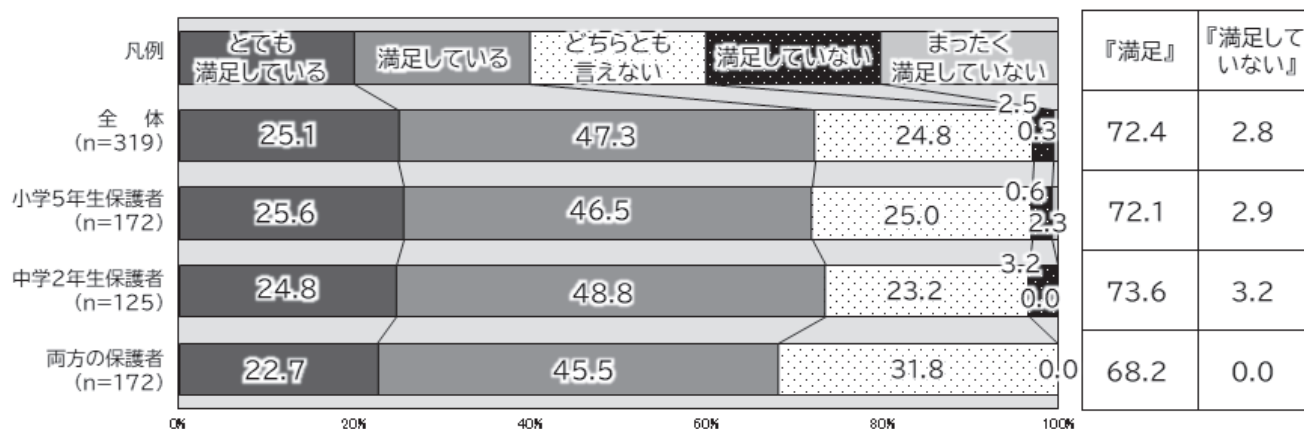
(1) 家庭

「満足している」の 47.3%が最も高く、以下、割合の高い方から「とても満足している」(25.1%)、「どちらとも言えない」(24.8%)、「満足していない」(2.5%)の順となっている。

「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が 72.4%で、『満足していない』(「満足していない」または「まったく満足していない」)は 2.8%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、大きな差は認められない。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では『満足』の割合は他の保護者よりも低くなっている。

【全体及び学年別】



（２）職場

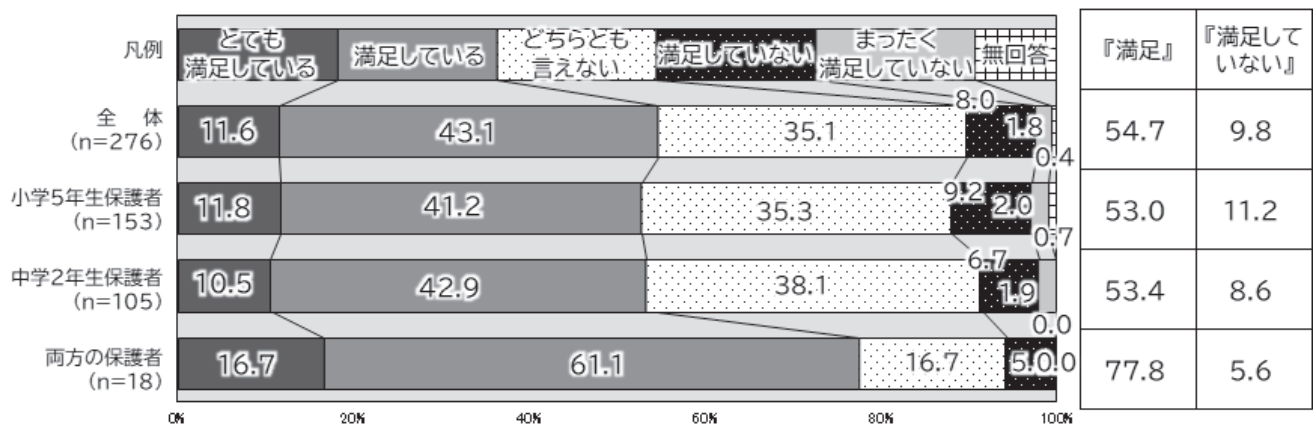
※問 10 で「5」「6」「7」以外を回答した方のみ。

「満足している」の 43.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらとも言えない」（35.1%）、「とても満足している」（11.6%）、「満足していない」（8.0%）の順となっている。

「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が 54.7%で、『満足していない』（「満足していない」または「まったく満足していない」）は 9.8%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、大きな差は認められない。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数 22 件）では『満足』の割合は他の保護者よりも高くなっている。

【全体及び学年別】



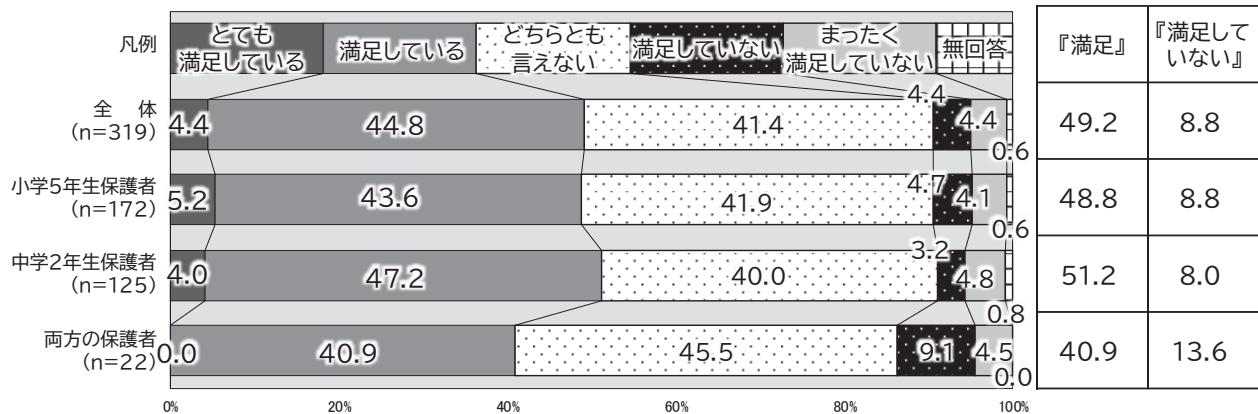
（３）地域

「満足している」の 44.8%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらとも言えない」（41.4%）、「とても満足している」、「満足していない」、「まったく満足していない」（各 4.4%）の順となっている。

「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が 49.2%で、『満足していない』（「満足していない」または「まったく満足していない」）は 8.8%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、大きな差は認められない。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人（サンプル数 22 件）では『満足』の割合は他の保護者よりも低くなっている。

【全体及び学年別】



＜設問 27＞

あなたは、現在、どのくらい幸せを感じていますか。(〇は1つ)

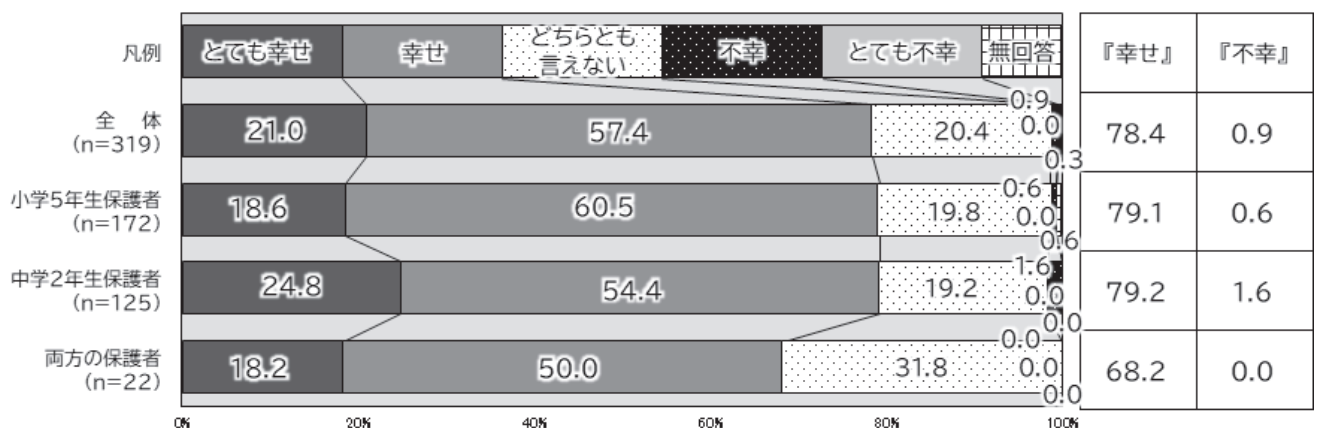
「幸せ」の 57.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「とても幸せ」(21.0%)、「どちらとも言えない」(20.4%) の順となっている。

「とても幸せ」と「幸せ」を合わせた『幸せ』が 78.4%で、『不幸』(「不幸」または「とても不幸」)は 0.9%となっている。

これを小学5年生・中学2年生の保護者別にみると、「とても幸せ」の割合は中学2年生の方が小学5年生よりも高くなっている。小学5年生と中学2年生のそうほうに子どもがいる人(サンプル数 22 件)では『幸せ』の割合は他の保護者よりも低くなっている。

家庭の満足度別、職場の満足度別、地域の満足度別に幸福度をみると、満足度が高い人ほど幸福度も高くなる傾向が認められる。

【全体及び学年別】



【「家庭」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合 計	と と も 幸 せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と と も 不 幸
全体	319 100.0%	67 21.0%	183 57.4%	65 20.4%	3 0.9%	1 0.3%
■「家庭」の満足度別						
とても満足している	80 100.0%	42 52.5%	36 45.0%	2 2.5%	0 0.0%	0 0.0%
満足している	151 100.0%	22 14.6%	106 70.2%	22 14.6%	0 0.0%	1 0.7%
どちらとも言えない	79 100.0%	2 2.5%	39 49.4%	36 45.6%	2 2.5%	0 0.0%
満足していない	8 100.0%	1 12.5%	1 12.5%	5 62.5%	1 12.5%	0 0.0%
まったく満足していない	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【「職場」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合 計	と と も 幸 せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と と も 不 幸
全体	276 100.0%	55 19.9%	165 59.8%	52 18.8%	3 1.1%	1 0.4%
■「職場」の満足度別						
とても満足している	32 100.0%	18 56.3%	12 37.5%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%
満足している	119 100.0%	22 18.5%	81 68.1%	14 11.8%	1 0.8%	1 0.8%
どちらとも言えない	97 100.0%	11 11.3%	60 61.9%	25 25.8%	1 1.0%	0 0.0%
満足していない	22 100.0%	2 9.1%	9 40.9%	10 45.5%	1 4.5%	0 0.0%
まったく満足していない	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

【「地域」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合 計	と と も 幸 せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と と も 不 幸
全体	319 100.0%	67 21.0%	183 57.4%	65 20.4%	3 0.9%	1 0.3%
■「地域」の満足度別						
とても満足している	14	12	2	0	0	0
	100.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
満足している	143	36	91	15	0	1
	100.0%	25.2%	63.6%	10.5%	0.0%	0.7%
どちらとも言えない	132	15	73	42	2	0
	100.0%	11.4%	55.3%	31.8%	1.5%	0.0%
満足していない	14	1	10	3	0	0
	100.0%	7.1%	71.4%	21.4%	0.0%	0.0%
まったく満足していない	14	3	5	5	1	0
	100.0%	21.4%	35.7%	35.7%	7.1%	0.0%
無回答	2	0	2	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<15～39 歳の市民対象調査>

I 調査の概要

I 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

大牟田市（以下「発注者」という。）がこども基本法第 10 条第 2 項に基づき、令和 7 年度から 11 年度までの 5 年間を計画期間とする「大牟田市こども計画」（以下「こども計画」という。）の策定に向けて、その基礎資料とするためのニーズ調査を実施する。

なお、こども計画は、こども基本法第 10 条第 5 項の規定に基づく子どもに関する各種計画を一体化したものとして策定することを想定している。

これらについて、ニーズ調査の実施及び調査結果に対する分析に関する業務及び子どもの人口推計に関する業務の委託を行うもの。

2. 調査設計

（1）調査対象地域 大牟田市内全域

（2）調査対象

市内に在住する 15～39 歳の市民 2,000 人、市内の高校に通う高校生約 3,900 人

（3）調査方法

案内文（web ページの URL、QR コード、個別 ID 入り）を郵送し、
web ページにより回答

（4）調査期間

令和 6 年 7 月 1 日～令和 6 年 7 月 22 日

（5）有効回答票

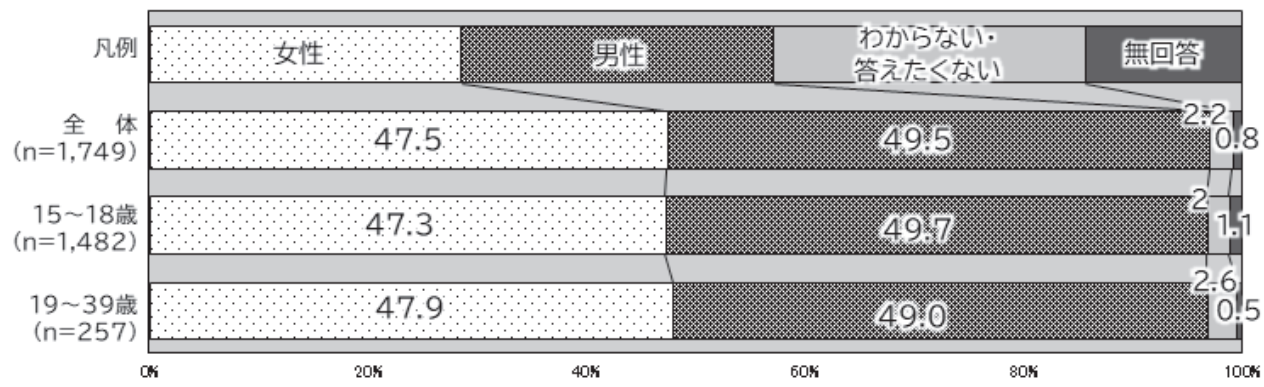
1,749 票（有効回答率 約 29.6%）

3. 本報告書の見方

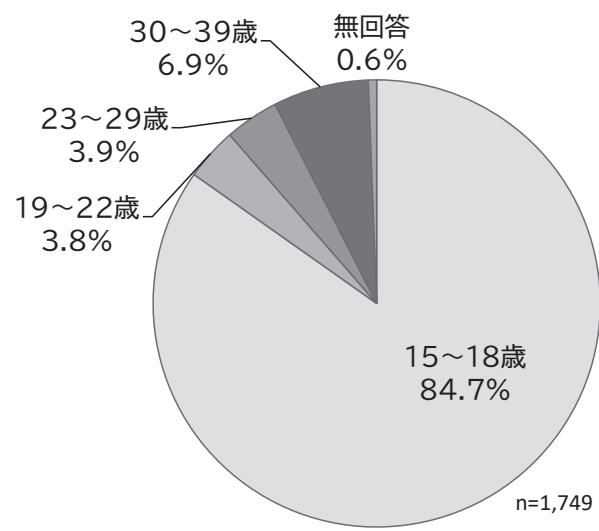
- 回答割合は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示している。小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- 複数回答を可とした質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 文中では選択肢を「 」で示した。数表・図表は、スペースの都合上、調査票の文言を省略して表記している場合がある。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示している。
- 表・グラフにおいて、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。
- 単純集計・クロス集計の図表中には、回答者数が非常に少ない場合がある。このような場合には、回答比率の数字が動きやすく、厳密な比較をする事が難しいので、回答の傾向をみる程度になる。
- 表・グラフ中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難な回答である。

4. 回答者の基本属性

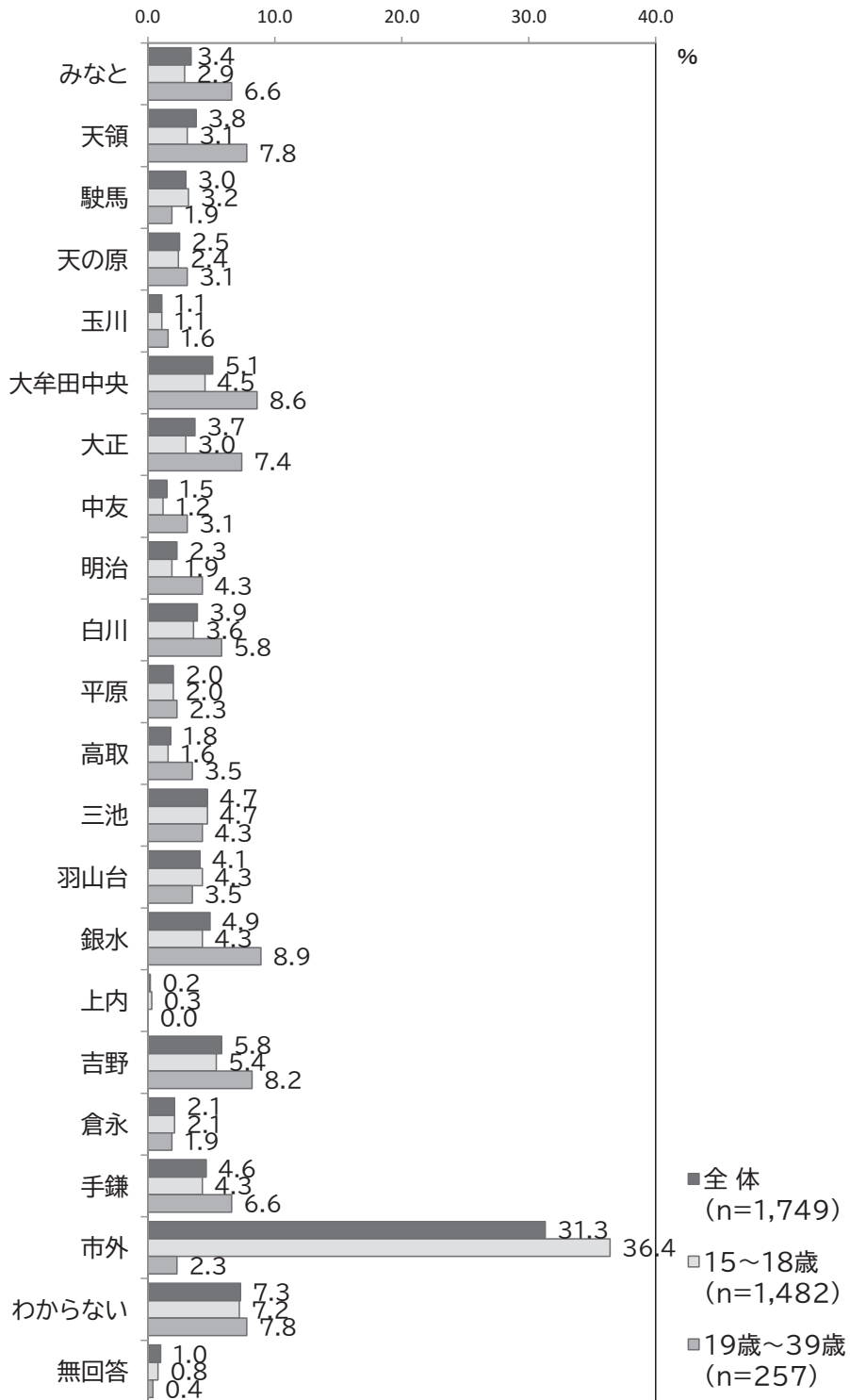
■性別



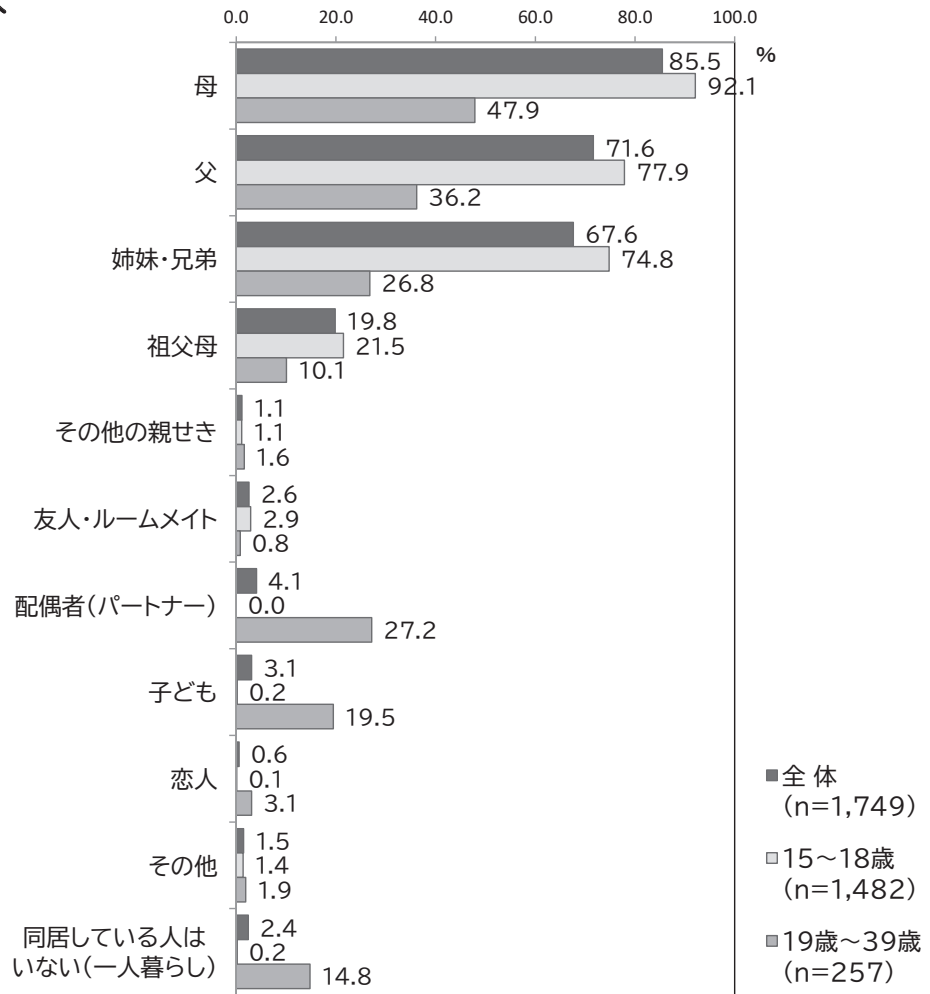
■年齢（令和6年4月1日現在）



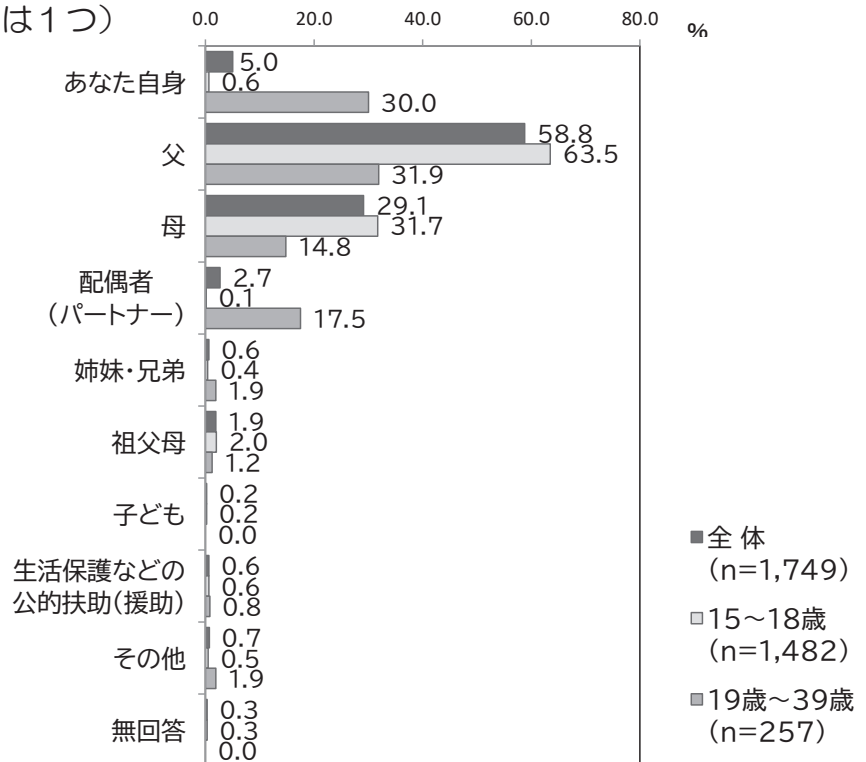
■お住まいの小学校区



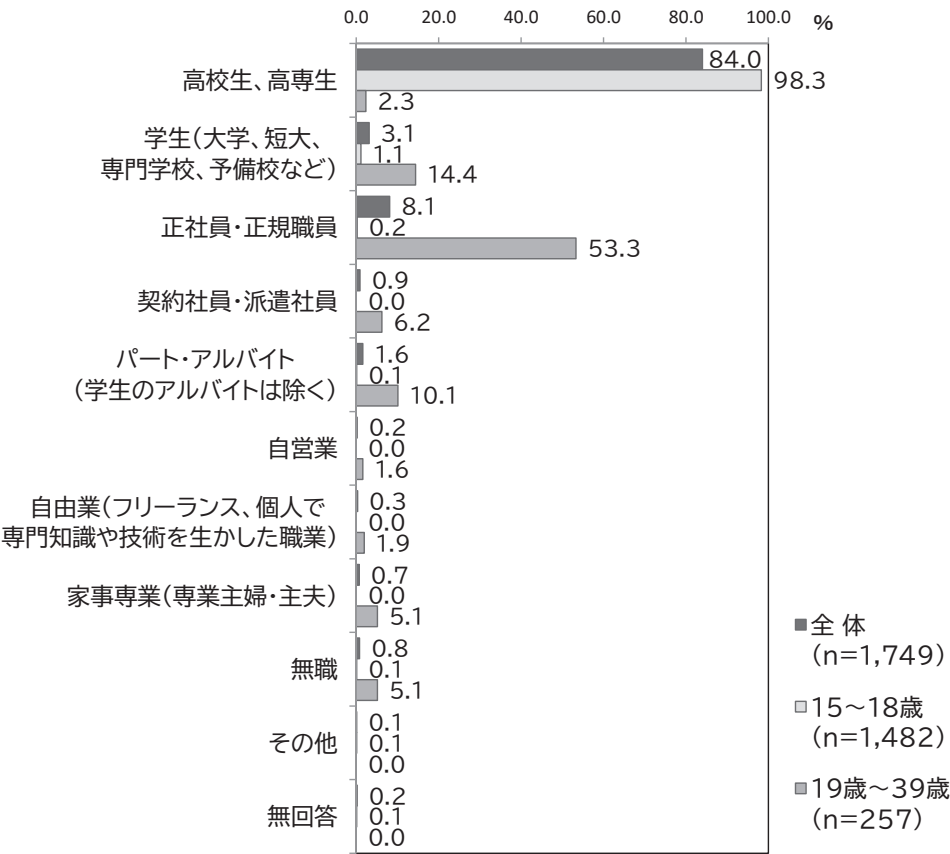
■一緒に暮らしている人



■生計を立てている人 (○は1つ)

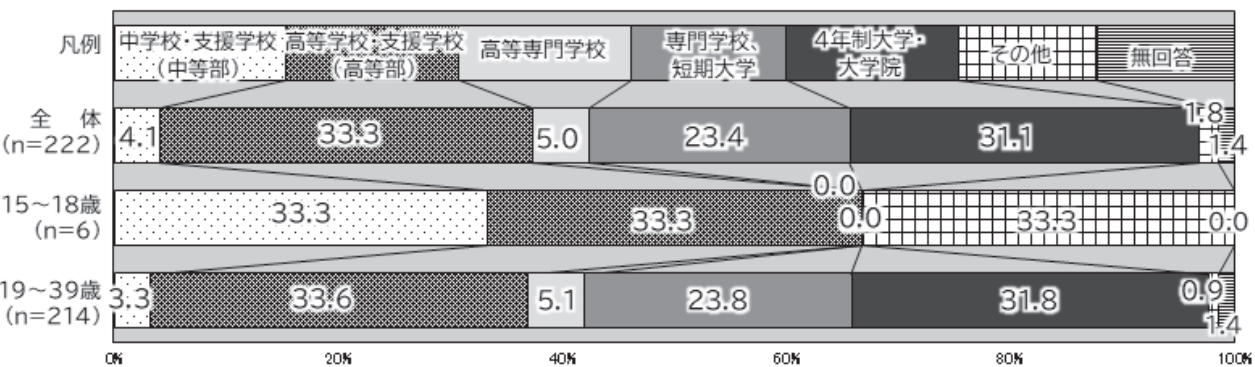


■現在の職業



■最後に在学していた学校

※現在の職業で「高校生、高専生」「学生(大学、短大、専門学校、予備校など)」以外を選んだ人のみ回答



Ⅱ 調査結果

II 調査結果

1. 働くことについて

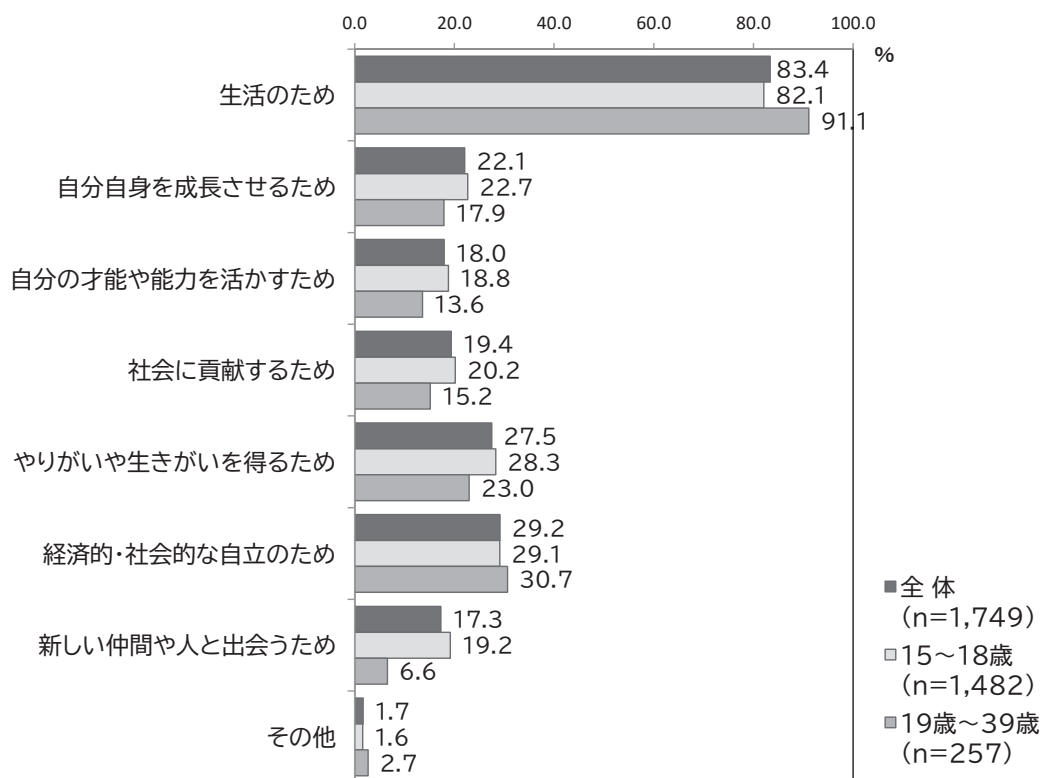
<設問 8>

あなたが働く(就職されていない場合は、将来働くだらう時の)目的は何ですか。(〇はいくつでも)

「生活のため」の 83.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「経済的・社会的な自立のため」(29.2%)、「やりがいや生きがいを得るため」(27.5%)、「自分自身を成長させるため」(22.1%) の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「生活のため」の割合は 15~18 歳の 82.1%に対し、19~39 歳では 91.1%と、19~39 歳の方が高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



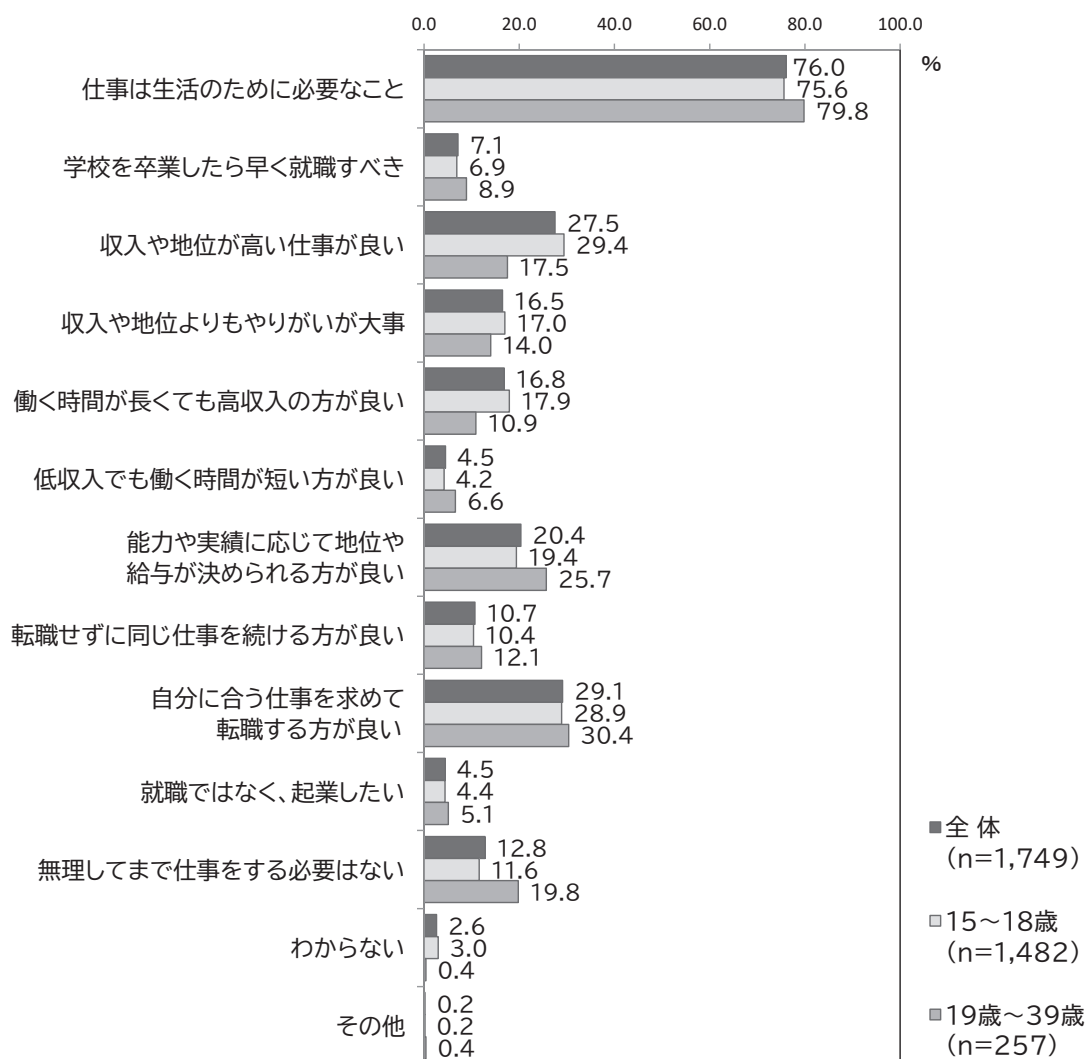
<設問 9>

あなたの就職に対する考え方について、お答えください。(〇はいくつでも)

「仕事は生活のために必要なこと」の 76.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「自分に合う仕事を求めて転職する方が良い」(29.1%)、「収入や地位が高い仕事が良い」(27.5%)、「能力や実績に応じて地位や給与が決められる方が良い」(20.4%)の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「収入や地位が高い仕事が良い」、「働く時間が長くて高収入の方が良い」の割合は、19～39 歳よりも 15～18 歳の方が高くなっている。19～39 歳が 15～18 歳より高くなっている選択肢は、「能力や実績に応じて地位や給与が決められる方が良い」と「無理してまで仕事をする必要はない」となっている。

【全体及び年齢区分別】



2. あなたの居場所や悩んだ時の相談先について

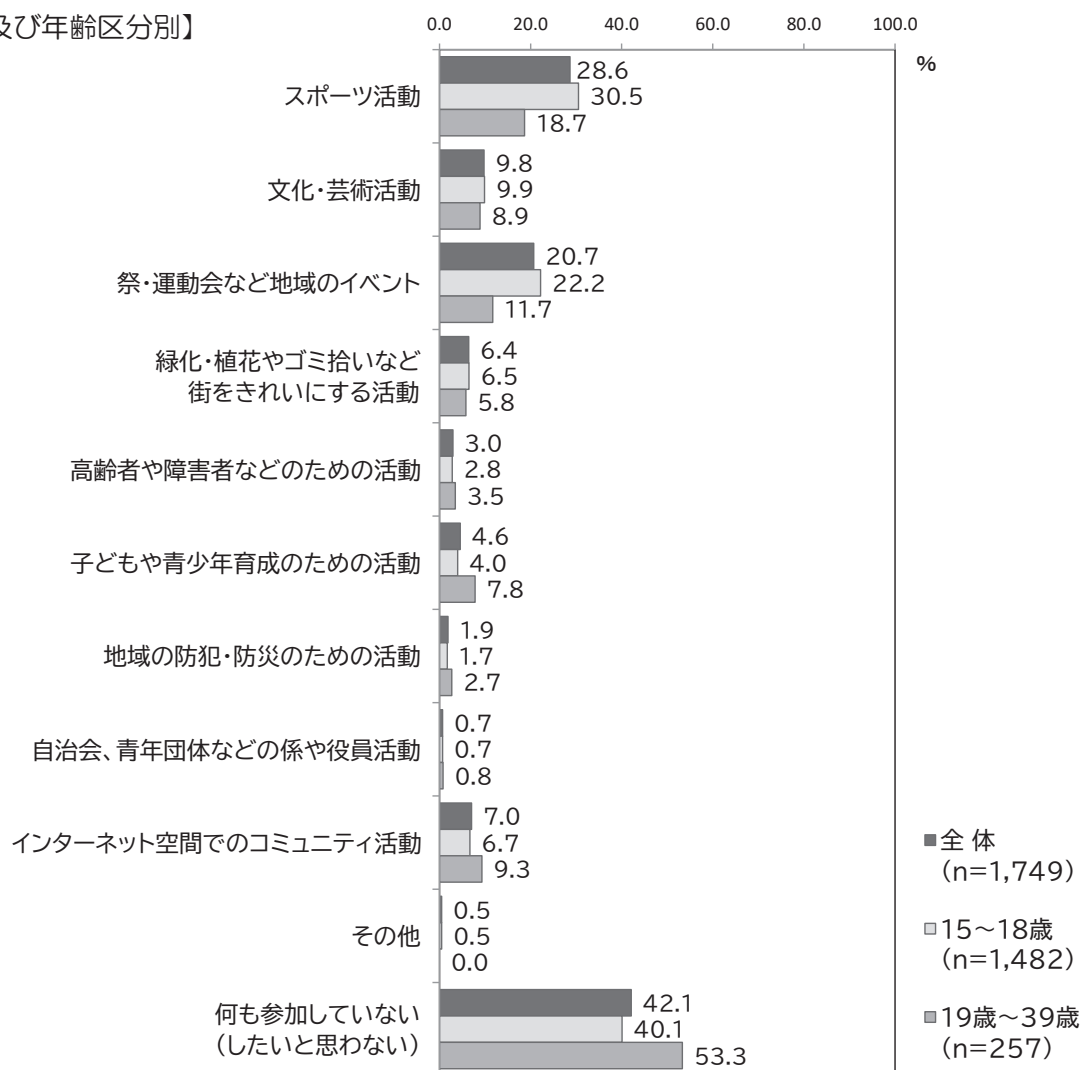
<設問 10>

あなたは、学校や仕事以外にどのような活動に参加していますか。または参加したいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「何も参加していない（したいと思わない）」の 42.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「スポーツ活動」（28.6%）、「祭・運動会など地域のイベント」（20.7%）、「文化・芸術活動」（9.8%）の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「何も参加していない（したいと思わない）」、「子どもや青少年育成のための活動」の割合は、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「スポーツ活動」と「祭・運動会など地域のイベント」となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 10-1>

問10で「11. 何も参加していない(したいと思わない)」以外を回答した人にもみ表示

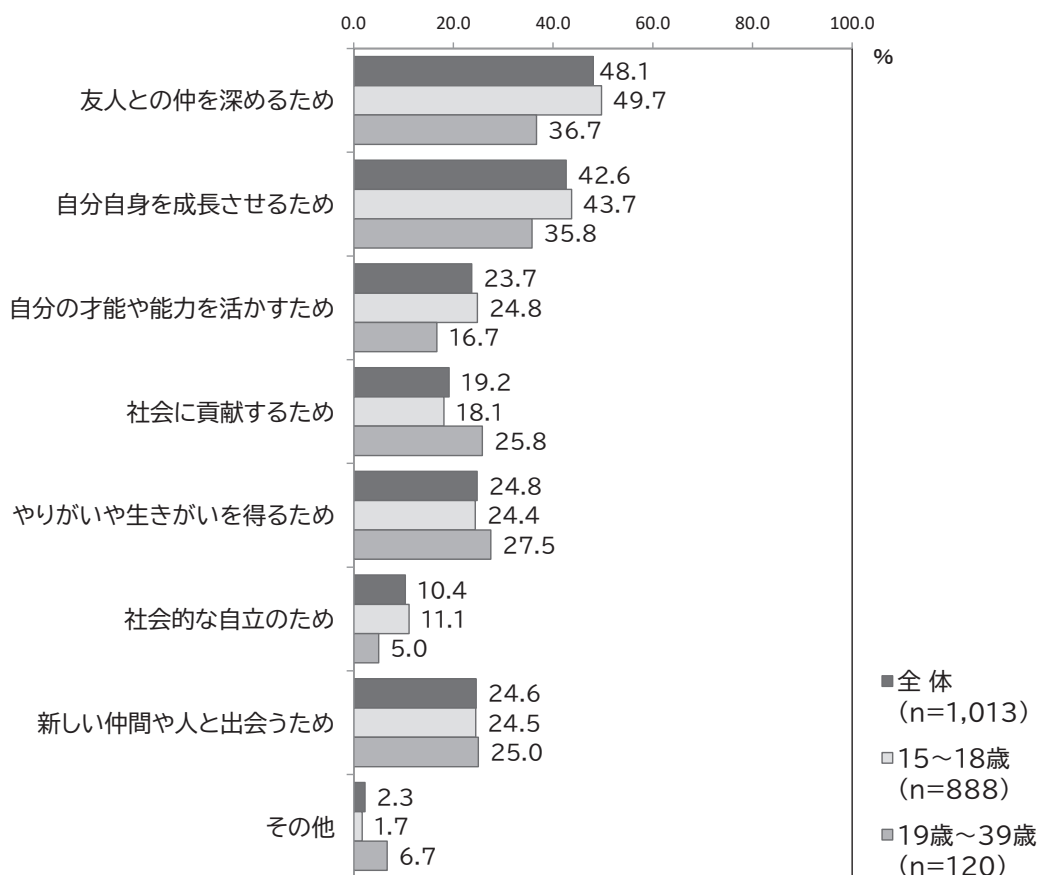
あなたが学校や仕事以外の活動に参加する(または参加したいと思う)目的や理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

「友人との仲を深めるため」の 48.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「自分自身を成長させるため」(42.6%)、「やりがいや生きがいを得るため」(24.8%)、「新しい仲間や人と出会うため」(24.6%) の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「社会に貢献するため」の割合は、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「友人との仲を深めるため」と「自分自身を成長させるため」、「自分の才能や能力を活かすため」、「社会的な自立のため」となっている。

【全体及び年齢区分別】



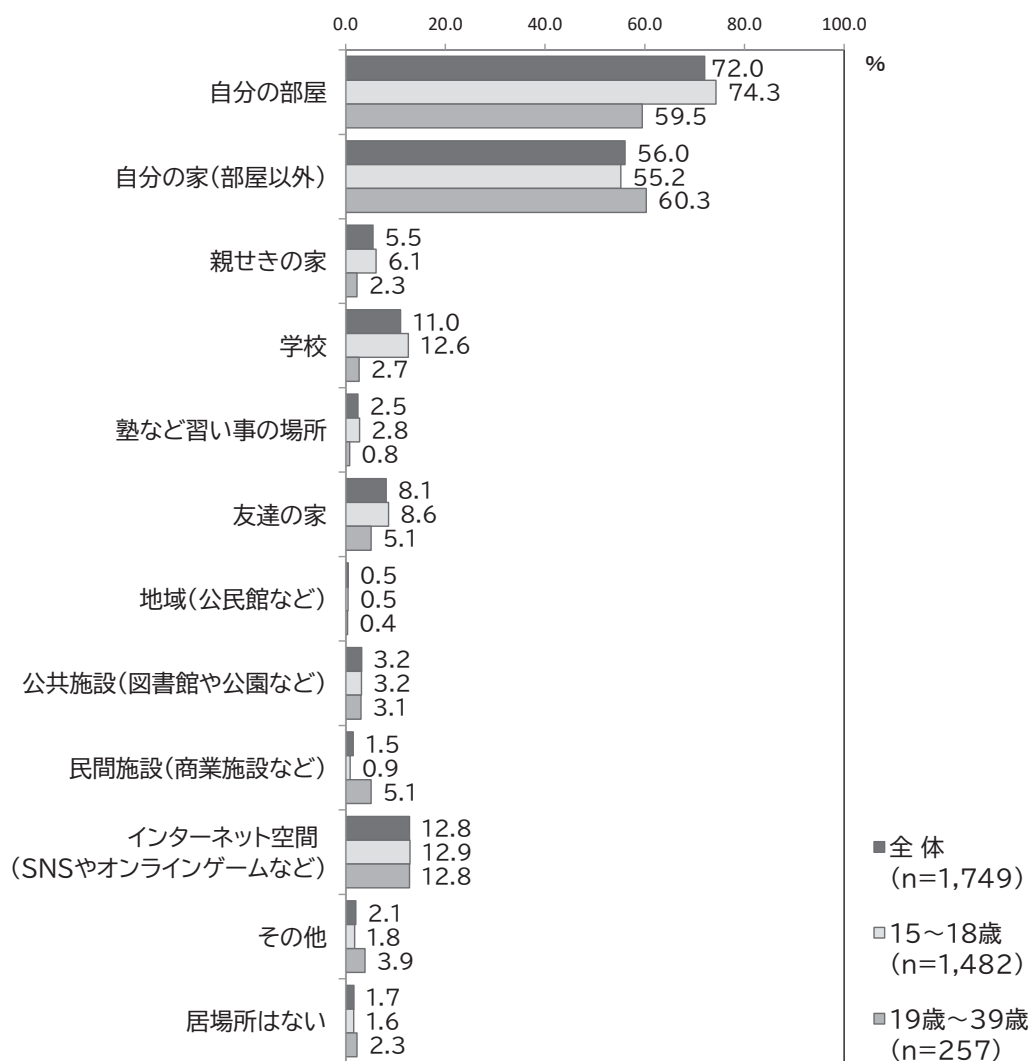
<設問 11>

今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所)となっているのはどこですか。
(〇はいくつでも)

「自分の部屋」の 72.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「自分の家(部屋以外)」(56.0%)、「インターネット空間(SNSやオンラインゲームなど)」(12.8%)、「学校」(11.0%)の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「自分の家(部屋以外)」の割合は、15～18歳よりも19～39歳の方が高くなっている。15～18歳が19～39歳より高くなっている選択肢は、「自分の部屋」、「親せきの家」、「学校」、「友達の家」となっている。

【全体及び年齢区分別】



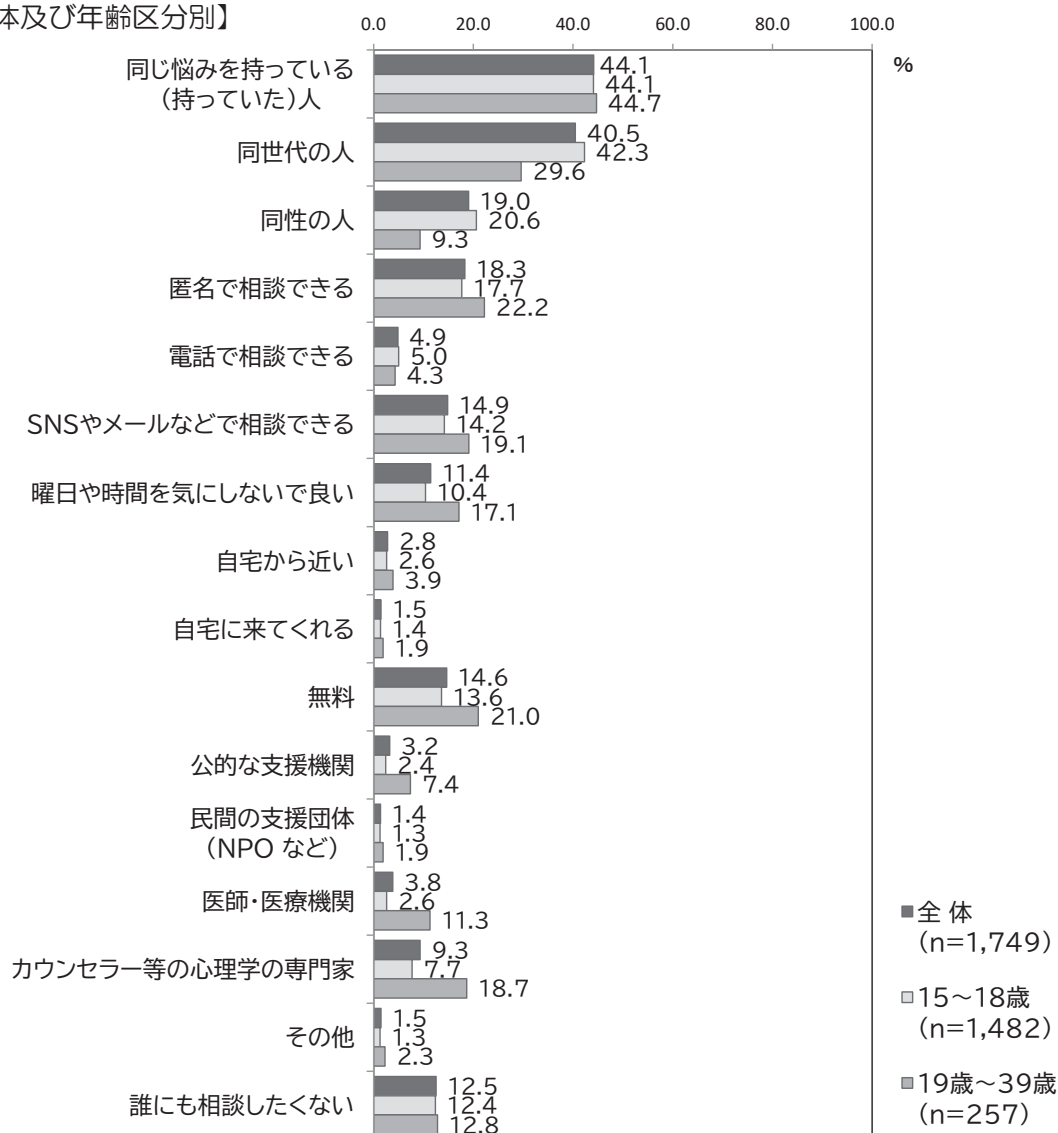
＜設問 12＞

あなたが、悩みがある時に家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人や場所・方法なら相談したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「同じ悩みを持っている（持っていた）人」の 44.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「同世代の人」（40.5%）、「同性の人」（19.0%）、「匿名で相談できる」（18.3%）の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「匿名で相談できる」、「SNS やメールなどで相談できる」、「曜日や時間を気にしないで良い」、「無料」、「公的な支援機関」、「医師・医療機関」、「カウンセラー等の心理学の専門家」の割合は、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「同世代の人」、「同性の人」となっている。

【全体及び年齢区分別】



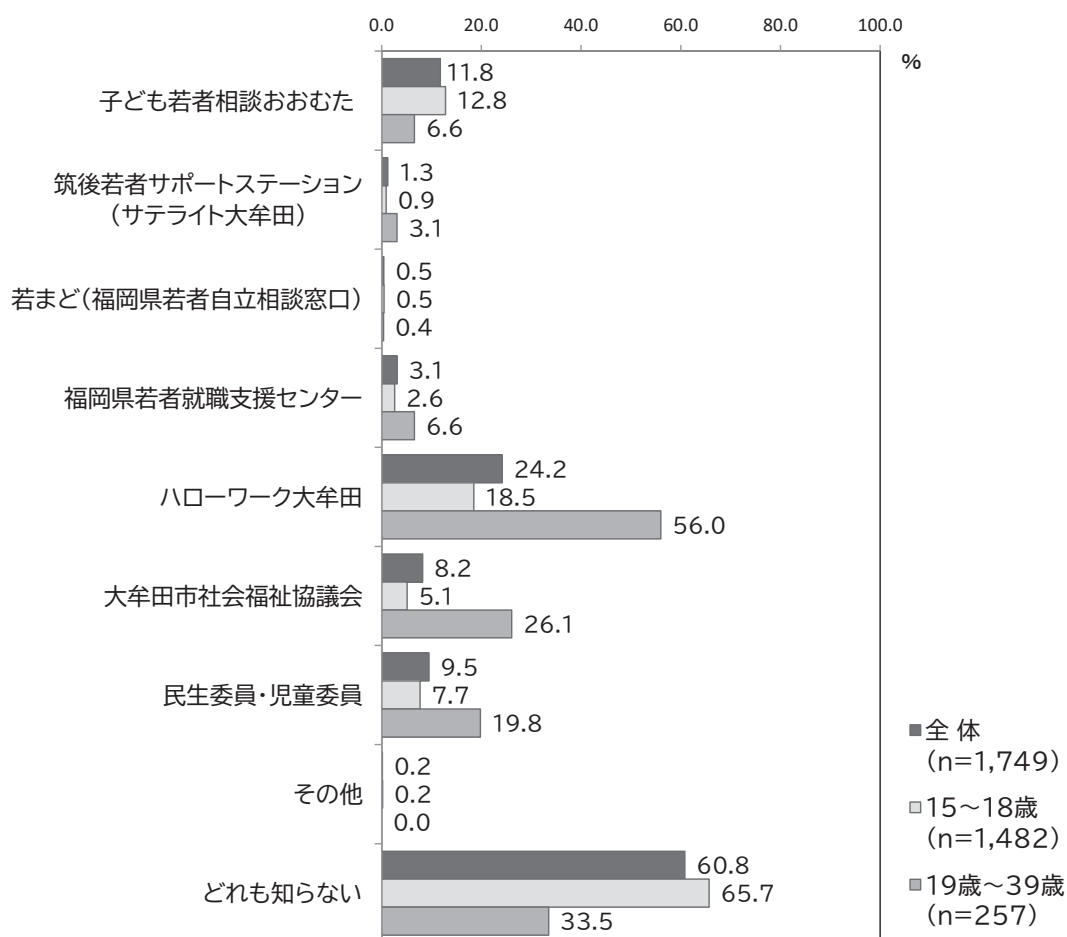
<設問 13>

あなたは、こども・若者を対象とした次の相談窓口（機関や事業）を知っていますか。（○はい/いいえ/どちらともいえない/わからない）

「どれも知らない」の 60.8%が最も高く、以下、割合の高い方から「ハローワーク大牟田」（24.2%）、「子ども若者相談おおむた」（11.8%）、「民生委員・児童委員」（9.5%）の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「福岡県若者就職支援センター」、「ハローワーク大牟田」、「大牟田市社会福祉協議会」、「民生委員・児童委員」の割合は、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「子ども若者相談おおむた」、「どれも知らない」となっている。

【全体及び年齢区分別】



3. あなたの結婚や子をもつ希望などについて

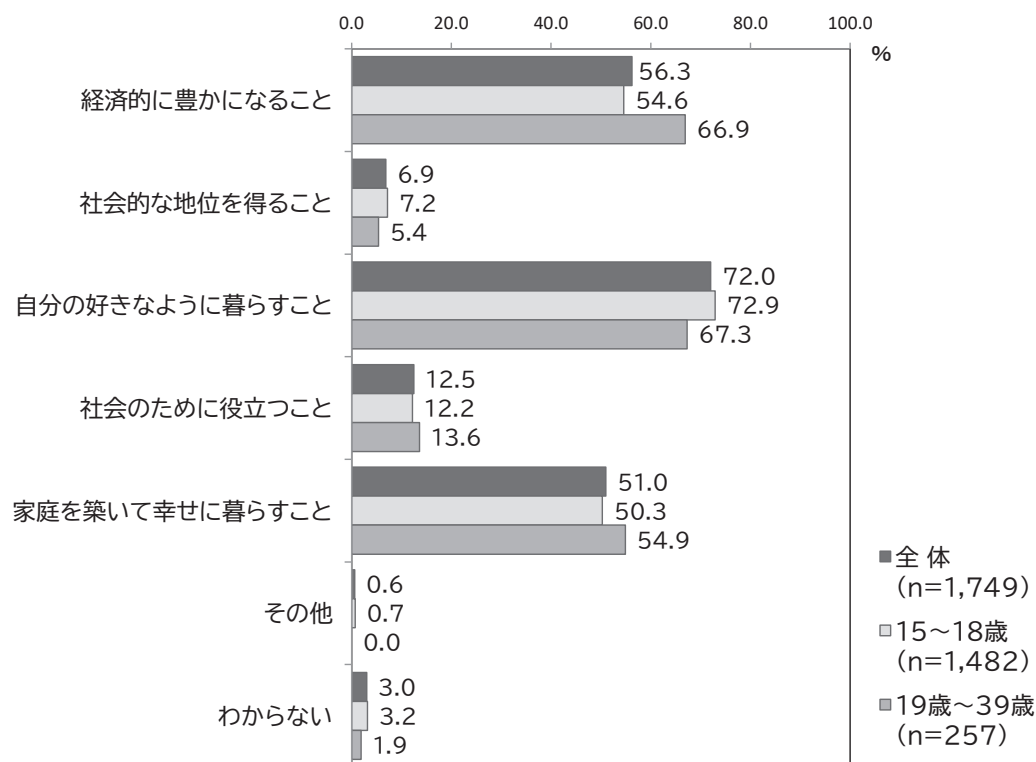
<設問 14>

あなたの理想とする生き方についてお答えください。(〇は3つまで)

「自分の好きなように暮らすこと」の 72.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「経済的に豊かになること」(56.3%)、「家庭を築いて幸せに暮らすこと」(51.0%)、「社会のために役立つこと」(12.5%)の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「経済的に豊かになること」、「家庭を築いて幸せに暮らすこと」の割合は、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「自分の好きなように暮らすこと」となっている。

【全体及び年齢区分別】



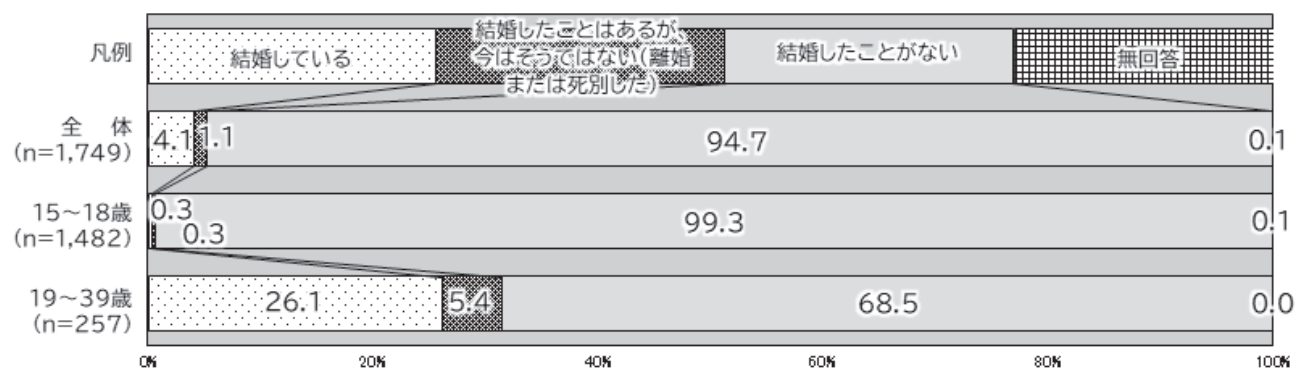
<設問 15>

あなたは現在、結婚されていますか。(○は1つ)

※戸籍の届出の有無にかかわらず、実生活の上で配偶者と同様であるパートナーとの、パートナーシップ関係や内縁関係も含みます。

「結婚したことがない」が最も高く、94.7%を占めている。以下、割合の高い方から「結婚している」(4.1%)、「結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚または死別した)」(1.1%)の順となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 15-1>

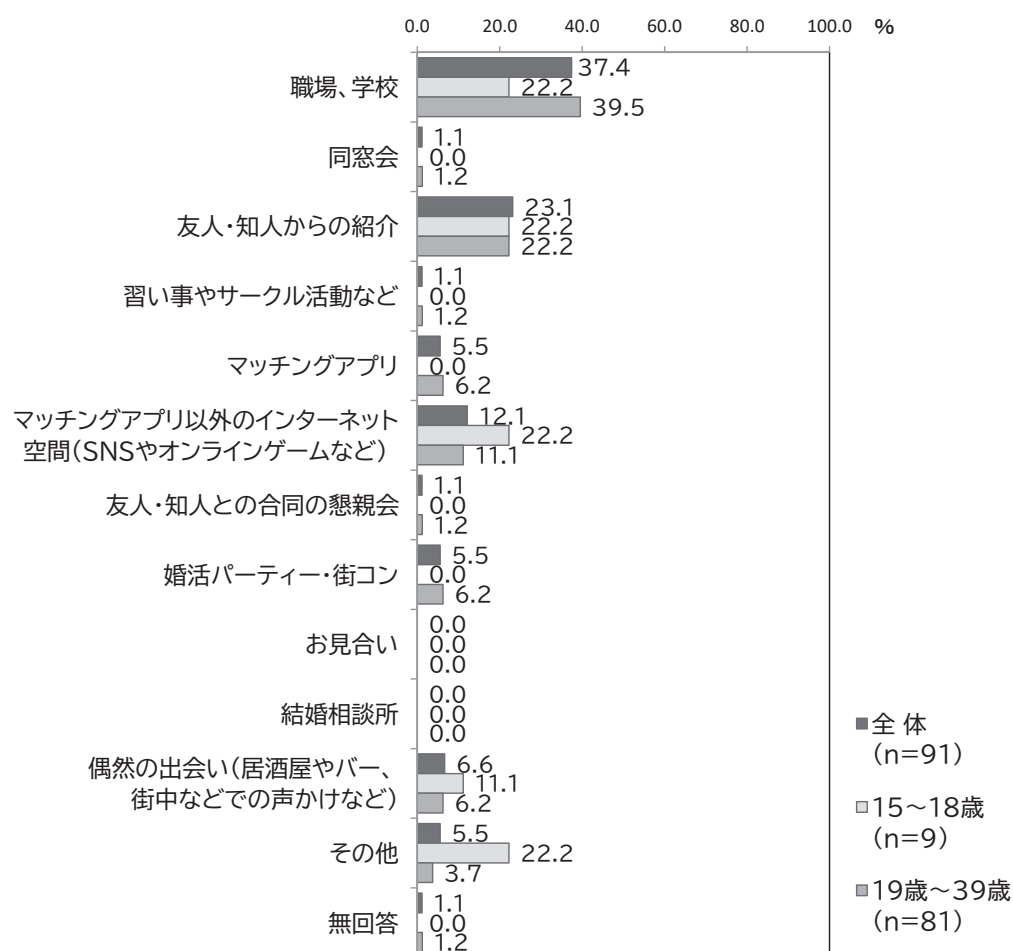
問15で「1. 結婚している」「2. 結婚したことはあるが、今はそうではない(離婚または死別した)」と回答した人にもみ表示

結婚された相手との出会いのキッカケは何ですか。(〇は1つ)

「職場、学校」の 37.4%が最も高く、以下、割合の高い方から「友人・知人からの紹介」(23.1%)、「マッチングアプリ以外のインターネット空間 (SNSやオンラインゲームなど)」(12.1%)、「偶然の出会い (居酒屋やバー、街中などでの声かけなど)」(6.6%) の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「職場、学校」、「マッチングアプリ」の割合は、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「マッチングアプリ以外のインターネット空間 (SNSやオンラインゲームなど)」、「偶然の出会い (居酒屋やバー、街中などでの声かけなど)」、「その他」となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 16>

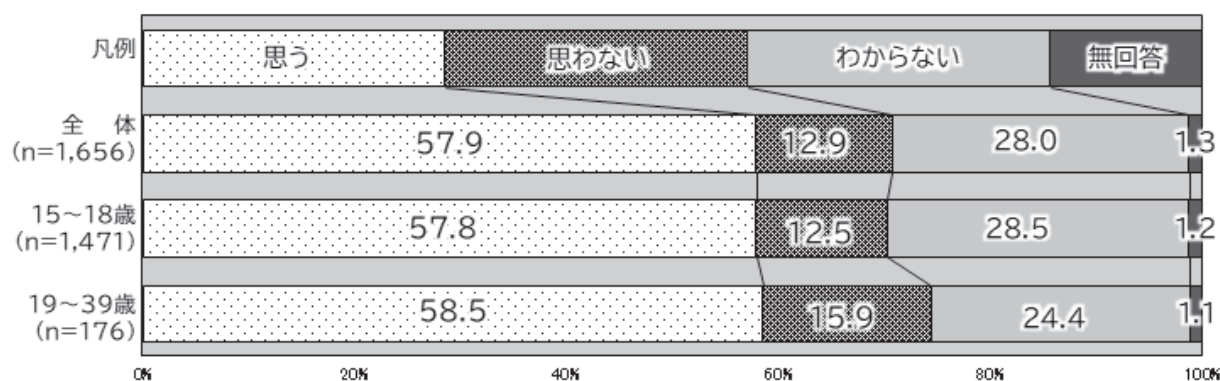
問15で「3. 結婚したことがない」と回答した人にのみ表示

あなたは、今後結婚をしたいと思いますか。(〇は1つ)

「思う」が57.9%で、「思わない」が12.9%。「わからない」は28.0%となっている。

これを年齢区分別にみると、「思わない」の割合は、15～18 歳よりも 19～39 歳の方がやや高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 16-1>

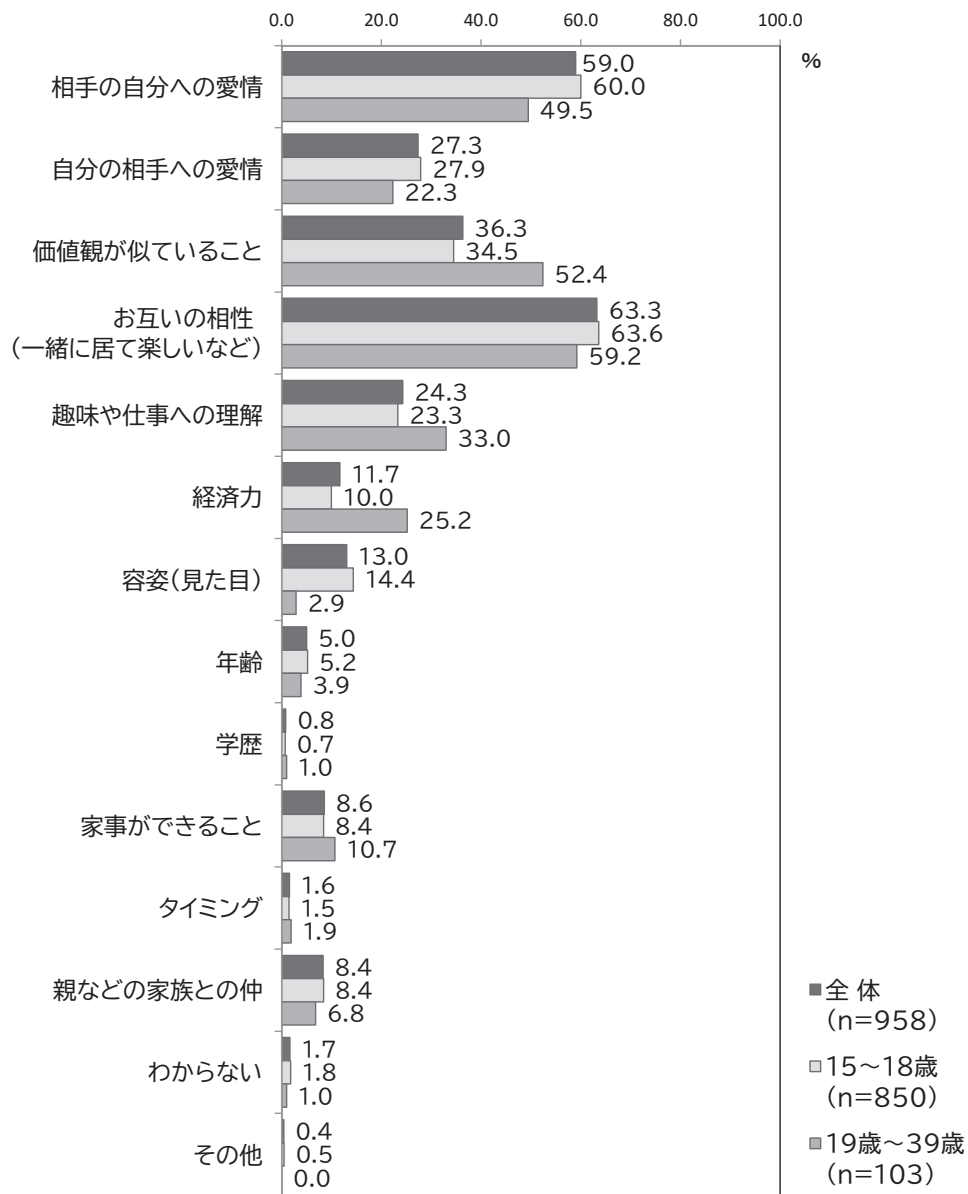
問16で「1. 思う」と回答した人にのみ表示

結婚相手に求めたいことや結婚にあたって重視したいことは何ですか。(〇は3つまで)

「お互いの相性（一緒に居て楽しい など）」の 63.3%が最も高く、以下、割合の高い方から「相手の自分への愛情」（59.0%）、「価値観が似ていること」（36.3%）、「自分の相手への愛情」（27.3%）の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「価値観が似ていること」、「趣味や仕事への理解」、「経済力」の割合は、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「自分の相手への愛情」、「相手の自分への愛情」、「お互いの相性（一緒に居て楽しい など）」、「容姿（見た目）」となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 16-2>

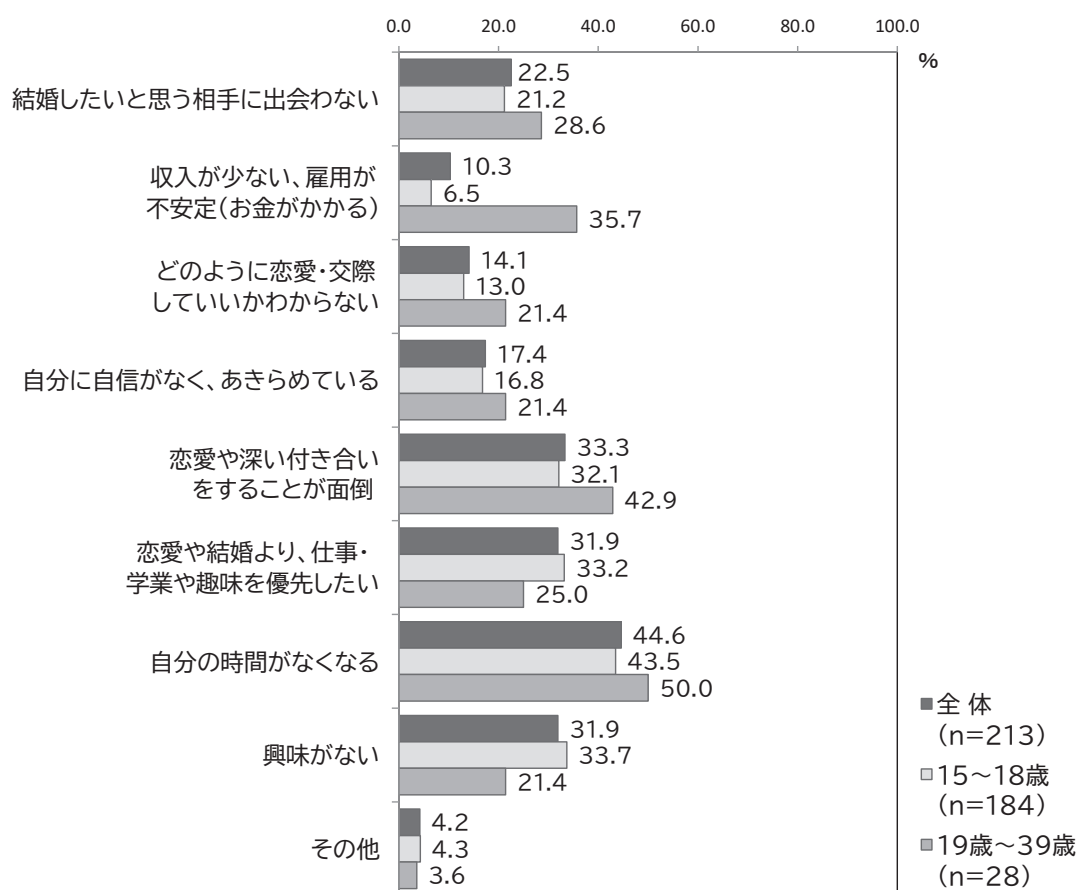
問16で「2. 思わない」と回答した人にのみ表示

結婚したいと思わない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「自分の時間がなくなる」の 44.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「恋愛や深い付き合いをすることが面倒」(33.3%)、「恋愛や結婚より、仕事・学業や趣味を優先したい」及び「興味がない」(31.9%)、「結婚したいと思う相手に出会わない」(22.5%)の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「恋愛や結婚より、仕事・学業や趣味を優先したい」、「興味がない」を除く全ての選択肢の割合が、15～18歳よりも19～39歳の方が高くなっている。

【全体及び年齢区分別】

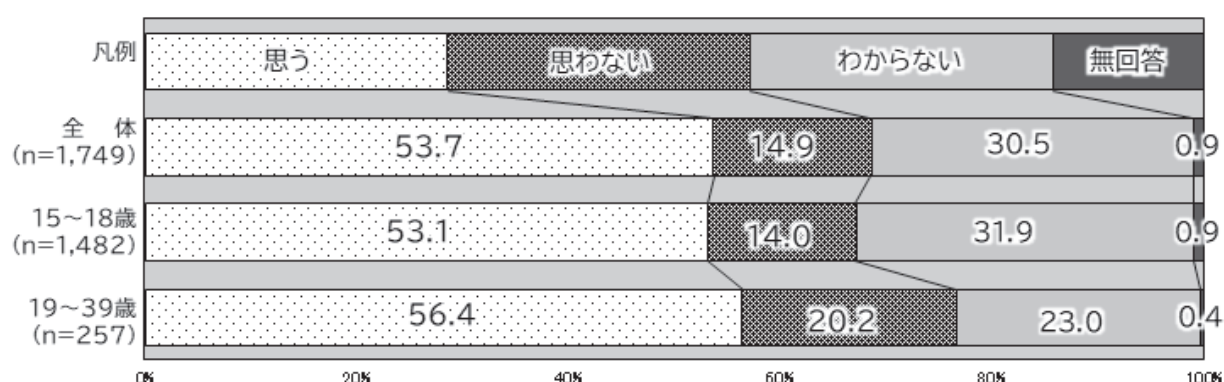


<設問 17>

あなたは、将来的に自分の子どもが欲しいと思いますか。既にお子さんがいる方は、次の子どもが欲しいと思いますか。(〇は1つ)

「思う」が53.7%で、「思わない」が14.9%。「わからない」は30.5%となっている。
これを年齢区分別にみると、「思わない」の割合は、15～18歳よりも19～39歳の方が高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 17-1>

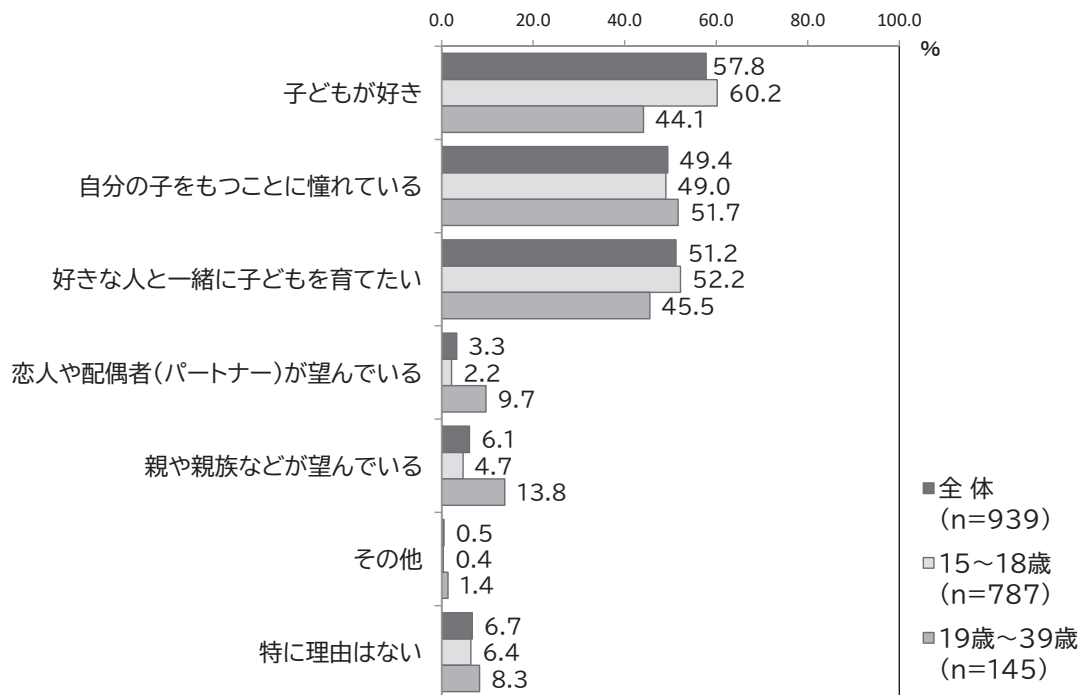
問17で「1. 思う」と回答した人にのみ表示

自分の子どもが欲しい(または次の子が欲しい)と思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「子どもが好き」の57.8%が最も高く、以下、割合の高い方から「好きな人と一緒に子どもを育てたい」(51.2%)、「自分の子をもつことに憧れている」(49.4%)、「特に理由はない」(6.7%)の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「恋人や配偶者(パートナー)が望んでいる」、「親や親族が望んでいる」の割合は、15～18歳よりも19～39歳の方が高くなっている。15～18歳が19～39歳より高くなっている選択肢は、「子どもが好き」、「好きな人と一緒に子どもを育てたい」となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 17-2>

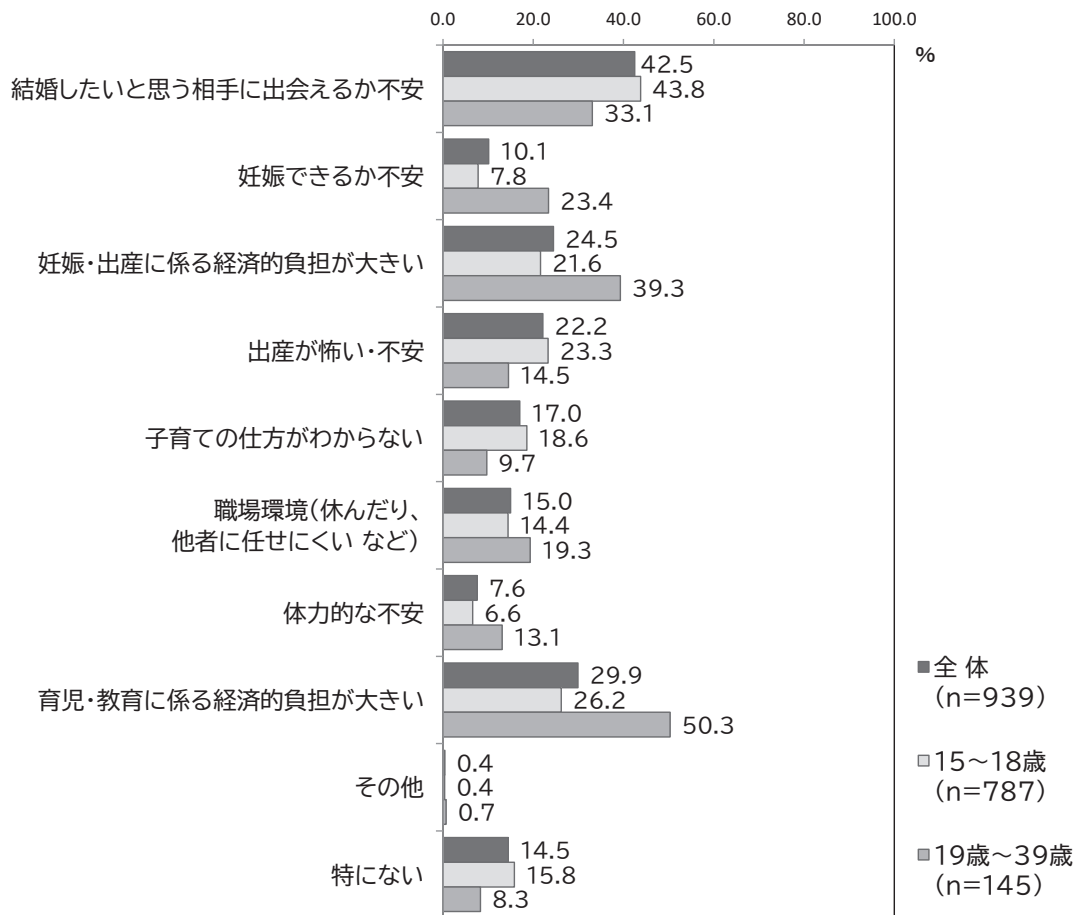
問17で「2. 思わない」と回答した人にのみ表示

自分の子どもをもつ(または次の子をもうける)にあたっての悩みや不安はありますか。(〇は3つまで)

「結婚したいと思う相手に出会えるか不安」の 42.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「育児・教育に係る経済的負担が大きい」(29.9%)、「妊娠・出産に係る経済的負担が大きい」(24.5%)、「出産が怖い・不安」(22.2%)の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「妊娠できるか不安」、「妊娠・出産に係る経済的負担が大きい」、「職場環境(休んだり、他者に任せにくいなど)」、「体力的な不安」、「育児・教育に係る経済的負担が大きい」の割合は、15～18歳よりも19～39歳の方が高くなっている。15～18歳が19～39歳より高くなっている選択肢は、「結婚したいと思う相手に出会えるか不安」、「出産が怖い・不安」、「子育ての仕方がわからない」となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 17-3>

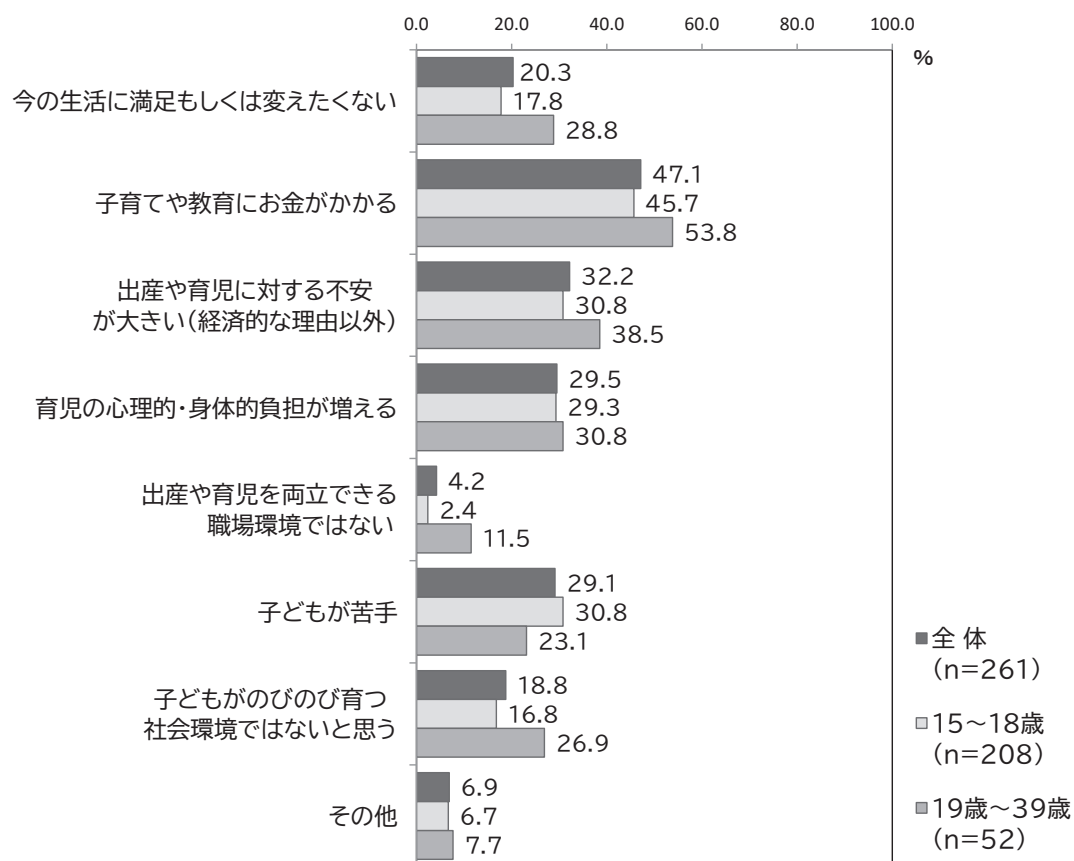
問17で「2. 思わない」と回答した人にのみ表示

自分の子どもが欲しいと思わない(または次の子が欲しいと思わない)理由は何ですか。(〇は3つまで)

「子育てや教育にお金がかかる」の 47.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「出産や育児に対する不安が大きい(経済的な理由以外)」(32.2%)、「育児の心理的・身体的負担が増える」(29.5%)、「子どもが苦手」(29.1%)の順となっている。

これを年齢区別にみると、「子どもが苦手」を除く全ての選択肢の割合で、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「子どもが苦手」となっている。

【全体及び年齢区分別】



4. ヤングケアラー・若者ケアラーについて

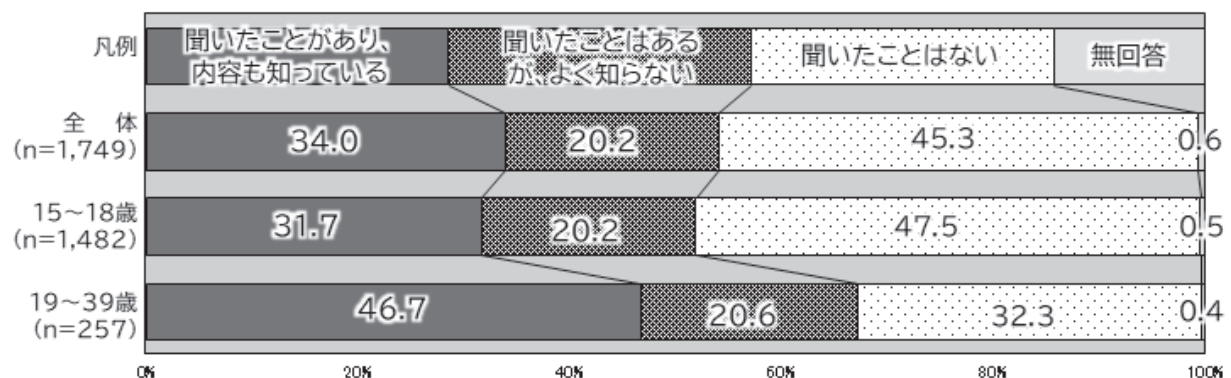
<設問 18>

あなたは、今までに「ヤングケアラー」や「若者ケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(〇は1つ)

「聞いたことはない」の 45.3%が最も高く、以下、割合の高い方から「聞いたことがあり、内容も知っている」(34.0%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(20.2%)の順となっている。「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、よく知らない」を合わせた認知度は、54.2%。

これを年齢区分別にみると、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は、15～18歳の31.7%に対し、19～39歳は46.7%と高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



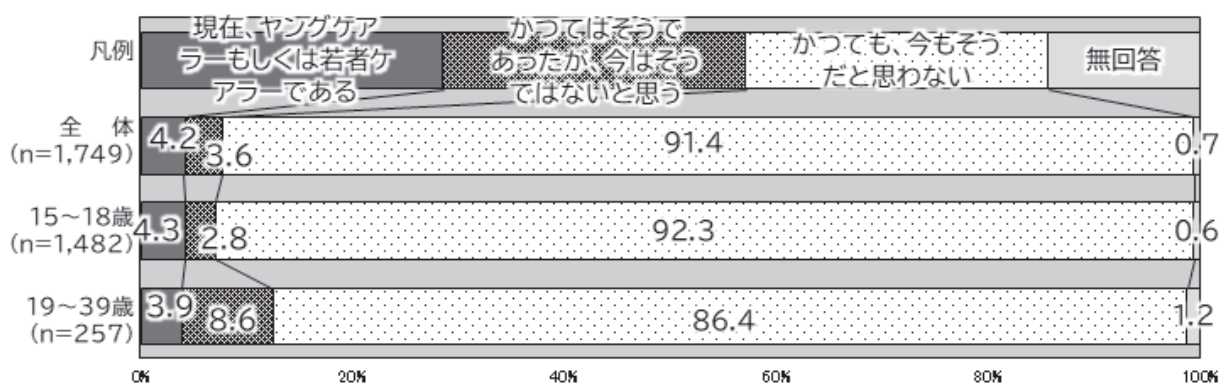
<設問 19>

あなたは、ヤングケアラーもしくは若者ケアラーであると思いますか。(〇は1つ)

「現在、ヤングケアラーもしくは若者ケアラーである」が 4.2% (74 人) で、「かつてはそうであったが、今はそうではないと思う」が 3.6% (63 人) となっている。

これを年齢区分別にみると、「現在、ヤングケアラーもしくは若者ケアラーである」の割合は、15～18歳の4.3%に対し、19～39歳は3.9%。「かつてはそうであったが、今はそうではないと思う」の割合は、15～18歳の2.8%に対し、19～39歳は8.6%となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 19-1>

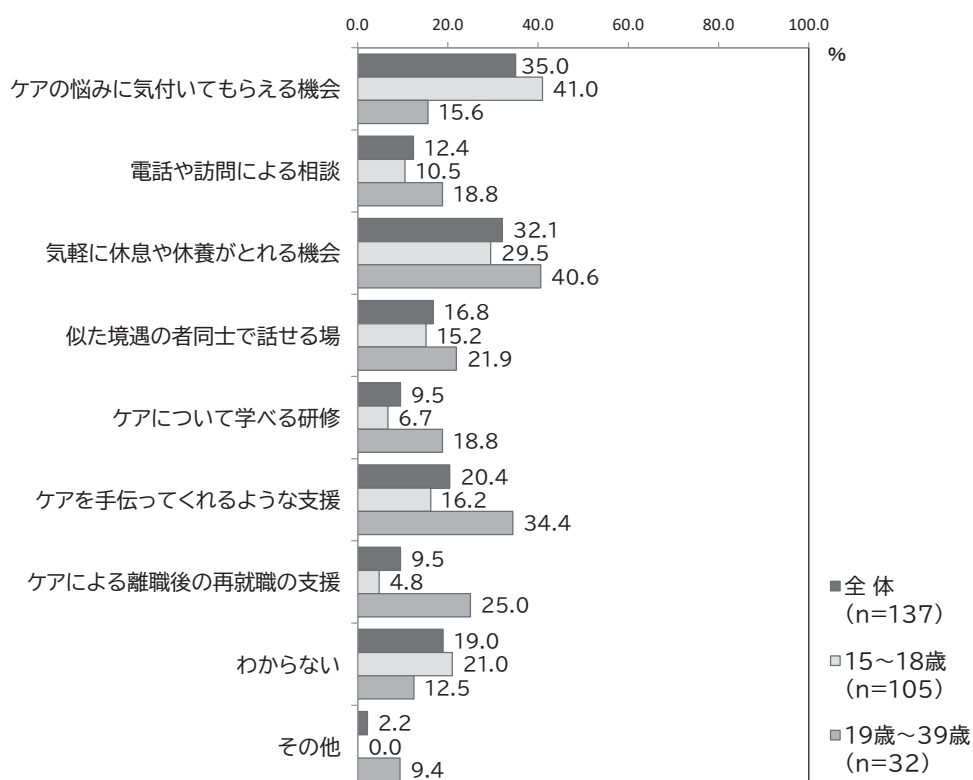
問19で「1」「2」と回答した人にもみ表示

ヤングケアラーもしくは若者ケアラーにとって、どのような支援があると良いと思いますか。(〇は3つまで)

「ケアの悩みに気付いてもらえる機会」の 35.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「気軽に休息や休養がとれる機会」(32.1%)、「ケアを手伝ってくれるような支援」(20.4%)、「わからない」(19.0%) の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「ケアの悩みに気付いてもらえる機会」と「わからない」を除く全ての選択肢の割合で、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



5. 大牟田市での取組や印象などについて

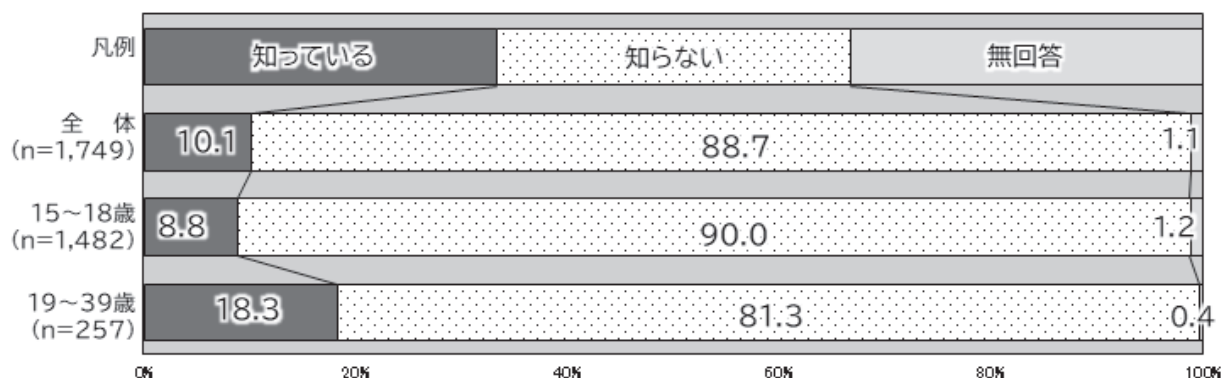
<設問 20>

「大牟田市子ども・子育て応援条例」が制定されたことを知っていますか。(〇は1つ)

「知っている」が10.1%で、「知らない」が88.7%となっている。

これを年齢区分別にみると、「知っている」の割合は、15～18歳よりも19～39歳の方が高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 21>

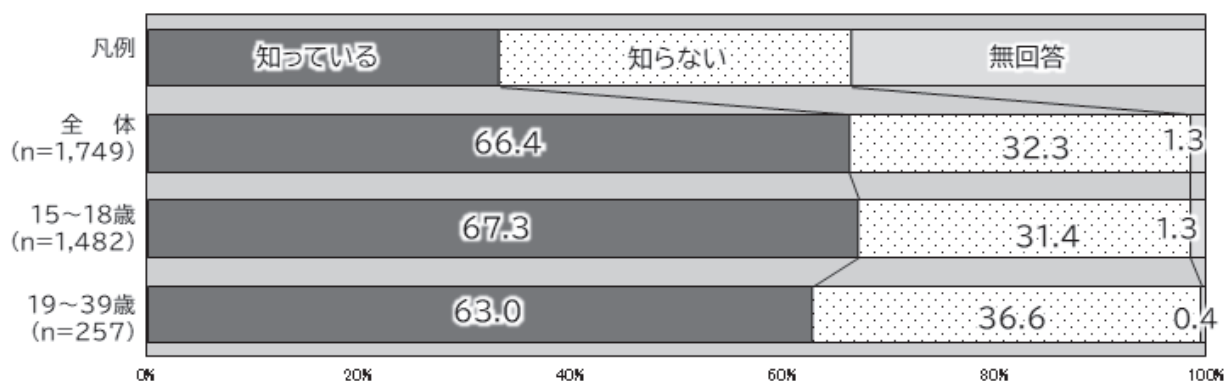
子どもの権利があることを知っていますか。

国際条約で、子どもには主に「生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利」の4つの権利があると定められており、「大牟田市子ども・子育て応援条例」でもこれらの権利を尊重するように定めています。(〇は1つ)

「知っている」が66.4%で、「知らない」が32.3%となっている。

これを年齢区分別にみると、「知っている」の割合は、19～39歳よりも15～18歳の方がやや高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



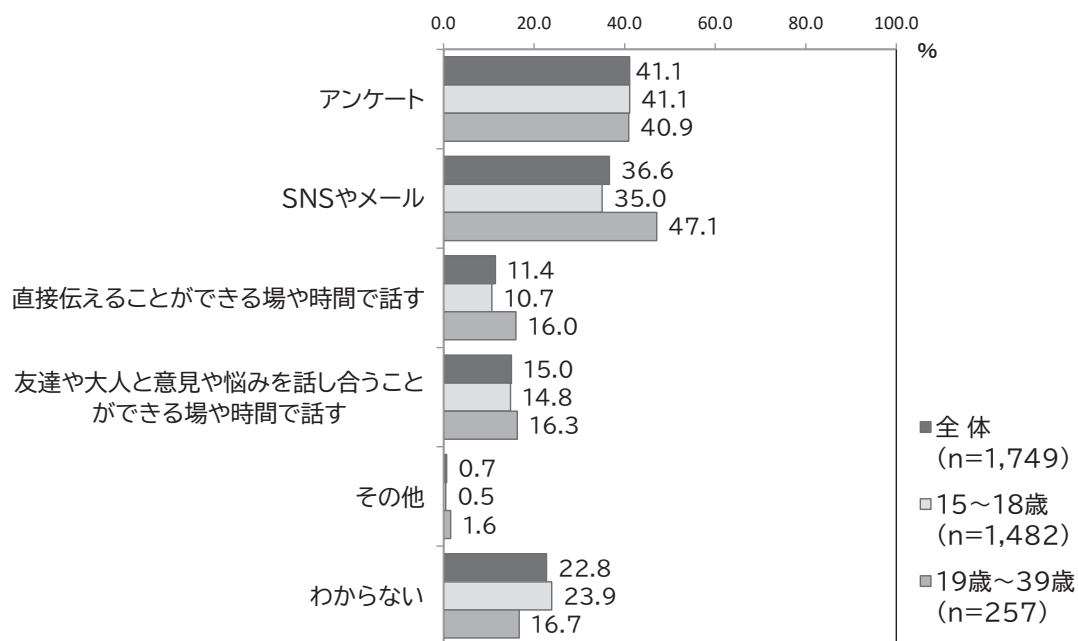
<設問 22>

子どもや若者の声(意見や悩みなど)を聴くにあって、どのような方法であれば、自分も参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

「アンケート」の 41.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「SNS やメール」(36.6%)、「わからない」(22.8%)、「友達や大人と意見や悩みを話し合えることや時間で話す」(15.0%) の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「SNS やメール」と「直接伝えることができる場や時間で話す」の割合で、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 23>

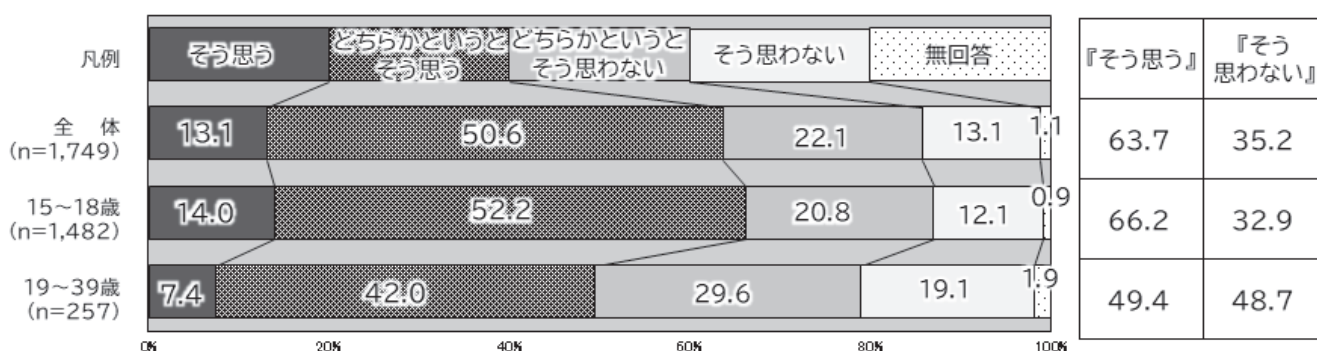
大牟田市は、子育てがしやすいところだと思いますか。(〇は1つ)

「どちらかというと思う」の 50.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかというと思わない」(22.1%)、「思う」及び「思わない」(13.1%)の順となっている。

回答者全体の結果をみると、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた『思う』が 63.7%で、『思わない』(「思わない」または「どちらかといえば思わない」)は 35.2%となっている。

これを年齢区分別にみると、『思う』の割合は、15～18 歳の 66.2%に対し、19～39 歳は 49.4%となっており、19～39 歳では『思わない』が 48.7%で回答者の半数近くを占めている。年代が若くなるほど「思う」の割合が高くなり、逆に年代が上がるほど「思わない」の割合が高くなっている。

【全体及び年齢区分別】



【年齢区分別】

	合 計	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	無回答
全体	1,749 100.0%	229 13.1%	885 50.6%	387 22.1%	229 13.1%	19 1.1%
■ 年齢別						
15～18歳	1,482 100.0%	208 14.0%	774 52.2%	308 20.8%	179 12.1%	13 0.9%
19～22歳	67 100.0%	11 16.4%	31 46.3%	19 28.4%	6 9.0%	0 0.0%
23～29歳	69 100.0%	3 4.3%	36 52.2%	15 21.7%	14 20.3%	1 1.4%
30～39歳	121 100.0%	5 4.1%	41 33.9%	42 34.7%	29 24.0%	4 3.3%
無回答	10 100.0%	2 20.0%	3 30.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%

【校区別】

	合計	そう 思う	ど ち ら か と い う と	ど ち ら か と い う と	そ う 思 わ な い	無 回 答
合計	1,749 100.0%	229 13.1%	885 50.6%	387 22.1%	229 13.1%	19 1.1%
■ 校区別						
みなと	60 100.0%	9 15.0%	30 50.0%	10 16.7%	9 15.0%	2 3.3%
天領	66 100.0%	10 15.2%	33 50.0%	16 24.2%	7 10.6%	0 0.0%
駛馬	52 100.0%	5 9.6%	24 46.2%	16 30.8%	7 13.5%	0 0.0%
天の原	44 100.0%	5 11.4%	23 52.3%	11 25.0%	4 9.1%	1 2.3%
玉川	20 100.0%	3 15.0%	8 40.0%	5 25.0%	3 15.0%	1 5.0%
大牟田中央	89 100.0%	8 9.0%	47 52.8%	21 23.6%	12 13.5%	1 1.1%
大正	64 100.0%	8 12.5%	40 62.5%	10 15.6%	6 9.4%	0 0.0%
中友	26 100.0%	3 11.5%	17 65.4%	4 15.4%	2 7.7%	0 0.0%
明治	40 100.0%	4 10.0%	18 45.0%	14 35.0%	4 10.0%	0 0.0%
白川	68 100.0%	10 14.7%	29 42.6%	24 35.3%	5 7.4%	0 0.0%
平原	35 100.0%	2 5.7%	20 57.1%	8 22.9%	4 11.4%	1 2.9%
高取	32 100.0%	4 12.5%	18 56.3%	5 15.6%	4 12.5%	1 3.1%
三池	82 100.0%	16 19.5%	47 57.3%	12 14.6%	7 8.5%	0 0.0%
羽山台	72 100.0%	13 18.1%	35 48.6%	18 25.0%	5 6.9%	1 1.4%
銀水	86 100.0%	10 11.6%	47 54.7%	17 19.8%	10 11.6%	2 2.3%
上内	4 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%
吉野	101 100.0%	16 15.8%	46 45.5%	25 24.8%	13 12.9%	1 1.0%
倉永	36 100.0%	7 19.4%	16 44.4%	11 30.6%	2 5.6%	0 0.0%
手鎌	80 100.0%	8 10.0%	47 58.8%	18 22.5%	7 8.8%	0 0.0%
市外	548 100.0%	63 11.5%	281 51.3%	106 19.3%	91 16.6%	7 1.3%
わからない	127 100.0%	21 16.5%	49 38.6%	31 24.4%	26 20.5%	0 0.0%
無回答	17 100.0%	4 23.5%	9 52.9%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%

<設問 23-1>

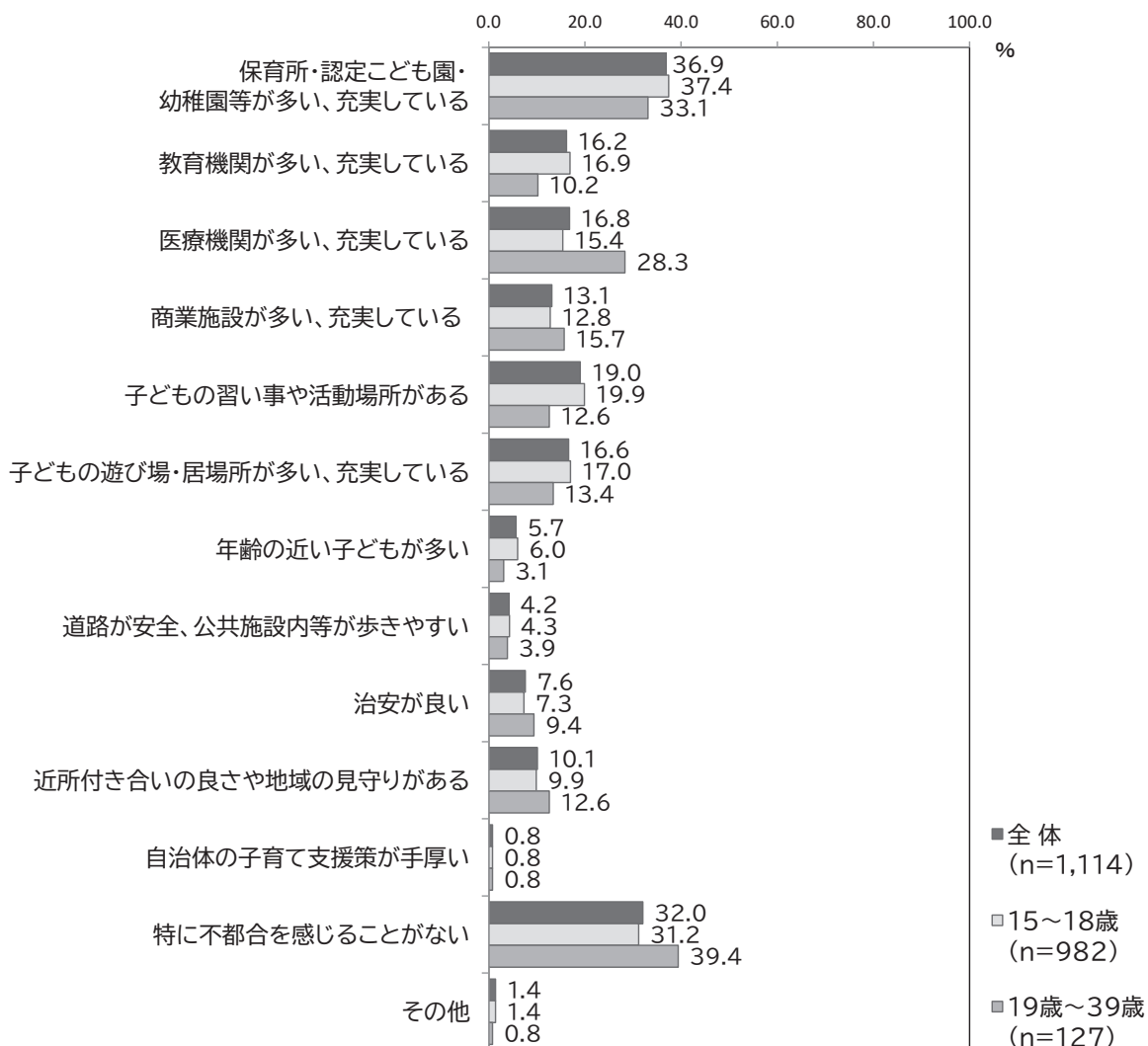
問23で「1. そう思う」「2. どちらかというと思う」と回答した人にのみ表示

大牟田市が子育てしやすいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「保育所・認定こども園・幼稚園等が多い、充実している」の 36.9%が最も高く、以下、割合の高い方から「特に不都合を感じることがない」(32.0%)、「子どもの習い事や活動場所がある」(19.0%)、「医療機関が多い、充実している」(16.8%)の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「医療機関が充実している」、「特に不都合を感じることがない」の割合で、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「保育所・認定こども園・幼稚園等が多い、充実している」、「教育機関が多い、充実している」、「子どもの習い事や活動場所がある」となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 23-2>

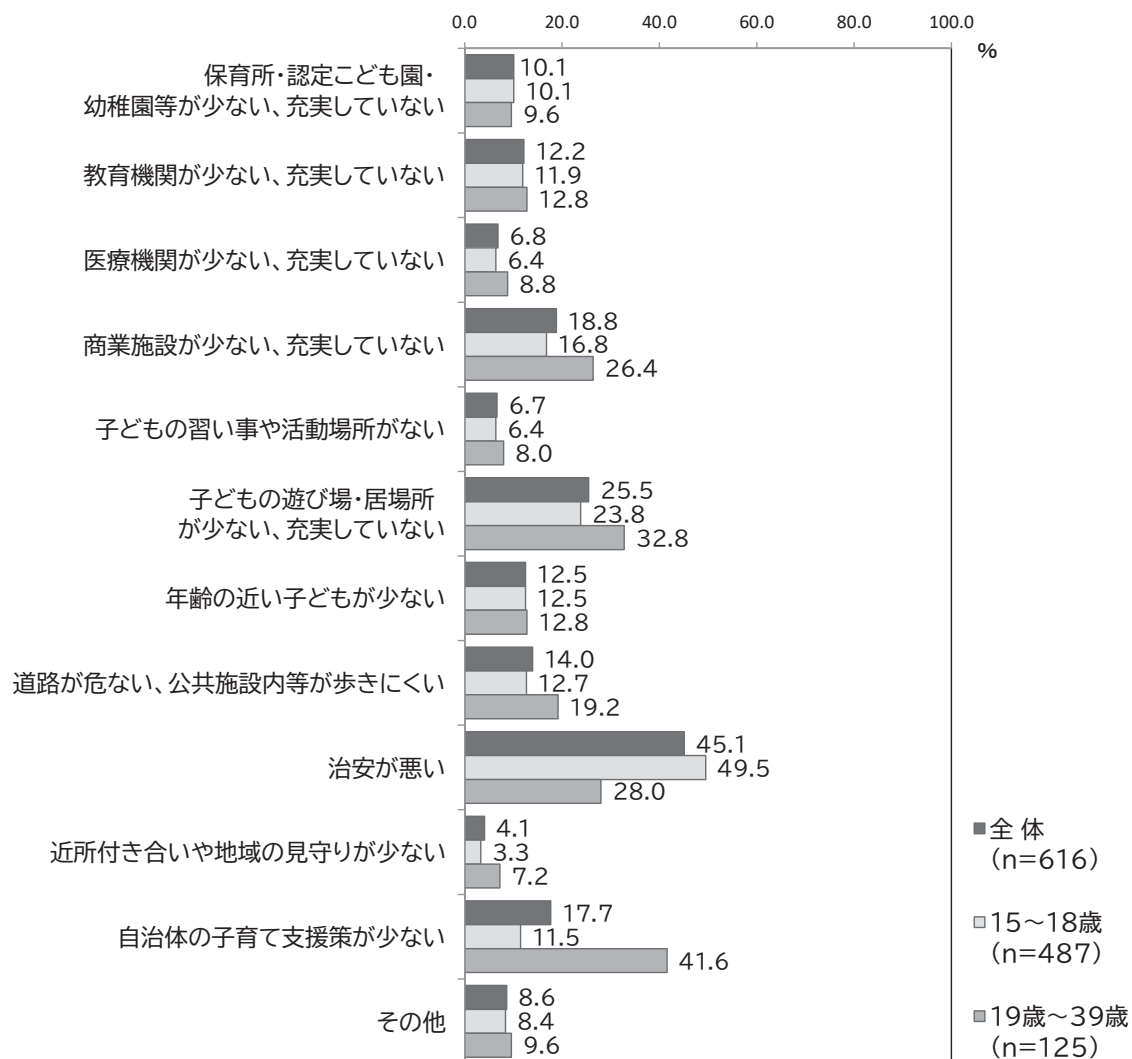
問23で「3. どちらかというと思わない」「4. そう思わない」と回答した人にのみ表示

大牟田市が子育てしにくいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

「治安が悪い」の 45.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「子どもの遊び場・居場所が少ない、充実していない」(25.5%)、「商業施設が少ない、充実していない」(18.8%)、「自治体の子育て支援策が少ない」(17.7%) の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「商業施設が少ない、充実していない」、「子どもの遊び場・居場所が少ない、充実していない」、「自治体の子育て支援策が少ない」の割合で、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「治安が悪い」となっている。

【全体及び年齢区分別】



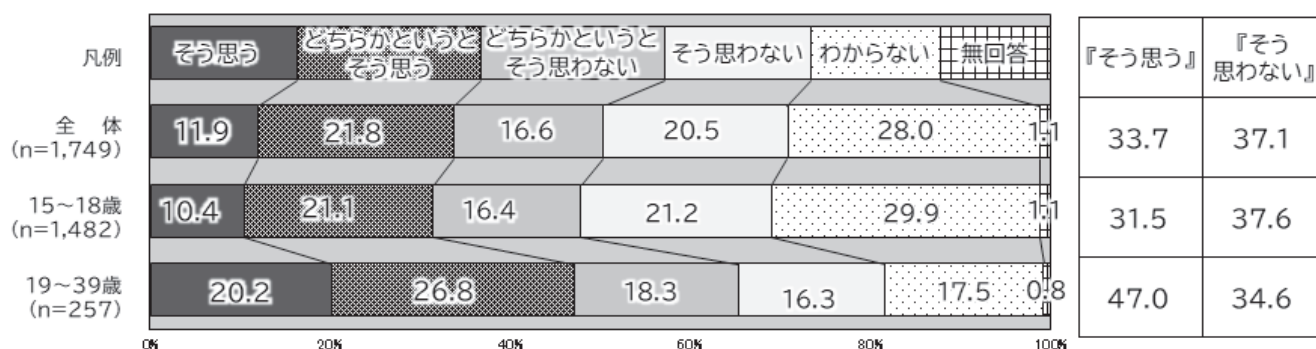
<設問 24>

大牟田市に今後も住み続けたい(市外の方は、住んでみたい)と思いますか。(○は1つ)

「わからない」の 28.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらかといえばそう思う」(21.8%)、「そう思わない」(20.5%)の順となっている。「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』が 33.7%で、『そう思わない』(「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」)は 37.1%となっている。

これを年齢区分別にみると、『そう思う』の割合は、15～18 歳の 31.5%に対し、19～39 歳は 47.0%となっており、19～39 歳では『そう思う』が回答者の半数近くを占めている。

【全体及び学年別】



<設問 24-1>

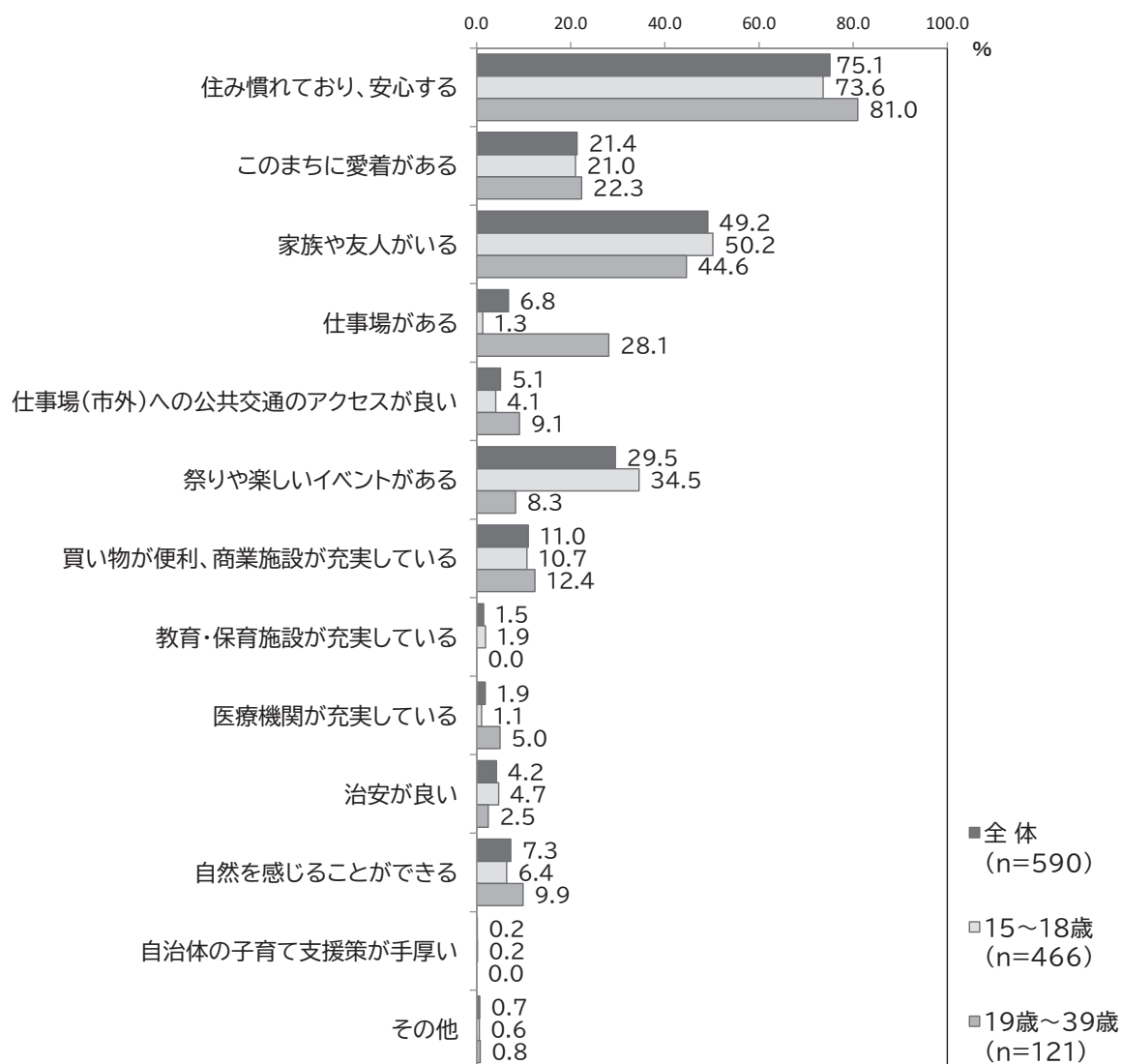
問24で「1. そう思う」「2. どちらかというそう思う」と回答した人にもみ表示

今後も住み続けたい(市外の方は、住んでみたい)と思う理由は何ですか。(○は3つまで)

「住み慣れており、安心する」の 75.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「家族や友人がいる」(49.2%)、「祭りや楽しいイベントがある」(29.5%)、「このまちに愛着がある」(21.4%)の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「このまちに愛着がある」、「仕事場がある」の割合で、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「家族や友人がいる」、「祭りや楽しいイベントがある」となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 24-2>

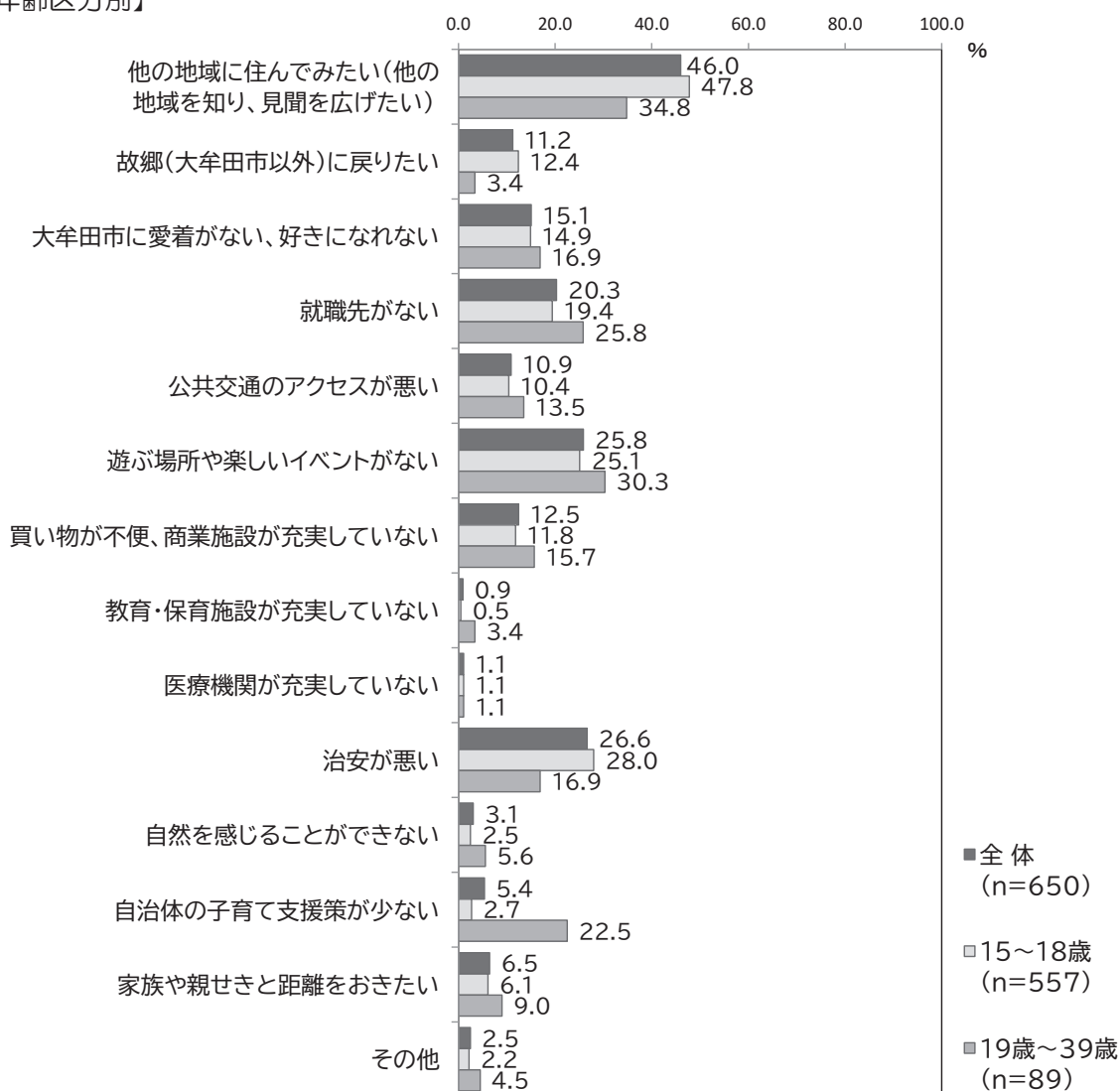
問24で「3. そう思わない」「4. どちらかというと思わない」と回答した人にのみ表示

今後も住み続けたい(市外の方は、住んでみたい)と思わない理由は何ですか。(〇は3つまで)

「他の地域に住んでみたい(他の地域を知り、見聞を広げたい)」の 46.0%が最も高く、以下、割合の高い方から「治安が悪い」(26.6%)、「遊ぶ場所や楽しいイベントがない」(25.8%)、「就職先がない」(20.3%) の順となっている。

これを年齢区分別にみると、「就職先がない」、「遊ぶ場所や楽しいイベントがない」、「買い物が不便、商業施設が充実していない」、「自治体の子育て支援策が少ない」の割合で、15～18 歳よりも 19～39 歳の方が高くなっている。15～18 歳が 19～39 歳より高くなっている選択肢は、「他の地域に住んでみたい(他の地域を知り、見聞を広げたい)」、「治安が悪い」となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 25>

あなたは自分の家庭や職場(もしくは学校生活)、住んでいる地域に満足していますか。(それぞれ、○を1つ)

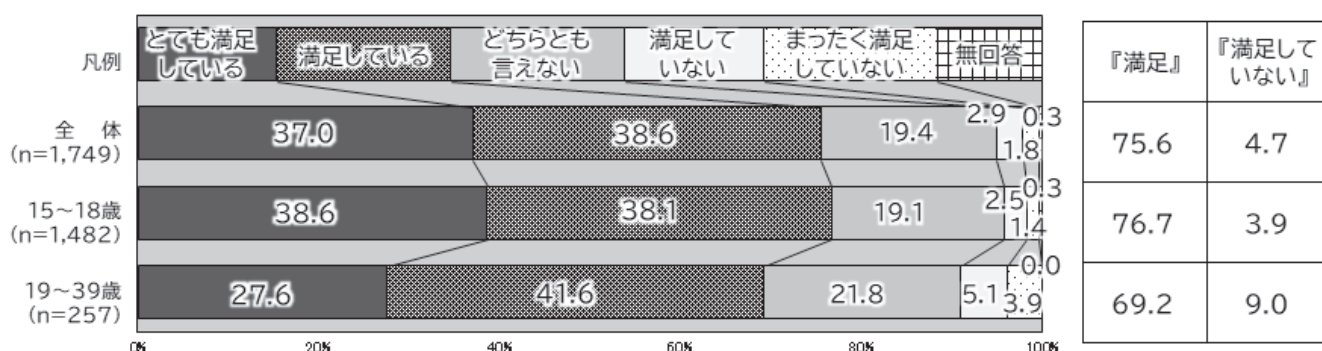
※「職場」は問6で「8. 家事専業(専業主婦・主夫)」「9. 無職」以外を回答した方のみ。

(1) 家庭

「満足している」の 38.6%が最も高く、以下、割合の高い方から「とても満足している」(37.0%)、「どちらとも言えない」(19.4%)の順となっている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が 75.6%で、『満足していない』(「満足していない」または「まったく満足していない」)は 4.7%となっている。

これを年齢区分別にみると、『満足』の割合は、15～18 歳の 76.7%に対し、19～39 歳は 69.2%となっている。

【全体及び年齢区分別】

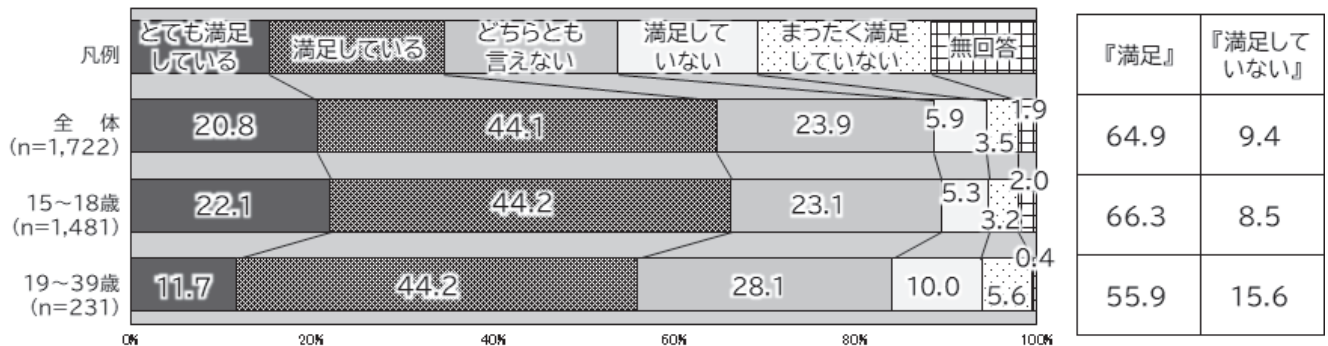


(2) 職場 (もしくは学校生活)

「満足している」の 44.1%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらとも言えない」(23.9%)、「とても満足している」(20.8%)の順となっている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が 64.9%で、『満足していない』(「満足していない」または「まったく満足していない」)は 9.4%となっている。

これを年齢区分別にみると、『満足』の割合は、15～18 歳の 66.3%に対し、19～39 歳は 55.9%となっている。

【全体及び年齢区分別】

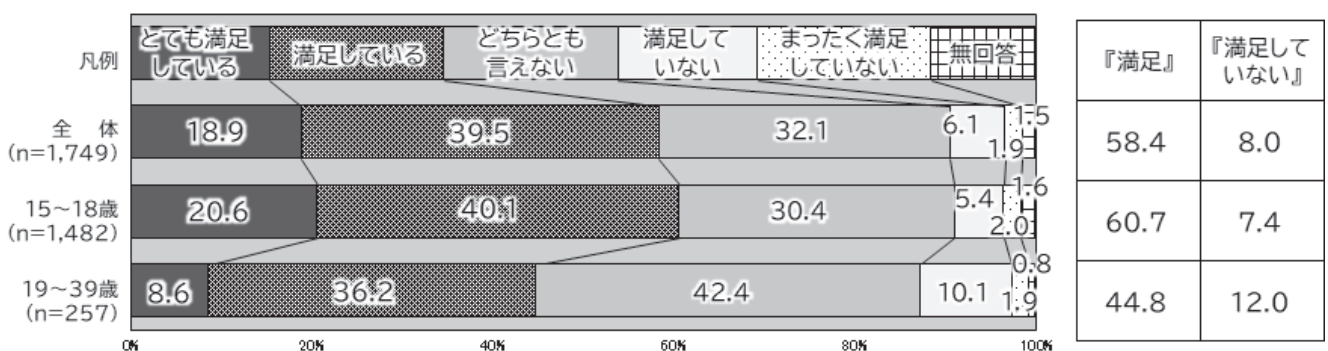


(3) 地域

「満足している」の 39.5%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらとも言えない」(32.1%)、「とても満足している」(18.9%)の順となっている。「とても満足している」と「満足している」を合わせた『満足』が 58.4%で、『満足していない』(「満足していない」または「まったく満足していない」)は 8.0%となっている。

これを年齢区分別にみると、『満足』の割合は、15～18 歳の 60.7%に対し、19～39 歳は 44.8%となっている。

【全体及び年齢区分別】



<設問 26>

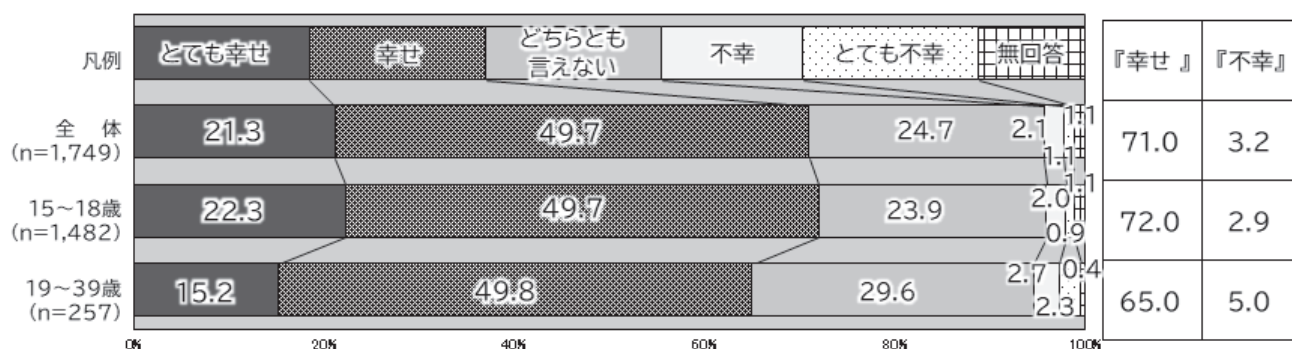
あなたは、現在、どのくらい幸せを感じていますか。(〇は1つ)

「幸せ」の 49.7%が最も高く、以下、割合の高い方から「どちらとも言えない」(24.7%)、「とても幸せ」(21.3%) の順となっている。「とても幸せ」と「幸せ」を合わせた『幸せ』が71.0%で、『不幸』(「不幸」または「とても不幸」)は3.2%となっている。

これを年齢区分別にみると、『幸せ』の割合は、15～18 歳の 72.0%に対し、19～39 歳は 65.0%となっている。

家庭の満足度別、職場の満足度別、地域の満足度別に幸福度をみると、満足度が高い人ほど幸福度も高くなる傾向が認められる。

【全体及び年齢区分別】



【「家庭」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合 計	とても 幸 せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と て も 不 幸	無 回 答
全 体	1,749 100.0%	372 21.3%	870 49.7%	432 24.7%	37 2.1%	19 1.1%	19 1.1%
■「家庭」の満足度別							
とても満足している	647 100.0%	277 42.8%	291 45.0%	61 9.4%	5 0.8%	6 0.9%	7 1.1%
満足している	675 100.0%	73 10.8%	436 64.6%	152 22.5%	7 1.0%	1 0.1%	6 0.9%
どちらとも言えない	340 100.0%	16 4.7%	125 36.8%	181 53.2%	14 4.1%	4 1.2%	0 0.0%
満足していない	50 100.0%	4 8.0%	12 24.0%	26 52.0%	5 10.0%	2 4.0%	1 2.0%
まったく満足していない	31 100.0%	2 6.5%	6 19.4%	11 35.5%	6 19.4%	6 19.4%	0 0.0%
無回答	6 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%

【「職場（もしくは学校生活）」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合計	とても 幸せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と て も 不 幸	無 回 答
全体	1,722 100.0%	369 21.4%	861 50.0%	421 24.4%	37 2.1%	15 0.9%	19 1.1%
■「職場（もしくは学校生活）」の満足度別							
とても満足している	358 100.0%	204 57.0%	120 33.5%	24 6.7%	1 0.3%	3 0.8%	6 1.7%
満足している	759 100.0%	113 14.9%	497 65.5%	137 18.1%	7 0.9%	1 0.1%	4 0.5%
どちらとも言えない	411 100.0%	31 7.5%	191 46.5%	173 42.1%	12 2.9%	4 1.0%	0 0.0%
満足していない	101 100.0%	5 5.0%	33 32.7%	52 51.5%	10 9.9%	0 0.0%	1 1.0%
まったく満足していない	61 100.0%	6 9.8%	12 19.7%	28 45.9%	7 11.5%	6 9.8%	2 3.3%
無回答	32 100.0%	10 31.3%	8 25.0%	7 21.9%	0 0.0%	1 3.1%	6 18.8%

【「地域」の満足度別にみた幸福度の割合】

	合計	とても 幸せ	幸 せ	ど ち ら と も 言 え な い	不 幸	と て も 不 幸	無 回 答
全体	1,749 100.0%	372 21.3%	870 49.7%	432 24.7%	37 2.1%	19 1.1%	19 1.1%
■「地域」の満足度別							
とても満足している	330 100.0%	188 57.0%	101 30.6%	28 8.5%	6 1.8%	3 0.9%	4 1.2%
満足している	691 100.0%	116 16.8%	455 65.8%	109 15.8%	4 0.6%	1 0.1%	6 0.9%
どちらとも言えない	561 100.0%	48 8.6%	252 44.9%	236 42.1%	18 3.2%	5 0.9%	2 0.4%
満足していない	106 100.0%	13 12.3%	43 40.6%	41 38.7%	5 4.7%	3 2.8%	1 0.9%
まったく満足していない	34 100.0%	2 5.9%	11 32.4%	12 35.3%	3 8.8%	5 14.7%	1 2.9%
無回答	27 100.0%	5 18.5%	8 29.6%	6 22.2%	1 3.7%	2 7.4%	5 18.5%